

本資料内に掲載されている平成 18 年の統計については、数値の一部に誤りがあります。

修正後の数値は、

[警察庁トップページ](#) > [統計](#) > [捜査活動に関する統計等](#) > [年間の犯罪の「正誤情報」](#)
をご確認ください。

平成18年の犯罪情勢

平成19年5月

警 察 庁

凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

(1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪二関スル件」、「暴力行為等処罰二関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分二関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

(2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の6種に分類したものをいう。

凶悪犯.....殺人、強盗、放火、強姦

粗暴犯.....暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯.....窃盗

知能犯.....詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」に規定する罪

風俗犯.....賭博、わいせつ

その他の刑法犯.....公務執行妨害、住居侵入、逮捕・監禁、器物損壊、占有離脱物横領等上記に掲げるもの以外の刑法犯

(3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

(4) 検挙件数

刑法犯において警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

(5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

(6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分率で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

(8) 未遂罪及び予備罪は、それぞれの既遂の罪に含めている。

(9) 成人事件、少年事件、成人少年共犯事件

成人事件とは20歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは14歳以上20歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。

(10) 少年の検挙人員

特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢がともに14歳以上20歳未満の少年の検挙人員をいう。

(11) 犯罪手口の名称変更

平成16年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(12) 発生場所

ア 「共同住宅（4階建以上）」とは、中高層（4階建以上）住宅とし、「共同住宅（3階建以下）」とは、その他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4階建以上）住宅を除く）とした。

イ 「一般事務所」とは、その他の会社・事務所とした。

ウ 「商店」とは、デパート、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成15年以前は、デパート、スーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店）とした。

エ 「生活環境営業」とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーテル・ラブホテル等、その他の店舗型性風俗特殊営業店、深夜飲食店、その他の飲食店（平成15年以前は、景品交換所の区分はない）とした。

オ 「金融機関等」とは、質屋、貸金業、銀行、郵便局、信用金庫・組合及び農（漁）業協同組合とした。

カ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内（平成15年以前は、地下鉄内の区分はない）とした。

キ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内（平成15年以前は、タクシー内の区分はない）とした。

ク 「その他の街頭」とは、地下街・地下道路及び高速道路とした。

ケ 「街頭」とは、道路上、駐車（輪）場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭とした。

コ 「学校（幼稚園）」には、学校教育法第1条に掲げる学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園）、同法第82条の2の専修学校及び同法第83条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

サ 「都市公園」とは、都市公園法第2条に規定する公園及び緑地で、同法第2条の2の規定に基づき設置されたものをいう。

(13) 来日外国人

来日外国人とは、我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者をいう。

(14) 暴力団構成員等

暴力団構成員等には、暴力団構成員のほか、準構成員を含む。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）

3 本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

4 本資料中の事例の検挙月日は、特に断りのない限り、平成18年である。

目 次

第 1 全刑法犯の概況

- 1 刑法犯の認知・検挙状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 刑法犯の被害状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第 2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

- 1 街頭犯罪・・ 7
 - (1) 路上強盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (2) ひったくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - (3) 街頭における強姦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - (4) 街頭における強制わいせつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (5) 街頭における略取・誘拐・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (6) 街頭における暴行・傷害・恐喝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - (7) 自動車盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
 - (8) オートバイ盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - (9) 自転車盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - (10) 車上ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - (11) 部品ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
 - (12) 自動販売機ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 2 侵入犯罪・・ 33
 - (1) 侵入強盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
 - (2) 侵入窃盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
 - (3) 住居侵入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 3 振り込め詐欺の特徴的傾向

- 1 詐欺の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
- 2 振り込め詐欺（恐喝）の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
 - (1) いわゆる「オレオレ詐欺（恐喝）」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
 - (2) 架空請求詐欺（恐喝）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
 - (3) 融資保証金詐欺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 3 振り込め詐欺を助長する犯罪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
 - (1) 預貯金口座の不正な取得・流通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
 - (2) 携帯電話の不正な取得・流通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

第4 刑法犯の現況

1 重要犯罪	53
(1) 重要犯罪の認知・検挙状況	53
(2) 殺人事件の状況	54
ア 捜査本部設置事件の状況	55
イ 通り魔殺人事件	56
ウ 保険金目的殺人事件	56
(3) 強盗事件の状況	57
ア 金融機関・郵便局対象強盗事件	59
イ サラリーマン金融対象強盗事件	60
ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件	62
エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件	63
オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件	64
カ 現金輸送車対象強盗事件	64
キ タクシー対象強盗事件	65
(4) 主な性犯罪の状況	67
(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況	68
(6) 放火事件の状況	70
2 重要窃盗犯	71
(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況	71
(2) 組織窃盗事件の状況	72
(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件	73
3 特殊事件・事故	74
(1) 人質立てこもり事件	74
(2) 業務上過失致死傷事件・事故	74
4 構造的な不正事案等	76
(1) 政治・行政をめぐる不正事案	76
ア 贈収賄事件	76
イ 談合・競売入札妨害事件	78
ウ あっせん利得処罰法違反事件	78
エ 公職選挙法違反・政治資金規正法違反事件	79
オ 公務員犯罪	80
(2) 経済をめぐる不正事案	80
ア 企業犯罪	80
イ 金融関連犯罪	81

(3) 通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪	8 4
ア 通貨偽造犯罪	8 4
イ その他の知能犯罪	8 4
5 風俗犯の認知・検挙状況	8 6
(1) 強制わいせつの認知・検挙状況	8 6
(2) 公然わいせつの認知・検挙状況	8 6
(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況	8 6
(4) 賭博の認知・検挙状況	8 7
6 その他の特徴的な犯罪	8 8
(1) 薬物常用者による犯罪	8 8
(2) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪	8 9
(3) 高齢者による犯罪	9 1
(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪	9 2
ア カードの窃盗被害の状況	9 2
イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況	9 3
ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況	9 4
7 少年による犯罪	9 5
(1) 少年の刑法犯検挙状況	9 5
(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	9 6
(3) 触法少年の補導状況	9 7
8 来日外国人による犯罪	9 8
(1) 刑法犯の検挙状況	9 8
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況	9 8
(3) 凶悪犯の検挙状況	9 9
(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	1 0 0
(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況	1 0 1
9 暴力団による犯罪	1 0 2
(1) 暴力団構成員等の状況	1 0 2
(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況	1 0 3
10 国外逃亡被疑者等の状況	1 0 5
(1) 国外逃亡被疑者等の推移	1 0 5
(2) 罪種等別の国外逃亡被疑者等数	1 0 5
(3) 国籍・地域別の国外逃亡被疑者等数	1 0 6
(4) 推定逃亡先国・地域別の国外逃亡被疑者等数	1 0 6
(5) 国外逃亡被疑者等の検挙状況	1 0 6

(6) 国外犯処罰規定の適用状況	107
11 女性・子ども・高齢者を主たる被害者とする犯罪	108
(1) 女性を主たる被害者とする犯罪	108
ア 女性の犯罪被害の状況	108
イ 年齢層別の犯罪被害の状況	109
ウ 場所別被害の発生状況	110
エ 配偶者による暴力事件	111
(2) 子どもを主たる被害者とする犯罪	112
ア 子どもの犯罪被害の状況	112
イ 就学別の犯罪被害の状況	114
ウ 場所別被害の発生状況	114
エ 子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況	115
(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪	116
ア 高齢者の犯罪被害の状況	116
イ 場所別被害の発生状況	118

第5 凶悪犯罪の動向と特徴について

1 凶悪犯罪の動向と特徴について	121
(1) 殺人	121
(2) 強盗	122
(3) 放火	123
(4) 強姦	124

第6 資料

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移	129
2 刑法犯の罪種別犯罪率の推移	130
3 刑法犯の都道府県別認知件数の推移	132
4 刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	134
5 刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	136
6 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	138
7 凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	138
8 粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	140
9 窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	140
10 侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	142
11 乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	142
12 非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	144
13 知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	144
14 風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	146

15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 6
16	街頭犯罪・侵入犯罪の認知・検挙状況の推移	1 4 8
17	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	1 5 0
18	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	1 5 2
19	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	1 5 4
20	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	1 5 6

第1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

刑法犯の認知件数は、平成14年まで7年連続して戦後最多を記録していたが、平成15年は前年に比べ2.2%減少し、以後、平成16年は8.1%、平成17年は11.5%、平成18年は9.6%（21万8,443件）と4年連続減少した結果、平成18年の認知件数は205万850件となった。平成18年の認知件数を前年と比較すると、減少件数が多いものとして、車上ねらい、侵入窃盗、乗り物盗、自動販売機ねらい等がある。一方、増加件数の多いものとして暴行がある。

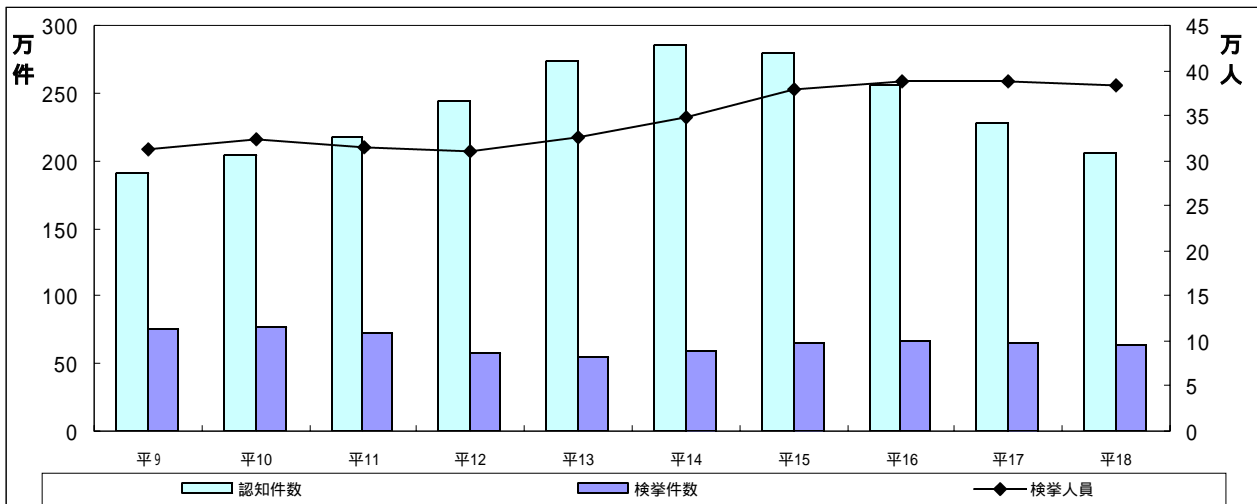
検挙件数は、平成11年以降減少したのち、平成14年以降は増加していたが、平成17年に再び減少に転じ、平成18年にあっても64万657件と、前年に比べ8,846件（1.4%）減少している。その中でも、減少件数が多いものとして、万引き、車上ねらい、侵入窃盗等がある。一方、増加件数の多いものとして暴行、器物損壊、オートバイ盗等がある。

検挙人員は、平成13年以降増加していたが、平成17年に減少に転じ、平成18年にあっても38万4,250人と、前年に比べ2,705人（0.7%）減少している。その中でも、減少人数が多いものとして、万引き、占有離脱物横領、乗り物盗等がある。一方、増加人数の多いものとして、暴行、詐欺等がある。

検挙率は、平成7年以降低下傾向にあったが、平成14年以降上昇に転じ、平成18年にあっても31.2%と、前年に比べ2.6ポイント上昇している（図表1-1）。

検挙件数が減少する中、検挙率が上昇したのは、認知件数の大幅な減少による（図表1-1、図表6-7～15）。

図表1-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	-218,443	-9.6
検挙件数		759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657	-8,846	-1.4
検挙人員		313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250	-2,705	-0.7
うち少年		152,825	157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	112,817	-10,898	-8.8
(割合%)		48.7	48.5	44.9	42.7	42.6	40.8	38.0	34.7	32.0	29.4	-2.6	-
うち来日外国人		5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	8,148	-357	-4.2
(割合%)		1.7	1.7	1.9	2.0	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	2.1	-0.1	-
うち暴力団構成員等		18,540	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	18,629	18,016	-613	-3.3
(割合%)		5.9	6.2	6.2	6.4	6.0	5.9	5.3	5.0	4.8	4.7	-0.1	-
検挙率		40.0	38.0	33.8	23.6	19.8	20.8	23.2	26.1	28.6	31.2	2.6ポイント	

注：本表の少年、来日外国人及び暴力団構成員等は、対象ごとの検挙人員及び占める割合を記述したもので、検挙人員は重複するものもある。

2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移

平成18年の刑法犯認知件数を包括罪種別に見ると、前年に比べ、凶悪犯は1,236件（10.9%）、窃盗犯は19万544件（11.0%）、知能犯は1万3,229件（13.6%）、風俗犯は153件（1.3%）それぞれ減少しているが、粗暴犯は2,531件（3.4%）増加している。

刑法犯認知件数全体に占める割合を包括罪種別に見ると、凶悪犯は0.5%、粗暴犯は3.7%、窃盗犯は74.8%、知能犯は4.1%、風俗犯は0.6%、その他の刑法犯は16.3%となっている。

検挙件数は、前年に比べ、凶悪犯は293件（3.9%）、窃盗犯は1万2,757件（3.0%）、知能犯は855件（2.2%）それぞれ減少しているが、粗暴犯は5,372件（12.2%）、風俗犯は330件（5.1%）ともに増加している。

検挙人員は、前年に比べ、凶悪犯は588人（8.3%）、窃盗犯は6,465人（3.3%）、風俗犯は112人（1.8%）それぞれ減少しているが、粗暴犯は5,349人（10.9%）、知能犯は707人（4.7%）ともに増加している。

（図表1-2）

図表1-2 包括罪種別の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
刑法犯総数	認知件数(件)	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	-218,443	-9.6
	検挙件数(件)	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657	-8,846	-1.4
	検挙人員(人)	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250	-2,705	-0.7
凶悪犯	認知件数	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	13,658	13,064	11,360	10,124	-1,236	-10.9
	検挙件数	6,733	6,991	6,859	7,175	7,320	7,604	8,238	7,924	7,418	7,125	-293	-3.9
	検挙人員	6,633	6,949	7,217	7,488	7,490	7,726	8,362	7,519	7,047	6,459	-588	-8.3
粗暴犯	認知件数	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	78,759	76,616	73,772	76,303	2,531	3.4
	検挙件数	29,967	29,638	28,488	39,211	39,924	40,425	42,296	41,128	44,037	49,409	5,372	12.2
	検挙人員	40,432	39,755	37,874	50,419	50,428	49,615	49,530	46,801	49,156	54,505	5,349	10.9
窃盗犯	認知件数	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	-190,544	-11.0
	検挙件数	586,648	597,283	561,148	407,246	367,643	403,872	433,918	447,950	429,038	416,281	-12,757	-3.0
	検挙人員	175,632	181,329	172,147	162,610	168,919	180,725	191,403	195,151	194,119	187,654	-6,465	-3.3
知能犯	認知件数	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	74,754	99,258	97,500	84,271	-13,229	-13.6
	検挙件数	57,811	55,118	47,827	44,322	37,800	39,884	40,574	36,299	38,151	37,296	-855	-2.2
	検挙人員	11,639	11,286	10,562	11,341	11,539	13,173	13,653	14,850	15,053	15,760	707	4.7
風俗犯	認知件数	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	13,034	12,346	12,085	11,932	-153	-1.3
	検挙件数	6,124	5,899	5,438	5,809	6,066	5,633	6,165	6,070	6,422	6,752	330	5.1
	検挙人員	6,923	7,239	6,110	6,112	6,166	5,912	5,886	5,688	6,373	6,261	-112	-1.8
その他の刑法犯	認知件数	117,688	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	-15,812	-4.5
	検挙件数	72,326	77,353	81,524	73,008	83,362	94,941	117,128	128,249	124,437	123,794	-643	-0.5
	検挙人員	72,314	77,705	81,445	71,679	80,750	90,407	110,768	119,018	115,207	113,611	-1,596	-1.4

3 刑法犯の被害状況の推移

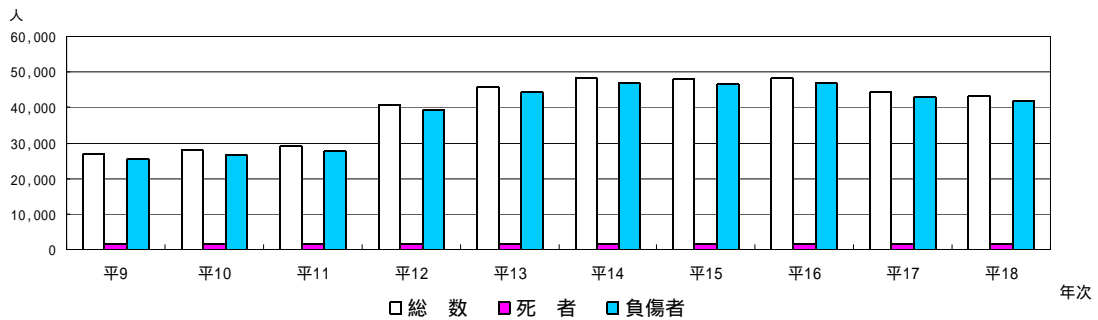
刑法犯の死傷被害者数は、平成8年以降増加しており、平成14年からは4万8千人台で推移し、平成17年は4万4千人台となり、平成18年は4万3,160人で、前年に比べ1,304人（2.9%）減少している。

平成18年の死傷被害者数の内訳を見ると、死者は1,284人で、前年に比べ69人（5.1%）、負傷者は4万1,876人で、前年に比べ1,235人（2.9%）ともに減少している（図表1-3-(1)）

財産犯の被害額は、平成11年以降増加していたが、平成15年に減少に転じ、平成18年では約2,458億4,000万円で、前年に比べ約346億9,600万円（12.4%）減少している。

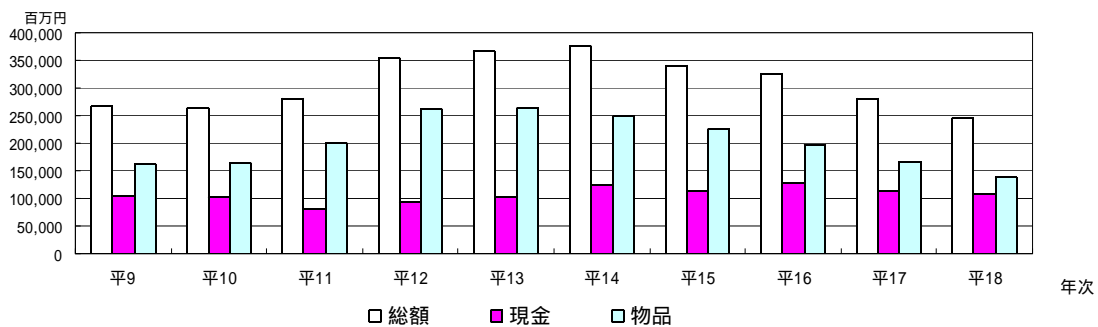
平成18年の被害の内訳を見ると、現金の被害は約1,080億1,000万円で、前年に比べ約53億7,600万円（4.7%）、物品の被害は約1,378億3,000万円で、前年に比べ約293億2,000万円（17.5%）ともに減少している（図表1-3-(2)）。

図表1-3-(1) 刑法犯 死傷被害者数の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												人数	率(%)
総数		26,985	27,928	28,973	40,897	45,778	48,130	48,097	48,190	44,464	43,160	-1,304	-2.9
死者		1,296	1,350	1,334	1,345	1,441	1,368	1,432	1,397	1,353	1,284	-69	-5.1
負傷者		25,689	26,578	27,639	39,552	44,337	46,762	46,665	46,793	43,111	41,876	-1,235	-2.9

図表1-3-(2) 財産犯 被害額の推移



(単位: 百万円)

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												金額	率(%)
総額		265,941	265,185	280,684	354,388	366,539	375,881	339,787	325,846	280,536	245,840	-34,696	-12.4
現金		104,031	102,003	81,024	92,812	103,026	124,948	113,321	128,928	113,386	108,010	-5,376	-4.7
物品		161,910	163,182	199,660	261,576	263,513	250,933	226,466	196,918	167,150	137,830	-29,320	-17.5

(余白)

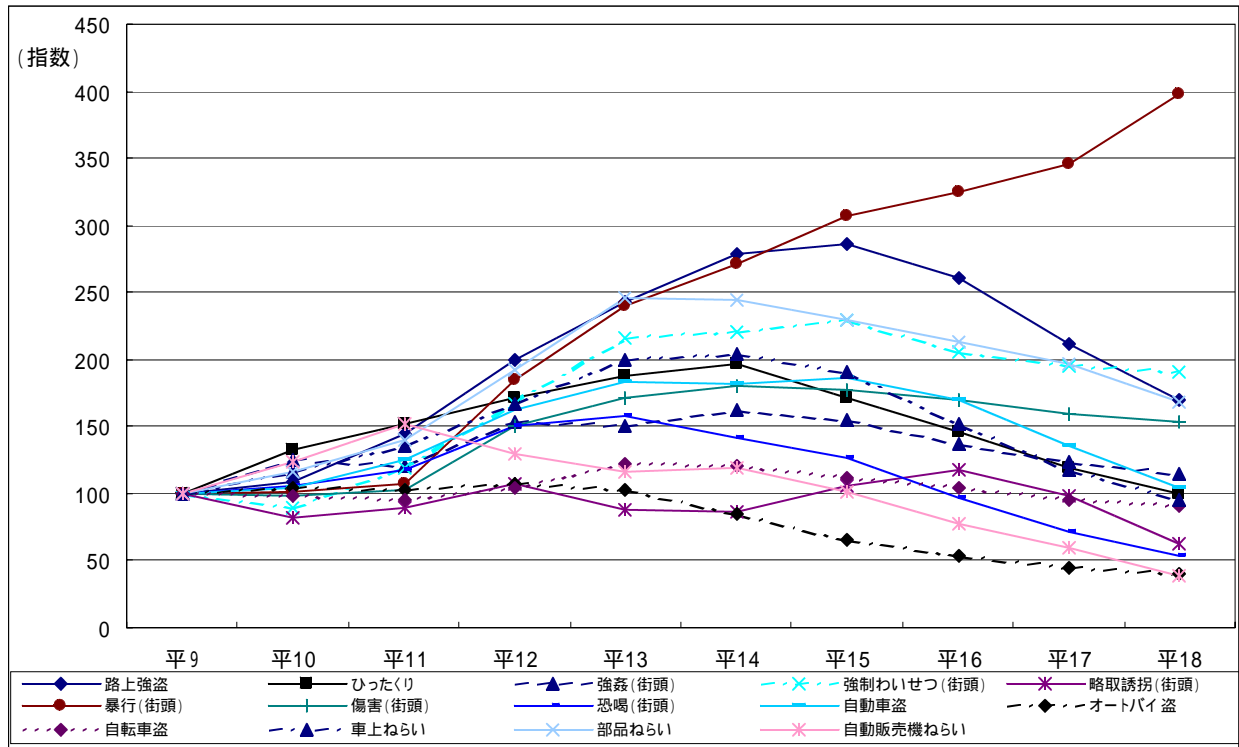
第2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

(余白)

1 街頭犯罪

平成18年の主な街頭犯罪の認知件数は、前年に比べ、街頭における暴行を除き減少している。特に、街頭における略取・誘拐、自動販売機ねらい、街頭における恐喝、自動車盗、路上強盗、車上ねらい、ひったくり、部品ねらい及びオートバイ盗は大幅に減少している（図表2-1）。

図表2-1 街頭犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
路上強盗	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	1,759	-433	-19.8	
(指数)	100	108	145	200	243	279	286	261	212	170	-	-	
ひったくり	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	-5,189	-16.2	
(指数)	100	133	153	171	188	196	172	146	119	99	-	-	
強姦(街頭)	535	668	648	825	806	869	832	732	663	612	-51	-7.7	
(指数)	100	125	121	154	151	162	156	137	124	114	-	-	
強制わいせつ(街頭)	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	5,131	-123	-2.3	
(指数)	100	89	119	167	215	220	229	205	196	191	-	-	
略取誘拐(街頭)	202	166	181	216	179	175	213	237	199	126	-73	-36.7	
(指数)	100	82	90	107	89	87	105	117	99	62	-	-	
暴行(街頭)	4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	15,319	16,332	18,816	2,484	15.2	
(指数)	100	102	107	185	240	271	307	324	346	398	-	-	
傷害(街頭)	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	19,218	17,961	17,373	-588	-3.3	
(指数)	100	99	103	150	172	181	178	170	159	154	-	-	
恐喝(街頭)	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	8,534	6,346	4,690	-1,656	-26.1	
(指数)	100	106	118	150	157	142	126	97	72	53	-	-	
自動車盗	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8	
(指数)	100	104	125	163	183	182	186	170	135	105	-	-	
オートバイ盗	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	-10,861	-10.4	
(指数)	100	105	104	108	103	85	66	54	44	40	-	-	
自転車盗	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	-17,641	-4.3	
(指数)	100	99	96	104	122	120	112	104	95	91	-	-	
車上ねらい	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	-50,850	-19.8	
(指数)	100	116	136	167	199	204	191	151	118	95	-	-	
部品ねらい	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739	-15,033	-14.5	
(指数)	100	116	140	192	245	244	229	213	197	168	-	-	
自動販売機ねらい	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	55,981	-32,199	-36.5	
(指数)	100	124	152	130	116	119	101	77	60	38	-	-	

注：指数は、平成9年を100とした場合の値である。

(1) 路上強盗

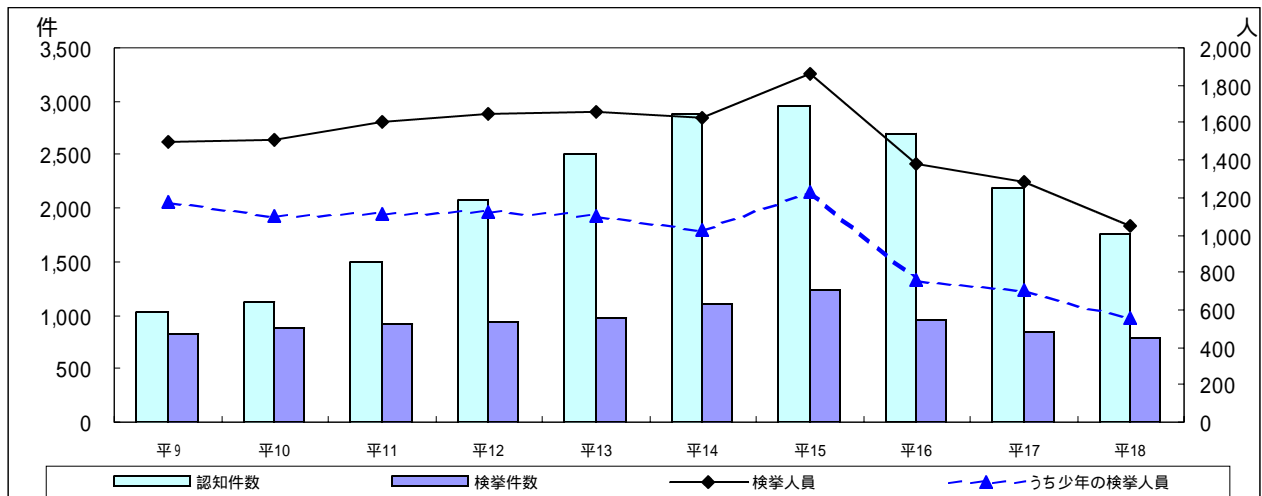
路上強盗の認知件数は、平成8年以降一貫して増加し、平成15年には平成7年の4.8倍となったが、平成16年は前年に比べ8.8%、平成17年は前年に比べ18.7%と2年連続して減少し、平成18年であっても1,759件と、前年に比べ433件(19.8%)減少している。

検挙件数、検挙人員は、平成7年から増加していたが、平成16年以降、検挙件数、検挙人員はともに減少し、平成18年であっても検挙件数は788件で、前年に比べ48件(5.7%)、検挙人員は1,053人で、前年に比べ232人(18.1%)ともに減少している。また、検挙人員に占める少年の割合は、平成9年には78.7%を占め、以後年々減少しており、平成18年は、検挙人員全体の52.5%(前年に比べ2.5ポイント低下)となっている(図表2-1-(1)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後10時から午前0時、被害者は20歳代の男性が最も多い(図表2-1-(1)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、自動車を利用したものが最も多い(図表2-1-(1)-5、6)。

図表2-1-(1)-1 路上強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件(人)数	率(%)
認知件数	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	1,759	-433	-19.8
うち未遂	63	69	84	96	126	154	186	155	148	103	-45	-30.4
検挙件数	824	873	925	930	968	1,104	1,226	955	836	788	-48	-5.7
検挙人員	1,497	1,503	1,609	1,645	1,658	1,631	1,865	1,377	1,285	1,053	-232	-18.1
うち少年	1,178	1,098	1,111	1,122	1,103	1,027	1,227	763	707	553	-154	-21.8
(割合%)	78.7	73.1	69.0	68.2	66.5	63.0	65.8	55.4	55.0	52.5	-2.5	-
検挙率	79.7	78.0	61.9	44.9	38.6	38.2	41.5	35.4	38.1	44.8	6.7	ポイント

図表 2 - 1 - (1) - 2 路上強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		2,192	100.0	1,759	100.0	-433	-19.8
街頭		2,101	95.8	1,684	95.7	-417	-19.8
道路上		1,806	82.4	1,451	82.5	-355	-19.7
駐車(輪)場		216	9.9	169	9.6	-47	-21.8
都市公園		58	2.6	43	2.4	-15	-25.9
空き地		10	0.5	10	0.6	0	0.0
公共交通機関等		4	0.2	9	0.5	5	125.0
その他の交通機関		2	0.1	0	0.0	-2	-100.0
その他の街頭		5	0.2	2	0.1	-3	-60.0
その他		91	4.2	75	4.3	-16	-17.6

図表 2 - 1 - (1) - 3 路上強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
		平17	467	306	114	59	48	47	38	64	85	153	305	503	
平18		372	228	114	35	30	42	47	42	66	141	252	390	0	1,759
(割合%)		21.1	13.0	6.5	2.0	1.7	2.4	2.7	2.4	3.8	8.0	14.3	22.2	0.0	100.0
増減	件数	-95	-78	0	-24	-18	-5	9	-22	-19	-12	-53	-113	-3	-433
	率 (%)	-20.3	-25.5	0.0	-40.7	-37.5	-10.6	23.7	-34.4	-22.4	-7.8	-17.4	-22.5	-100.0	-19.8

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 4 路上強盗の被害者の年齢・性別認知件数(平成18年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	1,757	304	636	289	175	174	179
男性	972	196	336	159	117	100	64
(割合%)	55.3	11.2	19.1	9.0	6.7	5.7	3.6
女性	785	108	300	130	58	74	115
(割合%)	44.7	6.1	17.1	7.4	3.3	4.2	6.5

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 5 路上強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		829	100.0	776	100.0	-53	-6.4
成人事件の総数		470	56.7	469	60.4	-1	-0.2
単独		280	59.6	263	56.1	-17	-6.1
共犯		190	40.4	206	43.9	16	8.4
少年事件の総数		270	32.6	222	28.6	-48	-17.8
単独		59	21.9	33	14.9	-26	-44.1
共犯		211	78.1	189	85.1	-22	-10.4
成人・少年共犯事件の総数		89	10.7	85	11.0	-4	-4.5

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (1) - 6 路上強盗の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

年次 区分	平17		平18		増減	
	検挙件数	割合 (%)	検挙件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	829	100.0	776	100.0	-53	-6.4
自動車	303	36.6	373	48.1	70	23.1
うち盗難自動車	69	8.3	66	8.5	-3	-4.3
自二車・原付車	126	15.2	78	10.1	-48	-38.1
うち盗難自二車・原付車	37	4.5	15	1.9	-22	-59.5
自転車	86	10.4	52	6.7	-34	-39.5
その他・該当なし	314	37.9	273	35.2	-41	-13.1

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(2) ひったくり

ひったくりの認知件数は、平成3年以降年々増加し、平成14年には平成2年の5.2倍となったが、平成15年は前年に比べ12.4%減少し、以後、平成16年は15.0%、平成17年は18.7%と3年連続して減少し、平成18年にあっても2万6,828件と、前年に比べ5,189件(16.2%)減少している。

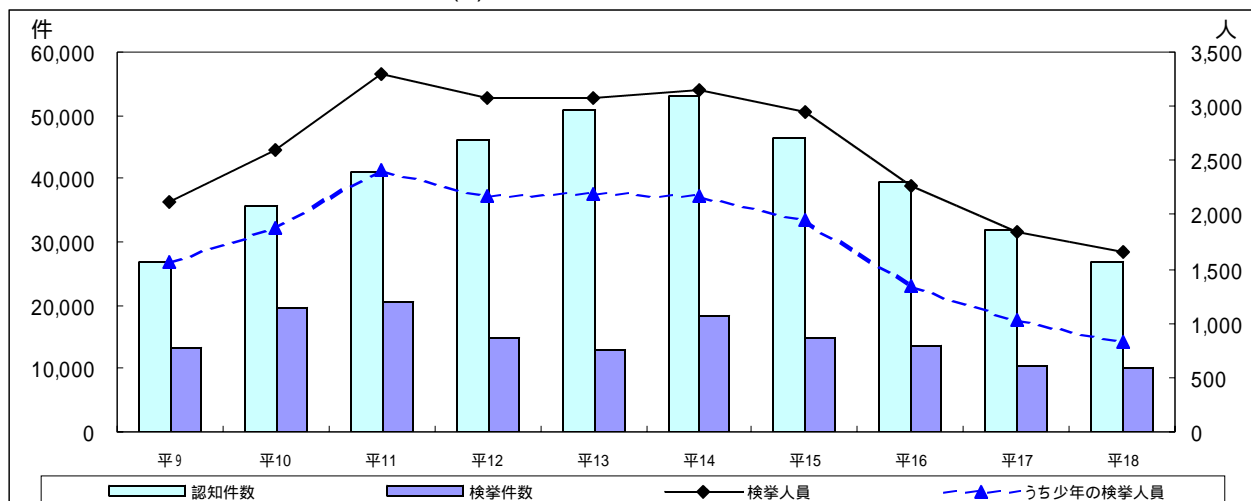
検挙件数、検挙人員は増加傾向にあったが、平成15年以降、検挙件数、検挙人員はともに減少し、平成18年にあっても検挙件数は1万90件で、前年に比べ316件(3.0%)、検挙人員は1,652人で、前年に比べ199人(10.8%)ともに減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は減少傾向にあり、平成18年は834人で、検挙人員全体の50.5%(前年に比べ4.9ポイント低下)となっている(図表2-1-(2)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は60歳以上の女性が最も多い(図表2-1-(2)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、自動二輪車・原動機付自転車を利用したものが最も多い(図表2-1-(2)-5、6)。

図表 2 - 1 - (2) - 1 ひったくりの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
													件(人)数
認知件数		26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	-5,189	-16.2
	うち未遂	938	1,286	1,681	2,320	2,718	3,027	3,031	2,489	1,903	1,665	-238	-12.5
検挙件数		13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090	-316	-3.0
検挙人員		2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	1,652	-199	-10.8
うち少年 (割合%)		1,568	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	834	-191	-18.6
		74.0	71.8	73.2	70.9	71.2	68.6	66.3	59.8	55.4	50.5	-4.9	-
検挙率		49.6	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	37.6	5.1	ポイント

図表 2 - 1 - (2) - 2 ひったくりの発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		32,017	100.0	26,828	100.0	-5,189	-16.2
街頭	街頭	31,521	98.5	26,315	98.1	-5,206	-16.5
	道路上	31,065	97.0	25,953	96.7	-5,112	-16.5
	駐車(輪)場	354	1.1	264	1.0	-90	-25.4
	都市公園	39	0.1	28	0.1	-11	-28.2
	空き地	3	0.0	1	0.0	-2	-66.7
	公共交通機関等	45	0.1	58	0.2	13	28.9
	その他の交通機関	1	0.0	0	0.0	-1	-100.0
	その他の街頭	14	0.0	11	0.0	-3	-21.4
その他		496	1.5	513	1.9	17	3.4

図表 2 - 1 - (2) - 3 ひったくりの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平17	2,532	1,123	749	994	1,237	1,903	2,113	2,536	2,806	5,149	6,238	4,626	11
平18	2,216	983	759	1,010	1,122	1,597	1,734	1,804	2,129	4,114	5,181	4,170	9	26,828	
(割合%)		8.3	3.7	2.8	3.8	4.2	6.0	6.5	6.7	7.9	15.3	19.3	15.5	0.0	100.0
増減	件数	-316	-140	10	16	-115	-306	-379	-732	-677	-1,035	-1,057	-456	-2	-5,189
	率(%)	-12.5	-12.5	1.3	1.6	-9.3	-16.1	-17.9	-28.9	-24.1	-20.1	-16.9	-9.9	-18.2	-16.2

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 4 ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成18年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	26,822	1,745	6,036	3,645	3,081	4,674	7,641
男性	1,971	160	349	275	235	388	564
(割合%)	7.3	0.6	1.3	1.0	0.9	1.4	2.1
女性	24,851	1,585	5,687	3,370	2,846	4,286	7,077
(割合%)	92.7	5.9	21.2	12.6	10.6	16.0	26.4

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 5 ひったくりの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		10,353	100.0	10,032	100.0	-321	-3.1
成人事件の総数		7,079	68.4	7,209	71.9	130	1.8
単独		5,814	82.1	5,724	79.4	-90	-1.5
共犯		1,265	17.9	1,485	20.6	220	17.4
少年事件の総数		2,906	28.1	2,323	23.2	-583	-20.1
単独		1,200	41.3	711	30.6	-489	-40.8
共犯		1,706	58.7	1,612	69.4	-94	-5.5
成人・少年共犯事件の総数		368	3.6	500	5.0	132	35.9

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (2) - 6 ひったくりの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次	平17		平18		増減	
		検挙件数	割合(%)	検挙件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		10,353	100.0	10,032	100.0	-321	-3.1
自動車		1,352	13.1	952	9.5	-400	-29.6
うち盗難自動車		653	6.3	276	2.8	-377	-57.7
自二車・原付車		7,236	69.9	7,067	70.4	-169	-2.3
うち盗難自二車・原付車		2,851	27.5	3,631	36.2	780	27.4
自転車		1,052	10.2	1,285	12.8	233	22.1
その他・該当なし		713	6.9	728	7.3	15	2.1

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(3) 街頭における強姦

強姦の認知件数は、平成15年まで増加傾向にあったが、平成16年以降2年連続して減少し、平成18年にあっても1,948件と、前年に比べ128件（6.2%）減少している。うち街頭における認知は612件で、強姦全体の31.4%を占めており、前年に比べ51件（7.7%）減少している。

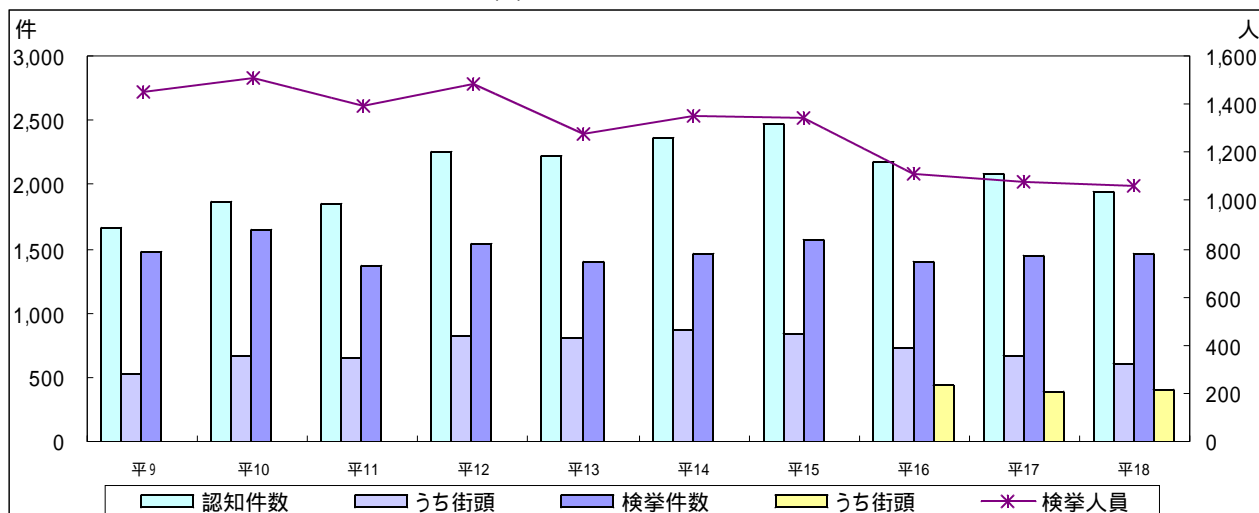
検挙件数、検挙人員は1,500件（人）前後で推移していたが、平成16年以降、検挙人員は千人前後に減少している。平成18年の検挙件数は1,460件で、前年に比べ17件（1.2%）、うち街頭における事件の検挙は408件で、前年に比べ14件（3.6%）ともに増加しており、検挙人員は1,058人で、前年に比べ16人（1.5%）

減少している（図表2-1-(3)-1）。

平成18年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後10時から午前0時、被害女性は20歳未満が最も多い（図表2-1-(3)-2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-1-(3)-5）。

図表2-1-(3)-1 強姦の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
													件(人)数
認知件数		1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	-128	-6.2
うち街頭		535	668	648	825	806	869	832	732	663	612	-51	-7.7
うち未遂		137	189	137	172	149	148	158	161	138	153	15	10.9
検挙件数		1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	17	1.2
うち街頭		-	-	-	-	-	-	-	438	394	408	14	3.6
検挙人員		1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	-16	-1.5
検挙率		88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	5.4	ポイント

図表2-1-(3)-2 街頭における強姦の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		2,076	100.0	1,948	100.0	-128	-6.2
街頭		663	31.9	612	31.4	-51	-7.7
道路上		243	11.7	241	12.4	-2	-0.8
駐車(輪)場		179	8.6	190	9.8	11	6.1
都市公園		49	2.4	30	1.5	-19	-38.8
空き地		61	2.9	42	2.2	-19	-31.1
公共交通機関等		13	0.6	16	0.8	3	23.1
その他の交通機関		117	5.6	92	4.7	-25	-21.4
その他の街頭		1	0.0	1	0.1	0	0.0
その他		1,413	68.1	1,336	68.6	-77	-5.4

図表 2 - 1 - (3) - 3 街頭における強姦の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平17		115	113	50	22	9	9	10	20	39	65	90	118	3	663
平18		111	96	47	12	8	8	10	16	28	69	90	115	2	612
(割合%)		18.1	15.7	7.7	2.0	1.3	1.3	1.6	2.6	4.6	11.3	14.7	18.8	0.3	100.0
増減	件数	-4	-17	-3	-10	-1	-1	0	-4	-11	4	0	-3	-1	-51
	率(%)	-3.5	-15.0	-6.0	-45.5	-11.1	-11.1	0.0	-20.0	-28.2	6.2	0.0	-2.5	-33.3	-7.7

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 4 街頭における強姦の被害者の年齢別認知件数（平成18年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	612	319	231	42	13	5	2
(割合%)	100.0	52.1	37.7	6.9	2.1	0.8	0.3

注：主たる被害者の年齢を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 5 強姦の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,373	100.0	1,379	100.0	6	0.4
成人事件の総数		1,249	91.0	1,287	93.3	38	3.0
単独		1,161	93.0	1,218	94.6	57	4.9
共犯		88	7.0	69	5.4	-19	-21.6
少年事件の総数		104	7.6	84	6.1	-20	-19.2
単独		88	84.6	69	82.1	-19	-21.6
共犯		16	15.4	15	17.9	-1	-6.3
成人・少年共犯事件の総数		20	1.5	8	0.6	-12	-60.0

注：解決事件を除く。

(4) 街頭における強制わいせつ

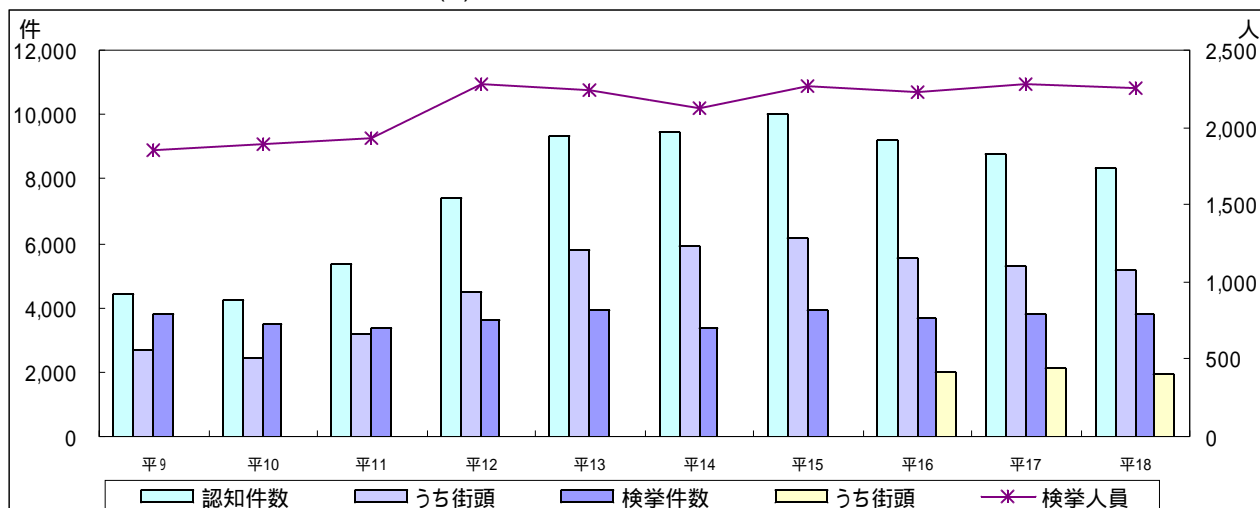
強制わいせつの認知件数は、平成11年以降増加し、平成15年には1万件に達したが、平成16年以降2年連続して減少し、平成18年にあっても8,326件と、前年に比べ425件(4.9%)減少している。うち街頭における認知は5,131件で、強制わいせつ全体の61.6%を占めており、前年に比べ123件(2.3%)減少している。

検挙件数は3千件台、検挙人員は2千人前後で推移しており、平成18年の検挙件数は3,779件で、前年に比べ18件(0.5%)、うち街頭における事件の検挙は1,951件で、前年に比べ140件(6.7%)、検挙人員は2,254人で、前年に比べ32人(1.4%)それぞれ減少している(図表2-1-(4)-1)。

平成18年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後10時から午前0時、被害者は20歳未満の女性が最も多い(図表2-1-(4)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-1-(4)-5)。

図表 2 - 1 - (4) - 1 強制わいせつの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数	認知件数	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	-425	-4.9
	うち街頭	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	5,131	-123	-2.3
	うち未遂	179	164	216	289	364	353	413	311	320	330	10	3.1
検挙件数	検挙件数	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	-18	-0.5
	うち街頭	-	-	-	-	-	-	-	2,009	2,091	1,951	-140	-6.7
検挙人員		1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	-32	-1.4
検挙率		86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	2.0ポイント	

図表 2 - 1 - (4) - 2 街頭における強制わいせつの発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	認知件数	8,751	100.0	8,326	100.0	-425	-4.9
	街頭	5,254	60.0	5,131	61.6	-123	-2.3
	道路上	3,510	40.1	3,588	43.1	78	2.2
	駐車(輪)場	650	7.4	616	7.4	-34	-5.2
	都市公園	259	3.0	177	2.1	-82	-31.7
	空き地	79	0.9	89	1.1	10	12.7
	公共交通機関等	636	7.3	539	6.5	-97	-15.3
	その他の交通機関	94	1.1	95	1.1	1	1.1
	その他の街頭	26	0.3	27	0.3	1	3.8
その他	3,497	40.0	3,195	38.4	-302	-8.6	

図表 2 - 1 - (4) - 3 街頭における強制わいせつの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0 ~ 2時	2 ~ 4時	4 ~ 6時	6 ~ 8時	8 ~ 10時	10 ~ 12時	12 ~ 14時	14 ~ 16時	16 ~ 18時	18 ~ 20時	20 ~ 22時	22 ~ 24時	不明	総数
		平17	664	324	128	335	326	141	146	288	465	733	850	838	16
平18	693	286	157	297	295	126	138	198	353	729	908	946	5	5,131	
(割合%)		13.5	5.6	3.1	5.8	5.7	2.5	2.7	3.9	6.9	14.2	17.7	18.4	0.1	100.0
増減	件数	29	-38	29	-38	-31	-15	-8	-90	-112	-4	58	108	-11	-123
	率(%)	4.4	-11.7	22.7	-11.3	-9.5	-10.6	-5.5	-31.3	-24.1	-0.5	6.8	12.9	-68.8	-2.3

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (4) - 4 街頭における強制わいせつの被害者の年齢・性別認知件数（平成18年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	5,131	2,959	1,714	336	91	25	6
男性	74	64	7	2	1	0	0
(割合%)	1.4	1.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	5,057	2,895	1,707	334	90	25	6
(割合%)	98.6	56.4	33.3	6.5	1.8	0.5	0.1

注：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (4) - 5 強制わいせつの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		3,683	100.0	3,646	100.0	-37	-1.0
成人事件の総数		3,228	87.6	3,279	89.9	51	1.6
単独		3,199	99.1	3,248	99.1	49	1.5
共犯		29	0.9	31	0.9	2	6.9
少年事件の総数		446	12.1	366	10.0	-80	-17.9
単独		437	98.0	360	98.4	-77	-17.6
共犯		9	2.0	6	1.6	-3	-33.3
成人・少年共犯事件の総数		9	0.2	1	0.0	-8	-88.9

注：解決事件を除く。

(5) 街頭における略取・誘拐

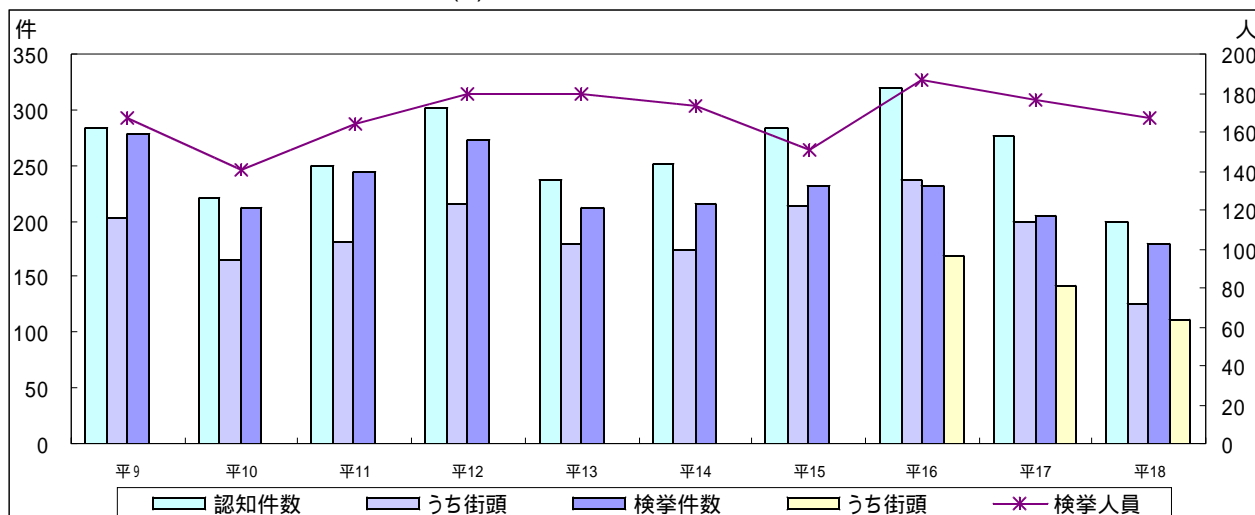
略取・誘拐の認知件数は、平成4年から200件から300件強の間で推移し、平成16年は前年に比べ12.7%増加したが、平成17年は前年に比べ13.4%減少し、平成18年にあっても199件と、前年に比べ78件(28.2%)減少している。うち街頭における認知は126件で、略取・誘拐全体の63.3%を占めており、前年に比べ73件(36.7%)減少している。また、検挙件数は200件台で、検挙人員は100人台で推移しており、平成18年の検挙件数は180件で、前年に比べ24件(11.8%)、うち街頭における事件の検挙は112件で、前年に比べ29件(20.6%)、検挙人員は167人で、前年に比べ9人(5.1%)それぞれ減少している(図表2-1-(5)-1)。

平成18年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後2時から午後4時、被害者は20歳未満の女性が最も多い(図表2-1-(5)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-1-(5)-5)。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む(以下同じ)。

図表 2 - 1 - (5) - 1 略取・誘拐の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数	認知件数	284	221	249	302	237	251	284	320	277	199	-78	-28.2
	うち街頭	202	166	181	216	179	175	213	237	199	126	-73	-36.7
	うち未遂	33	31	26	59	35	44	61	77	55	35	-20	-36.4
検挙件数	検挙件数	279	211	244	272	211	215	231	232	204	180	-24	-11.8
	うち街頭	-	-	-	-	-	-	-	168	141	112	-29	-20.6
検挙人員		167	141	164	180	179	173	151	187	176	167	-9	-5.1
検挙率		98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	16.9ポイント	

図表 2 - 1 - (5) - 2 街頭における略取・誘拐の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	認知件数	277	100.0	199	100.0	-78	-28.2
	街頭	199	71.8	126	63.3	-73	-36.7
	道路上	158	57.0	80	40.2	-78	-49.4
	駐車(輪)場	21	7.6	24	12.1	3	14.3
	都市公園	11	4.0	10	5.0	-1	-9.1
	空き地	1	0.4	2	1.0	1	100.0
	公共交通機関等	2	0.7	6	3.0	4	200.0
	その他の交通機関	6	2.2	4	2.0	-2	-33.3
その他の街頭	0	0.0	0	0.0	0	-	
その他		78	28.2	73	36.7	-5	-6.4

図表 2 - 1 - (5) - 3 街頭における略取・誘拐の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平17	18	9	3	6	11	8	16	34	33	21	20	20	0
平18	6	9	0	4	6	9	7	27	22	13	12	10	1	126	
(割合%)		4.8	7.1	0.0	3.2	4.8	7.1	5.6	21.4	17.5	10.3	9.5	7.9	0.8	100.0
増減	件数	-12	0	-3	-2	-5	1	-9	-7	-11	-8	-8	-10	1	-73
率(%)		-66.7	0.0	-100.0	-33.3	-45.5	12.5	-56.3	-20.6	-33.3	-38.1	-40.0	-50.0	-	-36.7

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 4 街頭における略取・誘拐の被害者の年齢別認知件数（平成18年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	126	93	31	1	1	0	0
男性	22	18	4	0	0	0	0
(割合%)	17.5	14.3	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	104	75	27	1	1	0	0
(割合%)	82.5	59.5	21.4	0.8	0.8	0.0	0.0

注：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 5 略取・誘拐の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		200	100.0	177	100.0	-23	-11.5
成人事件の総数		185	92.5	165	93.2	-20	-10.8
単独		140	75.7	137	83.0	-3	-2.1
共犯		45	24.3	28	17.0	-17	-37.8
少年事件の総数		8	4.0	8	4.5	0	0.0
単独		7	87.5	5	62.5	-2	-28.6
共犯		1	12.5	3	37.5	2	200.0
成人・少年共犯事件の総数		7	3.5	4	2.3	-3	-42.9

注：解決事件を除く。

(6) 街頭における暴行・傷害・恐喝

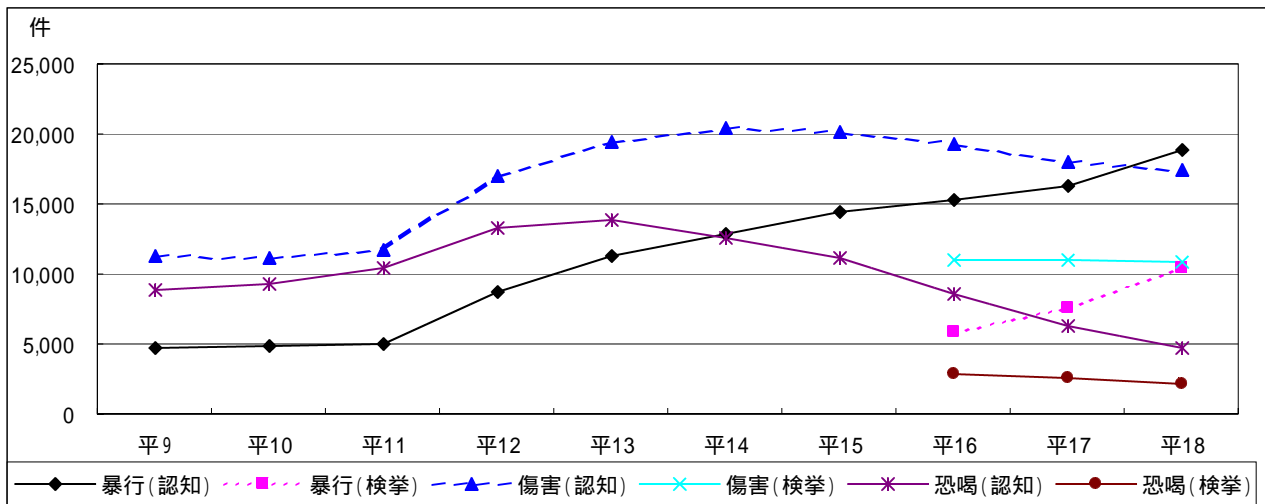
暴行の認知件数は平成12年以降急激に増加しており、平成18年においても3万1,002件と、前年に比べ5,187件(20.1%)増加している。うち街頭における認知は1万8,816件で、暴行全体の60.7%を占めており、前年に比べ2,484件(15.2%)増加している。

傷害の認知件数は平成12年以降急激に増加していたが、平成16年以降2年連続して減少しており、平成18年においても3万3,987件と前年に比べ497件(1.4%)減少している。うち街頭における認知は1万7,373件で、傷害全体の51.1%を占めており、前年に比べ588件(3.3%)減少している。

恐喝の認知件数は平成13年まで増加していたが、平成14年以降4年連続して減少しており、平成18年においても8,636件と、前年に比べ2,342件(21.3%)減少している。うち街頭における認知は4,690件で、恐喝全体の54.3%を占めており、前年に比べ1,656件(26.1%)減少している(図表2-1-(6)-1)。

平成18年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は暴行、傷害、恐喝のいずれも道路上が最も多く、被害者は暴行、傷害が20歳代の男性、恐喝は20歳未満の男性が最も多い。また、凶器を使用したものは、傷害、恐喝のいずれも包丁類(その他の刃物を含む。)が最も多い(図表2-1-(6)-2、3、4)。

図表2-1-(6)-1 街頭における暴行・傷害・恐喝の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	(人)数
暴行	認知件数	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	31,002	5,187	20.1
	うち街頭	4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	15,319	16,332	18,816	2,484	15.2
	(割合%)	65.1	65.2	64.8	66.0	67.1	65.9	66.0	64.7	63.3	60.7	-2.6	-
	検挙件数	5,274	5,035	4,751	7,195	7,852	8,348	9,539	10,666	13,703	19,405	5,702	41.6
傷害	認知件数	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	33,987	-497	-1.4
	うち街頭	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	19,218	17,961	17,373	-588	-3.3
	(割合%)	58.6	57.3	57.8	56.2	57.1	56.3	55.0	53.5	52.1	51.1	-1.0	-
	検挙件数	16,098	15,892	15,644	21,731	22,544	23,453	23,659	22,938	23,304	23,331	27	0.1
恐喝	認知件数	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403	17,595	14,424	10,978	8,636	-2,342	-21.3
	うち街頭	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	8,534	6,346	4,690	-1,656	-26.1
	(割合%)	68.0	67.2	70.6	69.9	70.8	68.0	63.0	59.2	57.8	54.3	-3.5	-
	うち未遂	957	1,159	1,200	1,861	1,967	1,789	1,797	1,484	1,163	928	-235	-20.2
検挙件数	7,611	7,765	7,191	8,725	7,895	7,022	7,502	5,915	5,376	4,841	-535	-10.0	
うち街頭	-	-	-	-	-	-	-	2,851	2,581	2,114	-467	-18.1	
(割合%)	-	-	-	-	-	-	-	48.2	48.0	43.7	-4.3	-	

図表2 - 1 - (6) - 2 街頭における暴行・傷害・恐喝の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
暴行の認知件数		25,815	100.0	31,002	100.0	5,187	20.1
街頭		16,332	63.3	18,816	60.7	2,484	15.2
道路上		11,731	45.4	13,141	42.4	1,410	12.0
駐車(輪)場		1,657	6.4	2,014	6.5	357	21.5
都市公園		473	1.8	491	1.6	18	3.8
空き地		84	0.3	101	0.3	17	20.2
公共交通機関等		2,135	8.3	2,736	8.8	601	28.1
その他の交通機関		198	0.8	264	0.9	66	33.3
その他の街頭		54	0.2	69	0.2	15	27.8
その他		9,483	36.7	12,186	39.3	2,703	28.5
傷害の認知件数		34,484	100.0	33,987	100.0	-497	-1.4
街頭		17,961	52.1	17,373	51.1	-588	-3.3
道路上		12,170	35.3	11,660	34.3	-510	-4.2
駐車(輪)場		2,973	8.6	2,997	8.8	24	0.8
都市公園		968	2.8	885	2.6	-83	-8.6
空き地		224	0.6	184	0.5	-40	-17.9
公共交通機関等		1,330	3.9	1,324	3.9	-6	-0.5
その他の交通機関		233	0.7	252	0.7	19	8.2
その他の街頭		63	0.2	71	0.2	8	12.7
その他		16,523	47.9	16,614	48.9	91	0.6
恐喝の認知件数		10,978	100.0	8,636	100.0	-2,342	-21.3
街頭		6,346	57.8	4,690	54.3	-1,656	-26.1
道路上		3,981	36.3	2,780	32.2	-1,201	-30.2
駐車(輪)場		1,486	13.5	1,214	14.1	-272	-18.3
都市公園		457	4.2	329	3.8	-128	-28.0
空き地		81	0.7	76	0.9	-5	-6.2
公共交通機関等		223	2.0	172	2.0	-51	-22.9
その他の交通機関		94	0.9	92	1.1	-2	-2.1
その他の街頭		24	0.2	27	0.3	3	12.5
その他		4,632	42.2	3,946	45.7	-686	-14.8

図表2 - 1 - (6) - 3 街頭における暴行・傷害・恐喝の被害者の年齢・性別認知件数(平成18年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
暴行(街頭)認知件数	18,816	4,726	5,080	3,668	2,243	1,918	1,181
男性	12,231	2,170	2,957	2,622	1,814	1,667	1,001
(割合%)	65.0	11.5	15.7	13.9	9.6	8.9	5.3
女性	6,585	2,556	2,123	1,046	429	251	180
(割合%)	35.0	13.6	11.3	5.6	2.3	1.3	1.0
傷害(街頭)認知件数	17,373	3,752	4,709	3,466	2,252	1,855	1,339
男性	13,869	2,929	3,685	2,726	1,850	1,578	1,101
(割合%)	79.8	16.9	21.2	15.7	10.6	9.1	6.3
女性	3,504	823	1,024	740	402	277	238
(割合%)	20.2	4.7	5.9	4.3	2.3	1.6	1.4
恐喝(街頭)認知件数	4,676	2,398	1,351	405	220	198	104
男性	4,245	2,227	1,218	356	189	170	85
(割合%)	90.8	47.6	26.0	7.6	4.0	3.6	1.8
女性	431	171	133	49	31	28	19
(割合%)	9.2	3.7	2.8	1.0	0.7	0.6	0.4

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (6) - 4 街頭における傷害・恐喝の発生時の犯罪供用物の状況

区分	年次		平17		平18		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
街頭における傷害の認知件数	17,961	100.0	17,373	100.0	-588	-3.3		
銃砲類(けん銃様のものを含む)	13	0.1	6	0.0	-7	-53.8		
刀剣類	37	0.2	27	0.2	-10	-27.0		
包丁類(その他の刃物を含む)	293	1.6	244	1.4	-49	-16.7		
凶器以外	1	0.0	0	0.0	-1	-100.0		
不明	206	1.1	196	1.1	-10	-4.9		
該当なし、供用物なし	17,411	96.9	16,900	97.3	-511	-2.9		
街頭における恐喝の認知件数	6,346	100.0	4,690	100.0	-1,656	-26.1		
銃砲類(けん銃様のものを含む)	4	0.1	5	0.1	1	25.0		
刀剣類	9	0.1	6	0.1	-3	-33.3		
包丁類(その他の刃物を含む)	113	1.8	73	1.6	-40	-35.4		
凶器以外	80	1.3	44	0.9	-36	-45.0		
不明	44	0.7	30	0.6	-14	-31.8		
該当なし、供用物なし	6,096	96.1	4,532	96.6	-1,564	-25.7		

注1：街頭における傷害の「凶器以外」の内訳は、平成17年は電話・ファックスが1件である。

注2：街頭における恐喝の「凶器以外」の内訳は、平成17年は電話・ファックスが80件、平成18年は電話・ファックスが43件、チラシ・パンフレットが1件である。

(7) 自動車盗

自動車盗の認知件数は、平成11年以降急激に増加し、平成14年に若干減少したのち、平成15年には再び増加したが、平成16年は前年に比べ8.5%、平成17年は前年に比べ20.4%と2年連続して減少し、平成18年にあっても3万6,058件と、前年に比べ1万670件(22.8%)減少している。

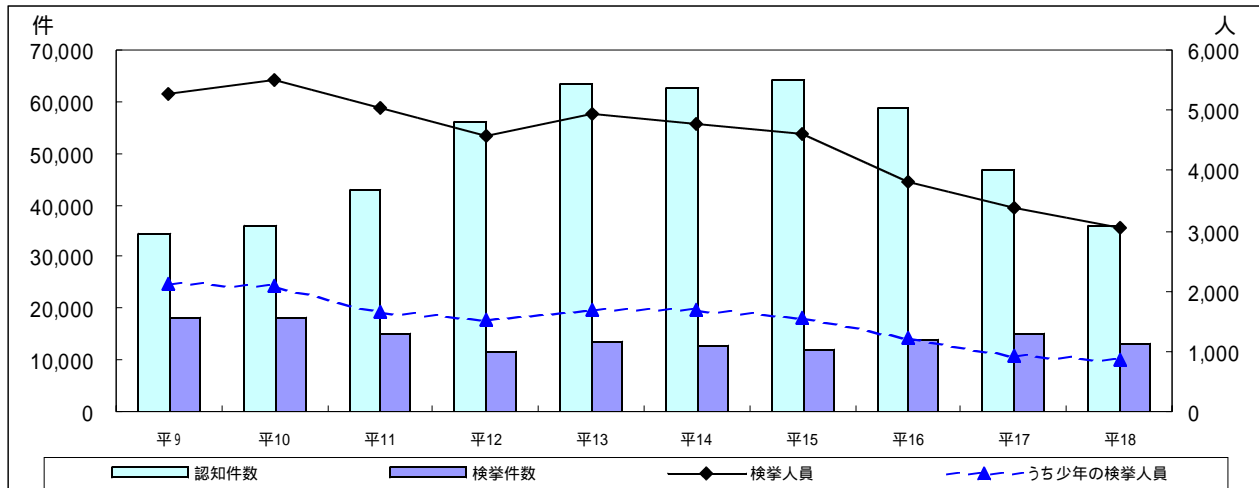
平成18年の検挙件数は1万3,288件で、前年に比べ1,610件(10.8%)、検挙人員は3,056人で、前年に比べ310人(9.2%)ともに減少している。また、検挙人員に占める少年の割合は減少傾向にあり、平成18年は852人で、検挙人員全体の27.9%を占めている(図表2-1-(7)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多い。また、被害時にエンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の28.7%で、前年に比べ0.5ポイント上昇している。更に、年々増加していた被害額300万円未満の自動車盗は、平成16年以降2年連続減少しており、平成18年にあっても減少している(図表2-1-(7)-2、3、4)。

被害自動車の還付率は、平成12年まで減少し、以降30%台で推移している。平成18年は32.7%で、前年に比べ2.6ポイント上昇している(図表2-1-(7)-5)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに共犯が多い(図表2-1-(7)-6)。

図表 2 - 1 - (7) - 1 自動車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件(人)数
	認知件数	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8
	検挙件数	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	-1,610	-10.8
	検挙人員	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	-310	-9.2
	うち少年	2,106	2,091	1,658	1,531	1,691	1,680	1,542	1,216	938	852	-86	-9.2
	(割合%)	40.0	38.1	33.0	33.4	34.3	35.2	33.5	31.8	27.9	27.9	0.0	-
	検挙率	53.0	50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	36.9	5.0	ポイント

図表 2 - 1 - (7) - 2 自動車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
	認知件数	46,728	100.0	36,058	100.0	-10,670	-22.8
	街頭	35,757	76.5	27,236	75.5	-8,521	-23.8
	道路上	5,519	11.8	3,828	10.6	-1,691	-30.6
	駐車(輪)場	29,036	62.1	22,346	62.0	-6,690	-23.0
	都市公園	11	0.0	15	0.0	4	36.4
	空き地	1,154	2.5	1,002	2.8	-152	-13.2
	公共交通機関等	35	0.1	39	0.1	4	11.4
	その他の街頭	2	0.0	6	0.0	4	200.0
	その他	10,971	23.5	8,822	24.5	-2,149	-19.6

図表 2 - 1 - (7) - 3 自動車盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
	認知件数	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8
	キーあり	18,052	18,752	19,234	21,195	21,743	20,204	18,568	15,999	13,186	10,355	-2,831	-21.5
	(割合%)	52.3	52.3	44.6	37.7	34.4	32.2	28.9	27.2	28.2	28.7	0.5	-
	キーなし	16,437	17,132	23,858	35,010	41,532	42,469	45,655	42,738	33,542	25,703	-7,839	-23.4

注: 「キーあり」とは、エンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (7) - 4 自動車盗の被害額別認知件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知件数		34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8
200万円未満 (割合%)		25,317 73.4	25,509 71.1	27,671 64.2	34,284 61.0	40,405 63.9	42,089 67.2	44,538 69.3	41,484 70.6	33,972 72.7	26,873 74.5	-7,099 1.8	-20.9 -
200～300万円未満 (割合%)		3,697 10.7	4,164 11.6	5,657 13.1	8,311 14.8	9,563 15.1	9,693 15.5	9,736 15.2	8,535 14.5	5,982 12.8	3,957 11.0	-2,025 -1.8	-33.9 -
300万円以上 (割合%)		4,990 14.5	5,757 16.0	9,107 21.1	12,447 22.1	11,499 18.2	8,932 14.3	7,373 11.5	6,195 10.5	4,696 10.0	3,551 9.8	-1,145 -0.2	-24.4 -
被害なし・被害額認定困難		485	454	657	1,163	1,808	1,959	2,576	2,523	2,078	1,677	-401	-19.3

図表 2 - 1 - (7) - 5 被害自動車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知件数		34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8
還付件数		17,912	17,764	16,512	16,914	19,579	19,422	20,036	17,806	14,081	11,794	-2,287	-16.2
還付率(%)		51.9	49.5	38.3	30.1	30.9	31.0	31.2	30.3	30.1	32.7	2.6	-

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (7) - 6 自動車盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		14,201	100.0	12,536	100.0	-1,665	-11.7
成人事件の総数		12,991	91.5	11,504	91.8	-1,487	-11.4
単独		6,147	47.3	4,714	41.0	-1,433	-23.3
共犯		6,844	52.7	6,790	59.0	-54	-0.8
少年事件の総数		899	6.3	752	6.0	-147	-16.4
単独		287	31.9	302	40.2	15	5.2
共犯		612	68.1	450	59.8	-162	-26.5
成人・少年共犯事件の総数		311	2.2	280	2.2	-31	-10.0

注：解決事件を除く。

(8) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数は、平成13年まで24万件前後で推移していたが、平成14年以降急激に減少し、平成18年にあっても9万3,294件と、前年に比べ1万861件(10.4%)減少している。

検挙件数は平成10年以降、検挙人員はここ10年連続して減少していたが、平成18年の検挙件数は1万2,426件で、前年に比べ805件(6.9%)増加し、検挙人員は7,766人で、前年に比べ899人(10.4%)減少している。

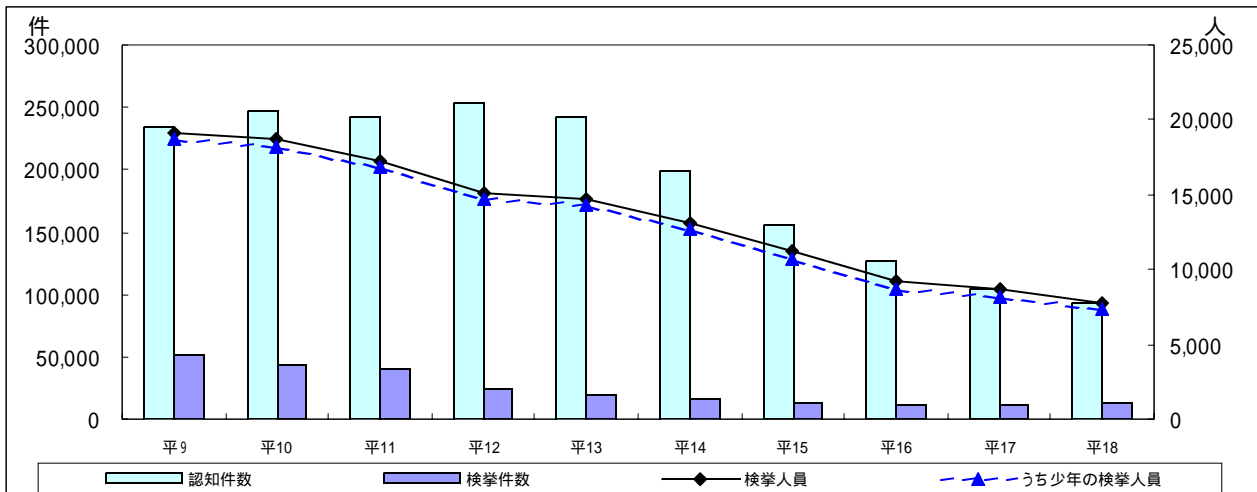
検挙人員に占める少年の割合は特に高く、平成18年は7,311人で、検挙人員全体の94.1%(前年に比べ0.4ポイント低下)を占めている(図表2-1-(8)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時にエンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席

又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものは、全体の22.7%となっている。また、被害自動二輪車・原動機付自転車の還付率は40.2%で、前年に比べ1.4ポイント上昇している（図表2-1-(8)-2、3、4）

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い（図表2-1-(8)-5）

図表2-1-(8)-1 オートバイ盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
認知件数		234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	-10,861	-10.4
検挙件数		50,610	43,678	40,356	23,708	19,440	15,725	12,447	11,715	11,621	12,426	805	6.9
検挙人員		19,131	18,697	17,296	15,143	14,707	13,106	11,213	9,203	8,665	7,766	-899	-10.4
うち少年		18,749	18,202	16,872	14,746	14,288	12,650	10,669	8,735	8,188	7,311	-877	-10.7
(割合%)		98.0	97.4	97.5	97.4	97.2	96.5	95.1	94.9	94.5	94.1	-0.4	-
検挙率		21.6	17.7	16.6	9.4	8.0	7.9	8.0	9.2	11.2	13.3	2.1	ポイント

図表2-1-(8)-2 オートバイ盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		104,155	100.0	93,294	100.0	-10,861	-10.4
街頭		73,342	70.4	64,108	68.7	-9,234	-12.6
道路上		22,183	21.3	18,825	20.2	-3,358	-15.1
駐車(輪)場		49,977	48.0	44,223	47.4	-5,754	-11.5
都市公園		190	0.2	203	0.2	13	6.8
空き地		708	0.7	530	0.6	-178	-25.1
公共交通機関等		283	0.3	322	0.3	39	13.8
その他の街頭		1	0.0	5	0.0	4	400.0
その他		30,813	29.6	29,186	31.3	-1,627	-5.3

図表 2 - 1 - (8) - 3 オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知件数		234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	-10,861	-10.4
キーあり		53,379	55,019	53,941	54,254	50,346	43,039	33,969	28,574	23,758	21,145	-2,613	-11.0
(割合%)		22.7	22.3	22.2	21.4	20.8	21.7	21.9	22.5	22.8	22.7	-0.1	-
キーなし		181,270	191,345	189,036	199,179	192,171	155,603	121,010	98,143	80,397	72,149	-8,248	-10.3

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (8) - 4 被害自動二輪車・原動機付自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知件数		234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	-10,861	-10.4
還付件数		93,841	89,790	88,123	85,483	86,163	72,503	59,599	47,796	40,421	37,521	-2,900	-7.2
還付率(%)		40.0	36.4	36.3	33.7	35.5	36.5	38.5	37.7	38.8	40.2	1.4	-

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (8) - 5 オートバイ盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		10,727	100.0	11,636	100.0	909	8.5
成人事件の総数		2,766	25.8	4,190	36.0	1,424	51.5
単独		1,251	45.2	2,773	66.2	1,522	121.7
共犯		1,515	54.8	1,417	33.8	-98	-6.5
少年事件の総数		7,688	71.7	7,107	61.1	-581	-7.6
単独		3,224	41.9	2,905	40.9	-319	-9.9
共犯		4,464	58.1	4,202	59.1	-262	-5.9
成人・少年共犯事件の総数		273	2.5	339	2.9	66	24.2

注：解決事件を除く。

(9) 自転車盗

自転車盗の認知件数は、平成13年まで増加傾向にあったが、平成14年以降4年連続減少しており、平成18年にあっても38万8,463件と、前年に比べ1万7,641件（4.3%）減少している。

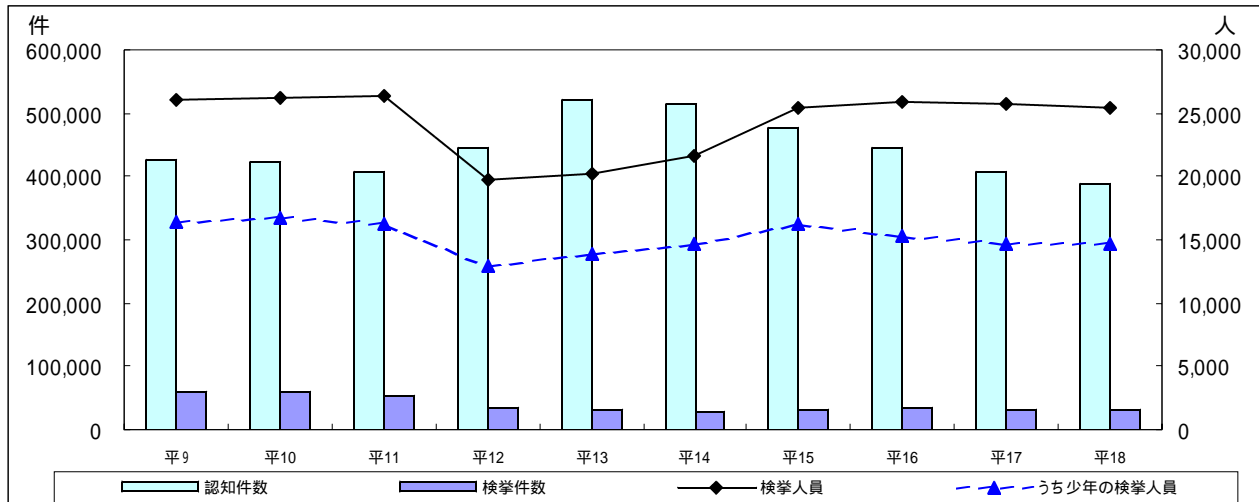
検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少したのち、検挙件数は平成15年以降、検挙人員は平成13年以降増加に転じたが、平成17年は前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少し、平成18年にあっても検挙件数は3万945件で、前年に比べ1,377件（4.3%）、検挙人員は2万5,432人で、前年に比べ305人（1.2%）ともに減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成18年は1万4,656人で、検挙人員全体の57.6%（前年に比べ0.4ポイント上昇）を占めている（図表2-1-(9)-1）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車（輪）場が最も多く、被害時の状況を見ると、盗難防止のための施錠がなされていなかったものは、全体の46.9%を占めている。また、被害自転車の還付率は40.6%で、前年に比べ1.2ポイント上昇している（図表2-1-(9)-2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-1-(9)-5）。

図表 2 - 1 - (9) - 1 自転車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件(人)数	率(%)
認知件数	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	-17,641	-4.3
検挙件数	58,803	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	32,489	35,828	32,322	30,945	-1,377	-4.3
検挙人員	26,006	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	25,453	25,926	25,737	25,432	-305	-1.2
うち少年	16,476	16,675	16,271	12,991	13,843	14,710	16,316	15,342	14,732	14,656	-76	-0.5
(割合%)	63.4	63.6	61.8	65.8	68.6	67.8	64.1	59.2	57.2	57.6	0.4	-
検挙率	13.8	14.0	13.0	7.8	6.2	5.7	6.8	8.1	8.0	8.0	0.0	ポイント

図表 2 - 1 - (9) - 2 自転車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		406,104	100.0	388,463	100.0	-17,641	-4.3
街頭		314,367	77.4	296,245	76.3	-18,122	-5.8
道路上		95,732	23.6	87,829	22.6	-7,903	-8.3
駐車(輪)場		210,391	51.8	201,176	51.8	-9,215	-4.4
都市公園		1,884	0.5	1,741	0.4	-143	-7.6
空き地		1,975	0.5	1,656	0.4	-319	-16.2
公共交通機関等		4,356	1.1	3,834	1.0	-522	-12.0
その他の街頭		29	0.0	9	0.0	-20	-69.0
その他		91,737	22.6	92,218	23.7	481	0.5

図表 2 - 1 - (9) - 3 自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次										増減	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件数	率(%)
認知件数	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	-17,641	-4.3
施錠あり	245,268	238,717	233,778	258,421	313,920	311,787	280,444	249,951	220,210	206,182	-14,028	-6.4
施錠なし	181,964	184,466	174,528	186,880	207,881	202,333	196,145	194,317	185,894	182,281	-3,613	-1.9
(割合%)	42.6	43.6	42.7	42.0	39.8	39.4	41.2	43.7	45.8	46.9	1.1	-

注: 「施錠あり」とは、被害時に盗難防止のため施錠されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (9) - 4 被害自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知件数		427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	-17,641	-4.3
還付件数		134,920	138,528	128,274	127,050	154,784	166,185	179,352	169,792	159,849	157,711	-2,138	-1.3
還付率(%)		31.6	32.7	31.4	28.5	29.7	32.3	37.6	38.2	39.4	40.6	1.2	-

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (9) - 5 自転車の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		26,628	100.0	26,563	100.0	-65	-0.2
成人事件の総数		13,297	49.9	13,457	50.7	160	1.2
単独		13,021	97.9	12,992	96.5	-29	-0.2
共犯		276	2.1	465	3.5	189	68.5
少年事件の総数		13,189	49.5	12,969	48.8	-220	-1.7
単独		10,278	77.9	10,159	78.3	-119	-1.2
共犯		2,911	22.1	2,810	21.7	-101	-3.5
成人・少年共犯事件の総数		142	0.5	137	0.5	-5	-3.5

注：解決事件を除く。

(10) 車上ねらい

車上ねらいの認知件数は、平成14年まで増加傾向にあったが、平成15年は前年に比べ6.4%減少し、以後、平成16年は20.7%、平成17年は22.0%と3年連続して減少し、平成18年にあっても20万5,744件と、前年に比べ5万850件(19.8%)減少している。

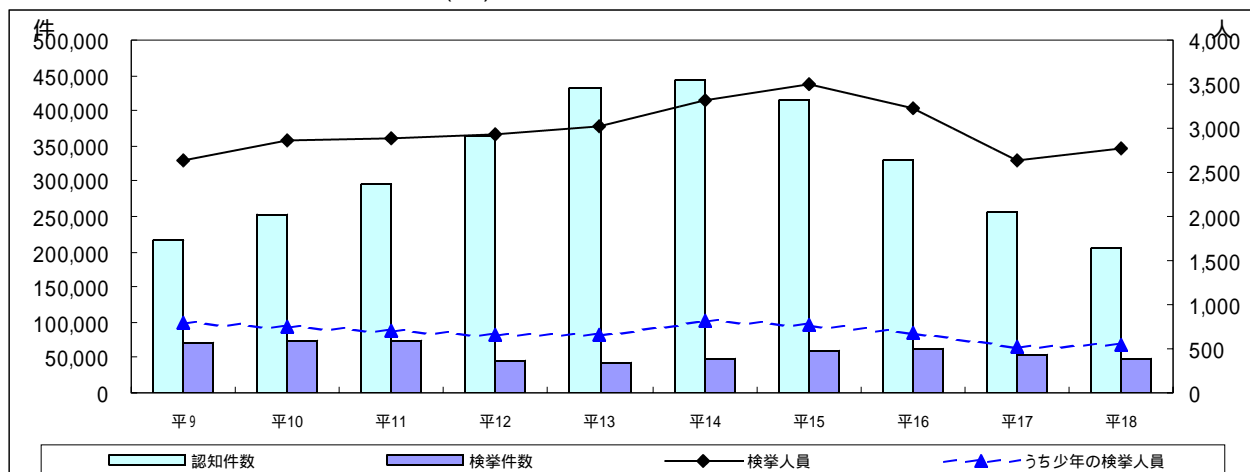
検挙件数は、平成11年まで7万件台で推移していたが、平成12年以降4万件台に減少し、平成15年以降は再び6万件台に増加したが、平成17年は5万件台に減少、平成18年にあっても4万9,592件と、前年に比べ3,873件(7.2%)減少している。

また、検挙人員は、3千人前後で推移しており、平成18年は2,766人で、前年に比べ132人(5.0%)増加している(図表2-1-(10)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時の状況を見ると、施錠なしで被害に遭っているものは、全体の33.9%を占めている(図表2-1-(10)-2、3)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-1-(10)-4)。

図表 2 - 1 - (10) - 1 車上ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	-50,850	-19.8
検挙件数		71,028	74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	60,479	63,171	53,465	49,592	-3,873	-7.2
検挙人員		2,639	2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	3,491	3,238	2,634	2,766	132	5.0
うち少年		793	742	704	658	663	816	776	681	527	547	20	3.8
(割合%)		30.0	26.0	24.3	22.4	21.9	24.6	22.2	21.0	20.0	19.8	-0.2	-
検挙率		32.7	29.5	25.0	12.6	10.0	11.0	14.6	19.2	20.8	24.1	3.3	ポイント

図表 2 - 1 - (10) - 2 車上ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		256,594	100.0	205,744	100.0	-50,850	-19.8
街頭		213,926	83.4	170,434	82.8	-43,492	-20.3
道路上		46,156	18.0	35,223	17.1	-10,933	-23.7
駐車(輪)場		163,167	63.6	131,151	63.7	-32,016	-19.6
都市公園		1,254	0.5	1,378	0.7	124	9.9
空き地		3,010	1.2	2,370	1.2	-640	-21.3
公共交通機関等		267	0.1	243	0.1	-24	-9.0
その他の街頭		72	0.0	69	0.0	-3	-4.2
その他		42,668	16.6	35,310	17.2	-7,358	-17.2

図表 2 - 1 - (10) - 3 車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知件数		217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	-50,850	-19.8
施錠あり		116,132	146,461	185,318	245,071	312,380	324,713	305,871	233,481	174,862	136,083	-38,779	-22.2
施錠なし		101,039	105,631	109,317	117,691	119,760	118,585	108,948	95,440	81,732	69,661	-12,071	-14.8
(割合%)		46.5	41.9	37.1	32.4	27.7	26.8	26.3	29.0	31.9	33.9	2.0	-

注：「施錠あり」とは、施錠されている自動車の車室、トランク、荷物庫等から金品を窃取するものをいう。また、オートバイ（自動二輪車、原動機付自転車）及び自転車を対象とする「車上ねらい」については、施錠の有無にかかわらず、すべて「車上ねらい(施錠なし)」とする。

図表 2 - 1 - (10) - 4 車上ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		52,556	100.0	48,628	100.0	-3,928	-7.5
成人事件の総数		48,537	92.4	44,522	91.6	-4,015	-8.3
単独		32,042	66.0	29,562	66.4	-2,480	-7.7
共犯		16,495	34.0	14,960	33.6	-1,535	-9.3
少年事件の総数		1,844	3.5	2,528	5.2	684	37.1
単独		821	44.5	1,829	72.3	1,008	122.8
共犯		1,023	55.5	699	27.7	-324	-31.7
成人・少年共犯事件の総数		2,175	4.1	1,578	3.2	-597	-27.4

注：解決事件を除く。

(11) 部品ねらい

部品ねらいの認知件数は、平成12年から急激に増加していたが、平成13年を頂点に、平成14年以降は4年連続して減少しており、平成18年にあっても8万8,739件と、前年に比べ1万5,033件（14.5%）減少している。

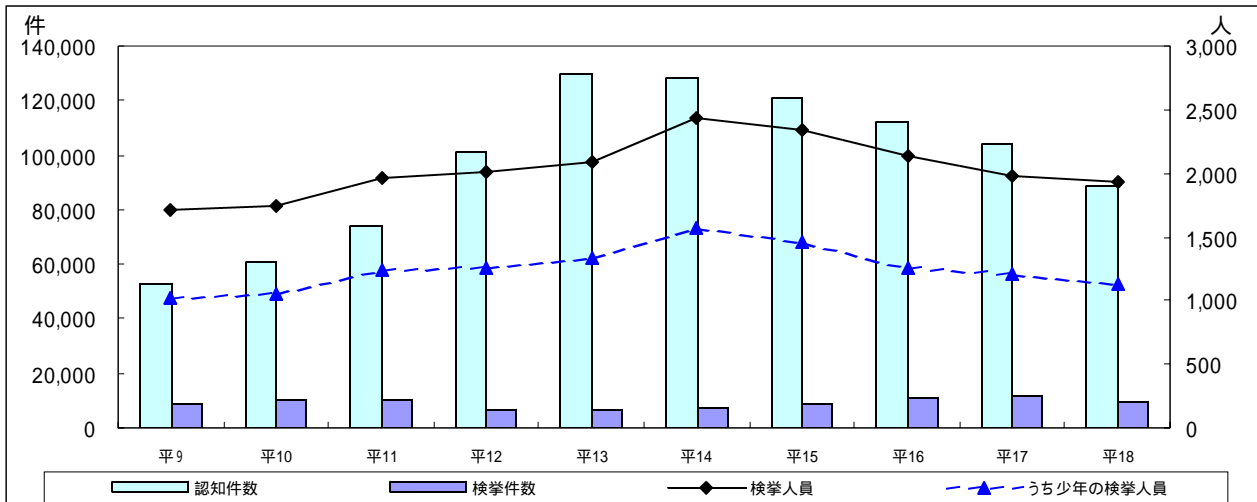
検挙件数は平成13年以降増加しているが、平成18年の検挙件数は9,840件で、前年に比べ1,946件（16.5%）減少している。検挙人員は平成10年以降年々増加したのち、平成15年以降は減少しており、平成18年の検挙人員は1,931人で、前年に比べ42人（2.1%）減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成18年は1,132人で、検挙人員全体の58.6%（前年に比べ2.4ポイント低下）を占めている（図表 2 - 1 - (11) - 1）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車（輪）場が最も多い（図表 2 - 1 - (11) - 2）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件とも単独犯が多い（図表 2 - 1 - (11) - 3）。

図表 2 - 1 - (11) - 1 部品ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件(人)数	率(%)
認知件数	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739	-15,033	-14.5
検挙件数	8,699	10,548	10,206	6,527	6,650	7,260	8,515	10,668	11,786	9,840	-1,946	-16.5
検挙人員	1,716	1,745	1,965	2,006	2,082	2,429	2,345	2,134	1,973	1,931	-42	-2.1
うち少年	1,024	1,054	1,234	1,259	1,329	1,574	1,468	1,255	1,204	1,132	-72	-6.0
(割合%)	59.7	60.4	62.8	62.8	63.8	64.8	62.6	58.8	61.0	58.6	-2.4	-
検挙率	16.5	17.2	13.8	6.4	5.1	5.6	7.1	9.5	11.4	11.1	-0.3	ポイント

図表 2 - 1 - (11) - 2 部品ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		103,772	100.0	88,739	100.0	-15,033	-14.5
街頭		84,274	81.2	71,623	80.7	-12,651	-15.0
道路上		8,591	8.3	6,313	7.1	-2,278	-26.5
駐車(輪)場		73,970	71.3	63,874	72.0	-10,096	-13.6
都市公園		107	0.1	101	0.1	-6	-5.6
空き地		1,072	1.0	848	1.0	-224	-20.9
公共交通機関等		530	0.5	481	0.5	-49	-9.2
その他の街頭		4	0.0	6	0.0	2	50.0
その他		19,498	18.8	17,116	19.3	-2,382	-12.2

図表 2 - 1 - (11) - 3 部品ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		11,630	100.0	9,672	100.0	-1,958	-16.8
成人事件の総数		9,352	80.4	7,637	79.0	-1,715	-18.3
単独		5,862	62.7	4,680	61.3	-1,182	-20.2
共犯		3,490	37.3	2,957	38.7	-533	-15.3
少年事件の総数		1,576	13.6	1,492	15.4	-84	-5.3
単独		797	50.6	868	58.2	71	8.9
共犯		779	49.4	624	41.8	-155	-19.9
成人・少年共犯事件の総数		702	6.0	543	5.6	-159	-22.6

注：解決事件を除く。

(12) 自動販売機ねらい

自動販売機ねらいの認知件数は、平成11年を頂点に減少傾向にあり、平成18年であっても5万5,981件と、前年に比べ3万2,199件(36.5%)減少している。

検挙件数は平成13年に1万件台に減少したのち、平成14年以降は2万件台で推移している。平成18年は2万2,607件で、前年に比べ802件(3.4%)減少している。

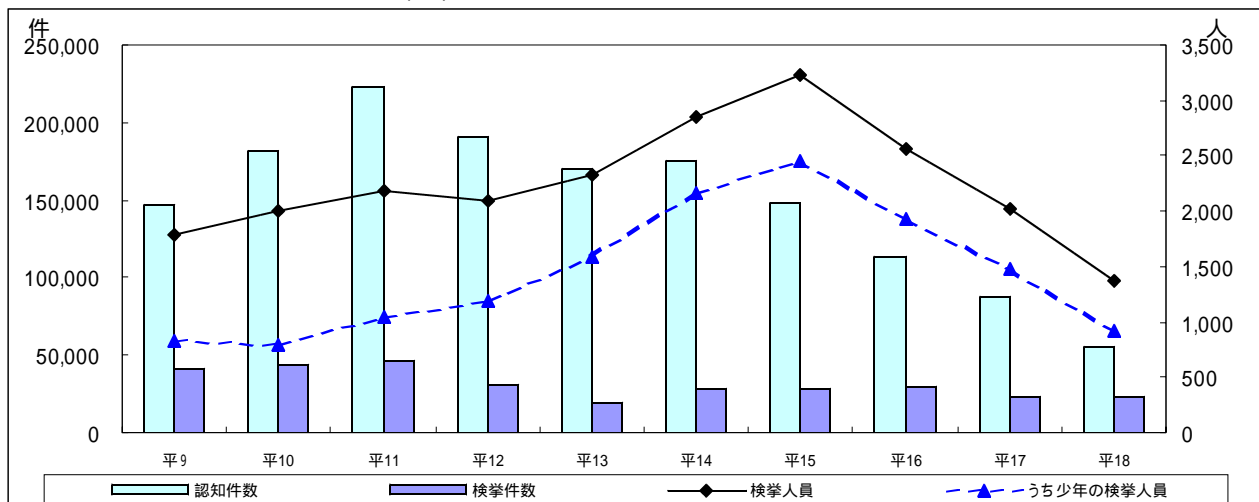
検挙人員は平成13年以降増加傾向にあったが、平成16年以降減少し、平成18年であっても1,370人と、前年に比べ657人(32.4%)減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成18年は912人で、検挙人員全体の66.6%(前年に比べ6.4ポイント低下)となっている(図表2-1-(12)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所はその他を除くと商店が最も多い(図表2-1-(12)-2)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに共犯が多い(図表2-1-(12)-3)。

図表2-1-(12)-1 自動販売機ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
認知件数		146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	55,981	-32,199	-36.5
検挙件数		41,746	43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	28,152	29,748	23,409	22,607	-802	-3.4
検挙人員		1,781	2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	3,231	2,560	2,027	1,370	-657	-32.4
うち少年		821	789	1,044	1,196	1,593	2,163	2,453	1,933	1,479	912	-567	-38.3
(割合%)		46.1	39.3	47.6	57.4	68.4	75.9	75.9	75.5	73.0	66.6	-6.4	-
検挙率		28.5	24.2	20.6	16.1	11.1	16.6	19.0	26.3	26.5	40.4	13.9	ポイント

図表 2 - 1 - (12) - 2 自動販売機ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		88,180	100.0	55,981	100.0	-32,199	-36.5
街頭		30,234	34.3	18,273	32.6	-11,961	-39.6
道路上		15,059	17.1	9,240	16.5	-5,819	-38.6
駐車(輪)場		11,845	13.4	6,819	12.2	-5,026	-42.4
都市公園		524	0.6	547	1.0	23	4.4
空き地		2,365	2.7	1,305	2.3	-1,060	-44.8
公共交通機関等		434	0.5	350	0.6	-84	-19.4
その他の交通機関		0	0.0	1	0.0	1	-
その他の街頭		7	0.0	11	0.0	4	57.1
一般事務所		11,016	12.5	8,318	14.9	-2,698	-24.5
商店		18,249	20.7	9,766	17.4	-8,483	-46.5
その他		28,681	32.5	19,624	35.1	-9,057	-31.6

図表 2 - 1 - (12) - 3 自動販売機ねらいの共犯形態別検挙件数

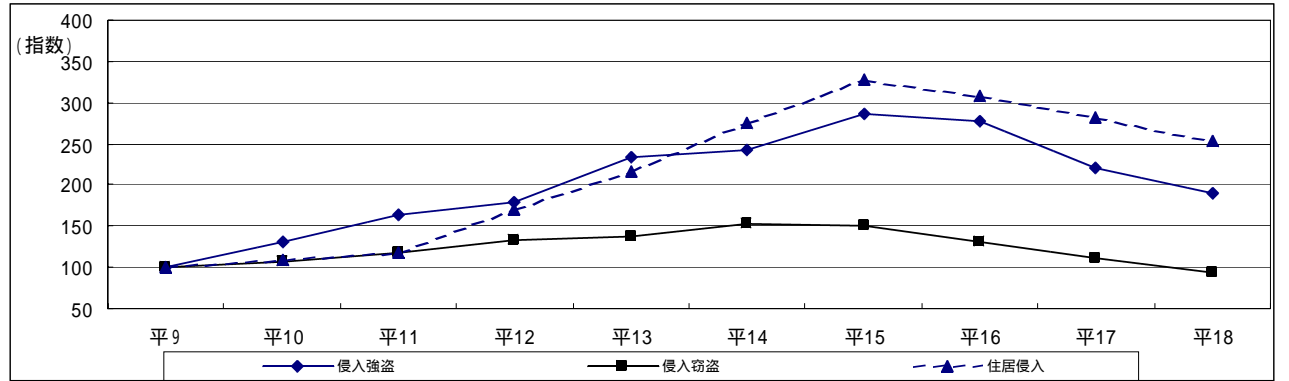
区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		23,381	100.0	22,588	100.0	-793	-3.4
成人事件の総数		19,904	85.1	19,102	84.6	-802	-4.0
単独		8,248	41.4	7,277	38.1	-971	-11.8
共犯		11,656	58.6	11,825	61.9	169	1.4
少年事件の総数		2,153	9.2	2,108	9.3	-45	-2.1
単独		371	17.2	377	17.9	6	1.6
共犯		1,782	82.8	1,731	82.1	-51	-2.9
成人・少年共犯事件の総数		1,324	5.7	1,378	6.1	54	4.1

注：解決事件を除く。

2 侵入犯罪

平成18年の主な侵入犯罪の認知件数は、前年に比べ、侵入強盗、侵入窃盗及び住居侵入ともに減少している（図表2-2）。

図表2-2 侵入犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
侵入強盗	件数	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	1,896	-309	-14.0
侵入強盗	(指数)	100	131	165	178	233	243	286	277	220	189	-	-
侵入窃盗	件数	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	-39,313	-16.1
侵入窃盗	(指数)	100	107	118	134	137	153	150	131	110	93	-	-
住居侵入	件数	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	31,030	-3,488	-10.1
住居侵入	(指数)	100	108	118	171	217	276	329	308	281	253	-	-

注：指数は、平成9年を100とした場合の値である。

(1) 侵入強盗

侵入強盗の認知件数は、平成10年以降急激に増加し、平成15年には平成9年の2.9倍となったが、平成16年は前年に比べ3.1%、平成17年は前年に比べ20.6%と2年連続して減少し、平成18年であっても1,896件と、前年に比べ309件（14.0%）減少している。うち住宅における認知は545件で、侵入強盗全体の28.7%を占めており、前年に比べ158件（22.5%）減少している。また、侵入強盗に伴う身体犯の認知件数は、年々増加していたが、平成16年以降減少し、平成18年であっても476件と、前年に比べ94件（16.5%）減少している。

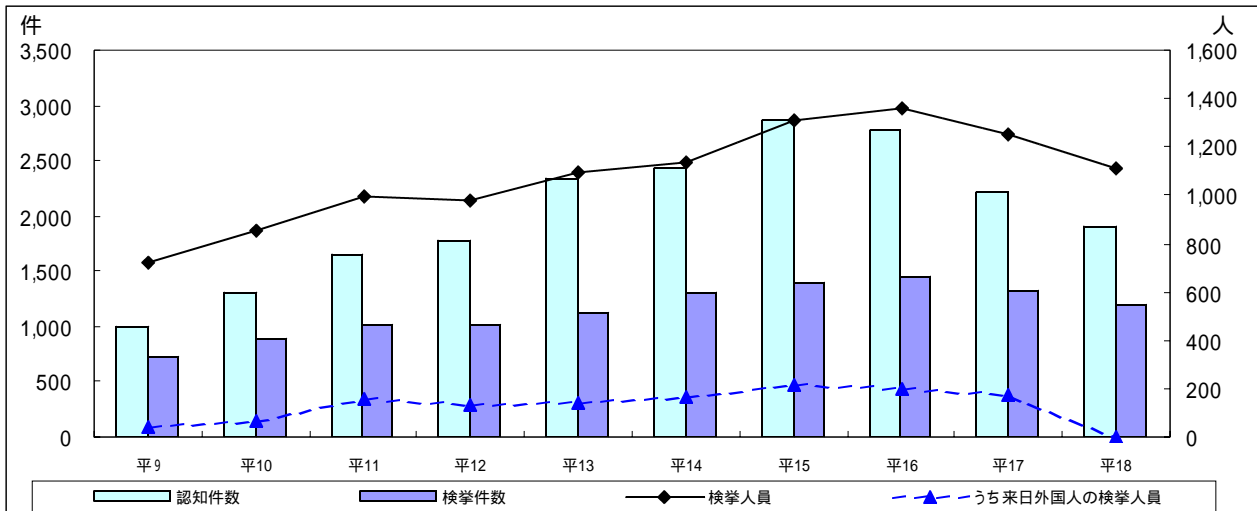
検挙件数、検挙人員は、平成9年以降ともに増加したが、平成17年の検挙件数、検挙人員は、前年に比べともに減少し、平成18年であっても検挙件数は1,201件で、前年に比べ127件（9.6%）、うち住宅における事件の検挙は325件で、前年に比べ71件（17.9%）、検挙人員は1,107人で、前年に比べ148人（11.8%）それぞれ減少している。

来日外国人の検挙人員は、平成11年以降急激に増加したのち、平成16年以降は減少しているが、平成16年は平成9年の4.7倍、平成17年は4.0倍となっている。平成18年は98人で、前年に比べ72人（42.4%）減少しており、検挙人員全体の8.9%を占めている（図表2-2-(1)-1、2）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は商店が49.3%、住宅が28.7%（うち一戸建住宅が12.1%、4階建以上の共同住宅が8.3%、3階建以下の共同住宅が8.3%）、金融機関等が9.9%となっており、発生時間帯は午前2時から午前4時が最も多い（図表2-2-(1)-3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-2-(1)-5）。

図表 2 - 2 - (1) - 1 侵入強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率 (%)
認知件数		1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	1,896	-309	-14.0
	うち住宅	366	418	625	654	711	797	891	954	703	545	-158	-22.5
検挙件数		734	897	1,020	1,024	1,116	1,314	1,402	1,458	1,328	1,201	-127	-9.6
	うち住宅	-	-	-	-	-	-	-	510	396	325	-71	-17.9
検挙人員		719	854	993	982	1,094	1,134	1,310	1,356	1,255	1,107	-148	-11.8
	うち来日外国人 (割合%)	43 6.0	63 7.4	160 16.1	132 13.4	138 12.6	163 14.4	218 16.6	201 14.8	170 13.5	98 8.9	-72 -4.6	-
検挙率		73.3	68.3	61.9	57.3	47.8	53.9	48.9	52.5	60.2	63.3	3.1ポイント	

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表 2 - 2 - (1) - 2 侵入強盗に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率 (%)
侵入強盗		1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	1,896	-309	-14.0
侵入強盗に伴う身体犯		340	379	527	550	627	689	741	727	570	476	-94	-16.5
	侵入強盗殺人・致死	24	44	44	42	58	52	48	51	44	30	-14	-31.8
	侵入強盗傷人	252	287	398	446	477	557	572	552	431	381	-50	-11.6
	侵入強盗強姦	64	48	85	62	92	80	121	124	95	65	-30	-31.6

注：「侵入強盗に伴う身体犯」とは、侵入強盗殺人・致死、侵入強盗傷人、侵入強盗強姦とした。

図表 2 - 2 - (1) - 3 侵入強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		2,205	100.0	1,896	100.0	-309	-14.0
住宅		703	31.9	545	28.7	-158	-22.5
	一戸建住宅	322	14.6	230	12.1	-92	-28.6
	共同住宅(4階建以上)	190	8.6	158	8.3	-32	-16.8
	共同住宅(3階建以下)	191	8.7	157	8.3	-34	-17.8
一般事務所		45	2.0	22	1.2	-23	-51.1
商店		1,020	46.3	934	49.3	-86	-8.4
生活環境営業		229	10.4	170	9.0	-59	-25.8
金融機関等		172	7.8	187	9.9	15	8.7
その他		36	1.6	38	2.0	2	5.6

図表 2 - 2 - (1) - 4 侵入強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平17		193	447	337	75	99	116	148	153	122	159	175	180	1	2,205
平18		205	371	288	48	59	105	150	129	130	130	135	145	1	1,896
	(割合%)	10.8	19.6	15.2	2.5	3.1	5.5	7.9	6.8	6.9	6.9	7.1	7.6	0.1	100.0
増減	件数	12	-76	-49	-27	-40	-11	2	-24	8	-29	-40	-35	0	-309
	率(%)	6.2	-17.0	-14.5	-36.0	-40.4	-9.5	1.4	-15.7	6.6	-18.2	-22.9	-19.4	0.0	-14.0

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 2 - (1) - 5 侵入強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,319	100.0	1,189	100.0	-130	-9.9
成人事件の総数		1,229	93.2	1,122	94.4	-107	-8.7
単独		910	74.0	903	80.5	-7	-0.8
共犯		319	26.0	219	19.5	-100	-31.3
少年事件の総数		51	3.9	50	4.2	-1	-2.0
単独		38	74.5	35	70.0	-3	-7.9
共犯		13	25.5	15	30.0	2	15.4
成人・少年共犯事件の総数		39	3.0	17	1.4	-22	-56.4

注：解決事件を除く。

(2) 侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数は、平成10年以降増加していたが、平成15年は前年に比べ1.5%減少し、以後、平成16年は12.8%、平成17年は15.8%と3年連続減少し、平成18年にあっても20万5,463件と、前年に比べ3万9,313件(16.1%)減少している。うち住宅における認知は12万3,403件で、侵入窃盗全体の60.1%を占めており、前年に比べ2万2,840件(15.6%)減少している。

検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少し、検挙件数は平成14年、検挙人員は平成15年に増加に転じたが、平成16年以降は検挙件数、検挙人員ともに減少している。平成18年にあっても検挙件数は10万824件で、前年に比べ3,630件(3.5%)、うち住宅における事件の検挙は5万9,776件で、前年に比べ1,638件(2.7%)、検挙人員は1万2,434人で、前年に比べ130人(1.0%)それぞれ減少している。

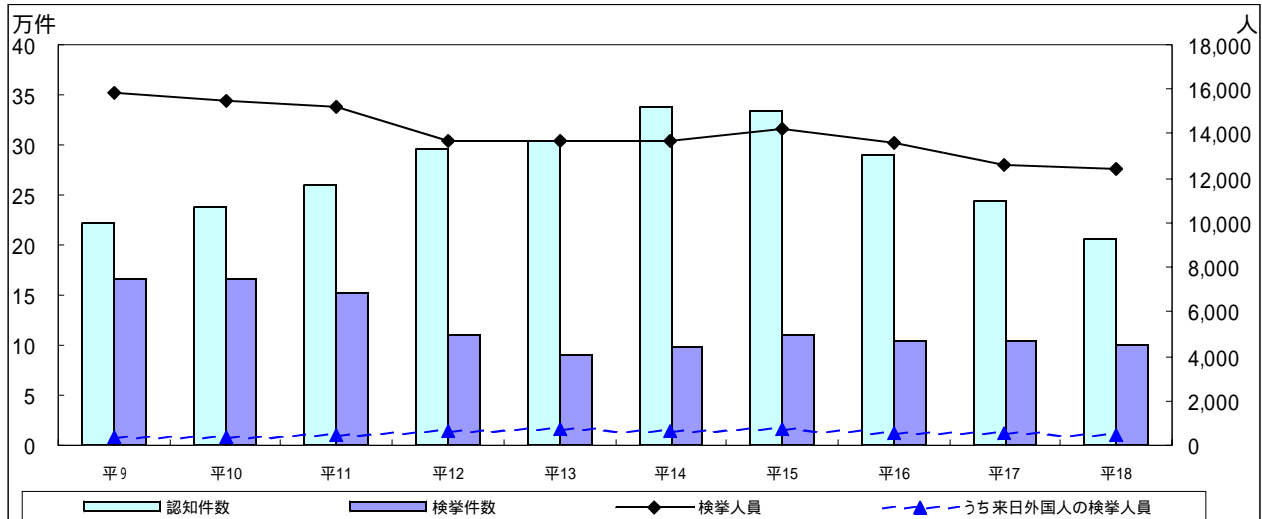
来日外国人の検挙人員は、平成12年以降急激に増加したが、平成16年以降は減少している。平成18年にあっても441人と、前年に比べ83人(15.8%)減少している(図表2-2-(2)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は住宅が60.1%(うち一戸建住宅が35.6%、4階建以上の共同住宅が8.2%、3階建以下の共同住宅が16.2%)、一般事務所が14.1%、商店8.8%、生活環境営業が7.5%を占めている。また、侵入口・侵入手段を発生場所別に見ると、侵入口は、一戸建住宅及び3階建以下の共同住宅は窓、4階建以上の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業は表出入口が最も多く、侵入手段は、一戸建住宅、4階建以上の共同住宅、3階建以下の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業のいずれもガラス破りが最も多い(図表2-2-(2)-2、3)。

平成14年まで多発していたピッキング用具を使用した侵入窃盗は、平成15年以降急激に減少しており、平成18年は1,529件で、前年に比べ642件（29.6%）減少している。また、平成15年に多発したドリルを使用したサムターン回しによる侵入窃盗（ドリル等で出入口ドアに穴を開けた上、サムターン回しで開錠する手口）は、平成16年以降減少していたが、平成18年は868件で、前年に比べ133件（18.1%）増加している（図表2-2-(2)-4、5）。

侵入窃盗の検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-2-(2)-6）。

図表2-2-(2)-1 侵入窃盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	-39,313	-16.1
うち住宅		114,582	124,098	135,283	154,787	163,305	191,200	192,383	174,519	146,243	123,403	-22,840	-15.6
検挙件数		166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824	-3,630	-3.5
うち住宅		-	-	-	-	-	-	-	59,177	61,414	59,776	-1,638	-2.7
検挙人員		15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	-130	-1.0
うち来日外国人		362	390	438	674	688	658	704	565	524	441	-83	-15.8
(割合%)		2.3	2.5	2.9	4.9	5.0	4.8	5.0	4.2	4.2	3.5	-0.7	-
検挙率		74.9	69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	49.1	6.4ポイント	

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表2-2-(2)-2 侵入窃盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		244,776	100.0	205,463	100.0	-39,313	-16.1
住宅		146,243	59.7	123,403	60.1	-22,840	-15.6
一戸建住宅		85,537	34.9	73,155	35.6	-12,382	-14.5
共同住宅(4階建以上)		22,864	9.3	16,876	8.2	-5,988	-26.2
共同住宅(3階建以下)		37,842	15.5	33,372	16.2	-4,470	-11.8
一般事務所		34,572	14.1	29,004	14.1	-5,568	-16.1
商店		22,703	9.3	18,026	8.8	-4,677	-20.6
生活環境営業		19,269	7.9	15,493	7.5	-3,776	-19.6
金融機関等		516	0.2	408	0.2	-108	-20.9
その他		21,473	8.8	19,129	9.3	-2,344	-10.9

図表 2 - 2 - (2) - 3 侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成18年）

	総数	施錠開け	錠破り	ガラス破り	その他の破壊	戸外し	開け放し	施錠設備なし	施錠せず	その他	不明	
一戸建住宅	認知件数	73,155	2,012	803	32,464	2,463	723	2,213	400	26,875	2,018	3,184
	表出入口	10,401	1,071	199	687	139	39	511	130	7,110	239	276
	非常口	39	1	2	12	6	0	2	0	14	1	1
	その他の出入口	12,823	555	360	3,805	1,180	83	321	108	5,687	484	240
	窓	45,267	351	227	27,675	1,073	580	1,212	123	12,640	974	412
	その他	1,106	21	15	284	65	20	62	21	295	243	80
共同住宅（4階建以上）	認知件数	16,876	4,819	359	4,915	1,063	51	410	34	3,468	497	1,260
	表出入口	8,496	4,688	311	35	900	12	91	14	1,725	255	465
	非常口	31	10	2	5	4	0	1	0	7	2	0
	その他の出入口	107	24	1	37	8	0	2	1	27	5	2
	窓	7,346	79	44	4,827	141	38	309	15	1,643	162	88
	その他	127	12	1	10	10	1	1	2	20	48	22
共同住宅（3階建以下）	認知件数	33,372	3,918	409	15,970	613	201	907	138	8,663	784	1,769
	表出入口	8,854	3,619	270	238	294	20	225	60	3,336	262	530
	非常口	20	2	1	5	0	0	2	0	8	0	2
	その他の出入口	1,136	77	25	376	53	16	44	12	459	42	32
	窓	21,804	201	109	15,273	244	159	598	53	4,617	341	209
	その他	334	13	4	78	22	6	19	7	56	102	27
一般事務所	認知件数	29,004	2,415	1,623	14,154	3,037	558	449	204	4,420	1,108	1,036
	表出入口	10,791	1,748	1,127	3,471	1,552	194	237	101	1,671	423	267
	非常口	310	41	34	109	66	1	2	0	49	3	5
	その他の出入口	5,734	443	372	2,327	953	80	99	48	1,067	223	122
	窓	10,478	154	60	7,867	293	256	67	26	1,409	253	93
	その他	1,008	23	30	380	173	27	19	18	127	172	39
商店	認知件数	18,026	1,348	1,206	7,365	3,088	411	334	201	2,450	1,040	583
	表出入口	6,424	776	629	2,192	1,113	148	143	67	812	401	143
	非常口	304	25	46	93	83	1	2	4	31	10	9
	その他の出入口	5,897	479	476	1,948	1,443	90	107	81	841	317	115
	窓	4,368	51	33	2,941	246	158	61	25	672	134	47
	その他	709	13	21	191	203	14	19	16	52	155	25
生活環境営業	認知件数	15,493	1,529	1,310	5,211	2,707	326	288	137	2,638	722	625
	表出入口	5,702	920	795	1,462	971	82	124	61	856	271	160
	非常口	354	34	43	76	96	1	13	3	63	12	13
	その他の出入口	5,151	491	446	1,592	1,350	68	66	32	802	193	111
	窓	3,436	64	18	1,986	158	163	64	21	795	134	33
	その他	459	15	8	95	132	12	11	11	57	100	18
不明	391	5	0	0	0	0	10	9	65	12	290	

図表 2 - 2 - (2) - 4 ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移

区分	年次	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
							件数	率(%)
認知件数		19,121	9,351	4,355	2,171	1,529	-642	-29.6
検挙件数		4,736	3,299	2,418	1,095	705	-390	-35.6
検挙率		24.8	35.3	55.5	50.4	46.1	-4.3	ポイント

注：平成15年以前は、実務統計による集計数値である（認知件数は平成12年から、検挙件数は平成14年から調査を開始した。）。また、平成16年以降は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 5 ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移

区分	年次	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
							件数	率(%)
認知件数		840	4,366	1,763	735	868	133	18.1
検挙件数		-	182	999	869	353	-516	-59.4
検挙率		-	4.2	56.7	118.2	40.7	-77.5	ポイント

注：平成15年以前は、実務統計による集計数値である（認知件数は平成14年から、検挙件数は平成15年から調査を開始した。）。また、平成16年以降は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 6 侵入窃盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		103,168	100.0	99,695	100.0	-3,473	-3.4
成人事件の総数		96,854	93.9	94,595	94.9	-2,259	-2.3
単独		75,527	78.0	72,449	76.6	-3,078	-4.1
共犯		21,327	22.0	22,146	23.4	819	3.8
少年事件の総数		4,719	4.6	3,711	3.7	-1,008	-21.4
単独		2,342	49.6	2,129	57.4	-213	-9.1
共犯		2,377	50.4	1,582	42.6	-795	-33.4
成人・少年共犯事件の総数		1,595	1.5	1,389	1.4	-206	-12.9

注：解決事件を除く。

(3) 住居侵入

住居侵入の認知件数は、平成12年以降急激に増加したが、平成16年は前年に比べ6.2%、平成17年は前年に比べ8.8%と2年連続して減少し、平成18年にあっても3万1,030件で、前年に比べ3,488件(10.1%)減少している。うち住宅における認知は1万9,508件で、住居侵入全体の62.9%を占めており、前年に比べ2,100件(9.7%)減少している。

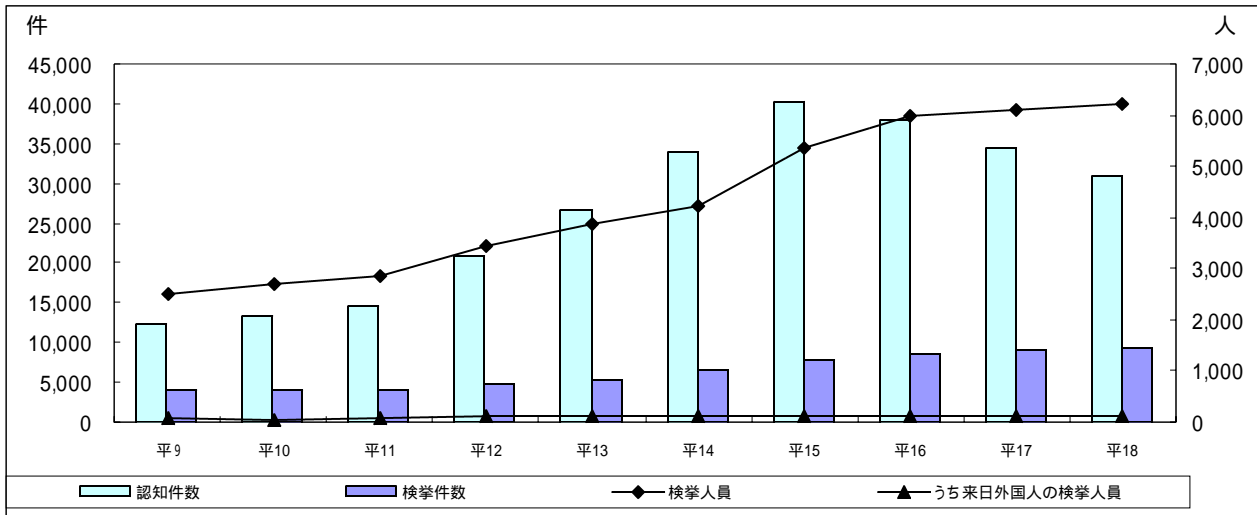
検挙件数、検挙人員は年々増加しており、平成18年の検挙件数は9,211件で、前年に比べ250件(2.8%)、うち住宅における事件の検挙は5,369件で、前年に比べ180件(3.5%)、検挙人員は6,209人で、前年に比べ102人(1.7%)それぞれ増加している。

来日外国人の検挙人員は、平成11年以降増加したが、平成16年以降減少し、平成18年にあっても106人で、前年に比べ8人(7.0%)減少している(図表2-2-(3)-1)。

平成18年に認知した事件を見ると、発生場所は住宅が62.9%(うち一戸建住宅が34.5%、4階建以上の共同住宅が9.5%、3階建以下の共同住宅が18.9%)、一般事務所が9.4%、商店が6.7%、生活環境営業が5.5%を占めている(図表2-2-(3)-2)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多く、少年事件では共犯が多い(図表2-2-(3)-3)。

図表 2 - 2 - (3) - 1 住居侵入の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
認知件数		12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	31,030	-3,488	-10.1
	うち住宅	7,377	7,892	8,587	12,444	15,516	20,084	24,765	23,730	21,608	19,508	-2,100	-9.7
検挙件数		3,999	4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	7,820	8,566	8,961	9,211	250	2.8
	うち住宅	-	-	-	-	-	-	-	5,025	5,189	5,369	180	3.5
検挙人員		2,489	2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	5,361	5,993	6,107	6,209	102	1.7
	うち来日外国人 (割合%)	67 2.7	44 1.6	78 2.7	98 2.8	99 2.6	110 2.6	134 2.5	127 2.1	114 1.9	106 1.7	-8 -0.2	-7.0
検挙率		32.6	30.2	28.1	23.0	19.7	19.1	19.4	22.6	26.0	29.7	3.7ポイント	

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表 2 - 2 - (3) - 2 住居侵入の発生場所別認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		34,518	100.0	31,030	100.0	-3,488	-10.1
住宅		21,608	62.6	19,508	62.9	-2,100	-9.7
	一戸建住宅	11,919	34.5	10,710	34.5	-1,209	-10.1
	共同住宅(4階建以上)	3,433	9.9	2,938	9.5	-495	-14.4
	共同住宅(3階建以下)	6,256	18.1	5,860	18.9	-396	-6.3
一般事務所		3,161	9.2	2,919	9.4	-242	-7.7
商店		2,570	7.4	2,088	6.7	-482	-18.8
生活環境営業		1,948	5.6	1,710	5.5	-238	-12.2
金融機関等		174	0.5	109	0.4	-65	-37.4
その他		5,057	14.7	4,696	15.1	-361	-7.1

図表 2 - 2 - (3) - 3 住居侵入の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		8,803	100.0	9,054	100.0	251	2.9
成人事件の総数		7,354	83.5	7,529	83.2	175	2.4
	単独	6,412	87.2	6,628	88.0	216	3.4
	共犯	942	12.8	901	12.0	-41	-4.4
少年事件の総数		1,340	15.2	1,410	15.6	70	5.2
単独		578	43.1	567	40.2	-11	-1.9
共犯		762	56.9	843	59.8	81	10.6
成人・少年共犯事件の総数		109	1.2	115	1.3	6	5.5

注：解決事件を除く。

(余白)

第3 振り込め詐欺の特徴的傾向

(余白)

1 詐欺の状況

詐欺の認知件数は、平成9年以降4万件台で推移していたが、平成15年に6万件を超え、平成16年、17年は8万件を超えた。平成18年は7万4,632件で、前年に比べ1万964件（12.8%）減少しているものの、振り込め詐欺等の広域知能犯罪の多発により、依然として高水準で推移している。

検挙件数は平成9年以降減少傾向にあったが、平成18年は3万127件で、前年に比べ743件（2.5%）増加している。また、検挙人員は平成12年以降増加し、平成18年は1万2,406人で、前年に比べ758人（6.5%）増加している（図表3-1）。

図表3-1 詐欺の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数
認知件数	49,426	48,279	43,431	44,384	43,104	49,482	60,298	83,015	85,596	74,632	-10,964	-12.8%
検挙件数	46,233	44,405	38,340	35,255	30,017	31,547	30,364	26,617	29,384	30,127	743	2.5%
検挙人員	8,748	8,651	8,178	8,492	8,495	9,507	10,194	11,238	11,648	12,406	758	6.5%
検挙率	93.5%	92.0%	88.3%	79.4%	69.6%	63.8%	50.4%	32.1%	34.3%	40.4%	6.1	

2 振り込め詐欺（恐喝）の状況

近時、息子等親族を装い会社でのトラブル、横領の補填金等名下に現金を騙し（脅し）取る広域多額詐欺事件等のいわゆる「オレオレ詐欺」や架空の事実を口実として金品を要求する文書等を送付するなどして金品を騙し（脅し）取る「架空請求詐欺」、実際には融資をしないにもかかわらず、融資する旨の文書等を送付して、融資を申し込んできた者に対し、保証金等名下に金品を騙し取る「融資保証金詐欺」が多発し、被害は全国に及んでいる（これら3種類の詐欺のほとんどが預貯金口座への振り込みを要求するものであることから、被害予防の観点から、「すぐに振り込まないこと」を国民へ注意喚起するため、これらを総称して「振り込め詐欺」（恐喝）と呼称している。）

振り込め詐欺（恐喝）は、電話、文書、インターネット等を利用して不特定多数から金員を騙し（脅し）取るものであり、一度に高額な被害が発生するとともに、犯行に利用される携帯電話や預貯金口座が不正に入手した他人・架空名義のものであり、犯行の匿名性が高いなどの特徴を有している。

平成18年における振り込め詐欺（恐喝）の認知件数は1万8,538件（うち既遂1万8,182件）、被害額は249億7,840万9,229円で、検挙件数は2,974件、検挙人員は761人である（図表3-2）。

図表3-2 振り込め詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

年次 区分	平16	平17	平18	増減
認知件数	25,667	21,612	18,538	-3,074
うち既遂	20,194	19,840	18,182	-1,658
被害総額	28,378,657,974	25,151,867,404	24,978,409,229	-173,458,175
検挙件数	1,305	2,539	2,974	435
検挙人員	548	819	761	-58

注：本表は、実務統計による集計数値である。

(1) いわゆる「オレオレ詐欺（恐喝）」

平成18年におけるいわゆる「オレオレ詐欺（恐喝）」の認知件数は7,093件（うち既遂6,797件）で、前年に比べ239件増加（うち既遂1,115件増加）しており、被害総額は146億7,626万1,337円で、前年に比べ18億1,424万7,759円増加している。一方、平成18年の検挙件数は975件で、前年に比べ167件減少しており、検挙人員は254人で、前年に比べ71人減少している（図表3 - 2 - (1) - 1）。

認知した事件を形態別（文言別）に見ると、会社でのトラブル・横領金等の補填金名目が2,885件（構成比40.7%）が最も多く、次いでサラ金等借金返済名目が1,845件（同26.0%）となっている（図表3 - 2 - (1) - 2）。

また、平成18年の既遂事件1件当たりの被害額は、215万9,226円で、前年に比べ10万4,416円減少している。（図表3 - 2 - (1) - 3）。

図表3 - 2 - (1) - 1 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

年次 区分	平16	平17	平18	増 減
認知件数	14,874	6,854	7,093	239
うち既遂	9,515	5,682	6,797	1,115
被害総額	19,128,729,104	12,862,013,578	14,676,261,337	1,814,247,759
検挙件数	954	1,142	975	-167
検挙人員	305	325	254	-71

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 2 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の形態別（文言別）認知件数

年次 区分	平16		平17		平18		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	
交通事故示談金名目	8,832	59.4	1,248	18.2	241	3.4	
サラ金等借金返済名目	3,430	23.1	1,204	17.6	1,845	26.0	
妊娠中絶手術費用名目	693	4.7	65	0.9	146	2.1	
身代金目的誘拐等	415	2.8	132	1.9	1	0.0	
その他の名目	公共交通機関での痴漢示談金	1,504	10.1	1,512	22.1	680	9.6
	わいせつ行為示談金			643	9.4	317	4.5
	医療過誤示談金			217	3.2	33	0.5
	会社でのトラブル・横領金等の補填金			718	10.5	2,885	40.7
	その他			1,115	16.3	945	13.3
合計	14,874	100.0	6,854	100.0	7,093	100.0	

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 3 オレオレ詐欺(恐喝)事件の1件当たりの被害額

区分	年次	平16	平17	平18	増減
被害総額		19,128,729,104	12,862,013,578	14,676,261,337	1,814,247,759
1件当たりの被害額		2,010,376	2,263,642	2,159,226	-104,416

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】指定暴力団幹部らによる組織的なオレオレ詐欺事件(北海道)

1月ころ、指定暴力団幹部(30)らは、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまし、「携帯のサイトを見た代金を会社の経理の人に払ってもらっていた。今日、会社で監査があり、帳尻を合わせなければならぬ。90万円を何とか都合をつけてくれないか。」等と嘘を言い、約90万円を振り込ませて騙し取った(3月9日検挙)。

【事例2】痴漢示談金名目によるオレオレ詐欺事件(警視庁)

平成17年12月ころ、無職の男(38)らは、被害者に電話をかけ、警察官になりすまし、「弟さんが電車の中で痴漢をして逮捕されています。」などと嘘を言い、更に弁護士になりすまして「被害届が受理されると逮捕、勾留されて帰宅できません。被害者のだんなさんも今ここにいるので、なんとか被害届を出さない方向で話をしたいと思っています。示談しますので、すぐにお金を振り込んでください。」等と嘘を言い、約200万円を振り込ませて騙し取った(2月3日検挙)。

【事例3】借金返済名目によるオレオレ詐欺事件(兵庫・警視庁・石川)

4月ころ、無職の男(26)らは、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまし、「友達の連帯保証人になってお金を返さなければならない。首を吊ろうと思って、今、長岡に来ている。」等と嘘を言い、更に金融会社の担当者になりすまして「息子さんの借金の総額が500万円あり、現在は残りの201万8,000円が残っています。何とかしてもらえませんか。」等と嘘を言い、201万8,000円を振り込ませて騙し取った。(5月30日検挙)。

【事例4】わいせつ行為示談金名目によるオレオレ詐欺事件(警視庁)

2月ころ、無職の男(27)らは、被害者に電話をかけ、警察官になりすまし、「息子さんが飲み屋で18歳の女性の肩や手を触ったりしたことで警察署にいます。」、「息子さんは強制わいせつという罪です。」、「示談するのに200万円必要です。」等と嘘を言い、約200万円を振り込ませて騙し取った(6月5日検挙)。

【事例5】仕事上のミスに対する補填金名下のオレオレ詐欺事件(北海道)

平成17年11月ころ、無職の男(23)らは、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまし、「俺のミスで会社の経理に穴を開けてしまった。100万円だけど何とかしてくれないか、すぐに返す。」等と嘘を言い、100万円を振り込ませて騙し取った(6月20日検挙)。

(2) 架空請求詐欺（恐喝）

平成18年における架空請求詐欺（恐喝）事件の認知件数は3,614件（うち既遂3,570件）で、前年に比べ1,212件減少（うち既遂688件減少）しており、被害総額は48億8,611万114円で、前年に比べ7億1,980万8,741円減少している。検挙件数は1,123件で、前年に比べ302件増加しており、検挙人員は339人で、前年に比べ54人増加している。（図表3-2-(2)-1）

認知した事件を形態別（文言別）に見ると、有料サイト利用料金名目が1,787件（構成比49.4%）で最も多く、次いで借金返済・債権回収名目が648件（同17.9%）となっている（図表3-2-(2)-2）。

また、平成18年の既遂事件1件当たりの被害額は、136万8,658円で、前年に比べ5万2,097円増加している（図表3-2-(2)-3）。

図表3-2-(2)-1 架空請求詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

区分	年次	平16	平17	平18	増減
認知件数		5,101	4,826	3,614	-1,212
	うち既遂	5,011	4,258	3,570	-688
被害総額		5,405,330,934	5,605,918,855	4,886,110,114	-719,808,741
検挙件数		294	821	1,123	302
検挙人員		207	285	339	54

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-2-(2)-2 架空請求詐欺（恐喝）事件の形態別（文言別）認知事件数

区分	年次	平18	
		件数	構成比（%）
有料サイト利用料金名目		1,787	49.4
借金返済・債権回収名目		648	17.9
その他の名目		1,179	32.6
合計		3,614	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-2-(2)-3 架空請求詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額

区分	年次	平16	平17	平18	増減
被害総額		5,405,330,934	5,605,918,855	4,886,110,114	-719,808,741
1件当たりの被害額		1,078,693	1,316,561	1,368,658	52,097

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】電子消費者契約通信未納利用料請求名目による架空請求詐欺事件（静岡・神奈川）

平成16年7月ころ、会社役員（24）らは、被害者に対し、「貴殿のご利用された『電子通話料金未納分』について、ご利用通信会社から委託を受けましたので大至急当社まで御支払ください。」等と架空の債権回収会社名をかたった虚偽内容を記したはがきを送付し、4回にわたって合計約600万円を振り込ませて騙し取った（1月31日検挙）。

【事例2】出会い系サイト利用名目による架空請求詐欺、組織的犯罪処罰法違反事件（和歌山）

平成17年12月ころ、無職の男（23）らは、犯罪収益の取得を図って架空の債権管理団体をかたり、被害者に対し、「出会い系サイトの利用料金を払ってください。利用料金は1日1,520円で、現在は6万9,920円になっています。」等と嘘を言い、被害者が口座に現金を振り込むと、更に外にも未納料金があるかのように嘘を言い、合計約33万円を被疑者らが管理する口座に振り込ませて騙し取り、犯罪収益等の取得について事実を偽装した（1月11日検挙）。

【事例3】公務員対象の不正事実口止め料名目による架空請求詐欺未遂等事件（香川）

1月ころ、無職の男（59）らは、全国の公務員に対し、「貴殿と取引先民間業者との慣習による癒着不正金品授受と長期に渡る職権濫用、内部不正行為における衝撃的な事実の案件です。無論貴方次第ですが調査証拠書類を極秘裏に廃棄抹消処分にしようと思います。この処分にかかる費用と口止め料として50万円を1週間以内に私の口座までお振り込み下さい。」等と記載した文書を郵送して金員を騙し取ろうとしたが、いずれも嘘であることを見破られて目的を遂げなかった（5月24日検挙）。

【事例4】アダルトサイト利用料金名下の架空請求詐欺事件（京都）

4月ころ、無職の男（28）らは、債権回収会社を装って、被害者に対し、「有料サイトの利用料金19万5,000円が未払いになっている。全額免除できるように債権者と仲介する。」「債権者を信用させるため50万円を振り込んで欲しい。お金は後で返金する。」等と嘘を言って数回にわたって合計220万円を振り込ませて騙し取った（6月28日検挙）。

(3) 融資保証金詐欺

平成18年における融資保証金詐欺の認知件数は7,831件（うち既遂7,815件）で、前年に比べ2,101件減少（うち既遂2,085件減少）しており、被害総額は54億1,603万7,778円で、前年に比べ12億6,789万7,193円減少している（図表3-2-(3)-1）。

また、平成18年の既遂事件1件当たりの被害額は、69万3,031円で、前年に比べ1万7,886円増加している（図表3-2-(3)-2）。

一方、平成18年の検挙件数は876件で、前年に比べ300件増加しており、検挙人員は168人で、前年に比べ41人減少している（図表3-2-(3)-1）。

図表3 - 2 - (3) - 1 融資保証金詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平16	平17	平18	増減
認知件数	5,692	9,932	7,831	-2,101
うち既遂	5,668	9,900	7,815	-2,085
被害総額	3,844,597,936	6,683,934,971	5,416,037,778	-1,267,897,193
検挙件数	57	576	876	300
検挙人員	36	209	168	-41

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (3) - 2 融資保証金詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額

区分 \ 年次	平16	平17	平18	増減
被害総額	3,844,597,936	6,683,934,971	5,416,037,778	-1,267,897,193
1件当たりの被害額	678,299	675,145	693,031	17,886

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】個人情報の削除費用名目による融資保証金詐欺事件（埼玉、岩手、鳥取、山口）

平成17年8月ころ、無職の男（25）らは、被害者に対し、貸金業者を装ったダイレクトメールを送付し、同人から融資申込の電話があると、「当社が融資をするに当たり、ブラックリストを解除しなければなりません。その手続の費用が必要です。」等と嘘を言い、約30万円を振り込ませて騙し取った（4月13日検挙）。

【事例2】融資預託金名目による融資保証金名下の詐欺事件（埼玉、秋田、兵庫）

3月ころ、無職の男（28）らは、被害者に対し、「より品質の高い融資をお約束します。」等と記載したFAXを送信し、同人から融資申込みの電話があると、「融資をするには預託金が必要になるという条件があります。融資金額の一部を提携契約している損害保険会社に預託しなければならない。」等と嘘を言い、約270万円を振り込ませて騙し取った（5月31日検挙）。

【事例3】広域にわたる融資保証金詐欺、組織的犯罪処罰法違反事件（鳥取・宮城）

5月ころ、無職の男（22）らは、犯罪収益の取得を図って架空の消費者金融をかたり、被害者に融資を持ちかけた後、「途中でキャンセルをするならキャンセル料を3万5,000円を振り込んでいただくこととなります。このお金は後日戻ってきますので、心配いりません。」「コンピュータにエラーが出て振り込めないんです。初めから手続をやり直すのでもう一度3万5,000円を振り込んでください。」等と嘘を言い、数回にわたって合計約200万円を騙し取り、犯罪収益等の取得について事実を偽装した（7月7日検挙）。

3 振り込め詐欺を助長する犯罪

振り込め詐欺（恐喝）を減少させるためには、本犯を検挙するだけでなく、非面接による犯行を可能とし、かつ、警察による被疑者の追及を困難にしている他人名義の預貯金口座や携帯電話の不正な供給・流通を遮断する必要がある。

警察では、平成16年12月に改正された「金融機関等による顧客等の本人確認等及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律」（いわゆる「改正本人確認法」）及び「携帯音声通信事業者による契約者等の本人確認等及び携帯音声通信役務の不正な利用の防止に関する法律」（いわゆる「携帯電話不正利用防止法」）を積極的に活用するなどして、振り込め詐欺を助長する犯罪の取締りを推進している。

(1) 預貯金口座の不正な取得・流通

平成18年における金融機関から通帳・キャッシュカードを騙し取る詐欺罪及び騙し取られた通帳等であることを知りながら譲り受ける盗品譲受け等罪の検挙件数は1,666件、検挙人員は912人である。また、改正本人確認法の検挙事件数は183事件、検挙人員は185人である。

【事例】インターネット掲示板を利用した改正本人確認法違反（広告等による誘引）事件（新潟）

平成17年1月ころ、自営業の男(35)は、インターネット掲示板に「口座3万円。後払い。都市銀行などの口座を確認後にお支払いいただき、完全後払いです。」等と書き込み、不特定多数の者に対し口座販売の相手方となることを誘引した（1月11日検挙）。

(2) 携帯電話の不正な取得・流通

携帯電話不正利用防止法については、平成18年4月1日から全面施行となっている。平成18年における同法違反での検挙事件数は62事件、検挙人員は63人である。

【事例1】携帯電話不正利用防止法違反（広告等による無承諾譲渡等の誘引）事件（愛知）

4月ころ、携帯電話ブローカーの男(23)は、インターネット掲示板に「ブラックやご自身で携帯電話が持てないかた当社にお任せください！プリペイド携帯22000円～都内手渡し販売致します！」等と掲示して、不特定多数の者に対し携帯音声通信事業者の承諾を得ずにする携帯電話販売の相手方となることを誘引した（4月19日検挙）。

【事例2】携帯電話不正利用防止法違反（他人名義携帯電話の業としての譲渡し）事件（警視庁）

4月ころから5月ころまでの間、携帯電話ブローカーの男(62)は、スポーツ新聞等に携帯電話売買広告を掲載した上、東京都内の路上等で、業として他人名義の携帯電話を販売した（5月20日検挙）。

【事例3】携帯電話不正利用防止法違反（広告等による無承諾譲渡等の誘引・勧誘）事件（京都）

4月ころ、無職の男(22)は、「闇の職業安定所」と題する携帯電話のインターネット上の掲示板に「役者の仕事ですが、今まで（6年間）何の問題もありません。あなたの名義で携帯を契約してもらった仕事もあります。」等掲示して誘引し、同内容を見て募集してきた者に「携帯とか口座、金融にしても危ない空気とか分かりますので、こちらの指定通りにしていただいたら危険は回避できます。」等の内容の携帯メールを送信し、携帯電話の不正な譲受けの相手方になることを勧誘するなどした（6月8日検挙）。

【事例4】携帯電話不正利用防止法違反（広告による無承諾譲渡等の誘引）事件（三重）

平成18年4月ころ、無職の男（39）は、インターネットオークションに、自己が契約者となっている携帯電話を出品し、「登録済携帯電話1,000円分通話カード付、希望落札価格15,800円」等と掲示して、不特定多数の者に対し携帯音声通信事業者の承諾を得ずにする携帯電話販売の相手方となることを誘引した（10月11日検挙）。

第4 刑法犯の現況

(余白)

1 重要犯罪

(1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦の凶悪犯に略取誘拐・人身売買、強制わいせつを加えたものをいう。以下同じ。）の認知件数は、強盗と強制わいせつの増加に伴い、平成11年以降急増していたが、平成16年に減少に転じ、平成18年の認知件数は18,649件で、すべての罪種の認知件数が減少したため、前年に比べ1,739件（8.5%）減少している。特に、強盗の大幅な減少（前年比 - 880件、- 14.7%）の影響が大きい。

検挙件数は11,084件で、強姦以外のすべての罪種の検挙件数が減少したため、前年に比べ335件（2.9%）減少している。

検挙人員は8,880人で、放火以外のすべての罪種の検挙人員が減少したため、前年に比べ629人（6.6%）減少している。

検挙率は59.4%で、前年に比べ3.4ポイント上昇している。検挙件数が減少する中、検挙率が上昇したのは、認知件数の大幅な減少によるものである（図表4 - 1 - (1)）。

なお、強盗のうち、路上強盗の認知・検挙状況については、第2 - 1 - (1) - 1「路上強盗」、侵入強盗の認知・検挙状況については、第2 - 2 - (1) - 1「侵入強盗」をそれぞれ参照。

図表4 - 1 - (1) 重要犯罪の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
重要犯罪	認知件数	12,366	12,725	14,682	18,281	21,530	22,294	23,971	22,568	20,388	18,649	-1,739	-8.5
	検挙件数	10,798	10,700	10,491	11,049	11,418	11,186	12,362	11,812	11,419	11,084	-335	-2.9
	検挙人員	8,654	8,980	9,307	9,954	9,905	10,029	10,786	9,931	9,509	8,880	-629	-6.6
	検 挙 率	87.3	84.1	71.5	60.4	53.0	50.2	51.6	52.3	56.0	59.4	3.4 ポイント	
殺人	認知件数	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	-83	-6.0
	検挙件数	1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	1,267	-78	-5.8
	検挙人員	1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	1,241	-97	-7.2
	検 挙 率	95.6	97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	96.8	0.2 ポイント	
強盗	認知件数	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	-880	-14.7
	検挙件数	2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	3,061	-208	-6.4
	検挙人員	3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	3,335	-509	-13.2
	検 挙 率	79.5	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	59.9	5.3 ポイント	
放火	認知件数	1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	-145	-7.6
	検挙件数	1,804	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	1,337	-24	-1.8
	検挙人員	749	693	750	789	783	815	866	867	791	825	34	4.3
	検 挙 率	93.2	87.4	84.4	78.7	76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	76.0	4.5 ポイント	
強姦	認知件数	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	-128	-6.2
	検挙件数	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	17	1.2
	検挙人員	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	-16	-1.5
	検 挙 率	88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	5.4 ポイント	
略取誘拐・ 人身売買	認知件数	284	221	249	302	237	251	284	320	277	199	-78	-28.2
	検挙件数	279	211	244	272	211	215	231	232	204	180	-24	-11.8
	検挙人員	167	141	164	180	179	173	151	187	176	167	-9	-5.1
	検 挙 率	98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	16.9 ポイント	
強制 わいせつ	認知件数	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	-425	-4.9
	検挙件数	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	-18	-0.5
	検挙人員	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	-32	-1.4
	検 挙 率	86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	2.0 ポイント	

(2) 殺人事件の状況

平成18年の殺人の認知件数は1,309件、検挙件数は1,267件、検挙人員は1,241人で、前年に比べ、認知件数が83件（6.0%）、検挙件数が78件（5.8%）、検挙人員が97人（7.2%）それぞれ減少している。検挙率は96.8%で、前年に比べ0.2ポイント上昇している（図表4-1-(2)-1）。

認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後10時から午前0時までが145件（11.1%）で最も多く、次いで午前0時から午前2時までが139件（10.6%）となっている（図表4-1-(2)-2）。

また、発生場所は、住宅が807件（61.7%）で最も多く、次いで道路上が175件（13.4%）となっている（図表4-1-(2)-3）。

検挙した事件を見ると、被疑者の性別では、男性が995人（80.2%）、女性が246人（19.8%）となっている。少年被疑者は69人で、前年に比べ2人（3.0%）増加している。

犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが211件と、全体の18.3%を占めている（図表4-1-(2)-4）。

図表4-1-(2)-1 殺人事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件(人)数	率(%)										
認知件数(件)		1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	-83	-6.0
検挙件数(件)		1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	1,267	-78	-5.8
検挙人員(人)		1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	1,241	-97	-7.2
検 挙 率(%)		95.6	97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	96.8	0.2	ポ イ ント
被害(死亡)者数		710	775	736	678	696	662	697	699	643	619	-24	-3.7
	男性	398	419	398	348	382	347	379	366	324	295	-29	-9.0
	女性	312	356	338	330	314	315	318	333	319	324	5	1.6

図表4-1-(2)-2 殺人事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成18年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
1,309	139	120	78	88	75	97	78	96	106	133	117	145	37

図表4-1-(2)-3 殺人事件の発生場所別認知件数の状況（平成18年）

認知件数	住宅	道路上	駐車(輪)場	その他
1,309	807	175	53	274

図表4-1-(2)-4 殺人事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段（平成18年）

総数	盗 難 車		盗 難 車 以 外					自転車	その他	徒歩・該当なし
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車	オートバイ			
1,155	19	1	124	2	11	44	10	34	13	897

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】長浜市内における幼稚園児2人被害に係る殺人事件（滋賀）

2月17日、女(34)は、自分の長女と共に同じ幼稚園に通う園児2人を車両で幼稚園に送り届ける途中、路上に停車した車両内等において、幼稚園児2人を刃物で刺すなどして殺害した（2月17日検挙）。

【事例2】川崎市多摩区内における連続殺人、同未遂等事件（神奈川）

3月20日、男(41)は、マンション15階通路において、帰宅した小学男子児童を持ち上げ地上に投げ落として殺害し、同29日には、同様の手口で、清掃作業中の女性及び居住する小学男子児童をそれぞれ殺害しようとした（4月1日検挙）。

【事例3】西置賜郡飯豊町内における一家3人殺傷事件（山形）

5月7日、男(24)は、知人男性を殺害する目的でその実家に侵入し、男性ら3人を刃物で突き刺すなどして、男性とその父親を殺害し、その母親に重傷を負わせた（5月7日検挙）。

【事例4】山本郡藤里町内における連続児童殺人事件（秋田）

5月17日、女(33)は、自宅において、帰宅途中の小学男子児童を自宅に招き入れ、首を絞めて殺害し、死体を遺棄した。同女は、4月9日、実子の小学女子児童も川に突き落として殺害していた（6月4日検挙）。

【事例5】大阪・岡山二府県広域にわたる殺人等事件（大阪・岡山）

6月19日、男(21)は他の男らと共謀し、男性3人を車中に監禁した上、うち2人にゴルフクラブ等で暴行を加え、廃棄物集積場において、ショベルカーを使用して2人を土中に生き埋めにして殺害した（6月24日検挙）。

【事例6】大仙市における男児殺人事件（秋田）

10月23日、女(31)は、男(43)と共謀して、実子の男児(4)に対し、車両内で首を絞めるなどの暴行を加えた上、自宅近くの排水路内に捨てて殺害した（11月13日検挙）。

ア 捜査本部設置事件の状況

平成18年の捜査第一課又は国際捜査担当課の主管する捜査本部設置事件（注）は98件で、前年に比べ18件（15.5%）減少している。捜査本部設置事件の解決率は90.8%で、前年に比べ2.9ポイント上昇している（図表4-1-(2)-5）。

注：ここでいう「捜査本部設置事件」とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長(警視庁については、組織犯罪対策部長を含む。)を長とする捜査本部(警視庁については特別捜査本部)を設置した事件である。

図表 4 - 1 - (2) - 5 捜査本部設置・解決状況の推移

区分	年次										増減率	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件数	率(%)
設置件数(件)	144	140	135	152	165	176	145	145	116	98	-15.5%	
						19	27	13	7	6	-14.3%	
解決事件数(件)	113	114	106	102	122	140	118	117	102	89	-12.7%	
						17	15	16	8	4	-50.0%	
解決率(%)	78.5	81.4	78.5	67.1	73.9	79.5	81.4	80.7	87.9	90.8	2.9	
						89.5	55.6	123.1	114.3	66.7	-	

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：解決事件数については、解決した年次に計上した。

注3：平成14年以降については、暴力団犯罪捜査担当課において設置したものを下段に外数で示した。

イ 通り魔殺人事件

平成18年の通り魔殺人事件（注）の認知事件数は4件、検挙事件数は4件で、前年に比べ、認知事件数が2件、検挙事件数が2件、それぞれ減少している（図表4-1-(2)-6）。

注：通り魔殺人事件とは、人の自由に入出りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

図表 4 - 1 - (2) - 6 通り魔殺人事件の認知・検挙の推移

区分	年次										増減率	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件数	率(%)
認知事件数(件)	4	10	6	7	6	8	9	3	6	4	-2	-33.3
検挙事件数(件)	3	10	6	7	6	6	9	3	6	4	-2	-33.3

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：検挙事件数は、その年の認知事件数に対する事件数で、平成18年末までに検挙したものである。

注3：未遂を含む。

【事例1】 松戸市内における通り魔による殺人未遂事件（千葉）

5月30日、男（17）は、路上を歩行中の男性の背部を包丁で突き刺し殺害しようとしたが、傷害を負わせるにとどまった（5月30日検挙）。

ウ 保険金目的殺人事件

平成18年の保険金目的殺人事件の検挙事件数は4件で、前年に比べ2件増加している（図表4-1-(2)-7）。

図表 4 - 1 - (2) - 7 保険金目的殺人事件の検挙件数の推移

区分	年次										増減率	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件数	率(%)
検挙事件数(件)	4	6	8	9	9	11	10	9	2	4	2	100.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：未遂を含む。

【事例1】転落事故を偽装した保険金目的殺人事件（福岡）

平成17年10月12日、女(42)は、他の被疑者2人と共謀し、夫を殺害して生命保険金を得ようと企て、車両の転落事故を装い、夫を乗せた車両を海中に転落させて同人を殺害した（1月7日検挙）。

【事例2】フィリピン共和国内における保険金目的けん銃使用殺人事件（警視庁）

平成17年7月29日、男（50）は、他の被疑者数人と共謀し、社員男性を海外で殺害して海外旅行傷害保険の死亡保険金を得ようと企て、フィリピン共和国内において、男性を射殺した（10月30日検挙）。

(3) 強盗事件の状況

平成18年の強盗の認知件数は5,108件、検挙件数は3,061件、検挙人員は3,335人で、前年に比べ、認知件数は880件（14.7%）、検挙件数は208件（6.4%）、検挙人員は509人（13.2%）それぞれ減少している。検挙率は59.9%で、前年に比べ5.3ポイント上昇している（図表4-1-(3)-1）。

認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが671件（13.1%）と最も多く、午後10時から午前4時までで全体の38.4%を占めている（図表4-1-(3)-2）。

また、認知件数を手口別に見ると、侵入強盗は1,896件、非侵入強盗は3,212件で、前年に比べ、侵入強盗は309件(14.0%)、非侵入強盗は571件(15.1%)それぞれ減少している。犯罪供用物は、強盗全体では刃物類を使用したものが30.6%と最も多く、うち侵入強盗は57.5%で、侵入強盗の中でも、特にコンビニ強盗は76.1%と高くなっている（図表4-1-(3)-3）。

また、強盗に伴う身体犯の認知件数は、年々増加していたが、平成16年から減少に転じ、平成18年は2,207件で、前年に比べ369件（14.3%）減少している（図表4-1-(3)-4）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが1,329件と、全体の43.9%を占めている（図表4-1-(3)-5）。

図表4-1-(3)-1 強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減率	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	-880	-14.7
検挙件数(件)		2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	3,061	-208	-6.4
検挙人員(人)		3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	3,335	-509	-13.2
検挙率(%)		79.5	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	59.9	5.3ポイント	

図表4-1-(3)-2 強盗事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成18年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
5,108	658	671	474	107	116	220	286	253	337	373	465	630	518

注：発生時間は、犯罪に着手した時間を計上。

図表4 - 1 - (3) - 3 強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成18年）

強盗手口	犯罪供用物 総数	銃器										
		銃器		うちけん銃等		刀剣類		刃物類		犯罪供用物なし・該当なし	不明	その他
		認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)			
強盗	5,108	111	2.2	96	1.9	60	1.2	1,565	30.6	3,192	179	1
侵入強盗	1,896	81	4.3	71	3.7	27	1.4	1,090	57.5	629	69	0
住宅強盗	498	6	1.2	4	0.8	5	1.0	194	39.0	261	32	0
金融機関強盗	149	17	11.4	16	10.7	2	1.3	95	63.8	31	4	0
コンビニ強盗	610	20	3.3	18	3.0	14	2.3	464	76.1	99	13	0
その他の店舗強盗	519	28	5.4	23	4.4	5	1.0	303	58.4	170	13	0
その他	120	10	8.3	10	8.3	1	0.8	34	28.3	68	7	0
非侵入強盗	3,212	30	0.9	25	0.8	33	1.0	475	14.8	2,563	110	1
途中強盗	53	2	3.8	2	3.8	0	0.0	10	18.9	37	4	0
タクシー強盗	184	2	1.1	2	1.1	3	1.6	76	41.3	99	4	0
自動車強盗	92	2	2.2	2	2.2	1	1.1	24	26.1	61	4	0
路上強盗	1,759	9	0.5	5	0.3	19	1.1	192	10.9	1,463	76	0
その他	1,124	15	1.3	14	1.2	10	0.9	173	15.4	903	22	1

注1：本表の数値は犯罪統計による認知件数であり、実務統計である(3)ア 金融機関・郵便局対象強盗事件、(3)ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件、(3)キ タクシー対象強盗事件の認知事件数と異なるものである。

注2：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のもの、「刀剣類」とは、日本刀、その他の刀剣類、「刃物類」とは、包丁類、その他の刃物類をいう。また、「けん銃等」には、けん銃様のものを含む。

図表4 - 1 - (3) - 4 強盗に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)
強盗		2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	-880	-14.7
強盗に伴う身体犯		1,401	1,598	2,016	2,488	3,022	3,285	3,400	3,248	2,576	2,207	-369	-14.3
強盗殺人・致死		41	78	73	71	96	93	78	89	66	52	-14	-21.2
強盗傷人		1,262	1,411	1,815	2,280	2,755	3,038	3,119	2,958	2,351	2,018	-333	-14.2
強盗強姦		98	109	128	137	171	154	203	201	159	137	-22	-13.8

注：「強盗に伴う身体犯」とは、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表4 - 1 - (3) - 5 強盗事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成18年）

総数	盗難車		盗難車以外				自転車	その他	徒歩・該当なし	
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車				オートバイ
3,027	241	39	614	47	63	219	106	226	32	1,440

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】横須賀市における女性強盗殺人事件（神奈川）

1月3日、米兵の男(21)は、バッグを奪おうとし、通行中の女性に足蹴りするなどの暴行を加えて同人を殺害し、現金を強取した（1月7日検挙）。

【事例2】豊島区内のマンションにおける強盗殺人・放火事件（警視庁）

3月17日、ペルー国籍の男(24)は、マンション内において、居住する元アルバイト雇用主の男性を鈍器で殴打するなどして殺害し、現金、腕時計等を強取した上、同室内に放火した（5月10日検挙）。

【事例3】九戸郡洋野町内における母娘2人被害の強盗殺人・死体遺棄事件（岩手）

7月19日、男（29）は、民家に侵入し、帰宅した母娘2人を次々と首を絞めて殺害し、現金等を強取するなどした（7月25日検挙）。

【事例4】甲府市内における男性強盗殺人事件（山梨）

7月12日、男（22）は、民家に侵入し、家人の男性を殴りつけるなどした上、首を絞めて殺害し、現金を強取した（10月7日検挙）。

ア 金融機関・郵便局対象強盗事件

平成18年の金融機関（注）・郵便局対象強盗事件の認知事件数は146件（うち郵便局対象は113件、77.4%）、検挙事件数は106件で、前年に比べ認知事件数が18件（14.1%）増加し、検挙事件数が9件（9.3%）増加している（図表4-1-(3)-6、7）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後0時から午後2時までが41件（28.1%）と最も多い（図表4-1-(3)-8）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表4-1-(3)-9）。

注：金融機関とは、銀行、信用金庫・組合、商工中金、労働金庫、農（漁）業協同組合をいう。

図表4-1-(3)-6 金融機関・郵便局対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率（%）
認知事件数		117	161	120	135	229	141	142	129	128	146	18	14.1
検挙事件数		86	117	97	92	147	111	113	83	97	106	9	9.3
検挙率		73.5	72.7	80.8	68.1	64.2	78.7	79.6	64.3	75.8	72.6	-3.2	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-7 金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	率（%）
認知事件数		128	100.0	146	100.0	18	14.1
金融機関		35	27.3	33	22.6	-2	-5.7
銀行		19	14.8	14	9.6	-5	-26.3
信用金庫		8	6.3	15	10.3	7	87.5
信用組合		2	1.6	2	1.4	0	-
農（漁）業協同組合		6	4.7	2	1.4	-4	-66.7
その他		0	0.0	0	0.0	0	-
郵便局		93	72.7	113	77.4	20	21.5
普通郵便局		0	0.0	1	0.7	1	-
特定郵便局		86	67.2	100	68.5	14	16.3
簡易郵便局		7	5.5	12	8.2	5	71.4

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 8 金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成18年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知事件数	0	0	0	0	19	20	41	37	24	2	1	2	0	146
割合（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	13.7	28.1	25.3	16.4	1.4	0.7	1.4	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 9 金融機関・郵便局対象強盗事件の防犯設備設置・活用状況（平成18年）

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	144	118	26	2
	（割合％）	98.6	80.8	17.8	1.4
非常ベル	認知事件数	117	27	89	29
	（割合％）	80.1	18.5	61.0	19.9
防犯カメラ	認知事件数	145	138	7	1
	（割合％）	99.3	94.5	4.8	0.7
カラーボール	認知事件数	144	31	92	2
	（割合％）	98.6	21.2	63.0	1.4
屋外赤色灯	認知事件数	78	40	37	68
	（割合％）	53.4	27.4	25.3	46.6

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例 1】広域にわたる連続銃器使用強盗殺人未遂事件（警視庁、神奈川）

2月3日、男（45）は、けん銃を用いて金員を強取しようとして、東京都日野市の特定郵便局において、けん銃を数発発射して現金約90万円を強取するとともに、殺意をもって、局長に向けてけん銃を発射し傷害を負わせた。男は、神奈川県下で他に2件の強盗殺人未遂事件を敢行していた（3月16日検挙）。

【事例 2】横浜市内における持凶器銀行強盗事件（神奈川）

8月10日、男（40）は、サバイバルナイフを所持して銀行に押し入り、支店長にナイフを突き付け、爆発物様の物を示して脅迫し、現金約1,100万円を強取した（8月10日検挙）。

イ サラリーマン金融対象強盗事件

平成18年のサラリーマン金融対象強盗事件の認知事件数は24件で、前年に比べ2件（7.7％）減少している（図表 4 - 1 - (3) - 10）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後4時から午後6時までが9件（37.5％）と最も多い（図表 4 - 1 - (3) - 11）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表 4 - 1 - (3) - 12）。

図表4-1-(3)-10 サラリーマン金融対象強盗事件の認知状況の推移

年次 区分	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数
認知事件数	30	26	30	33	104	46	53	42	26	24	-2	-7.7
検挙事件数	14	9	12	15	37	33	26	19	17	13	-4	-23.5
検挙率	46.7	34.6	40.0	45.5	35.6	71.7	49.1	45.2	65.4	54.2	-11.2	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-11 サラリーマン金融対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成18年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知事件数	0	0	0	0	0	2	6	5	9	2	0	0	0	24
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	20.8	37.5	8.3	0.0	0.0	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-12 サラリーマン金融対象強盗事件の防犯設備設置・活用状況（平成18年）

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	21	19	2	3
	(割合%)	87.5	79.2	8.3	12.5
非常ベル	認知事件数	8	3	5	16
	(割合%)	33.3	12.5	20.8	66.7
防犯カメラ	認知事件数	21	21	0	3
	(割合%)	87.5	87.5	0.0	12.5
カラーボール	認知事件数	7	0	5	17
	(割合%)	29.2	0.0	20.8	70.8
屋外赤色灯	認知事件数	6	3	3	18
	(割合%)	25.0	12.5	12.5	75.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】盛岡市におけるサラリーマン金融対象の持凶器強盗未遂事件（岩手）

1月30日、男（31）は、サラリーマン金融の店舗において、店員に包丁を突き付けて脅迫し、現金を強取しようとした（1月30日検挙）。

【事例2】敦賀市内におけるサラリーマン金融対象の強盗事件（福井）

8月24日、男（49）は、サラリーマン金融の店舗において、ペットボトルに入れたガソリン様の液体を撒き散らし、ライターを示して脅迫し、現金約15万円を強取した（8月24日検挙）。

ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

平成18年の深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件（注）の認知事件数は527件、検挙事件数は261件で、前年に比べ認知事件数が34件（6.1%）減少し、検挙事件数が76件（22.6%）減少している（図表4-1-(3)-13）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前3時から午前4時までが141件（26.8%）と最も多く、午前3時から午前5時までで全体の52.4%を占めている（図表4-1-(3)-14）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、防犯カメラの設置及び活用率は高くなっているが、非常通報装置、非常ベルやカラーボールの活用率はいずれも低い（図表4-1-(3)-15）。

注：「深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件」とは、午後10時から午前7時までの間に、営業しているコンビニエンスストアやスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行された強盗事件をいう。

図表4-1-(3)-13 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知事件数		137	308	340	394	527	468	742	680	561	527	-34	-6.1
検挙事件数		91	149	173	188	163	225	259	247	337	261	-76	-22.6
検挙率		66.4	48.4	50.9	47.7	30.9	48.1	34.9	36.3	60.1	49.5	-10.6	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-14 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の

発生時間帯別認知事件数（平成18年）

区分	時間									
	22時~	23時~	0時~	1時~	2時~	3時~	4時~	5時~	6時~	総数
認知事件数	20	20	24	39	79	141	135	59	10	527
割合(%)	3.8	3.8	4.6	7.4	15.0	26.8	25.6	11.2	1.9	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-15 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の防犯設備

設置・活用状況（平成18年）

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	364	184	177	163
	(割合%)	69.1	34.9	33.6	30.9
非常ベル	認知事件数	423	80	333	104
	(割合%)	80.3	15.2	63.2	19.7
防犯カメラ	認知事件数	527	470	57	0
	(割合%)	100.0	89.2	10.8	0.0
カラーボール	認知事件数	459	12	435	12
	(割合%)	87.1	2.3	82.5	2.3
屋外赤色灯	認知事件数	280	66	213	1
	(割合%)	53.1	12.5	40.4	0.2

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】那珂郡東海村における連続深夜スーパー対象持凶器強盗事件（茨城）

平成16年11月から平成18年2月にかけて、男（30）は、コンビニエンスストア2店舗において、4回にわたり、店員に刃物を突き付けて脅迫し、現金約17万円を強取した（2月22日検挙）。

【事例2】新潟県下における連続深夜スーパー対象持凶器強盗事件（新潟）

7月24日、男（32）は、村上市内のコンビニエンスストアにおいて、店員に包丁を突き付けて脅迫し、現金約55万円を強取した。男は、6月にも同様の手口で、胎内市内のコンビニエンスストアにおいて、現金約39万円を強取していた（9月1日検挙）。

エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件

平成18年のぱちんこ屋・まあじゃん屋等（注）を発生場所とする強盗事件の認知件数は36件で、前年に比べ15件（29.4%）減少している（図表4-1-(3)-16）

平成18年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後10時から午前0時までが10件（27.8%）と最も多い（図表4-1-(3)-17）。

注：「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とは、ぱちんこ店やまあじゃん店のほか、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

図表4-1-(3)-16 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移

年次 区分	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
											件数	率(%)
認知件数	63	76	71	66	77	95	110	44	51	36	-15	-29.4

注：強盗の認知件数の内、発生場所を「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とするものとした。

図表4-1-(3)-17 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数

（平成18年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知件数	3	3	1	0	0	6	2	1	0	6	4	10	0	36
割合(%)	8.3	8.3	2.8	0.0	0.0	16.7	5.6	2.8	0.0	16.7	11.1	27.8	0.0	100

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

【事例】船橋市内におけるぱちんこ屋対象持凶器強盗致傷事件（千葉）

2月20日、男（56）は、他の被疑者2人と共謀し、ぱちんこ屋において、従業員2人に対して、両名を刃物で切りつけるなどして傷害を負わせた上、けん銃や刃物を突きつけて脅迫し、現金を強取した（9月23日検挙）。

オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件

平成18年のぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数は37件で、前年に比べ5件（15.6%）増加している（図表4-1-(3)-18）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前10時から午後0時までが11件、全体の29.7%を、午後6時から午前0時までが16件、全体の43.2%を占めている（図表4-1-(3)-19）。

図表4-1-(3)-18 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知件数の推移

年次 区分	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
											件数	率(%)
認知件数	45	76	47	38	80	42	75	42	32	37	5	15.6
検挙件数	20	22	15	15	25	17	19	11	8	11	3	37.5
検挙率	44.4	28.9	31.9	39.5	31.3	40.5	25.3	26.2	25.0	29.7	4.7	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-19 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成18年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知事件数	0	0	0	0	4	11	1	3	2	4	5	7	0	37
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	29.7	2.7	8.1	5.4	10.8	13.5	18.9	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】福井市におけるぱちんこ景品買取所対象持凶器強盗事件（福井）

平成16年1月20日、男（46）は、ぱちんこ景品買取所において、女性従業員に刃物を突き付けて脅迫し、現金約385万円を強取した（4月18日検挙）。

【事例2】安芸郡海田町内のぱちんこ景品買取所対象持凶器強盗致傷事件（広島）

7月2日、男（67）は、金員を強取する目的で、ぱちんこ景品買取所に侵入し、女性従業員に対し、殺虫剤を噴射して羽交い締めにする暴行を加えて、傷害を与えた（7月2日検挙）。

カ 現金輸送車対象強盗事件

平成18年の現金輸送車対象強盗事件の認知事件数は6件で、前年に比べ3件（100.0%）増加している（図表4-1-(3)-20）。

図表4-1-(3)-20 現金輸送車対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
											件数	率(%)
認知件数	24	10	12	8	9	8	7	3	3	6	3	100.0
検挙件数	6	12	4	2	4	5	1	9	3	5	2	66.7
検挙率	25.0	120.0	33.3	25.0	44.4	62.5	14.3	300.0	100.0	83.3	-16.7	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】船橋市内における現金輸送車を対象とした強盗致傷事件（千葉）

2月3日、男（56）は、他の被疑者3人と共謀し、ビール園駐車場において、現金輸送車に現金を搬送中の警備員2人をけん銃や刃物で脅迫し、1人を刃物で刺して重傷を負わせ、現金約1,900万円等を強取した（8月22日検挙）。

【事例2】伊豆の国市内における現金輸送車対象けん銃使用強盗事件（静岡）

4月17日、男（50）は、他の被疑者2人と共謀し、ぱちんこ店駐車場において、現金輸送車に現金を搬送中の警備員2人にけん銃を発射するなどして脅迫し、現金約1,100万円を強取した（10月30日検挙）。

キ タクシー対象強盗事件

平成18年のタクシー対象強盗事件の認知事件数は178件で、前年に比べ18件（9.2%）減少している（図表4-1-(3)-20）。

平成18年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが42件（23.6%）と最も多く、午前0時から午前6時までで全体の64.6%を占めている（図表4-1-(3)-21）。

なお、強盗事件の認知事件における防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、防犯仕切板を設置した車両は全体の55.1%となっている（図表4-1-(3)-22）。

図表4-1-(3)-20 タクシー対象強盗事件の認知事件数の推移

年次 区分	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
						件数	率(%)
認知事件数	168	226	208	196	178	-18	-9.2
検挙事件数	80	113	120	104	116	12	11.5
検挙率	47.6	50.0	57.7	53.1	65.2	12.1	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-21 タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成18年）

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
認知事件数	37	42	36	6	4	4	3	4	3	8	7	24	0	178
割合(%)	20.8	23.6	20.2	3.4	2.2	2.2	1.7	2.2	1.7	4.5	3.9	13.5	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 22 防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成18年）

設置状況	区分	被害件数	負傷等あり			負傷等なし	
			死亡	重体	軽傷		
タクシー対象強盗の総数（件）		178	42	1	4	37	136
	防犯仕切板あり	98	14	1	3	10	84
	（割合％）	100.0	14.3	1.0	3.1	10.2	85.7
	防犯仕切板なし	80	28	0	1	27	52
	（割合％）	100.0	35.0	0.0	1.3	33.8	65.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例 1】鹿児島県大島郡におけるタクシー対象強盗殺人事件（鹿児島）

平成17年12月18日、男(30)は、乗車したタクシーの運転手を殺害して売上金を奪おうと企て、タクシー運転手の首を絞めて殺害した。男は、その翌日にも同様にタクシー運転手を殺害しようとしたが、傷害を負わせるにとどまった（1月10日検挙）。

【事例 2】呉市内におけるタクシー対象強盗殺人未遂事件（広島）

10月9日、男(37)は、タクシーを強取しようとして、客待ち中のタクシー運転手を引きずり出し、その運転手がタクシーにしがみついていることを認識した上でタクシーを走らせ、タクシーを強取し、運転手を殺害しようとした（10月9日検挙）。

(4) 主な性犯罪の状況

平成18年の強姦の認知件数は1,948件で、検挙件数は1,460件、検挙人員は1,058人で、前年に比べ、認知件数が128件(6.2%)、検挙人員が16人(1.5%)減少し、検挙件数が17件(1.2%)増加している。検挙率は74.9%で、前年に比べ5.4ポイント上昇している(図表4-1-(4)-1)。

また、平成18年の強制わいせつの認知件数は8,326件で、検挙件数は3,779件、検挙人員は2,254人で、前年に比べ、認知件数が425件(4.9%)、検挙件数が18件(0.5%)、検挙人員が32人(1.4%)それぞれ減少している。検挙率は45.4%で、前年に比べ2.0ポイント上昇している(図表4-1-(4)-2)。

認知した事件を発生時間帯別に見ると、強姦については午前0時から午前2時までが336件(17.2%)、強制わいせつについては午後10時から午前0時までが1,260件(15.1%)と、最も多くなっている(図表4-1-(4)-3)。

また、検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、盗難車以外の車両を利用したものが、強姦では510件(37.0%)、強制わいせつでは929件(25.5%)と最も多くなっている(図表4-1-(4)-4)。

図表4-1-(4)-1 強姦の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	-128	-6.2
検挙件数(件)		1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	17	1.2
検挙人員(人)		1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	-16	-1.5
検挙率(%)		88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	5.4ポイント	

図表4-1-(4)-2 強制わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	-425	-4.9
検挙件数(件)		3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	-18	-0.5
検挙人員(人)		1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	-32	-1.4
検挙率(%)		86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	2.0ポイント	

図表4-1-(4)-3 主な性犯罪の発生時間帯別認知件数の状況(平成18年)

	認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
強姦	1,948	336	323	184	79	40	57	59	103	114	146	193	298	16
強制わいせつ	8,326	1,125	657	368	372	393	284	338	507	724	1,042	1,215	1,260	41

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表4-1-(4)-4 主な性犯罪の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況(平成18年)

	総数	盗難車		盗難車以外					自転車	その他	徒歩・該当なし
		自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車	オートバイ			
強姦	1,379	31	3	400	4	11	73	22	84	30	721
強制わいせつ	3,646	79	15	728	7	16	83	95	348	33	2,242

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】福岡県における集団強姦事件（福岡）

平成17年11月15日、男(39)は、他の被疑者と共謀して、出会い系サイトを利用して知り合った少女をホテルに連れ込み、暴行脅迫を加えて共同して強姦した（4月2日検挙）。

【事例2】仙台市内等における連続強盗強姦等事件（宮城）

2月19日、男(38)は、水道管点検を装い、アパートの女性方に侵入し、刃物で脅迫して現金を強取した上、強姦しようとした。男は、2月から8月まで同様の犯行を繰り返していた（8月21日検挙）。

(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況

平成18年の略取誘拐・人身売買の認知件数は199件、検挙件数は180件、検挙人員は167人で、前年に比べ、認知件数が78件（28.2%）、検挙件数が24件（11.8%）、検挙人員が9人（5.1%）それぞれ減少している。検挙率は90.5%で、前年に比べ16.9ポイント上昇している（図表4-1-(5)-1）。

認知した事件を見ると、13歳未満の者を対象としたものが86件で、全体の43.2%を占めている（図表4-1-(5)-2）。

発生時間では、午後4時から午後6時までが42件と最も多く、全体の21.1%を占めている（図表4-1-(5)-3）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが114件（64.4%）となっている（図表4-1-(5)-4）。

被疑者の年齢別では、30歳代が53人（31.7%）と最も多く、次いで20歳代が40人（24.0%）となっている（図表4-1-(5)-5）。

また、平成18年の身の代金目的略取・誘拐事件の認知事件数は6件で、前年と同じである（図表4-1-(5)-6）。

図表4-1-(5)-1 略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		284	221	249	302	237	251	284	320	277	199	-78	-28.2
検挙件数(件)		279	211	244	272	211	215	231	232	204	180	-24	-11.8
検挙人員(人)		167	141	164	180	179	173	151	187	176	167	-9	-5.1
検 挙 率(%)		98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	16.9ポイント	

図表4-1-(5)-2 略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成18年）

	総数	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	199	21	65	59	46	6	1	1	0
(割合%)	100	10.6	32.7	29.6	23.1	3.0	0.5	0.5	0.0
男性	43	8	18	5	8	3	0	1	0
(割合%)	21.6	4.0	9.0	2.5	4.0	1.5	0.0	0.5	0.0
女性	156	13	47	54	38	3	1	0	0
(割合%)	78.4	6.5	23.6	27.1	19.1	1.5	0.5	0.0	0.0

図表 4 - 1 - (5) - 3 略取誘拐・人身売買事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成18年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
199	11	13	1	6	8	18	11	33	42	22	15	17	2

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 4 - 1 - (5) - 4 略取誘拐・人身売買事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成18年）

総数	盗難車		盗難車以外					自転車	その他	徒歩・該当なし
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車	オートバイ			
177	12	1	73	8	1	15	4	7	3	53

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表 4 - 1 - (5) - 5 略取誘拐・人身売買の被疑者の年齢・性別検挙人員の状況（平成18年）

	総数	14～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
検挙人員	167	16	40	53	22	27	9
(割合%)	100	9.6	24.0	31.7	13.2	16.2	5.4
男性	141	16	33	46	17	21	8
(割合%)	84.4	9.6	19.8	27.5	10.2	12.6	4.8
女性	26	0	7	7	5	6	1
(割合%)	15.6	0.0	4.2	4.2	3.0	3.6	0.6

図表 4 - 1 - (5) - 6 身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知事件数(件)		8	8	10	11	10	10	12	7	6	6	0	0.0
検挙事件数(件)		8	8	9	12	10	10	11	7	6	6	0	0.0
検挙人員(人)		45	22	24	23	24	35	24	24	21	21	0	0.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】仙台市内の病院における新生児被害の身の代金目的拐取等事件（宮城）

1月6日、男(54)は、他の被疑者2人と共謀して、病院内から生後11日目の新生児を連れ去り、同病院長に対し、身の代金を要求した（1月8日検挙）。

【事例2】東京都渋谷区における女子大生被害の身の代金目的拐取等事件（警視庁）

6月26日、男(29)は、他の被疑者2人と共謀して、被害者を車に押し込んで連れ去り、同人の親族に対し、身の代金を要求した（6月27日検挙）。

(6) 放火事件の状況

平成18年の放火の認知件数は1,759件で、検挙件数は1,337件、検挙人員は825人で、前年に比べ認知件数は145件（7.6%）、検挙件数は24件（1.8%）それぞれ減少し、検挙人員は34人（4.3%）増加している。検挙率は76.0%で、前年に比べ4.5ポイント上昇している（図表4-1-(6)-1）。

認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが283件と最も多く、全体の16.1%を占めている（図表4-1-(6)-2）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、自転車を利用したものが220件と最も多く、全体の17.3%を占めている（図表4-1-(6)-3）。

図表4-1-(6)-1 放火の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	-145	-7.6
検挙件数(件)		1,804	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	1,337	-24	-1.8
検挙人員(人)		749	693	750	789	783	815	866	867	791	825	34	4.3
検挙率(%)		93.2	87.4	84.4	78.7	76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	76.0	4.5ポイント	

図表4-1-(6)-2 放火の発生時間帯別認知件数の状況（平成18年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
1,759	256	283	130	69	92	93	96	129	150	145	135	174	7

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表4-1-(6)-3 放火の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成18年）

総数	盗難車		盗難車以外				自転車	その他	徒歩・該当なし	
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車				オートバイ
1,269	15	2	106	3	6	14	37	220	18	848

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】駅舎に対する放火事件（山口）

1月7日、男(74)は、下関市内の駅舎に放火し、同駅舎(約3,000m²)を全焼させた。(1月7日検挙)

【事例2】磯城郡田原本町内における放火殺人事件（奈良）

6月20日、少年(16)は自宅に放火し、就寝中の母親と弟妹を殺害した(6月22日検挙)。

2 重要窃盗犯

(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

平成10年以降急増していた重要窃盗犯（窃盗犯のうち、侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すりをいう。以下同じ。）の認知件数は、平成15年から減少に転じ、平成18年は28万2,047件で、すべての手口が大幅に減少したため、前年に比べ5万6,920件（16.8%）減少している（図表4-2-(1)）。

検挙件数は12万7,901件で、すり以外の全ての手口の検挙件数が減少したため、前年に比べ5,489件（4.1%）減少している。

検挙人員は1万8,098人で、すり以外の全ての手口の検挙人員が減少したため、前年に比べ621人（3.3%）減少している。

検挙率は45.3%で、前年に比べ5.9ポイント上昇している。検挙件数が減少する中、検挙率が上昇したのは、認知件数の大幅な減少によるものである

図表4-2-(1) 重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
重要窃盗犯	認知件数	305,328	330,369	367,174	423,281	443,502	478,476	469,148	407,929	338,967	282,047	-56,920	-16.8
	検挙件数	208,847	213,261	197,011	140,351	120,183	133,960	140,861	135,933	133,390	127,901	-5,489	-4.1
	検挙人員	24,213	24,533	24,533	22,126	22,493	22,425	22,596	20,600	18,719	18,098	-621	-3.3
	検挙率	68.4	64.6	53.7	33.2	27.1	28.0	30.0	33.3	39.4	45.3	5.9ポイント	
侵入盗	認知件数	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	-39,313	-16.1
	検挙件数	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824	-3,630	-3.5
	検挙人員	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	-130	-1.0
	検挙率	74.9	69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	49.1	6.4ポイント	
住宅対象	認知件数	113,782	123,863	134,492	154,074	161,883	189,336	190,473	170,991	142,945	120,023	-22,922	-16.0
	検挙件数	86,664	87,351	82,373	57,893	45,752	51,897	59,133	57,948	60,486	58,717	-1,769	-2.9
	検挙人員	5,688	5,813	5,755	5,275	5,144	5,241	5,318	5,209	4,875	4,830	-45	-0.9
	検挙率	76.2	70.5	61.2	37.6	28.3	27.4	31.0	33.9	42.3	48.9	6.6ポイント	
自動車盗	認知件数	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8
	検挙件数	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	-1,610	-10.8
	検挙人員	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	-310	-9.2
	検挙率	53.0	50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	36.9	5.0ポイント	
ひったくり	認知件数	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	-5,189	-16.2
	検挙件数	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090	-316	-3.0
	検挙人員	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	1,652	-199	-10.8
	検挙率	49.6	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	37.6	5.1ポイント	
すり	認知件数	22,181	21,019	21,928	24,526	25,691	24,590	25,338	19,198	15,446	13,698	-1,748	-11.3
	検挙件数	11,064	9,597	8,189	5,012	4,412	4,400	4,149	3,791	3,632	3,699	67	1.8
	検挙人員	972	953	967	813	770	796	836	970	938	956	18	1.9
	検挙率	49.9	45.7	37.3	20.4	17.2	17.9	16.4	19.7	23.5	27.0	3.5ポイント	

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

(2) 組織窃盗事件の状況

平成9年から平成18年までの間に、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件（注1）は528件であり、そのうち、特に重要な88件を、警察庁登録組織窃盗事件（注2）として登録している（図表4-2-(2)）。

警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例を見ると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団員等を主要なメンバーとしたものである。数人から100人近くの者で構成され、首魁の指揮の下、1事件ごとに数人単位のグループで犯罪を敢行し、メンバーを入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入窃盗や自動車盗等を敢行し、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車の車台番号等を改ざんして不正に輸出するなどしている。

注1：「組織窃盗」とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分などの各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

注2：平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

図表4-2-(2) 組織窃盗事件(登録・認定)数の推移

区分	年次	総数	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
													件数	率(%)
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)		528	65	57	56	49	43	43	64	58	49	44	-5	-10.2
		(88)	(6)	(9)	(13)	(9)	(7)	(11)	(9)	(9)	(9)	(6)	-3	-33.3
	終結事件数(件)	477	65	57	56	49	43	43	63	55	36	10		
		(81)	(6)	(9)	(13)	(9)	(7)	(11)	(9)	(9)	(7)	(1)		
	現在捜査中の事件数(件)	51	0	0	0	0	0	0	1	3	13	34		
		(7)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(5)		

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：()内は、警察庁登録組織窃盗事件の登録事件数を内数で示した。

注3：組織窃盗事件数、終結事件数及び現在捜査中の事件数は、平成18年12月末現在のものである。

【事例1】暴力団幹部らによる高級自動車を狙う広域組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第72号事件）（愛知）

平成15年1月から平成17年9月までの間、暴力団組織の運営資金や上納金等を得るため、暴力団幹部の男（34）を首魁として、暴力団組織の構成員や覚せい剤常習者らを集めて複数の窃盗グループを組織し、愛知県を中心に中部、関東において高級自動車及び貨物自動車を対象に次々に自動車盗を敢行し、暴力団関係者を経由等してパキスタン国籍の自動車販売ブローカーや自動車販売輸出業者等にも各々売却し、同輸出業者等が部品に解体した上、海外に不正輸出するなどして処分していた。

平成18年2月までに、5県下にわたる自動車盗、車上ねらい等窃盗約1,900件（首魁を含む被疑者46人、被害総額約9億5,500万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例2】不良中国人グループによる空き巣・車上ねらい・払出盗事件（警察庁登録組織窃盗第78号事件）
（警視庁・群馬・千葉・茨城・京都・兵庫・大阪）

平成12年8月から平成17年11月までの間、中国籍の男（34）らは、密入国の不法在留者らを中心に、日本人の運転手を雇い入れるなどして窃盗グループを組織し、関東、近畿等において、中高層マンションや一般住宅を対象として、空き巣等を敢行して、現金、パソコン、貴金属等を窃取し、同国籍の盗品買取ブローカー等に売却するなどしていたほか、車上ねらい等を敢行してキャッシュカード等を窃取し多額の払出盗を敢行していた。平成18年1月までに、11都府県にわたる忍込み・車上ねらい・払出盗等約1,000件（首魁を含む被疑者43人、被害総額約5億8,000万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例3】暴力団組員等による海外輸出及び国内流通を目的とする広域自動車盗事件（警察庁登録組織窃盗第79号事件）（京都・山口・福井・広島）

平成11年10月から平成17年11月までの間、韓国籍の暴力団関係の男（59）が首魁となり、暴力団組員、自動車販売業者等を仲間に入れ、自動車盗グループ、車台番号改ざん・車両運搬グループ、国内処分グループ等を構成するとともに、首魁自ら架空の貿易会社を立ち上げ、韓国への輸出に携わるなど高度に組織化された犯罪組織を構築して、広域的に自動車盗及びその処分を行っていた。

平成18年2月までに、8府県にわたる窃盗等約770件（首魁を含む被疑者56人、被害総額約8億円）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例4】窃盗常習者グループによる広域金庫破り等事件（山口）

平成14年9月から平成17年1月までの間、窃盗常習者の男（24）は、中学時代の同級生等を次々に、車両の運転手として巻き込み、レンタカーや航空機を利用し、大阪府内を中心に全国各地において、中高層ビルのテナントを狙い、金庫破り、事務所荒し等を常習的にかつ広域的に敢行していた。

平成18年1月までに、40都府県下にわたる金庫破り等窃盗約1,000件（被疑者14人、被害総額約1億7,000万円相当）を検挙し、事件を解決した。

(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件

平成18年の建設機械等を使用して現金自動支払機（ATM）等を収納ブースごと破壊した上、現金を窃取する窃盗事件の認知事件数は22件で、前年に比べ8件（26.7%）減少している（図表4-2-(3)）。

図表4-2-(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件の認知事件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
								件数	率(%)
認知事件数(件)		9	57	44	64	30	22	-8	-26.7
	うち未遂	8	31	32	39	16	11	-5	-31.3

注：本表は、実務統計による集計数値である。

3 特殊事件・事故

(1) 人質立てこもり事件

平成18年の人質立てこもり事件の認知事件数は3件で、前年と比べ4件(57.1%)減少している。
いずれも単独犯行で、被疑者を検挙している(図表4-3-(1))。

図表4-3-(1) 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次										増減	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件(人)数	率(%)
認知事件数(件)	7	5	7	5	6	12	14	17	7	3	-4	-57.1
検挙事件数(件)	7	5	7	5	6	12	14	17	7	3	-4	-57.1
検挙人員(人)	7	5	7	5	6	12	14	17	7	3	-4	-57.1

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】佐賀市内のコンビニエンスストアにおける人質立てこもり事件(佐賀)

7月14日、男(39)は、コンビニエンスストアに侵入し、女性アルバイト店員にはさみを突き付けるなどして立てこもった(7月14日検挙)。

【事例2】北九州市内における刃物使用人質立てこもり事件(福岡)

9月24日、男(22)は、別れ話を持ち出された交際中の女性方に押し掛け、同女にカッターナイフを突き付けるなどして立てこもった(9月24日検挙)。

【事例3】下益城郡城南町における銃器使用殺人未遂・人質立てこもり事件(熊本)

11月7日、男(58)は、元妻方に押し掛け、同女に千枚通しを突き付けるなどして連れ去り、男が所有する会社事務所に立てこもり、さらに、隙を見て逃げた同女及びかけつけた警察官に対して猟銃を発砲した(11月7日検挙)。

(2) 業務上過失致死傷事件・事故

【事例1】江府町内における列車轢過事故(鳥取)

1月24日、江府町内において、保線作業中の作業員が、通過列車に轢過され、3人が死亡、1人が負傷した。

【事例2】港区内におけるエレベーター事故(警視庁)

6月3日、港区内の高層住宅において、男子高校生がエレベーターから降りようとしたところ、ドアが開いたままの状態エレベーターが上昇し、カゴ部と外枠部との間に挟まれ死亡した。

【事例3】ふじみ野市内におけるプール事故（埼玉）

7月31日、ふじみ野市内の市営プールにおいて、小学女子児童が吸水口に吸い込まれ死亡した。同プールを管理する市役所体育課及び管理委託を受けた警備会社が吸水口の蓋をボルトで固定するなどの安全措置を怠ったとして、業務上過失致死罪でふじみ野市役所職員ら6人を検挙した（11月16日検挙）。

4 構造的な不正事案等

(1) 政治・行政をめぐる不正事案

平成18年の政治・行政をめぐる不正事案（公職選挙法違反事件を除く。）の検挙事件数は119件で、前年に比べ35件（41.7%）増加している（図表4-4-(1)-1）。

図表4-4-(1)-1 政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数

区分	年次										増減	
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	件数	率(%)
贈収賄	89	71	67	64	85	73	55	72	65	74	9	13.8
談合・競争入札害	29	15	13	20	20	15	12	11	17	42	25	147.1
あっせん利得処罰法違反	-	-	-	-	-	1	0	0	1	2	1	100.0
政治資金規正法違反	1	1	2	1	1	4	1	0	1	1	0	0.0
合計	119	87	82	85	106	93	68	83	84	119	35	41.7

注：本表は、実務統計による集計数値である。統計中に、公職選挙法違反事件は含まない。

ア 贈収賄事件

平成18年における贈収賄事件の検挙事件数は74件、検挙人員は208人で、市長らによる公共工事発注をめぐる贈収賄事件等の社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】新富町長らによるバイオマス利活用フロンティア整備事業をめぐる贈収賄事件（宮崎）

平成17年7月ころ、新富町長（63）は、家畜排泄物利活用施設の建設を内容とするバイオマス利活用フロンティア整備事業に関し、建設予定地区における住民対策等について有利かつ便宜な取り計らいを受けたいなどの趣旨で供与されるものであることを知りながら、有機肥料の製造販売業者（63）から現金50万円の供与を受けた（1月9日検挙）。

【事例2】元大阪府教育監らによる非常勤講師採用をめぐる贈収賄事件（大阪）

平成16年4月ころ、元大阪府教育委員会事務局教育監（61）は、学校法人の理事長から、同人の孫が府立学校の非常勤講師に採用されるよう有利かつ便宜な取り計らいをしてほしい旨の請託を受けて府立学校校長にその旨依頼するなどし、その謝礼等の趣旨で供与されるものであることを知りながら、仕立券付き紳士服地1着分（35万円相当）の供与を受けた（2月11日検挙）。

【事例3】大川市議会議員らによる公共工事発注をめぐるあっせん収賄事件（福岡）

平成14年7月ころ、大川市議会議員（56）は、土木工事業者から、同市が指名競争入札により発注予定であった公共工事に関し、同市市長等に依頼して同工事の設計金額を教示してもらえるようにあっせんしてほしい旨の請託を受け、その謝礼等の趣旨で供与されるものであることを知りながら、現金60万円の供与を受けた（5月15日検挙）。

【事例4】かすみがうら市長らによる公共工事発注をめぐる贈収賄事件（茨城）

平成17年1月ころから同年11月ころまでの間、かすみがうら市長（75）は、建設業者から、同市が発注する公共工事の指名競争入札に際し、落札業者に選定するなどして工事受注の便宜を図ってもらいたい旨の請託を受け、その謝礼等の趣旨で供与されるものであることを知りながら、2回にわたり現金100万円の供与を受けた（5月21日検挙）。

【事例5】元国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所副所長らによる測量等業務委託をめぐる贈収賄事件（警視庁）

平成15年4月ころから平成17年3月ころまでの間、元国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所副所長（57）は、測量業者から、同事務所が発注する測量業務等の指名競争入札に関し、有利かつ便宜な取り計らいを受けたいなどの趣旨で供与されるものであることを知りながら、30数回にわたり、飲食、旅行、ゴルフ等（合計約480万円相当）の接待を受けた（6月6日検挙）。

【事例6】大阪拘置所刑務官らによる被収容者の規律維持等をめぐる贈収賄事件（大阪）

平成16年7月ころ、法務事務官看守（37）は、拘置所に収容中の暴力団組長らから、拘置所内の処遇に関し、有利かつ便宜な取り計らいを受けたいなどの趣旨で供与されるものであることを知りながら、観光券、宿泊費（合計約25万円相当）、乗用車1台等の供与を受けた（8月19日検挙）。

【事例7】成田市長らによる清掃工場運転管理業務委託をめぐる贈収賄事件（千葉）

平成17年1月ころから平成18年3月ころまでの間、成田市長（64）は、同市発注に係る清掃工場の運転管理業務委託契約に関し、同契約の発注方法を同社との随意契約とするとともに、発注金額を同社の希望金額とするなどの請託を受け、その謝礼等の趣旨で供与されるものであることを知りながら、数回にわたり、現金1,200万円の供与を受けた（12月2日検挙）。

イ 談合・競売入札妨害事件

平成18年における談合・偽計入札妨害事件の検挙事件数は42件で、検挙人員は275人である。

【事例1】豊富村発注の公共工事をめぐる談合事件（山梨）

平成15年12月ころ、建設会社代表取締役（66）らは、共謀の上、公正な価格を害する目的で、村発注の管路施設工事の指名競争入札に際して事前に落札者を決定し同社に落札させる旨の協定をするなど談合した（1月19日）。その後、本件に関して、豊富村長らを公共工事発注をめぐる贈収賄事件で検挙した（2月9日検挙）。

【事例2】宮崎県知事らによる設計業務委託等をめぐる談合事件（宮崎）

平成17年6月ころから平成18年7月ころまでの間、宮崎県知事（65）は、平成17年及び18年に県が発注した土木設計業務委託等に係る指名競争入札に際し、特定業者の受注に便宜を図るため、県出納長や幹部職員らに対し、この特定業者に優先的受注権を与える旨を伝え、県出納長らはこの特定業者に知事の意向を伝えた。同業者は指名業者間の談合において知事の意向を示し、有利な価格で落札した（12月8日検挙）。

ウ あっせん利得処罰法違反事件

平成18年におけるあっせん利得処罰法違反事件の検挙事件数は2件で検挙は7人である。

【事例1】庄内町議会議員らによる公共工事発注をめぐるあっせん利得処罰法違反事件（福岡）

平成16年3月ころから同年4月ころまでの間、庄内町議会議員（61）は、町が発注する浄水場膜処理施設の実設計及び機械設備工事に関し、水道施設工事業者から、同社を入札参加業者に指名するなど、同町担当職員等に働きかけてほしい旨の請託を受けてこれを承諾し、同町担当職員に町議会議員としての権限に基づく影響力を行使して、同年9月ころ、その報酬として現金700万円の供与を受けた（2月10日検挙）。

【事例2】貝塚市議らによる雨水幹線付帯工事発注をめぐるあっせん利得処罰法違反事件（大阪）

平成16年8月ころ、貝塚市議会議員（62）は、同市が発注した雨水管敷設工事に関し、受注業者から、設計書上は不要とされた防音ハウスについて新たに市の予算措置を講じた上、同業者に発注するよう同市担当職員に働きかけてほしい旨の請託を受けてこれを承諾し、同市担当職員に市議会議員としての権限に基づく影響力を行使して、平成17年2月ころ、その報酬として現金300万円の供与を受けた（7月4日検挙）。

エ 公職選挙法違反・政治資金規正法違反事件

市町村合併に伴い一般地方選挙が多数施行され、立候補者等を検挙している。

【事例1】穴水町長選挙における落選候補者らによる現金・物品買収事件（石川）

平成17年12月ころ、落選候補者(60)は、選挙運動者数人に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数十万円を供与するとともに、選挙運動者と共謀の上、1月ころ、選挙人十数人に対し、同様の趣旨の下、それぞれ数千円相当の物品を供与した（1月26日検挙）。

【事例2】氷川町議会議員選挙（合併に伴う選挙）における当選候補者らによる物品買収事件（熊本）

1月ころ、当選候補者(64)は、選挙運動者数十人に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ数万円から10万円相当の物品を供与した（2月9日検挙）。

【事例3】南丹市長選挙（合併に伴う選挙）における当選候補者らによる物品・供応買収事件（京都）

平成17年7月ころ、当選候補者（63）は、選挙運動者と共謀の上、選挙人十数人に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ数千円相当の物品を供与するとともに、同年8月ころ、選挙人十数人に対し、同様の趣旨の下、それぞれ約1万円相当の酒食の供応接待をした（2月20日検挙）。

【事例4】上田市議会議員選挙（合併に伴う選挙）における当選候補者らによる現金買収事件（長野）

3月ころ、当選候補者(56)は、選挙運動者十数人に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数万円を供与した（4月11日検挙）。

【事例5】阿南市議会議員選挙（合併に伴う選挙）における落選候補者らによる現金買収事件（徳島）

4月ころ、落選候補者(64)は、選挙運動者と共謀の上、選挙人数十人に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数万円を供与した（5月3日検挙）。

【事例6】秩父市議会議員選挙（合併に伴う選挙）における当選候補者らによる現金買収事件（埼玉）

4月ころ、当選候補者(68)は、選挙運動者数人と共謀の上、選挙人数十人に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数千円から数万円を供与した（6月22日検挙）。

【事例7】横浜市幹部職員らによる政治資金規正法違反事件（神奈川）

平成17年11月ころ、市役所幹部職員(54)は、同市元職員等と共謀の上、同市職員数十人に対し、その地位を利用して部下職員に政治資金パーティーに対価を支払って参加することを求めること及び政治活動に関する寄附を求めることを求めた（7月25日検挙）。

【事例 8】 沖縄市議会議員選挙における市役所幹部職員による公務員の地位利用事件（沖縄）

7月ころから9月ころまでの間、市役所幹部職員(58)は、その地位を利用し、同市が保護費を給付し、又は保護費の給付に関する相談を受けている選挙人6人に対し、特定候補者への投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動を依頼した（9月20日検挙）。

【事例 9】 遠野市議会議員選挙における当選候補者による物品・現金買収事件（岩手）

10月ころ、当選候補者（56）は、選挙運動者と共謀の上、選挙人数人に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ数千円相当の物品を供与するとともに、同月ころ、選挙人1人に対して、同様の趣旨で現金100万円を供与した（11月14日検挙）。

オ 公務員犯罪

平成18年における公務員犯罪については、町長らによる虚偽公文書作成・同行使事件等を検挙している。

【事例】 東伊豆町長らによる虚偽公文書作成・同行使事件（静岡）

平成17年9月ころ、東伊豆町長（65）は、公共工事の発注に際して最低制限価格を設定し、同価格で業者に落札させているとの疑惑を指摘され、町議会において「事務検査に関する決議」が議決したため、その追及を逃れようと企て、最低制限価格欄を削除するなどした虚偽の文書を作成し、行使した（1月22日検挙）。

(2) 経済をめぐる不正事案

ア 企業犯罪

平成18年における企業犯罪については、財団法人理事長らによる市営駐車場受託経営をめぐる業務上横領事件等社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例 1】 財団法人理事長らによる市営駐車場受託経営をめぐる業務上横領事件（大阪）

平成15年4月ころから平成17年3月ころまでの間、駐車場の管理・運営等を行う財団法人の理事長（72）らは、大阪市開発公社との業務委託契約に基づいて保管・管理中の市営駐車場の売上金を、前後67回にわたり合計約1億3,000万円を横領した（5月8日検挙）。

【事例2】学校法人元理事長らによる背任事件（北海道）

平成13年8月ころから同年10月ころまでの間、学校法人の元理事長（57）らは、同学校法人が経営する学園の校舎外装補修工事について施工業者と共謀し、工事金額に元理事長の自宅改修工事費用約5,000万円を上乗せした約1億3,000万円を支払い、学校法人に財産上の損害を与えた（2月28日検挙）。

【事例3】環境ビジネス法人代表らによる補助金交付をめぐる詐欺及び株式会社設立をめぐる電磁的公正証書原本不実記録・同供用事件（宮城）

平成17年4月ころから6月ころまでの間、産業廃棄物処理コンサルティング会社の代表取締役（37）らは、県の補助金対象事業である廃棄物の発生抑制・リサイクル関連技術開発事業のための機械装置費用などの名目で虚偽の事業実績報告書等を作成し、県から1,000万円を騙し取った上、同補助金を「見せ金」にして株式会社の設立登記をしようと企て、同年6月ころ、リサイクル事業の研究・開発会社設立時に発行する株式の代金として同社の口座に1,000万円が振り込まれたように装って、銀行から株式払込金保管証明書を取得し、法務局において株式会社の設立登記申請をして公正証書原本に不実の登記をさせた（2月2日検挙）。

【事例4】公共職業安定所に対する教育訓練給付金支給をめぐる詐欺事件（愛知）

平成14年7月ころから平成15年2月ころまでの間、資格取得講習会等を主催する会社の代表取締役（57）らは、厚生労働大臣から教育訓練講座の指定を受けた「パソコン検定合格講座（通信クラス）」についてその実態がないにもかかわらず、受講者が経費を支払って受講し同講座を修了したかのように装って、公共職業安定所に教育訓練給付金の支給を申請し、平成14年7月ころから平成15年3月ころまでの間、422名分合計約9,000万円を口座に振り込ませて騙し取った（7月28日検挙）。

【事例5】通貨オプションを活用した投資名下の多額詐欺事件（警視庁）

平成17年3月ころから同年6月ころまでの間、資産運用コンサルタント会社の代表取締役（43）は、通貨オプションを活用した投資名下に金員を騙し取ろうと企て、顧客数人に対し、為替取引によって利益を生む金融商品が存在するかのようになり向けて、合計約3億1,900万円を騙し取った（10月26日検挙）。

イ 金融関連犯罪

(ア) 金融・不良債権関連事犯

平成18年における金融・不良債権関連事犯の検挙事件数は127件で、前年に比べ11件増加している。検挙事件数の内訳を見ると、前年に比べ「融資過程における事件」は12件増加、「債権回収過程における事件」は20件減少、「その他の金融機関の役職員による事件」は19件増加となっている（図表4-4-(2)）。

図表4-4-(2) 金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移

年次 区分	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
											件数	率(%)
融資過程	21 (2)	23 (11)	33 (18)	28 (19)	44 (27)	25 (9)	29 (13)	20 (11)	20 (12)	32 (14)	12 (2)	60.0 16.7
債権回収過程	87 (77)	107 (74)	103 (84)	117 (98)	93 (74)	73 (63)	75 (63)	52 (43)	47 (38)	27 (21)	-20 (-17)	-42.6 -44.7
その他の金融 機関役員	64 (0)	84 (0)	62 (0)	71 (0)	65 (0)	75 (3)	63 (0)	72 (1)	49 (1)	68 (1)	19 (0)	38.8 -
合計	172 (79)	214 (85)	198 (102)	216 (117)	202 (101)	173 (75)	167 (76)	144 (55)	116 (51)	127 (36)	11 (-15)	9.5 -29.4

注：本表は、実務統計による集計数値である。()内は、「暴力団等に係る金融・不良債権関連事犯」を示す。

a 融資過程における金融・不良債権関連事犯

平成18年における金融・不良債権関連事犯のうち、融資過程における詐欺事件等を32件検挙している。

【事例】都市銀行に対するビジネスローン借入名下の多額詐欺等事件（警視庁）

平成16年4月ころから同年10月ころまでの間、会社役員（58）らは、経営実態を伴わない会社の名称を用いて都市銀行から金員を騙し取ろうと企て、銀行に対して虚偽の決算報告書及び確定申告書等を示してビジネスローンの借入申込みを行い、同社が融資金の返済能力を有すると誤信させて融資を決定させ、現金約1億1,300万円を騙し取った（1月21日検挙）。

b 債権回収過程における金融・不良債権関連事犯

平成18年における金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関の債権回収過程における詐欺事件等を27件検挙している。

【事例】RCC債権者による根抵当権の抹消による詐欺事件（京都）

平成15年2月ころから同年3月ころまでの間、寝装品販売会社代表取締役（69）らは、同社が所有し、株式会社整理回収機構（RCC）が債権の担保として極度額2億8,800万円とする第一順位の根抵当権を設定した土地に関し、売買取引により得た代金を弁済することを条件に根抵当権を抹消することをRCCが承認していることを奇貨として、真実の一部の土地、建物を関連会社に所有権移転して継続使用し、他の土地、建物については約1億8,000万円で他社に売買するつもりであるのに、約8,500万円で購入する旨の虚偽の不動産売買契約書を示してRCCを誤信させ、根抵当権抹消に同意させた上、法務局において同根抵当権登記を抹消させて財産上不法の利益を得た（1月11日検挙）。

c その他の金融機関役職員による金融・不良債権関連事犯

平成18年における金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関役職員による詐欺、業務上横領等（a及びbで挙げた事例を除く）を68件検挙している。

【事例】都市銀行元支店長代理による電子計算機使用詐欺事件（警視庁）

平成14年4月ころ、都市銀行支店長代理（43）は、自己が勤務する支店のオンライン記帳端末機を操作し、同行ビジネスセンターのホストコンピュータに対して、自己が開設した仮名預金口座2つに各2,000万円の入金があった旨の虚偽情報を与え、合計4,000万円の財産上不法の利益を得た（5月11日検挙）。

(1) その他の金融関連犯罪

平成18年におけるその他の金融関連犯罪については、元大証第二部上場企業代表取締役らによる仮装増資（電磁的公正証書原本不実記録）事件等を検挙している。

【事例1】元大証第二部上場会社代表取締役らによる仮装増資（電磁的公正証書原本不実記録）事件（大阪）

平成17年4月ころから同年5月ころまでの間、元大証第二部上場会社代表取締役（53）らは、あらかじめ金融会社から8億円を借り入れたうえで総額8億円の新株予約権付社債を発行し、同社債のすべてを海外の投資会社が購入して新株を取得したように装って口座に入金し、同年6月ころ、資本金増資の変更登記を申請して公正証書原本に不実の記録をさせた。

代表取締役らは、増資登記に必要な銀行の払込金保管証明書を取得後、上記8億円を社外に流出させて借金返済に充てるなどした上、増資した株を売却して売却益を得ていた（2月25日検挙）。

【事例2】有価証券取引会社代表取締役らによる未公開株売買代金名下の詐欺及び証券取引法違反（無登録営業）事件（大阪）

平成17年11月ころから平成18年1月ころまでの間、有価証券販売会社の代表取締役（40）らは、内閣総理大臣の登録を受けずに未公開株を売買し利益を得ようと企て、顧客に対して証券取引所等への上場が決定していない未公開株について、「まもなく上場し、値上がり確実である。」等と嘘を言い、株券代金として顧客数人から合計約700万円を騙し取った（3月2日検挙）。

【事例3】投資顧問会社役員らによる未公開株売買代金名下の広域詐欺及び組織犯罪処罰法違反事件（警視庁）

平成13年2月ころから同15年9月ころまでの間、投資顧問会社の代表取締役（64）らは、証券取引所等への上場が決定していない未公開株について、「まもなく上場し、値上がり確実である。」等と嘘を言い、株券代金として顧客数人から合計約2億円を騙し取るなどの組織的詐欺行為を行った（5月23日検挙）。

(3) 通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪

ア 通貨偽造犯罪

平成18年における通貨偽造罪等の検挙事件数は38件、検挙人員は63人である。また、平成18年中、届出等により警察が押収した偽造日本銀行券の枚数（発見枚数）は、4,288枚である（図表4 - 4 - (3)）。

図表4 - 4 - (3) 偽造日本銀行券の発見枚数の推移

	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平18
一万円券	3,207	6,815	6,138	8,828(3)	5,714(315)	3,293(1,088)
五千円券	1,274	754	1,097	1,007(1)	557 (16)	249(81)
二千円券	4	5	99	11	7	10
千円券	3,128	12,637	9,576	16,012(3)	5,925(148)	736(319)
合 計	7,613	20,211	16,910	25,858(7)	12,203(479)	4,288(1,488)
5百円貨幣	3,232	2,092	2,625	1,590	20,034	960

注：本表は、実務統計による集計数値である。

数値は、警察が届出等により押収したとして、警察庁に報告のあった枚数。平成16年以降の括弧内の数値は、新券の偽造券の枚数を内数で示している。

【事 例】広域にわたる旧1万円券大量輸入及び同行使事件（福岡、警視庁、三重、富山、群馬）

8月ころ、自称金融コンサルタント業者（71）は、中国から偽造旧1万円券約2,000枚を輸入し、知人等と共謀の上、同年9月ころにかけて福岡県、東京都等1都4県において、金融機関に預け入れるなどして行使した（9月23日検挙）。

イ その他の知能犯罪

平成18年における一般知能犯罪については、財団法人日本スケート連盟元会長らによる背任及び業務上横領事件等を検挙している。

【事例1】労働組合書記らによる業務上横領事件（警視庁）

平成11年6月ころから平成12年7月ころまでの間、労働組合書記（43）らは、自己が保管・管理する組合名義の通帳、銀行印等を使用して金員を横領することを企て、前後17回にわたり、同通帳、印鑑等を使用して組合に無断で開設した別口座に振込送金等の手続をし、合計約1億8,000万円を着服横領した（3月2日検挙）。

【事例2】元総合リース支店長らによる架空割賦売買契約による多額詐欺事件（大分）

平成12年11月ころ、総合リース会社の元支店長（41）らは、共謀の上、架空取引に伴うクレジット契約によって不法に現金を得ようと企て、真実はクレジット契約の対象となる取引が存在しないのに、パソコン等の売買があった旨の虚偽の売買契約書等を作成し、同社にクレジット契約による代金支払いを請求して現金約2,600万円を騙し取った（4月5日検挙）。

【事例3】財団法人日本スケート連盟元会長らによる背任及び業務上横領事件（警視庁）

平成12年8月ころから平成16年3月ころまでの間、日本スケート連盟元会長（75）らは、同連盟が主催する大会の旅行費用を水増しして利益を得ることを企て、旅行手配業者と共謀の上、正規の経費に自己利得分の金額約2,300万円を上乗せして請求させ、連盟に財産上の損害を与えた（10月3日検挙）。

5 風俗犯の認知・検挙状況

(1) 強制わいせつの認知・検挙状況

強制わいせつの認知・検挙状況については、第4-1-(4)「主な性犯罪の状況」を参照。

(2) 公然わいせつの認知・検挙状況

平成18年の公然わいせつの認知件数は2,602件で、前年に比べ182件(7.5%)増加している。検挙件数は1,999件、検挙人員は1,715人で、前年に比べ、検挙件数が258件(14.8%)、検挙人員が213人(14.2%)それぞれ増加している(図表4-6-(2))。

図表4-5-(2) 公然わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,290	1,250	1,212	1,554	1,771	2,052	2,422	2,391	2,420	2,602	182	7.5
うちショーによるもの		29	10	12	7	5	22	52	11	10	14	4	40.0
検挙件数(件)		1,261	1,217	1,163	1,377	1,438	1,573	1,706	1,669	1,741	1,999	258	14.8
うちショーによるもの		28	10	11	5	4	9	14	8	7	14	7	100.0
検挙人員(人)		1,143	1,096	1,102	1,179	1,261	1,371	1,456	1,451	1,502	1,715	213	14.2
うちショーによるもの		95	79	85	15	16	16	29	21	14	56	42	300.0

【事例】いわゆるキャバクラ店経営者らによる公然わいせつ事件(大阪)

キャバクラ店経営者(49歳)らは、平成18年11月、同店において、飲食客に対し、キャバクラ嬢をして陰部を露出し観覧させ、公然とわいせつな行為をした。(11月9日までに検挙)

(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況

平成18年のわいせつ物頒布等の認知件数は795件で、前年に比べ102件(14.7%)増加している。検挙件数は770件、検挙人員は913人で、前年に比べ、検挙件数が99件(14.8%)、検挙人員が99人(12.2%)それぞれ増加している(図表4-6-(3))。

図表4-5-(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		471	670	597	557	454	392	375	522	693	795	102	14.7
検挙件数(件)		473	669	596	552	451	393	364	502	671	770	99	14.8
検挙人員(人)		673	881	755	742	592	483	432	590	814	913	99	12.2

【事 例】インターネット利用によるわいせつ図画公然陳列、同販売等事件（神奈川）

無職の男性（39歳）は、平成17年10月から平成18年2月までの間、わいせつDVDの販売宣伝用に、わいせつ画像を都内のサーバコンピュータに蔵置し、不特定多数の者が閲覧可能な状態を設定し、もってわいせつ図画を公然と陳列するとともに、インターネットオークションを利用して、同年2月、わいせつDVDを販売した。（6月19日までに検挙）

(4) 賭博の認知・検挙状況

平成18年の賭博の認知件数は209件で前年に比べ12件（5.4%）減少している。検挙件数は204件、検挙人員は1,379人で、前年に比べ、検挙件数が9件（4.2%）減少し、検挙人員が392人（22.1%）減少している（図表4-6-(4)）。

図表4-5-(4) 賭博の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		604	515	293	278	290	300	208	249	221	209	-12	-5.4
うち遊技機使用賭博		257	227	107	150	112	95	82	133	117	91	-26	-22.2
検挙件数(件)		604	515	291	278	290	300	202	243	213	204	-9	-4.2
うち遊技機使用賭博		262	227	108	150	113	95	81	127	111	90	-21	-18.9
検挙人員(人)		3,253	3,372	2,327	1,905	2,077	1,928	1,725	1,422	1,771	1,379	-392	-22.1
うち遊技機使用賭博		1,662	1,583	632	989	933	873	638	709	816	564	-252	-30.9

【事例1】海外からのインターネットを利用した組織的常習賭博事件（京都）

会社役員(41歳)らは、平成17年6月から平成18年2月までの間、インターネットカフェを仮装した店において、同店のパソコンをフィリピンのインターネットカジノのサーバに接続し、客を相手にバカラ等の賭博をした。同役員ら15人を常習賭博で賭客5人を賭博で検挙するとともに、売上げ等の犯罪収益約1億7,000万円を没収及び追徴等により剥奪した。（6月3日までに検挙）

【事例2】自称カジノ店における賭博場開張図利事件（大阪）

自称カジノ店経営者(44歳)らは、1月24日、同店においてバカラ台等を設置して賭博場を開張し、不特定多数の客にバカラ賭博をさせた。胴元側2人、賭客2人を逮捕するとともに、賭金約212万円、バカラ台2台等を押収した（1月24日までに検挙）。

6 その他の特徴的な犯罪

(1) 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚せい剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者をいう。以下同じ。）による刑法犯の検挙人員は、平成8年以降増加傾向にあったが、平成16年は前年に比べ4.0%減少した。平成17年は前年に比べ13.6%増加するも、平成18年は934人で、前年に比べ169人（15.3%）減少している（図表4-6-(1)-1）。

平成18年に殺人、強盗等の凶悪犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものは75人で、前年に比べ15人（16.7%）、暴行、傷害等の粗暴犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものが172人で、前年に比べ33人（16.1%）ともに減少している（図表4-6-(1)-2）。

図表4-6-(1)-1 薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												人数	率(%)
薬物常用者		818	879	958	993	985	954	1,011	971	1,103	934	-169	-15.3
覚せい剤等常用者		598	615	729	774	772	745	802	823	973	817	-156	-16.0
有機溶剤等乱用者		220	264	229	219	213	209	209	148	130	117	-13	-10.0

注1：覚せい剤等常用者とは、覚せい剤、麻薬、大麻又はあへん及び向精神薬を常用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

注2：有機溶剤等乱用者とは、トルエン等の有機溶剤又はこれらを含むシンナー、接着剤等を常習的に乱用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

図表4-6-(1)-2 薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												人数	率(%)
検挙人員		818	879	958	993	985	954	1,011	971	1,103	934	-169	-15.3
凶悪犯		60	74	74	85	92	84	69	84	90	75	-15	-16.7
殺人		6	18	16	20	20	22	12	16	19	11	-8	-42.1
強盗		31	25	38	40	49	40	38	45	51	53	2	3.9
放火		9	9	9	12	12	10	10	5	8	4	-4	-50.0
強姦		14	22	11	13	11	12	9	18	12	7	-5	-41.7
粗暴犯		146	141	159	204	210	157	177	184	205	172	-33	-16.1
暴行		11	18	24	21	19	15	17	24	32	32	0	0.0
傷害		85	75	83	109	111	96	95	94	102	98	-4	-3.9
脅迫		7	4	8	19	11	11	9	8	6	4	-2	-33.3
恐喝		43	44	44	55	69	35	55	58	65	36	-29	-44.6
凶器準備集合		0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	-
窃盗犯		422	472	531	470	482	497	507	466	526	472	-54	-10.3
その他		190	192	194	234	201	216	258	237	282	215	-67	-23.8

(2) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

銃器使用事件（注1）の認知件数は年々増加傾向にあったが、平成17年は前年に比べ20.3%減少し、平成18年にあっても366件と、前年に比べ46件（11.2%）減少している。

このうちけん銃使用の強盗は96件で、前年に比べ5件（5.5%）増加している（図表4-6-(2)-1）。

刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数は、年々増加していたが、平成17年に減少に転じ、平成18年にあっても6,604件で、前年に比べ992件（13.1%）減少している（図表4-6-(2)-2）。

また、平成18年における殺人及び強盗事件で銃器、刀剣類・刃物類を使用した事件の割合は、殺人事件では銃器使用が1.8%、刀剣類・刃物類使用が54.5%、強盗事件では銃器使用が2.2%、刀剣類・刃物類使用が31.8%となっている（図表4-6-(2)-3）。

図表4-6-(2)-1 銃器使用事件の認知件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
認知件数		321	339	327	350	396	375	405	517	412	366	-46	-11.2
うちけん銃使用		210	221	229	230	264	251	242	289	207	189	-18	-8.7
殺人		42	53	42	43	56	47	51	42	24	23	-1	-4.2
うちけん銃使用		40	49	40	36	50	43	45	36	21	21	0	0.0
強盗		114	117	137	140	171	151	126	134	111	111	0	0.0
うちけん銃使用		90	92	108	115	142	128	99	126	91	96	5	5.5
強姦		11	8	5	8	1	5	8	7	3	2	-1	-33.3
うちけん銃使用		4	5	4	5	1	3	7	6	3	2	-1	-33.3
暴行		17	22	25	21	21	19	39	44	42	36	-6	-14.3
うちけん銃使用		1	6	2	3	1	4	7	12	6	4	-2	-33.3
傷害		26	26	21	26	30	30	29	33	20	13	-7	-35.0
うちけん銃使用		9	7	10	6	3	7	10	7	4	3	-1	-25.0
脅迫		26	18	13	17	13	20	19	26	24	11	-13	-54.2
うちけん銃使用		15	8	12	10	6	15	11	19	18	9	-9	-50.0
恐喝		19	19	18	23	14	18	13	21	14	12	-2	-14.3
うちけん銃使用		11	10	12	16	11	8	7	15	9	10	1	11.1
強制わいせつ		5	1	4	4	4	1	4	3	4	4	0	0.0
うちけん銃使用		3	1	3	2	1	0	4	2	4	1	-3	-75.0
器物損壊		32	45	38	39	48	63	91	141	121	96	-25	-20.7
うちけん銃使用		15	24	18	15	20	26	34	35	23	20	-3	-13.0
その他		29	30	24	29	38	21	25	66	49	58	9	18.4
うちけん銃使用		22	19	20	22	29	17	18	31	28	23	-5	-17.9

注1：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のものをいう。なお、銃器使用事件のうち、「けん銃使用」とは、けん銃及びけん銃様のものを使用した事件をいい、また、けん銃様のものとは、けん銃らしきものを突き付け、見せるなどして犯行に及ぶ事件において、被害者、参考人等の供述により銃器と推定されるものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは、平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (2) - 2 刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移

罪種	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		認知件数											件数
殺人		738	711	651	720	701	732	747	712	718	713	-5	-0.7
強盗		866	1,189	1,444	1,500	1,997	1,990	2,373	2,366	1,992	1,625	-367	-18.4
強姦		185	267	232	204	278	271	291	249	237	179	-58	-24.5
暴行		181	213	143	245	242	322	333	405	362	321	-41	-11.3
傷害		879	892	801	949	905	990	995	1,048	967	823	-144	-14.9
脅迫		219	222	215	335	421	437	474	534	613	607	-6	-1.0
恐喝		273	254	239	225	286	284	282	318	210	159	-51	-24.3
強制わいせつ		174	139	244	322	352	352	388	330	261	210	-51	-19.5
器物損壊		551	506	528	688	816	1,304	1,167	2,736	1,866	1,676	-190	-10.2
その他		151	129	129	149	176	170	201	413	370	291	-79	-21.4

注1：刀剣類・刃物類を使用した事件とは、「日本刀」、「その他の刀剣類」、「包丁類」及び「その他の刃物類」を使用したものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (2) - 3 殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数

区分	年次	平17		平18		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
殺人		1,392	100.0	1,309	100.0	-83	-6.0
銃器使用		24	1.7	23	1.8	-1	-4.2
刀剣類・刃物類使用		718	51.6	713	54.5	-5	-0.7
その他・不明		650	46.7	573	43.8	-77	-11.8
強盗		5,988	100.0	5,108	100.0	-880	-14.7
銃器使用		111	1.9	111	2.2	0	0.0
刀剣類・刃物類使用		1,992	33.3	1,625	31.8	-367	-18.4
その他・不明		3,885	64.9	3,372	66.0	-513	-13.2

注：「その他・不明」には、犯罪供用物が銃器、刀剣類・刃物類以外のもの、不明のもの及び犯罪供用物なしが含まれる。

平成18年に猟銃等（散弾銃、ライフル銃及び空気銃）を使用した事件は7件発生した。

このうち駐車中のミニパトカーに向けて散弾銃を発射した器物損壊が1件、散弾銃又はライフル銃を発射する等して脅迫した暴力行為が4件、殺人未遂が1件、強盗が1件であった（図表4 - 6 - (2) - 4）。

図表4 - 6 - (2) - 4 猟銃等使用事件の発生状況

年次	区分	平17	平18	増減	
				件数	率(%)
発生件数(件)		9	7	-2	-22.2
殺人(未遂を含む。)		4	1	-3	-75.0
強盗		0	1	1	-
その他		5	5	0	0.0

注1：事件の発生件数については、警察庁に報告のあったもの。

注2：数値は、刑法犯（暴力行為等処罰ニ関スル法律違反を含む。）のみを計上している。

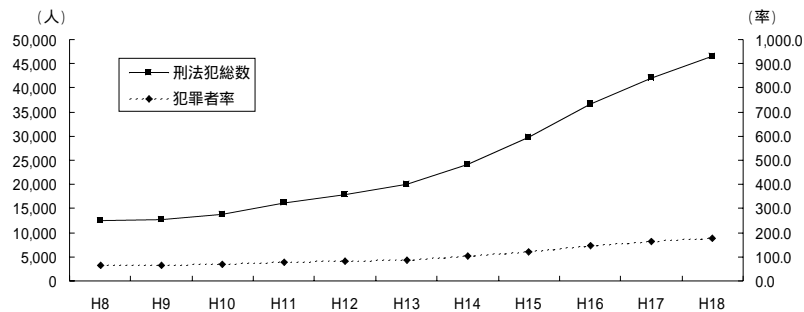
(3) 高齢者による犯罪

平成18年における高齢者（65歳以上）に係る刑法犯の検挙人員は4万6,637人で、前年に比べ4,529人（10.8%）増加した。中でも、増加人員の多いものとして窃盗、占有離脱物横領、暴行がある。

平成18年における高齢者に係る窃盗の検挙人員は2万9,953人で、前年に比べ2,620人（9.6%）増加しており、窃盗全体の83.7%を占める万引きの検挙人員は2万5,060人で、前年に比べ1,808人（7.8%）増加した。また、暴行についてみると、1,472人で、前年に比べ591人（67.1%）増加している（図表4-6-(3)）。

なお、平成18年における高齢者の犯罪者率（人口10万人当たりの検挙人員をいう。）は、他の年齢層に比べて最も低いが、平成9年と比べると2.7倍となっている。

図表4-6-(3) 高齢者の刑法犯検挙人員の推移



区分	年次											増減	
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	人員(人)	率(%)
刑法犯総数	12,423	12,818	13,739	16,156	17,942	20,113	24,241	29,797	36,696	42,108	46,637	4,529	10.8
凶悪犯	125	153	195	192	234	242	272	316	321	308	338	30	9.7
うち)殺人	79	94	113	106	118	119	140	144	164	138	152	14	10.1
うち)強盗	13	26	41	40	56	57	61	83	84	95	101	6	6.3
粗暴犯	306	389	453	445	762	973	1,245	1,480	1,714	2,142	2,781	639	29.8
うち)暴行	76	101	97	115	204	275	348	488	598	881	1,472	591	67.1
うち)傷害	196	234	279	281	474	601	769	834	965	1,074	1,086	12	1.1
窃盗犯	8,968	9,517	10,272	11,910	13,352	14,619	17,377	20,218	24,204	27,333	29,953	2,620	9.6
うち)万引き	7,241	7,921	8,651	10,077	11,651	12,840	15,174	17,456	20,667	23,252	25,060	1,808	7.8
知能犯	396	444	460	489	548	586	702	742	826	921	1,089	168	18.2
うち)詐欺	269	298	331	353	387	441	509	581	640	705	878	173	24.5
風俗犯	214	176	174	149	195	186	248	247	258	313	321	8	2.6
その他の刑法犯	2,414	2,139	2,185	2,971	2,851	3,507	4,397	6,794	9,373	11,091	12,155	1,064	9.6
うち)占有離脱物横領	2,225	1,874	1,956	2,729	2,464	2,968	3,761	5,928	8,215	9,730	10,739	1,009	10.4
うち)器物損壊等	39	64	59	70	107	148	182	210	260	315	325	10	3.2
犯罪者率	65.3	64.5	67.0	76.3	81.4	87.9	102.6	122.6	147.5	164.5	175.3	11	6.6

注1：犯罪者率とは、人口10万人当たりの検挙人員をいう。

注2：犯罪者率算出に用いた人口は、総務省統計局の推計人口及び国勢調査人口（各年10月1日現在）である。

(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪

ア カードの窃盗被害の状況

平成18年における窃盗事件で被害品にキャッシュカードが含まれているものの認知件数は11万4,671件、同じくクレジットカードは7万5,112件であり、手口別に見ると、キャッシュカードは車上ねらいが3万2,481件(28.3%)、置引きが2万4,776件(21.6%)、ひったくりが1万1,957件(10.4%)となっており、クレジットカードは車上ねらいが2万1,282件(28.3%)、置引きが1万5,045件(20.0%)、ひったくりが8,387件(11.2%)となっている(図表4-6-(4)-1)。

図表4-6-(4)-1 カードの窃盗被害の状況(平成18年)

犯罪類型	区分	キャッシュカード		クレジットカード		消費者金融カード		プリペイドカード		
		件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	
窃盗		114,671	100.0	75,112	100.0	2,004	100.0	5,486	100.0	
	侵入窃盗	11,189	9.8	7,033	9.4	143	7.1	663	12.1	
	住宅対象侵入窃盗	8,969	7.8	5,922	7.9	117	5.8	397	7.2	
	その他	2,220	1.9	1,111	1.5	26	1.3	266	4.8	
	非侵入窃盗	102,853	89.7	67,566	90.0	1,840	91.8	4,750	86.6	
	ひったくり	11,957	10.4	8,387	11.2	119	5.9	302	5.5	
	すり	7,443	6.5	6,108	8.1	52	2.6	282	5.1	
	置引き	24,776	21.6	15,045	20.0	376	18.8	993	18.1	
	車上ねらい	32,481	28.3	21,282	28.3	883	44.1	1,480	27.0	
	仮睡者ねらい	4,879	4.3	3,406	4.5	103	5.1	94	1.7	
	脱衣場ねらい	3,372	2.9	2,320	3.1	33	1.6	141	2.6	
	その他	17,945	15.6	11,018	14.7	274	13.7	1,458	26.6	
	乗り物盗		629	0.5	513	0.7	21	1.0	73	1.3

注1:「住宅対象侵入窃盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

注2:統計上、1件の被害に対し、3品まで被害品を計上できる。

イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況

カード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の平成18年における認知件数は395件で、前年に比べ168件（29.8%）減少している。検挙件数は319件で、前年に比べ183件（36.5%）、検挙人員は121人で、前年に比べ158人（56.6%）それぞれ減少している（図表4-6-(4)-2）。

図表4-6-(4)-2 カード偽造犯罪の認知・検挙状況

区分	年次	平17	平18	増減	
				件(人)数	率(%)
総計	認知件数	563	395	-168	-29.8
	検挙件数	502	319	-183	-36.5
	検挙人員	279	121	-158	-56.6
支払用カード電磁的記録不正作出 (第163条の2第1項)	認知件数	30	17	-13	-43.3
	検挙件数	3	18	15	500.0
	検挙人員	3	2	-1	-33.3
不正作出支払用カード電磁的記録供用 (第163条の2第2項)	認知件数	272	181	-91	-33.5
	検挙件数	249	155	-94	-37.8
	検挙人員	50	31	-19	-38.0
不正電磁的記録カードの譲り渡し、 貸渡し、輸入(第163条の2第3 項)	認知件数	8	11	3	37.5
	検挙件数	7	8	1	14.3
	検挙人員	8	5	-3	-37.5
不正電磁的記録カード所持 (第163条の3)	認知件数	216	80	-136	-63.0
	検挙件数	214	77	-137	-64.0
	検挙人員	181	63	-118	-65.2
支払用カード電磁的記録不正取得 (第163条の4第1項前段)	認知件数	10	95	85	850.0
	検挙件数	3	52	49	1633.3
	検挙人員	3	8	5	166.7
支払用カード電磁的記録不正提供 (第163条の4第1項後段)	認知件数	1	0	-1	-100.0
	検挙件数	0	0	0	-
	検挙人員	1	0	-1	-100.0
支払用カード不正記録情報保管 (第163条の4第2項)	認知件数	12	5	-7	-58.3
	検挙件数	12	5	-7	-58.3
	検挙人員	15	10	-5	-33.3
支払用カード不正作出器械、原料準 備 (第163条の4第3項)	認知件数	14	6	-8	-57.1
	検挙件数	14	4	-10	-71.4
	検挙人員	18	2	-16	-88.9

注：刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪の保護対象となるカードとは、クレジットカードその他の代金又は料金の支払用のカード及び預貯金の引出用のカードである。代金又は料金の支払用カードとは、クレジットカード（代金後払い）、プリペイドカード（前払い）、デビットカード（預貯金の即時振替払い）等、商品の購入等の取引の対価を現金で支払うのに代え、所定のシステムにより代金を支払うために用いるカードをいう。

ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況

平成18年における不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカード、クレジットカード、消費者金融カードを利用して、ＡＴＭ（ＣＤ含む。）から現金を窃取する犯罪（払出盗）の認知件数は4,950件で、現金被害総額は23億1,004万9千円となっている（図表４－６－（４）－３）。

なお、ＡＴＭから現金を払出す際に必要となる暗証番号を推知する手口として、自動車運転免許証等の生年月日等から暗証番号を類推するもの、ＡＴＭを利用する者の背後から暗証番号をのぞき見るもの、警察官等を装い暗証番号を聞き出すものや、最近では隠しカメラを設置して暗証番号を盗み取るものがあり、また、電磁的記録の情報を取得する手口として、ゴルフ場・銭湯等の貴重品ボックスから不正に入手したカードをスキミングする方法が見られる。

また、平成18年におけるキャッシュカードやクレジットカード等のカードを使用した詐欺事件の認知件数は1,337件で、被害金総額は1億7,745万9千円となっている（図表４－６－（４）－４）。

図表４－６－（４）－３ カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成18年）

区分	種別	計			
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	
認知件数		4,950	3,549	757	644
現金被害総額（千円）		2,310,049	1,814,632	290,858	204,559

図表４－６－（４）－４ カードを使用した詐欺の状況（平成18年）

区分	種別	計				
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	プリペイドカード	
認知件数		1,337	6	1,245	64	22
被害金総額（千円）		177,459	259	143,003	22,156	12,041

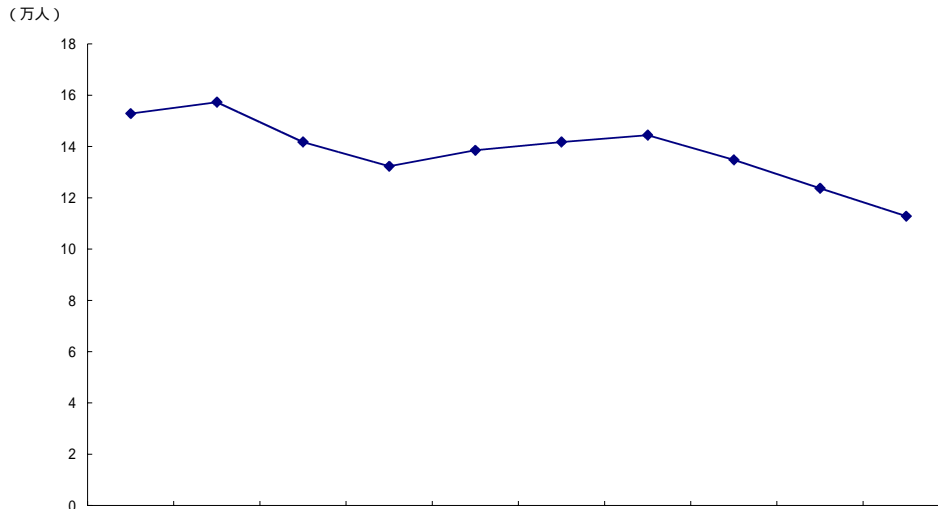
7 少年による犯罪

(1) 少年の刑法犯検挙状況

平成18年における少年の刑法犯検挙人員は11万2,817人で、前年に比べ10,898人(8.8%)減少している。

罪種別で見ると、凶悪犯は271人(18.8%)、粗暴犯は641人(6.1%)、窃盗犯は8,510人(12.0%)減少し、知能犯は134人(11.6%)増加している。人口比は、前年に比べ1.1ポイント減少した(図表4-7-(1))。

図表4-7-(1) 少年の刑法犯検挙人員の推移



区分	年次										増減数	増減率
	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18		
刑法犯総数	152,825	157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	112,817	-10,898	-8.8
凶悪犯	2,263	2,197	2,237	2,120	2,127	1,986	2,212	1,584	1,441	1,170	-271	-18.8
殺人	74	115	110	105	99	80	93	57	67	69	2	3.0
強盗	1,675	1,538	1,611	1,638	1,670	1,586	1,771	1,273	1,146	892	-254	-22.2
放火	113	89	90	81	103	90	106	103	86	103	17	19.8
強姦	401	455	426	296	255	230	242	151	142	106	-36	-25.4
粗暴犯	17,981	17,321	15,930	19,691	18,416	15,954	14,356	11,439	10,458	9,817	-641	-6.1
凶器準備集合	356	160	138	126	408	250	340	239	68	127	59	86.8
暴行	2,095	1,650	1,418	2,009	1,915	1,794	1,714	1,608	1,532	1,505	-27	-1.8
傷害	9,092	9,306	8,596	10,687	10,102	9,140	8,110	6,408	6,103	5,919	-184	-3.0
脅迫	77	78	68	157	149	154	127	111	139	149	10	7.2
恐喝	6,361	6,127	5,710	6,712	5,842	4,616	4,065	3,073	2,616	2,117	-499	-19.1
窃盗犯	97,836	99,768	86,561	77,903	81,260	83,300	81,512	76,637	71,147	62,637	-8,510	-12.0
うちひったくり	1,568	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	834	-191	-18.6
うち万引き	48,313	50,944	39,429	36,779	38,804	40,511	38,648	38,865	36,450	30,161	-6,289	-17.3
知能犯	628	715	561	584	526	632	784	1,240	1,160	1,294	134	11.6
うち詐欺	555	641	492	510	449	559	672	1,077	1,030	1,186	156	15.1
風俗犯	486	434	409	429	410	347	425	344	383	346	-37	-9.7
うち強制わいせつ	353	301	314	344	321	256	331	253	282	242	-40	-14.2
その他の刑法犯	33,631	36,950	36,023	31,609	35,915	39,556	45,115	43,603	39,126	37,553	-1,573	-4.0
うち占有離脱物横領	30,349	33,212	32,072	27,110	30,965	34,263	38,547	37,194	32,326	30,528	-1,798	-5.6
人口比	16.1	16.9	15.6	14.9	16.0	16.7	17.5	16.8	15.9	14.8	-1.1	-

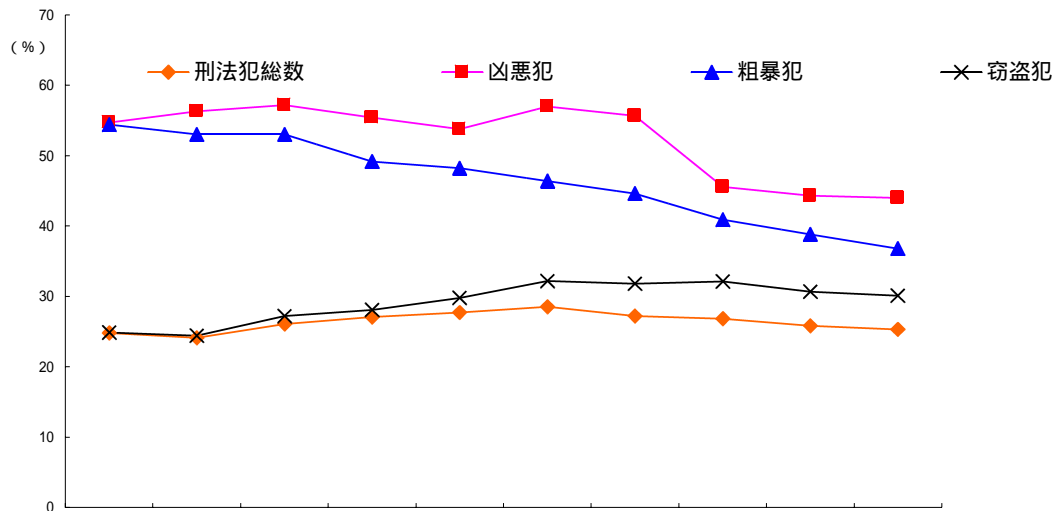
人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員をいう。

(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成18年における少年の刑法犯検挙件数に占める共犯率は25.3%で、前年に比べ0.5ポイント減少している。

共犯率の高い凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯については、凶悪犯は0.3ポイント、粗暴犯は2.0ポイント、窃盗犯は0.6ポイント、それぞれ低下した（図表4-7-(2)）。

図表4-7-(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	増減率
刑法犯総数		199,254	199,430	176,875	137,333	136,602	139,942	140,045	130,779	116,909	107,419	-9,490	-8.1
	うち共犯 (共犯率%)	49,458 24.8	47,981 24.1	46,194 26.1	37,233 27.1	37,781 27.7	39,901 28.5	38,104 27.2	34,994 26.8	30,190 25.8	27,136 25.3	-3,054	-10.1
凶悪犯		1,234	1,072	1,052	986	1,039	1,091	1,146	895	763	677	-86	-11.3
	うち共犯 (共犯率%)	675 54.7	604 56.3	602 57.2	546 55.4	559 53.8	622 57.0	638 55.7	408 45.6	338 44.3	298 44.0	-40	-11.8
粗暴犯		9,984	9,656	9,399	11,423	10,347	9,114	8,498	7,129	6,638	6,239	-399	-6.0
	うち共犯 (共犯率%)	5,432 54.4	5,113 53.0	4,986 53.0	5,625 49.2	4,987 48.2	4,227 46.4	3,786 44.6	2,914 40.9	2,574 38.8	2,299 36.8	-275	-10.7
窃盗犯		155,500	153,702	132,467	95,027	91,261	92,153	87,379	80,862	72,145	64,601	-7,544	-10.5
	うち共犯 (共犯率%)	38,788 24.9	37,507 24.4	36,025 27.2	26,745 28.1	27,222 29.8	29,682 32.2	27,786 31.8	25,996 32.1	22,120 30.7	19,430 30.1	-2,690	-12.2

注1：共犯率とは、刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合をいい、少年と成人との共犯事件は含まれていない。

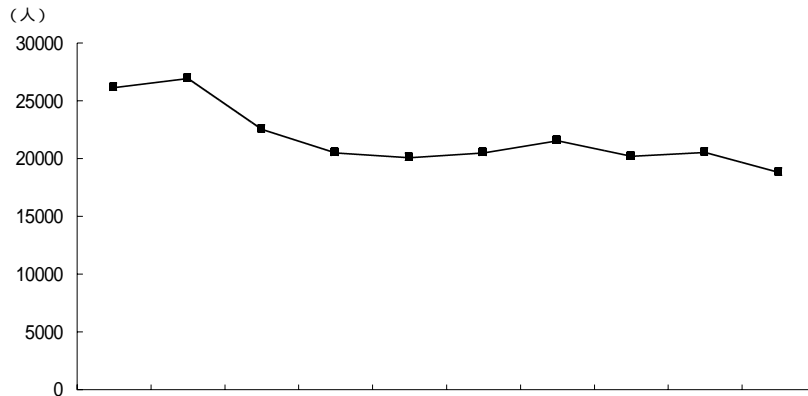
注2：グラフは、共犯率を示したものである。

(3) 触法少年の補導状況

平成18年の触法少年（刑法）の補導人員は1万8,787人で、前年に比べ1,732人(8.4%)減少している。

罪種別で見ると、粗暴犯は157人(9.7%)、窃盗犯は1,391人(10.4%)、その他の刑法犯は214人(4.1%)減少したが、凶悪犯は23人(11.4%)、知能犯は6人(10.5%)、風俗犯は1人(0.9%)増加している。人口比は、前年に比べ0.4ポイント減少した(図表4-7-(3))。

図表4-7-(3) 触法少年（刑法）の補導状況



区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減数	増減率
刑法犯総数		26,125	26,905	22,503	20,477	20,067	20,477	21,539	20,191	20,519	18,787	-1,732	-8.4
凶悪犯		167	182	173	174	165	144	212	219	202	225	23	11.4
殺人		1	2	1	0	10	3	3	5	6	4	-2	-33.3
強盗		26	28	33	30	25	25	29	28	26	20	-6	-23.1
放火		132	147	127	129	125	102	166	179	159	194	35	22.0
強姦		8	5	12	15	5	14	14	7	11	7	-4	-36.4
粗暴犯		1,525	1,455	1,507	1,869	1,696	1,613	1,467	1,301	1,624	1,467	-157	-9.7
凶器準備集合		5	2	12	21	0	0	22	1	2	18	16	800.0
暴行		208	197	234	359	312	310	295	354	437	382	-55	-12.6
傷害		535	608	648	815	824	817	707	588	799	764	-35	-4.4
脅迫		4	8	8	21	18	13	34	30	26	27	1	3.8
恐喝		773	640	605	653	542	473	409	328	360	276	-84	-23.3
窃盗		20,745	21,493	16,968	14,840	14,128	14,257	14,448	13,710	13,336	11,945	-1,391	-10.4
うちひったくり		204	236	221	211	174	156	145	110	93	79	-14	-15.1
うち万引き		13,562	14,674	10,424	8,983	8,524	8,673	8,468	8,353	7,961	6,743	-1,218	-15.3
知能犯		24	32	21	30	37	31	39	46	57	63	6	10.5
うち詐欺		21	32	18	25	33	31	28	29	32	38	6	18.8
風俗犯		108	95	81	95	110	131	132	116	116	117	1	0.9
うち強制わいせつ		98	93	77	90	105	125	121	108	109	112	3	2.8
その他の刑法犯		3,556	3,648	3,753	3,469	3,931	4,301	5,241	4,799	5,184	4,970	-214	-4.1
うち占有離脱物横領		2,509	2,628	2,773	2,287	2,682	2,825	3,592	3,184	3,403	3,107	-296	-8.7
人口比		4.6	4.9	4.2	4.0	4.0	4.2	4.4	4.2	4.3	3.9	-0.4	-

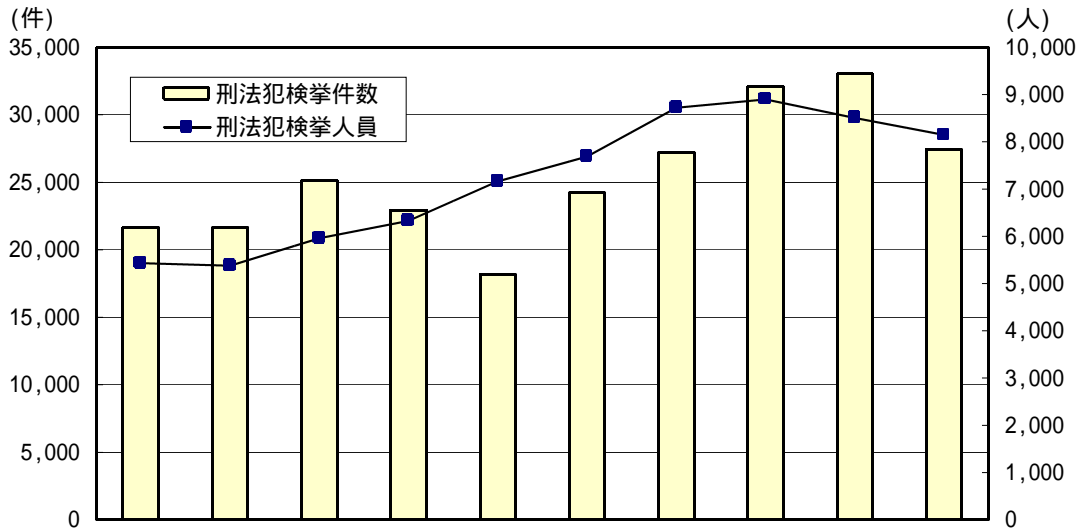
人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員をいう。

8 来日外国人による犯罪

(1) 刑法犯の検挙状況

平成18年における来日外国人に係る刑法犯の検挙件数、検挙人員はそれぞれ27,453件、8,148人で、年間の検挙件数が過去最多を記録した前年に比べ、件数で5,584件（16.9%）、人員で357人（4.2%）減少した（図表4-8-(1)）。

図表4-8-(1) 来日外国人の刑法犯検挙状況の推移



	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	増減率
刑法犯検挙件数	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	27,453	-5,584	-16.9%
刑法犯検挙人員	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	8,148	-357	-4.2%

(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況

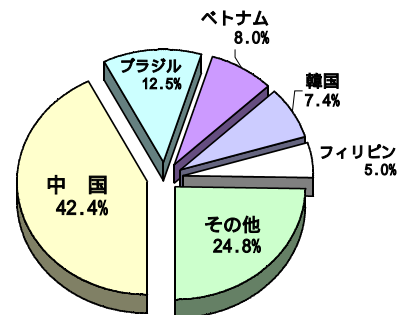
平成18年における刑法犯の国籍・地域別検挙状況をみると、検挙件数では中国（台湾、香港等を除く。以下同じ。）が10,095件（構成比36.8%）、次いでトルコが4,391件（同16.0%）、ブラジルが4,068件（同14.8%）となっており、検挙人員では中国が3,452人（同42.4%）、次いでブラジルが1,016人（同12.5%）、ベトナムが650人（同8.0%）となっている（図表4-8-(2)-1、2）。

図表4-8-(2)-1 国籍・地域別検挙状況

	刑法犯検挙件数	
	件数	構成比
総数	27,453	100%
中国	10,095	36.8%
トルコ	4,391	16.0%
ブラジル	4,068	14.8%
ロシア	2,121	7.7%
韓国	1,725	6.3%
その他	5,053	18.4%

図表4-8-(2)-2 検挙人員構成比

	刑法犯検挙人員	
	人員	構成比
総数	8,148	100%
中国	3,452	42.4%
ブラジル	1,016	12.5%
ベトナム	650	8.0%
韓国	600	7.4%
フィリピン	407	5.0%
その他	2,023	24.8%



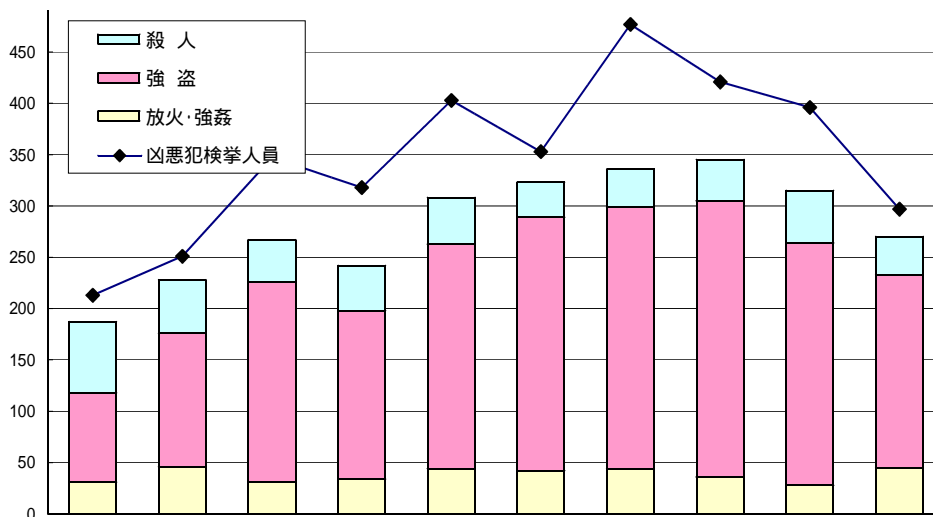
「中国」に「台湾」、「香港等」は含まない。

(3) 凶悪犯の検挙状況

平成18年における凶悪犯（殺人、強盗、放火及び強姦）の検挙件数、検挙人員は、270件、297人で、前年と比べ、件数で45件、人員で99人減少した。

凶悪犯の大半を占める強盗の検挙件数、検挙人員は、188件、216人で、件数で48件、人員で103人減少した（図表4-8-(3)）。

図表4-8-(3) 来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移



		平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	増減率
凶悪犯検挙	件数	187	228	267	242	308	323	336	345	315	270	-45	-14.3%
	人員	213	251	347	318	403	353	477	421	396	297	-99	-25.0%
殺人	件数	69	52	41	44	45	34	37	40	51	37	-14	-27.5%
	人員	83	62	50	54	59	41	61	52	52	42	-10	-19.2%
強盗	件数	87	130	195	164	219	247	255	269	236	188	-48	-20.3%
	人員	103	160	278	236	309	280	369	338	319	216	-103	-32.3%
放火	件数	14	3	12	6	10	7	13	10	9	23	14	155.6%
	人員	11	3	1	6	11	7	13	9	4	18	14	350.0%
強姦	件数	17	43	19	28	34	35	31	26	19	22	3	15.8%
	人員	16	26	18	22	24	25	34	22	21	21	0	0.0%

【事例1】 ペルー人による殺人事件（5月・警視庁）

3月17日、豊島区内のマンションで日本人男性が殺害され、現金や貴金属が奪われた上、室内に放火された事件で、5月10日、被害者が経営していた風俗店でアルバイトをしていたペルー人1人を、強盗殺人及び現住建造物等放火で逮捕した。

【事例2】 中国人グループによる連続持凶器緊縛強盗事件（10月・警視庁、宮城、茨城、埼玉、千葉、青森）

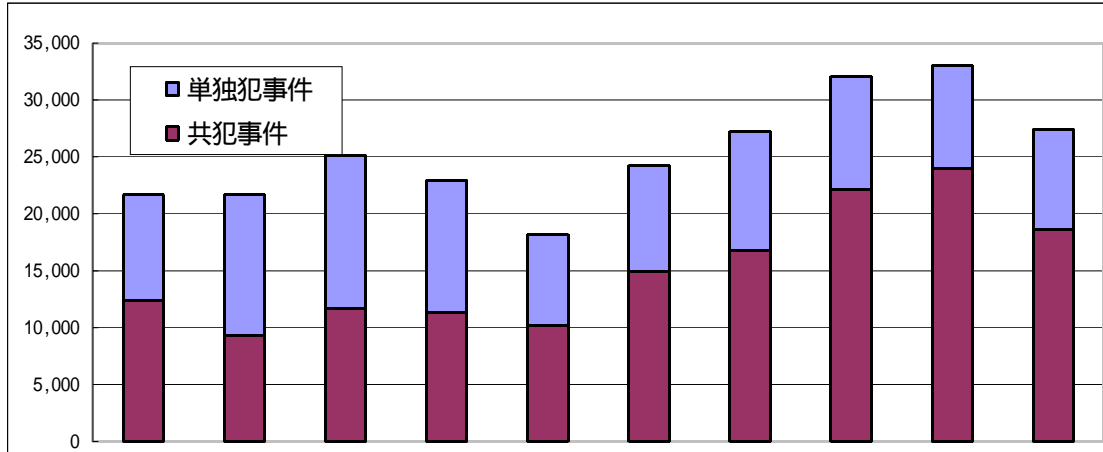
平成16年7月ころから、東京に拠点を置く不良中国人グループが、首魁被疑者の指揮の下、実行犯メンバーを入れ替えながら、関東から東北の広域にわたり、一般住宅やエステ店、会社事務所等を対象に、緊縛強盗等を敢行していた事件で、10月までに、被疑者17人（中国14、日本3）を逮捕し、10件の緊縛強盗事件を解明した。

(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成18年における刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合は、67.9%で、前年に比べ、4.7ポイント減少しているものの、日本人の検挙件数に占める共犯事件の割合（17.5%）と比べても、一層の組織化の進展がうかがわれる。

罪種別に見ると、窃盗犯（77.3%）、強盗（51.1%）での共犯率が高く、特に住宅対象の侵入窃盗（87.8%）の共犯率が高い（図表4-8-(4)-1、2）。

図表4-8-(4)-1 来日外国人の刑法犯検挙件数に占める「共犯事件」の推移



	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減
刑法犯検挙件数	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	27,453	-5,584
単独犯事件	9,262	12,340	13,476	11,584	8,022	9,339	10,438	9,936	9,048	8,816	-232
共犯事件	12,408	9,349	11,659	11,363	10,177	14,919	16,820	22,151	23,989	18,637	-5,352
構成比	57.3%	43.1%	46.4%	49.5%	55.9%	61.5%	61.7%	69.0%	72.6%	67.9%	-4.7P

図表4-8-(4)-2 刑法犯検挙件数 罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）

	合計	来日外国人					日本人					
		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上	合計	単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上
刑法犯	27,453	8,816	18,637	4,669	8,742	5,226	587,884	485,239	102,645	68,647	18,149	15,849
	構成比	32.1%	67.9%	17.0%	31.8%	19.0%	構成比	82.5%	17.5%	11.7%	3.1%	2.7%
凶悪犯	270	169	101	30	27	44	6,430	5,376	1,054	540	265	249
	構成比	62.6%	37.4%	11.1%	10.0%	16.3%	構成比	83.6%	16.4%	8.4%	4.1%	3.9%
うち強盗	188	92	96	26	27	43	2,766	1,917	849	427	208	214
	構成比	48.9%	51.1%	13.8%	14.4%	22.9%	構成比	69.3%	30.7%	15.4%	7.5%	7.7%
窃盗犯	23,137	5,242	17,895	4,339	8,550	5,006	376,154	298,829	77,325	54,617	13,893	8,815
	構成比	22.7%	77.3%	18.8%	37.0%	21.6%	構成比	79.4%	20.6%	14.5%	3.7%	2.3%
うち侵入盗	8,692	1,121	7,571	1,514	2,520	3,537	89,809	72,596	17,213	11,112	3,668	2,433
	構成比	12.9%	87.1%	17.4%	29.0%	40.7%	構成比	80.8%	19.2%	12.4%	4.1%	2.7%
うち住宅対象	7,945	973	6,972	1,204	2,433	3,335	49,260	42,543	6,717	4,870	853	994
	構成比	12.2%	87.8%	15.2%	30.6%	42.0%	構成比	86.4%	13.6%	9.9%	1.7%	2.0%
その他	4,046	3,405	641	300	165	176	205,300	181,034	24,266	13,490	3,991	6,785
	構成比	84.2%	15.8%	7.4%	4.1%	4.3%	構成比	88.2%	11.8%	6.6%	1.9%	3.3%

注：来日外国人と日本人との共犯事件は、主たる被疑者の国籍等によりそれぞれ計上。

(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況

平成18年における刑法犯検挙人員に占める不法滞在者の割合は13.2%と前年に比べ、2.1ポイント減少した。凶悪犯全体でみると297人中95人で32.0%、そのうち強盗では216人中82人で38.0%、侵入強盗では98人中57人で58.2%となっているほか、偽造等の知能犯（41.6%）で高い割合を示している。また、窃盗犯全体で見ると4,205人中613人で14.6%と低い割合であるが、侵入窃盗では、441人中256人で58.0%と不法滞在者の割合が依然として高くなっている（図表4 - 8 - (5)）。

図表4 - 8 - (5) 来日外国人 罪種等別・在留資格別 検挙人員の比較

	刑 法 犯													
	凶悪犯	殺人	強盗	うち 侵入強盗	放火	強姦	粗暴犯	窃盗犯	うち侵入盗	知能犯	風俗犯	その他		
平成18年	検挙人員	8,148	297	42	216	98	18	21	894	4,205	441	538	96	2,118
	正規滞在	7,073	202	31	134	41	16	21	843	3,592	185	314	84	2,038
	構成比	86.8%	68.0%	73.8%	62.0%	41.8%	88.9%	100.0%	94.3%	85.4%	42.0%	58.4%	87.5%	96.2%
	興行	41	1	1	1	1			3	27		1		9
	短期滞在	555	15	2	11	3	1	1	55	296	23	23	11	155
	留学	864	21	1	18	12	1	1	76	344	15	36	9	378
	就学	663	10	1	7	1		2	56	341	14	15	3	238
	研修	530	13	5	6	1	1	1	16	328	7	14		159
	定住者	1,827	77	9	60	20	2	6	261	956	65	69	19	445
	その他	2,593	65	13	31	3	11	10	376	1,300	61	156	42	654
	不法滞在	1,075	95	11	82	57	2		51	613	256	224	12	80
	構成比	13.2%	32.0%	26.2%	38.0%	58.2%	11.1%		5.7%	14.6%	58.0%	41.6%	12.5%	3.8%
	不法入国・上陸	244	17	1	16	11			7	146	107	64	3	7
	不法在留	265	23	4	19	13			16	168	69	37	2	19
	不法残留	566	55	6	47	33	2		28	299	80	123	7	54
	興行	7								3		2		2
短期滞在	233	18	2	14	6	2		11	124	19	51	5	24	
留学	84	7		7	6			6	40	18	21		10	
就学	102	11	2	9	9			4	57	20	25	1	4	
研修	55	11	2	9	8			2	26	7	6		10	
その他	85	8		8	4			5	49	16	18	1	4	
平成17年	検挙人員	8,505	396	52	319	170	4	21	774	4,344	524	525	133	2,333
	正規滞在	7,201	254	35	198	82	3	18	704	3,624	228	283	116	2,220
	構成比	84.7%	64.1%	67.3%	62.1%	48.2%	75.0%	85.7%	91.0%	83.4%	43.5%	53.9%	87.2%	95.2%
	興行	76	2		2	1			5	54		2		13
	短期滞在	593	14	3	11	4			31	338	41	31	20	159
	留学	999	13	1	10	4		2	61	416	22	42	12	455
	就学	930	17	3	12	4		2	53	462	29	43	13	342
	研修	503	8	1	7	4			15	325	4	15	5	135
	定住者	1,933	140	8	123	51	2	7	259	975	69	44	21	494
	その他	2,167	60	19	33	14	1	7	280	1,054	63	106	45	622
	不法滞在	1,304	142	17	121	88	1	3	70	720	296	242	17	113
	構成比	15.3%	35.9%	32.7%	37.9%	51.8%	25.0%	14.3%	9.0%	16.6%	56.5%	46.1%	12.8%	4.8%
	不法入国・上陸	264	26	4	20	20			2	163	105	50	1	14
	不法在留	397	49	6	42	34	1		23	215	108	77	6	27
	不法残留	643	67	7	59	34			37	342	83	115	10	72
	興行	8								4		2		2
短期滞在	262	21	3	17	11		1	22	135	33	48	2	34	
留学	91	8		8	7			3	50	11	15	3	12	
就学	125	16		16	10			3	72	25	22	2	10	
研修	55	10	1	9	3			2	28	1	8		7	
その他	102	12	3	9	3			7	53	13	20	3	7	

9 暴力団による犯罪

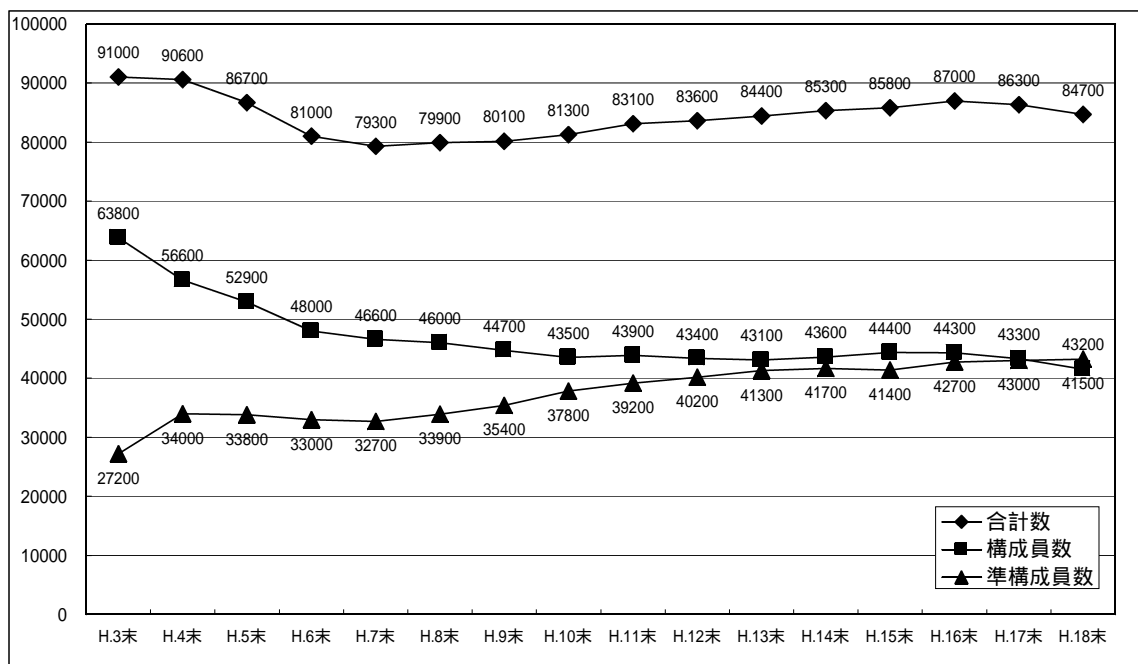
(1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員及び準構成員（以下「暴力団構成員等」という。）の数は、平成18年末現在約8万4,700人で、10年ぶりに減少に転じた前年と比べ、さらに約1,600人減少した。うち、暴力団構成員の数は約4万1,500人で前年に比べ約1,800人減少している一方、準構成員の数は約4万3,200人で前年に比べ約200人増加し、統計が残る昭和33年末以降初めて、準構成員の数が構成員の数を上回った（図表4-1-(1)-1）。

また、主要3団体の暴力団構成員等の数は約6万1,600人（全暴力団構成員等の約72.7%）で、このうち暴力団構成員の数は約3万1,600人（全暴力団構成員の約76.1%）であり、主要3団体による寡占化の状態に変わりはないといえる（図表4-1-(2)-2）。

中でも山口組は、前年に比べ暴力団構成員等の数は減少しているものの、依然として一極集中の状態が顕著であるといえ、全暴力団構成員等の数の約46.9%（うち構成員については全暴力団構成員の約49.6%）を占めている。

図表4-9-(1)-1 暴力団構成員等の推移



図表4-9-(1)-2 主要3団体の暴力団構成員等の比較

主要3団体	団体名	区分	18年末	17年末からの増減	全体の構成比
			数	数	
主要3団体	六代目山口組	構成員	20,600	-1,100	46.9% (構成員49.6%)
		準構成員	19,100	-200	
		計	39,700	-1,300	
	住吉会	構成員	6,100	-200	14.6% (構成員14.7%)
		準構成員	6,300	100	
		計	12,400	-100	
稲川会	構成員	4,900	-100	11.2% (構成員11.8%)	
	準構成員	4,600	100		
	計	9,500	0		
三団体合計	構成員	31,600	-1,400	72.7% (構成員76.1%)	
	準構成員	30,000	0		
	計	61,600	-1,400		

(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

平成18年中における暴力団構成員等の刑法犯の検挙件数は4万2,743件で、前年に比べ1,666件(4.1%)増加している(図表4-9-(2)-1)。

暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員は1万8,016人で、前年に比べ613人(3.3%)減少し、このうち構成員の検挙人員は5,987人で、前年に比べ56人(0.9%)減少している(図表4-9-(2)-2、3)。

また、暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員を罪種別を見ると、傷害が3,881人(構成比21.5%)と最も多く、次いで窃盗が3,139人(同17.4%)、恐喝が2,523人(同14.0%)、詐欺が1,785人(同9.9%)の順になっている(図表4-9-(2)-2)。

図表4-9-(2)-1 暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移

罪種	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
刑	殺	181	168	175	172	170	159	184	173	146	126	-20	-13.7
	強盗	276	348	381	457	352	382	483	413	413	440	27	6.5
	放火	48	64	86	61	46	51	51	38	34	52	18	52.9
	強姦	160	142	193	162	119	146	127	99	110	108	-2	-1.8
	凶器準備集合	7	8	12	8	11	8	6	11	6	3	-3	-50.0
	暴行	994	1,046	876	996	997	1,040	1,050	1,074	1,166	1,313	147	12.6
	傷害	3,331	3,497	3,294	3,667	3,490	3,560	3,466	3,208	3,125	3,308	183	5.9
	脅迫	444	402	402	482	480	477	477	423	468	551	83	17.7
	恐喝	2,102	2,122	1,901	2,265	2,209	2,221	2,313	1,999	1,921	1,968	47	2.4
	窃盗	24,838	28,931	27,087	18,910	16,218	19,607	23,444	23,640	25,930	27,023	1,093	4.2
	詐欺	6,665	6,245	6,913	4,642	3,758	3,835	3,643	3,148	3,362	3,537	175	5.2
	横領	159	160	102	108	144	116	126	105	99	102	3	3.0
法	文書偽造	2,051	1,548	1,539	1,086	924	951	906	698	457	602	145	31.7
	賭博	397	350	222	176	228	238	133	136	138	127	-11	-8.0
	わいせつ物頒布等	79	108	86	81	73	40	59	102	135	144	9	6.7
	公務執行妨害	335	365	370	442	444	492	547	556	536	606	70	13.1
	うち競売等妨害	52	47	49	43	30	37	34	40	22	10	-12	-54.5
	犯人蔵匿	66	58	47	43	49	72	58	57	45	68	23	51.1
	証人威迫	6	4	3	7	11	5	7	3	11	9	-2	-18.2
	逮捕監禁	214	185	178	213	205	225	204	205	181	168	-13	-7.2
	信用毀損・威力業務妨害	37	50	50	63	74	47	62	52	53	51	-2	-3.8
	器物損壊	566	746	598	679	648	789	771	876	966	965	-1	-0.1
	暴力行爲	53	52	40	38	38	27	36	70	49	43	-6	-12.2
	その他刑法犯	754	884	817	775	943	1,326	1,422	1,858	1,726	1,429	-297	-17.2
刑法犯合計	43,763	47,483	45,372	35,533	31,631	35,814	39,575	38,944	41,077	42,743	1,666	4.1	

図表4-9-(2)-2 暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												人数	率(%)
刑	殺	265	257	305	305	294	299	313	310	258	183	-75	-29.1
	強盗	442	546	638	596	651	652	755	727	696	593	-103	-14.8
	放火	56	49	58	60	48	77	61	61	42	40	-2	-4.8
	強姦	195	194	185	201	163	180	132	137	114	103	-11	-9.6
	凶器準備集合	76	32	43	61	79	109	136	92	39	31	-8	-20.5
	暴行	1,280	1,285	1,087	1,185	1,222	1,231	1,273	1,233	1,297	1,376	79	6.1
	傷害	4,589	4,882	4,618	5,021	4,838	4,904	4,651	4,319	3,972	3,881	-91	-2.3
	脅迫	557	534	516	591	613	606	551	487	543	612	69	12.7
	恐喝	2,638	3,044	2,889	3,290	3,070	2,954	3,092	2,808	2,619	2,523	-96	-3.7
	窃盗	2,488	3,062	3,001	2,623	2,757	2,917	3,396	3,265	3,198	3,139	-59	-1.8
	詐欺	1,572	1,618	1,880	1,556	1,723	1,695	1,701	1,821	1,712	1,785	73	4.3
	横領	133	136	104	113	107	117	101	108	86	97	11	12.8
法	文書偽造	321	353	378	355	293	462	357	323	243	309	66	27.2
	賭博	1,728	1,881	1,575	1,164	1,238	1,374	780	837	845	685	-160	-18.9
	わいせつ物頒布等	105	142	134	126	112	62	80	128	202	197	-5	-2.5
	公務執行妨害	364	382	436	466	462	493	543	569	525	488	-37	-7.0
	うち競売等妨害	116	93	130	110	78	80	83	98	57	22	-35	-61.4
	犯人蔵匿	83	86	71	69	60	99	82	69	61	84	23	37.7
	証人威迫	10	8	3	11	15	6	13	3	16	8	-8	-50.0
	逮捕監禁	410	364	362	412	474	471	444	414	336	299	-37	-11.0
	信用毀損・威力業務妨害	66	102	90	119	108	86	82	102	88	63	-25	-28.4
	器物損壊	462	517	499	573	515	641	618	637	642	631	-11	-1.7
	暴力行爲	107	74	66	78	46	59	73	126	71	82	11	15.5
	その他刑法犯	593	659	673	693	762	911	1,031	896	1,024	807	-217	-21.2
刑法犯合計	18,540	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	18,629	18,016	-613	-3.3	

図表4-9-(2)-3 暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移

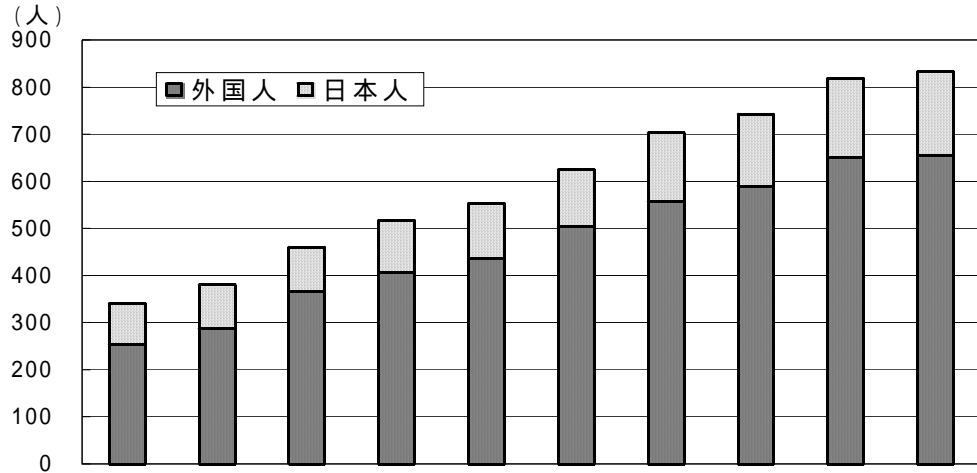
罪種	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												人数	率(%)
刑	殺	120	114	150	152	152	151	169	156	108	77	-31	-28.7
	強盗	154	139	187	148	172	177	182	189	177	163	-14	-7.9
	放火	16	9	16	20	9	18	23	16	12	12	0	0.0
	強姦	51	33	33	33	42	46	40	33	24	23	-1	-4.2
	凶器準備集合	20	10	17	43	14	10	34	16	26	15	-11	-42.3
	暴行	602	567	496	520	464	466	499	446	446	476	30	6.7
	傷害	1,822	1,850	1,751	1,839	1,741	1,803	1,742	1,539	1,436	1,450	14	1.0
	脅迫	302	284	302	314	299	310	269	236	275	322	47	17.1
	恐喝	1,283	1,368	1,367	1,488	1,398	1,325	1,462	1,358	1,232	1,197	-35	-2.8
	窃盗	630	730	690	638	665	688	837	739	658	634	-24	-3.6
	詐欺	491	540	527	436	502	465	469	483	485	540	55	11.3
	横領	32	42	26	37	32	29	30	31	24	26	2	8.3
法	文書偽造	126	129	142	115	118	136	126	111	100	111	11	11.0
	賭博	364	238	188	131	118	117	72	90	97	66	-31	-32.0
	わいせつ物頒布等	28	19	23	21	10	8	9	8	15	8	-7	-46.7
	公務執行妨害	129	121	159	149	138	144	149	180	135	137	2	1.5
	うち競売等妨害	50	31	56	47	22	32	31	36	25	5	-20	-80.0
	犯人蔵匿	45	40	40	32	22	52	43	33	27	46	19	70.4
	証人威迫	8	6	1	9	11	2	8	3	10	5	-5	-50.0
	逮捕監禁	219	176	185	187	281	222	210	182	165	115	-50	-30.3
	信用毀損・威力業務妨害	35	47	43	50	45	37	47	36	27	29	2	7.4
	器物損壊	184	201	179	205	176	244	250	198	209	230	21	10.0
犯	暴力行為	60	52	27	39	26	34	43	75	31	52	21	67.7
	その他刑法犯	189	250	245	232	274	306	377	303	324	253	-71	-21.9
	刑法犯合計	6,910	6,965	6,794	6,838	6,709	6,790	7,090	6,461	6,043	5,987	-56	-0.9

10 国外逃亡被疑者等の状況

(1) 国外逃亡被疑者等の推移

平成18年における国外逃亡被疑者等は833人で、前年に比べ、14人（1.7%）増加しており、うち外国人被疑者は656人で、前年に比べ、5人（0.8%）増加している。

図表4 - 10 - (1) 国外逃亡被疑者等の推移



	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
国外逃亡被疑者等数	341	381	460	517	553	625	703	743	819	833
うち外国人	253	288	365	406	436	504	557	590	651	656

注：「国外逃亡被疑者等」とは、「日本国内で犯罪を行い、国外に逃亡している者及びそのおそれのある者」をいう。

(2) 罪種等別の国外逃亡被疑者等数

平成18年における国外逃亡被疑者等833人のうち、外国人被疑者656人を包括罪種別、違反法令別にみると、刑法犯では538人中、窃盗犯が220人で最も多く、次いで凶悪犯が195人、知能犯が66人の順になっている。特別法犯では118人中、入管法違反が51人で最も多く、次いで薬物事犯が32人となっている。

図表4 - 10 - (2) 包括罪種等別国外逃亡被疑者等数

		人 員		構成比(%)	
			うち外国人		うち外国人
刑法犯	凶悪犯	218	195	26.2%	29.7%
	粗暴犯	31	23	3.7%	3.5%
	窃盗犯	241	220	28.9%	33.5%
	知能犯	127	66	15.2%	10.1%
	風俗犯	7	4	0.8%	0.6%
	その他	42	30	5.0%	4.6%
	小計	666	538	80.0%	82.0%
特別法犯	薬物事犯	52	32	6.2%	4.9%
	銃刀法	3	1	0.4%	0.2%
	入管法	56	51	6.7%	7.8%
	その他	56	34	6.7%	5.2%
	小計	167	118	20.0%	18.0%
合 計		833	656	-	-

注：1人の被疑者につき数罪ある場合には、重い罪で計上した。

(3) 国籍・地域別の国外逃亡被疑者等数

平成18年における国外逃亡被疑者等を国籍・地域別にみると、中国人が291人（34.9%）、次いで日本人が177人（21.2%）となっている。

図表4 - 10 - (3) 国籍・地域別 国外逃亡被疑者等数

		H17		H18	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)
日本		168	20.5	177	21.2
アジア州	韓国・朝鮮	56	6.8	50	6.0
	フィリピン	9	1.1	12	1.4
	中国	281	34.3	291	34.9
	中国(台湾)	14	1.7	17	2.0
	中国(香港等)	12	1.5	10	1.2
	イラン	22	2.7	15	1.8
	タイ	18	2.2	17	2.0
	その他	81	9.9	79	9.5
	小計	493	60.2	491	58.9
ヨーロッパ州		17	2.1	18	2.2
南北アメリカ州	アメリカ	6	0.7	6	0.7
	ペルー	14	1.7	19	2.3
	ブラジル	86	10.5	92	11.0
	その他	29	3.5	21	2.5
	小計	135	16.5	138	16.6
オセアニア・アフリカ州		6	0.7	9	1.1
無国籍・国籍不明					
合計		819	-	833	-

注：中国に台湾、香港等は含まない。

(4) 推定逃亡先国・地域別の国外逃亡被疑者等数

平成18年における国外逃亡被疑者等を推定逃亡先国・地域別にみると、中国が174人（20.9%）とも多く、次いでブラジルが76人（9.1%）、韓国及びフィリピンが41人（4.9%）となっている。

(5) 国外逃亡被疑者等の検挙状況

平成18年中に検挙した国外逃亡被疑者等は75人（うち外国人被疑者35人）である。

また、国内の国際海・空港等において国外逃亡寸前に検挙した被疑者は11人（うち外国人被疑者8人）となっている。

【検挙事例】

平成14年10月、福井県福井市において発生した日本人と中国人混成の強盗団による連続強盗事件で、中国に逃亡した日本人被疑者について、中国捜査当局に対し同人の所在確認の協力を要請していたところ、平成18年11月、中国捜査当局により、同人が強制退去されたことを受け、日本国内において逮捕した。

(6) 国外犯処罰規定の適用状況

平成18年中に国外において国外犯処罰規定が適用されたのは、1件1人である。

【適用事例】

平成16年5月、福岡県福岡市博多区所在のエステ店において日本人男性が殺害された事件で、中国に逃亡した中国人被疑者（元留学生）の所在確認を中国捜査当局に要請するとともに、国外犯処罰規定の適用を働きかけた結果、平成18年3月、被疑者は逮捕され、同年12月に死刑判決（執行猶予2年）が確定した。

11 女性・子ども・高齢者を主たる被害者する犯罪

(1) 女性を主たる被害者とする犯罪

ア 女性の犯罪被害の状況

平成18年における刑法犯に係る女性の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は57万9,638件で、刑法犯被害件数に占める女性の割合は34.7%となっている（図表4-11-(1)-1）。

女性の被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が44万9,100件（女性の被害全体の77.5%）で最も多く、次いで詐欺が2万3,090件（同4.0%）、暴行が1万1,417件（同2.0%）、傷害が9,528件（同1.6%）、強制わいせつが8,140件（同1.4%）などとなっている。

また、強姦、強制わいせつ及び公然わいせつのほか、女性が被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取・誘拐（78.4%）、逮捕・監禁（47.1%）、殺人（43.4%）及び脅迫（42.5%）などが全刑法犯被害件数に占める女性の割合（34.7%）より高くなっている（図表4-11-(1)-2）。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表4-11-(1)-1 女性の刑法犯被害件数

区分	年次	平17	平18	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	1,871,293	1,668,361	-202,932	-10.8
	女性	643,788	579,638	-64,150	-10.0
	（割合%）	34.4	34.7	0.3	-
	男性	1,227,505	1,088,723	-138,782	-11.3
	（割合%）	65.6	65.3	-0.3	-

図表 4 - 11 - (1) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平17	平18	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,386	1,300	-86	-6.2
	うち女性	530	564	34	6.4
	(割合%)	38.2	43.4	5.2	-
強盗	被害件数	5,606	4,688	-918	-16.4
	うち女性	2,207	1,882	-325	-14.7
	(割合%)	39.4	40.1	0.7	-
強姦	被害件数	2,076	1,948	-128	-6.2
	うち女性	2,076	1,948	-128	-6.2
	(割合%)	100.0	100.0	0.0	-
暴行	被害件数	25,815	31,002	5,187	20.1
	うち女性	9,761	11,417	1,656	17.0
	(割合%)	37.8	36.8	-1.0	-
傷害	被害件数	34,484	33,987	-497	-1.4
	うち女性	9,555	9,528	-27	-0.3
	(割合%)	27.7	28.0	0.3	-
脅迫	被害件数	2,399	2,580	181	7.5
	うち女性	969	1,096	127	13.1
	(割合%)	40.4	42.5	2.1	-
恐喝	被害件数	10,730	8,461	-2,269	-21.1
	うち女性	1,542	1,118	-424	-27.5
	(割合%)	14.4	13.2	-1.2	-
窃盗	被害件数	1,459,925	1,282,891	-177,034	-12.1
	うち女性	508,046	449,100	-58,946	-11.6
	(割合%)	34.8	35.0	0.2	-
詐欺	被害件数	66,597	56,262	-10,335	-15.5
	うち女性	23,643	23,090	-553	-2.3
	(割合%)	35.5	41.0	5.5	-
強制わいせつ	被害件数	8,751	8,326	-425	-4.9
	うち女性	8,534	8,140	-394	-4.6
	(割合%)	97.5	97.8	0.3	-
公然わいせつ	被害件数	1,045	1,113	68	6.5
	うち女性	979	1,042	63	6.4
	(割合%)	93.7	93.6	-0.1	-
逮捕・監禁	被害件数	576	522	-54	-9.4
	うち女性	272	246	-26	-9.6
	(割合%)	47.2	47.1	-0.1	-
略取・誘拐	被害件数	277	199	-78	-28.2
	うち女性	229	156	-73	-31.9
	(割合%)	82.7	78.4	-4.3	-

イ 年齢層別の犯罪被害の状況

平成18年における女性の被害件数を年齢層別に人口10万人当たり（以下「人口当たり」という。）で見ると、20歳代が1,806.93件で最も多く、次いで30歳代の1,032.73件、20歳未満の1,013.10件、40歳代の913.19件、50歳代の723.82件、60歳代の588.43件、70歳以上の356.67件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い年齢層について人口当たりで見ると、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、詐欺、強制わいせつ及び逮捕・監禁では20歳代が高く、公然わいせつ及び略取・誘拐では20歳未満が高くなっている。更に、殺人では70歳以上が高くなっている（図表4-11-(1)-3）。

図表4-11-(1)-3 年齢層別の犯罪被害件数(平成18年)

年齢層	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
被害件数		1,668,361	1,300	4,688	1,948	31,002	33,987	2,580	8,461	1,282,891	56,262	8,326	1,113	522	199
	人口当	1,305.75	1.02	3.67	1.52	24.26	26.60	2.02	6.62	1,004.06	44.03	6.52	0.87	0.41	0.16
女性計		579,638	564	1,882	1,948	11,417	9,528	1,096	1,118	449,100	23,090	8,140	1,042	246	156
	人口当	885.75	0.86	2.88	2.98	17.45	14.56	1.67	1.71	686.28	35.28	12.44	1.59	0.38	0.24
20歳未満		117,783	72	212	808	3,382	1,446	191	324	97,441	756	4,377	555	79	114
	人口当	1,013.10	0.62	1.82	6.95	29.09	12.44	1.64	2.79	838.13	6.50	37.65	4.77	0.68	0.98
20歳代		135,592	63	658	855	3,550	2,482	288	316	103,917	3,773	2,878	240	110	38
	人口当	1,806.93	0.84	8.77	11.39	47.31	33.08	3.84	4.21	1,384.82	50.28	38.35	3.20	1.47	0.51
30歳代		96,550	83	284	170	2,015	2,280	234	153	71,825	4,109	606	126	29	3
	人口当	1,032.73	0.89	3.04	1.82	21.55	24.39	2.50	1.64	768.26	43.95	6.48	1.35	0.31	0.03
40歳代		71,229	62	181	58	1,080	1,440	156	134	53,478	3,090	188	63	17	1
	人口当	913.19	0.79	2.32	0.74	13.85	18.46	2.00	1.72	685.62	39.62	2.41	0.81	0.22	0.01
50歳代		70,102	85	234	34	764	1,022	113	93	53,784	3,739	63	33	7	0
	人口当	723.82	0.88	2.42	0.35	7.89	10.55	1.17	0.96	555.33	38.61	0.65	0.34	0.07	0.00
60歳代		48,028	81	145	10	375	495	75	50	37,629	3,560	19	14	1	0
	人口当	588.43	0.99	1.78	0.12	4.59	6.06	0.92	0.61	461.03	43.62	0.23	0.17	0.01	0.00
70歳以上		40,354	118	168	13	251	363	39	48	31,026	4,063	9	11	3	0
	人口当	356.67	1.04	1.48	0.11	2.22	3.21	0.34	0.42	274.23	35.91	0.08	0.10	0.03	0.00
男性計		1,088,723	736	2,806	0	19,585	24,459	1,484	7,343	833,791	33,172	186	71	276	43
	人口当	1,746.71	1.18	4.50	-	31.42	39.24	2.38	11.78	1,337.70	53.22	0.30	0.11	0.44	0.07

注1:「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2:人口は、総務省統計局の推定人口(平成18年10月1日現在)による。

ウ 場所別被害の発生状況

平成18年において罪種別に女性が被害に遭う割合の高い場所について見ると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐については道路上、殺人、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、強姦については共同住宅、窃盗については駐車(輪)場が高くなっている(図表4-11-(1)-4)。

図表4-11-(1)-4 罪種別・場所別被害発生件数(平成18年)

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
被害総数	女	564	1,882	1,948	11,417	9,528	1,096	1,118	449,100	23,090	8,140	1,042	246	156
	男	736	2,806	0	19,585	24,459	1,484	7,343	833,791	33,172	186	71	276	43
一戸建住宅	女	226	138	192	738	1,296	315	173	42,853	11,367	358	9	9	5
	男	203	112	0	524	1,114	273	367	102,143	12,052	14	1	16	2
共同住宅	女	166	328	689	1,797	2,290	301	173	53,149	4,534	1,577	46	37	20
	男	211	107	0	882	1,501	248	496	84,226	5,658	42	1	41	7
学校(幼稚園)	女	2	3	20	67	209	21	13	8,389	48	76	7	0	2
	男	2	6	0	308	1,000	29	135	12,370	87	5	1	0	1
道路上	女	44	767	241	5,082	2,322	126	249	84,623	529	3,553	612	92	65
	男	128	1,081	0	8,059	9,338	257	2,524	111,185	2,246	35	28	85	15
駐車(輪)場	女	22	131	190	624	634	59	113	153,142	311	603	110	27	18
	男	29	222	0	1,390	2,363	97	1,097	315,744	587	13	11	43	6
都市公園	女	2	13	30	120	151	5	21	2,480	11	163	30	2	9
	男	18	46	0	371	734	19	308	4,508	22	14	2	4	1
空き地	女	5	8	42	24	32	2	7	1,788	16	86	7	2	2
	男	6	7	0	77	152	6	68	6,057	46	3	1	1	0
列車内	女	0	0	1	249	68	2	3	3,817	5	416	31	0	0
	男	0	0	0	522	204	6	4	5,193	4	4	1	0	0
駅・鉄道施設	女	1	12	8	366	164	3	25	3,726	55	96	26	3	6
	男	8	7	0	1,437	774	8	130	4,876	219	0	4	1	0
その他	女	96	482	535	2,350	2,362	262	341	95,133	6,214	1,212	164	74	29
	男	131	1,218	-	6,015	7,279	541	2,214	187,489	12,251	56	21	85	11

注:「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害及び暴行）（注）の検挙件数は、平成11年以降増加傾向にあったが、平成16年は前年に比べ1.4%、夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件についても1.3%ともに減少した。しかし、平成17年は前年に比べ14.5%、夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件についても12.5%ともに増加し、平成18年においても2,239件で、前年に比べ300件（15.5%）そのうち夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件についても2,082件で、前年に比べ333件（19.0%）ともに増加している（図表4 - 11 - (1) - 5）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では嘱託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれる。

図表4 - 11 - (1) - 5 配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
												件数	率(%)
殺人(件)		1,142	1,222	1,098	1,219	1,157	1,238	1,258	1,224	1,224	1,155	-69	-5.6
うち配偶者		155	189	170	197	191	197	215	206	218	179	-39	-17.9
うち夫によるもの		101	129	105	134	116	120	133	127	126	117	-9	-7.1
傷害		16,060	15,840	15,589	21,616	22,348	23,199	23,222	22,716	22,962	22,921	-41	-0.2
うち配偶者		365	295	403	888	1,097	1,250	1,269	1,198	1,342	1,353	11	0.8
うち夫によるもの		340	273	375	838	1,065	1,197	1,211	1,143	1,264	1,294	30	2.4
うち傷害致死		176	176	191	168	191	180	173	135	138	139	1	0.7
うち配偶者		16	13	19	17	14	18	18	14	20	15	-5	-25.0
うち夫によるもの		13	12	17	17	10	15	16	12	17	14	-3	-17.6
暴行		5,262	5,016	4,730	7,151	7,740	8,223	9,341	10,525	13,519	19,175	5,656	41.8
うち配偶者		32	35	36	127	156	219	234	290	379	707	328	86.5
うち夫によるもの		31	33	36	124	152	211	230	284	359	671	312	86.9
合計		22,464	22,078	21,417	29,986	31,245	32,660	33,821	34,465	37,705	43,251	5,546	14.7
うち配偶者		552	519	609	1,212	1,444	1,666	1,718	1,694	1,939	2,239	300	15.5
うち夫によるもの		472	435	516	1,096	1,333	1,528	1,574	1,554	1,749	2,082	333	19.0

注1：解決事件を除く。

注2：配偶者には内縁関係にある者を含む。

(2) 子どもを主たる被害者とする犯罪

ア 子どもの犯罪被害の状況

平成18年における刑法犯に係る子ども（少年、20歳未満の者をいう。以下同じ。）の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は、30万9,104件で、刑法犯被害件数に占める子どもの割合は18.5%となっている（図表4 - 11 - (2) - 1）。

子どもの被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が26万1,718件（子どもの被害全体の84.7%）で最も多く、次いで暴行が6,585件（同2.1%）、傷害が6,374件（同2.1%）、強制わいせつが4,534件（同1.5%）、恐喝が3,485件（同1.1%）などとなっている。

また、子どもが被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取・誘拐（72.9%）、強制わいせつ（54.5%）、公然わいせつ（51.1%）、強姦（41.5%）及び恐喝（41.2%）などが全刑法犯被害件数に占める子どもの割合（18.5%）より高くなっている（図表4 - 11 - (2) - 2）。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表4 - 11 - (2) - 1 子どもの刑法犯被害件数

区分	年次	平17	平18	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	1,871,293	1,668,361	-202,932	-10.8
	少年	326,042	309,104	-16,938	-5.2
	（割合%）	17.4	18.5	1.1	-
	成人	1,545,251	1,359,257	-185,994	-12.0
	（割合%）	82.6	81.5	-1.1	-

図表4 - 11 - (2) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平17	平18	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,386	1,300	-86	-6.2
	うち少年	151	156	5	3.3
	(割合%)	10.9	12.0	1.1	-
強盗	被害件数	5,606	4,688	-918	-16.4
	うち少年	635	489	-146	-23.0
	(割合%)	11.3	10.4	-0.9	-
強姦	被害件数	2,076	1,948	-128	-6.2
	うち少年	875	808	-67	-7.7
	(割合%)	42.1	41.5	-0.6	-
暴行	被害件数	25,815	31,002	5,187	20.1
	うち少年	6,329	6,585	256	4.0
	(割合%)	24.5	21.2	-3.3	-
傷害	被害件数	34,484	33,987	-497	-1.4
	うち少年	6,522	6,374	-148	-2.3
	(割合%)	18.9	18.8	-0.1	-
脅迫	被害件数	2,399	2,580	181	7.5
	うち少年	317	340	23	7.3
	(割合%)	13.2	13.2	0.0	-
恐喝	被害件数	10,730	8,461	-2,269	-21.1
	うち少年	4,871	3,485	-1,386	-28.5
	(割合%)	45.4	41.2	-4.2	-
窃盗	被害件数	1,459,925	1,282,891	-177,034	-12.1
	うち少年	275,732	261,718	-14,014	-5.1
	(割合%)	18.9	20.4	1.5	-
詐欺	被害件数	66,597	56,262	-10,335	-15.5
	うち少年	1,703	1,594	-109	-6.4
	(割合%)	2.6	2.8	0.2	-
強制わいせつ	被害件数	8,751	8,326	-425	-4.9
	うち少年	4,970	4,534	-436	-8.8
	(割合%)	56.8	54.5	-2.3	-
公然わいせつ	被害件数	1,045	1,113	68	6.5
	うち少年	559	569	10	1.8
	(割合%)	53.5	51.1	-2.4	-
逮捕・監禁	被害件数	576	522	-54	-9.4
	うち少年	140	145	5	3.6
	(割合%)	24.3	27.8	3.5	-
略取・誘拐	被害件数	277	199	-78	-28.2
	うち少年	215	145	-70	-32.6
	(割合%)	77.6	72.9	-4.7	-

イ 就学別の犯罪被害の状況

平成18年における子どもの被害件数を就学別に人口当たりで見ると、その他少年（未就学児童、小学生及び中学生を除いた少年をいう。以下同じ。）が3,437.07件で最も多く、次いで中学生の1,796.20件、小学生の333.03件、未就学児童の7.97件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い層を就学別の人口当たりで見ると、殺人では未就学児童が高く、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、詐欺、強制わいせつ、公然わいせつ及び逮捕・監禁ではその他少年が高くなっている。更に略取・誘拐では小学生が高くなっている（図表4-11-(2)-3）。

図表4-11-(2)-3 就学別の犯罪被害件数（平成18年）

区分	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,668,361	1,300	4,688	1,948	31,002	33,987	2,580	8,461	1,282,891	56,262	8,326	1,113	522	199	235,082
	人口当	1,305.75	1.02	3.67	1.52	24.26	26.60	2.02	6.62	1,004.06	44.03	6.52	0.87	0.41	0.16	183.99
少年計		309,104	156	489	808	6,585	6,374	340	3,485	261,718	1,594	4,534	569	145	145	22,162
	人口当	1,295.54	0.65	2.05	3.39	27.60	26.72	1.43	14.61	1,096.94	6.68	19.00	2.38	0.61	0.61	92.89
未就学		532	75	0	3	88	119	0	1	0	0	112	1	1	27	105
	人口当	7.97	1.12	0.00	0.04	1.32	1.78	0.00	0.01	0.00	0.00	1.68	0.01	0.01	0.40	1.57
小学生		23,935	34	5	46	802	336	31	148	20,859	11	810	83	7	55	708
	人口当	333.03	0.47	0.07	0.64	11.16	4.68	0.43	2.06	290.23	0.15	11.27	1.15	0.10	0.77	9.85
中学生		64,699	11	46	151	1,481	1,832	86	1,144	55,424	94	651	145	16	23	3,595
	人口当	1,796.20	0.31	1.28	4.19	41.12	50.86	2.39	31.76	1,538.70	2.61	18.07	4.03	0.44	0.64	99.81
その他少年		219,938	36	438	608	4,214	4,087	223	2,192	185,435	1,489	2,961	340	121	40	17,754
	人口当	3,437.07	0.56	6.84	9.50	65.85	63.87	3.48	34.26	2,897.87	23.27	46.27	5.31	1.89	0.63	277.45
成人計		1,359,257	1,144	4,199	1,140	24,417	27,613	2,240	4,976	1,021,173	54,668	3,792	544	377	54	212,920
	人口当	1,308.10	1.10	4.04	1.10	23.50	26.57	2.16	4.79	982.74	52.61	3.65	0.52	0.36	0.05	204.91

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推定人口（平成18年10月1日現在）による。

注3：「未就学」は、総務省統計局の推定人口（平成18年10月1日現在）の0～5歳を計上した。

注4：「小学生」と「中学生」の人口は、文部科学省学校基本調査（平成18年版）による。

ウ 場所別被害の発生状況

平成18年において子どもの就学別に犯罪の被害に遭う割合が高い場所について見ると、未就学児童については共同住宅、一戸建住宅及び道路上が高く、小学生、中学生については駐車(輪)場、道路上及び共同住宅が高くなっている（図表4-11-(2)-4）。

また、罪種別に子どもが被害に遭う割合が高い場所について見ると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐については道路上、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、殺人及び強姦については共同住宅、窃盗については駐車(輪)場が高くなっている（図表4-11-(2)-5）。

図表 4 - 11 - (2) - 4 就学別・場所別被害発生件数（平成18年）

区分	総数		少年								成人			
	件数	(割合%)	未就学		小学生		中学生		その他		件数	(割合%)		
			件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)				
被害総数	1,668,361	100.0	309,104	100.0	532	100.0	23,935	100.0	64,699	100.0	219,938	100.0	1,359,257	100.0
一戸建住宅	209,402	12.6	14,804	4.8	74	13.9	1,852	7.7	4,125	6.4	8,753	4.0	194,598	14.3
共同住宅	189,931	11.4	23,734	7.7	139	26.1	3,182	13.3	5,106	7.9	15,307	7.0	166,197	12.2
学校（幼稚園）	26,029	1.6	14,790	4.8	24	4.5	536	2.2	2,762	4.3	11,468	5.2	11,239	0.8
駐車（輪）場	562,690	33.7	143,372	46.4	30	5.6	8,576	35.8	29,276	45.2	105,490	48.0	419,318	30.8
道路上	271,622	16.3	61,606	19.9	65	12.2	4,707	19.7	13,194	20.4	43,640	19.8	210,016	15.5
都市公園	11,009	0.7	5,372	1.7	28	5.3	1,935	8.1	1,223	1.9	2,186	1.0	5,637	0.4
空き地	11,374	0.7	2,236	0.7	5	0.9	171	0.7	467	0.7	1,593	0.7	9,138	0.7
列車内	10,817	0.6	1,118	0.4	5	0.9	13	0.1	96	0.1	1,004	0.5	9,699	0.7
駅・鉄道施設	13,011	0.8	4,430	1.4	4	0.8	56	0.2	466	0.7	3,904	1.8	8,581	0.6
その他	362,476	21.7	37,642	12.2	158	29.7	2,907	12.1	7,984	12.3	26,593	12.1	324,834	23.9

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

図表 4 - 11 - (2) - 5 罪種別・場所別被害発生件数（平成18年）

区分	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他	合計
被害総数	1,300	4,688	1,948	31,002	33,987	2,580	8,461	1,282,891	56,262	8,326	1,113	522	199	235,082	1,668,361
少年計	156	489	808	6,585	6,374	340	3,485	261,718	1,594	4,534	569	145	145	22,162	309,104
一戸建住宅	44	8	105	115	228	81	99	12,829	695	218	5	7	6	364	14,804
共同住宅	53	40	184	447	459	58	140	19,831	347	740	17	13	21	1,384	23,734
学校（幼稚園）	2	5	15	194	657	15	128	13,259	27	69	5	0	2	412	14,790
駐車（輪）場	7	43	91	437	761	30	548	132,638	21	284	30	17	14	8,451	143,372
道路上	18	261	124	3,521	1,996	73	1,437	43,725	95	2,033	401	60	62	7,800	61,606
都市公園	5	23	15	290	645	19	253	3,362	8	141	14	5	10	582	5,372
空き地	1	9	25	43	77	0	40	1,283	0	67	3	1	2	685	2,236
列車内	0	0	0	140	52	1	4	542	0	297	12	0	0	70	1,118
駅・鉄道施設	2	2	5	245	173	4	93	3,545	26	64	18	2	5	246	4,430
その他	24	98	244	1,153	1,326	59	743	30,704	375	621	64	40	23	2,168	37,642

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況

子ども対象・暴力的性犯罪（13歳未満の少年が被害者となった強姦、強制わいせつ、強盗強姦（いずれも致死又は致死傷及び未遂を含む。）及びわいせつ目的略取誘拐（未遂を含む。）をいう。）の認知件数は、平成15年まで増加傾向にあったが、平成16年以降減少し、平成18年であっても1,114件で、前年に比べ370件（24.9%）減少している。

罪種別に見ると、前年に比べ強制わいせつは369件（26.7%）と大幅に減少しているが、わいせつ目的略取誘拐は4件（14.3%）増加している（図表 4 - 11 - (2) - 6）。

図表 4 - 11 - (2) - 6 罪種別被害発生件数

区分	年次	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)	
子ども対象・暴力的性犯罪		1,377	1,318	1,527	1,790	2,137	1,960	2,236	1,796	1,484	1,114	-370	-24.9
強盗強姦		1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	-
強姦		82	63	65	72	60	90	93	74	72	67	-5	-6.9
強制わいせつ		1,229	1,199	1,391	1,668	2,037	1,815	2,087	1,679	1,384	1,015	-369	-26.7
わいせつ目的略取誘拐		65	56	69	49	40	54	56	43	28	32	4	14.3

(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪

ア 高齢者の犯罪被害の状況

平成18年における刑法犯に係る高齢者（高齢者とは、65歳以上の者とした。以下同じ。）の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は16万3,325件で、刑法犯被害件数に占める高齢者の割合は9.8%となっている（図表4 - 11 - (3) - 1）。

高齢者の被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が12万3,017件（高齢者の被害全体の75.3%）で最も多く、次いで詐欺が1万37件（同6.1%）、傷害が1,870件（同1.1%）、暴行が1,417件（同0.9%）、強盗が428件（同0.3%）などとなっている。

また、高齢者が被害者となる割合の高い罪種について見ると、殺人（19.2%）、詐欺（17.8%）が全刑法犯被害件数に占める高齢者の割合（9.8%）より高くなっている（図表4 - 11 - (3) - 2）。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表4 - 11 - (3) - 1 高齢者の刑法犯被害件数

区分	年次	平17	平18	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	1,871,293	1,668,361	-202,932	-10.8
	65歳以上	178,881	163,325	-15,556	-8.7
	（割合%）	9.6	9.8	0.2	-
	64歳以下	1,692,412	1,505,036	-187,376	-11.1
	（割合%）	90.4	90.2	-0.2	-

図表4 - 11 - (3) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平17	平18	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,386	1,300	-86	-6.2
	うち65歳以上 (割合%)	234 16.9	250 19.2	16 2.3	6.8 -
強盗	被害件数	5,606	4,688	-918	-16.4
	うち65歳以上 (割合%)	522 9.3	428 9.1	-94 -0.2	-18.0 -
強姦	被害件数	2,076	1,948	-128	-6.2
	うち65歳以上 (割合%)	14 0.7	14 0.7	0 0.0	0.0 -
暴行	被害件数	25,815	31,002	5,187	20.1
	うち65歳以上 (割合%)	929 3.6	1,417 4.6	488 1.0	52.5 -
傷害	被害件数	34,484	33,987	-497	-1.4
	うち65歳以上 (割合%)	1,791 5.2	1,870 5.5	79 0.3	4.4 -
脅迫	被害件数	2,399	2,580	181	7.5
	うち65歳以上 (割合%)	153 6.4	190 7.4	37 1.0	24.2 -
恐喝	被害件数	10,730	8,461	-2,269	-21.1
	うち65歳以上 (割合%)	265 2.5	271 3.2	6 0.7	2.3 -
窃盗	被害件数	1,459,925	1,282,891	-177,034	-12.1
	うち65歳以上 (割合%)	139,177 9.5	123,017 9.6	-16,160 0.1	-11.6 -
詐欺	被害件数	66,597	56,262	-10,335	-15.5
	うち65歳以上 (割合%)	8,521 12.8	10,037 17.8	1,516 5.0	17.8 -
強制わいせつ	被害件数	8,751	8,326	-425	-4.9
	うち65歳以上 (割合%)	19 0.2	12 0.1	-7 -0.1	-36.8 -
公然わいせつ	被害件数	1,045	1,113	68	6.5
	うち65歳以上 (割合%)	9 0.9	21 1.9	12 1.0	133.3 -
逮捕・監禁	被害件数	576	522	-54	-9.4
	うち65歳以上 (割合%)	15 2.6	15 2.9	0 0.3	0.0 -
略取・誘拐	被害件数	277	199	-78	-28.2
	うち65歳以上 (割合%)	1 0.4	0 0.0	-1 -0.4	-100.0 -

イ 場所別被害の発生状況

平成18年において罪種別に高齢者（男女別）が被害に遭う割合の高い場所について見ると、女性の殺人、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、詐欺及び逮捕・監禁については一戸建住宅、強盗及び公然わいせつについては道路上、強制わいせつについては共同住宅が高くなっている。また、男性の殺人、脅迫、恐喝、窃盗及び詐欺については一戸建住宅、強盗、暴行、傷害及び逮捕・監禁については道路上が高くなっている（図表4 - 11 - (3) - 3）。

図表4 - 11 - (3) - 3 罪種別・場所別被害発生件数（平成18年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
		被害総数	女 157	233	14	412	567	78	71	47,654	5,706	12	18	4
	男	93	195	0	1,005	1,303	112	200	75,363	4,331	0	3	11	0
一戸建住宅	女	92	63	12	121	202	38	25	11,700	3,882	3	0	2	0
	男	44	45	0	119	230	47	52	21,114	2,332	0	0	1	0
共同住宅	女	31	22	0	63	104	14	14	3,072	730	7	0	0	0
	男	24	14	0	84	149	20	13	4,031	394	0	0	2	0
学校（幼稚園）	女	0	0	0	2	2	1	0	73	1	0	0	0	0
	男	0	0	0	1	2	0	1	150	0	0	0	0	0
道路上	女	5	78	1	87	131	2	13	10,270	105	1	9	1	0
	男	11	59	0	380	462	14	25	8,152	310	0	1	6	0
駐車（輪）場	女	1	9	0	9	12	1	1	5,510	29	0	2	0	0
	男	1	10	0	66	79	2	13	14,729	47	0	0	2	0
都市公園	女	0	0	0	4	2	0	0	180	2	0	0	0	0
	男	1	0	0	23	19	0	1	270	0	0	0	0	0
空き地	女	1	0	0	2	7	1	0	213	3	0	1	0	0
	男	2	0	0	9	10	4	0	770	7	0	0	0	0
列車内	女	0	0	0	5	0	0	0	216	2	0	1	0	0
	男	0	0	0	6	7	0	0	244	0	0	0	0	0
駅・鉄道施設	女	0	2	0	5	2	0	0	426	9	0	0	0	0
	男	0	1	0	27	14	0	2	240	10	0	0	0	0
その他	女	27	59	1	114	105	21	18	15,994	943	1	5	1	0
	男	10	66	0	290	331	25	93	25,663	1,231	0	2	0	0

第5 凶悪犯罪の動向と特徴について

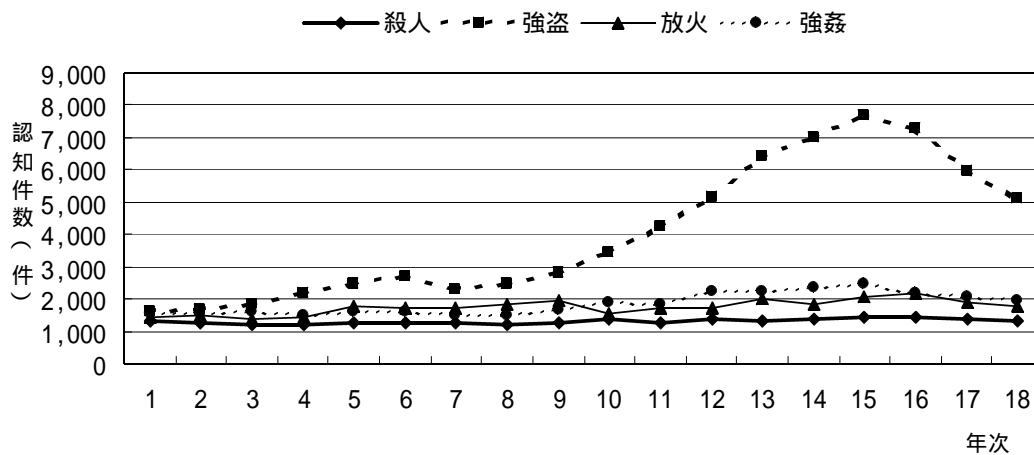
(余白)

1 凶悪犯罪の動向と特徴について

凶悪犯の認知件数を罪種別に見ると、図表5-1のとおりで、殺人、放火は横ばい傾向で推移しているが、強盗は平成9年から平成15年まで著しい増加を示し、平成16年以降減少に転じている。また、強姦は平成9年から平成15年までに数量的には少ないものの緩やかな増加傾向を示したが、平成16年以降減少している。

本項では各罪種の特徴について分析を試みる。

図表5-1 凶悪犯 罪種別 認知件数の推移



(1) 殺人

殺人の認知件数は起伏はあるが、横ばい傾向で推移している。

平成9年から平成18年までの間の検挙件数の推移について、被疑者の年齢層別で見ると、総数がほぼ横ばいの中で、60歳未満の各年齢層はいずれも減少ないし微増に止まっているが、数量的には少ないものの60歳以上が増加している(図表5-1-(1)-1)。

同様に、被疑者と被害者の関係で見ると、図表5-1-(1)-2のとおりとなっている。

図表5-1-(1)-1 殺人 主たる被疑者の犯行時の年齢別 検挙件数の推移

	総数	14-19歳	20-59歳	60-64歳	65歳以上
平成9年	1,142	54	927	70	91
平成10年	1,222	67	964	75	116
平成11年	1,098	48	868	76	106
平成12年	1,219	70	947	81	121
平成13年	1,157	66	873	107	111
平成14年	1,238	52	959	87	140
平成15年	1,258	58	948	103	149
平成16年	1,224	38	936	88	162
平成17年	1,224	52	922	109	141
平成18年	1,155	56	854	95	150

注 解決事件を除く。

図表5 - 1 - (1) - 2 殺人 被疑者と被害者との関係別 検挙件数

被害者	総数	親		子		配偶者(内縁を含む)		兄弟姉妹		その他の親族		知人友人		職場関係者		その他		面識なし		被害者なし			
		指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数		
総数	平成9年	1,142	100	103	100	115	100	155	100	34	100	39	100	302	100	85	100	138	100	167	100	4	100
	平成10年	1,222	107	118	115	130	113	189	122	38	112	45	115	334	111	74	87	133	96	159	95	2	50
	平成11年	1,098	96	114	111	98	85	170	110	40	118	37	95	299	99	60	71	138	100	141	84	1	25
	平成12年	1,219	107	131	127	120	104	197	127	34	100	32	82	304	101	84	99	140	101	172	103	5	125
	平成13年	1,157	101	98	95	121	105	191	123	47	138	35	90	282	93	77	91	134	97	162	97	10	250
	平成14年	1,238	108	111	108	128	111	197	127	41	121	35	90	325	108	68	80	133	96	193	116	7	175
	平成15年	1,258	110	133	129	110	96	215	139	47	138	25	64	333	110	71	84	134	97	184	110	6	150
	平成16年	1,224	107	121	117	135	117	206	133	57	168	38	97	300	99	65	76	147	107	154	92	1	25
	平成17年	1,224	107	133	129	111	97	218	141	50	147	29	74	273	90	74	87	144	104	189	113	3	75
平成18年	1,155	101	154	150	143	124	179	115	38	112	28	72	290	96	71	84	114	83	132	79	6	150	
14 - 19歳	平成9年	54	100	9	100	7	100	0	-	2	100	2	100	9	100	2	100	7	100	16	100	0	-
	平成10年	67	124	5	56	9	129	0	-	4	200	2	100	27	300	2	100	4	57	14	88	0	-
	平成11年	48	89	10	111	3	43	0	-	1	50	3	150	16	178	0	0	4	57	11	69	0	-
	平成12年	70	130	10	111	4	57	0	-	2	100	0	0	20	222	2	100	9	129	22	138	1	-
	平成13年	66	122	8	89	6	86	0	-	3	150	1	50	20	222	0	0	7	100	20	125	1	-
	平成14年	52	96	4	44	5	71	0	-	5	250	2	100	12	133	2	100	2	29	19	119	1	-
	平成15年	58	107	6	67	4	57	1	-	5	250	1	50	18	200	1	50	5	71	16	100	1	-
	平成16年	38	70	9	100	4	57	1	-	4	200	1	50	10	111	0	0	4	57	5	31	0	-
	平成17年	52	96	17	189	5	71	1	-	4	200	3	150	7	78	1	50	4	57	10	63	0	-
平成18年	56	104	15	167	7	100	0	-	3	150	0	0	16	178	0	0	3	43	11	69	1	-	
20 - 64歳	平成9年	997	100	89	100	91	100	126	100	31	100	30	100	271	100	82	100	126	100	147	100	4	100
	平成10年	1,039	104	110	124	98	108	150	119	32	103	33	110	284	105	70	85	116	92	144	98	2	50
	平成11年	944	95	101	113	81	89	135	107	33	106	30	100	259	96	59	72	121	96	124	84	1	25
	平成12年	1,028	103	117	131	90	99	164	130	29	94	26	87	259	96	79	96	115	91	145	99	4	100
	平成13年	980	98	86	97	92	101	146	116	41	132	28	93	246	91	77	94	115	91	140	95	9	225
	平成14年	1,046	105	100	112	98	108	152	121	32	103	29	97	280	103	60	73	117	93	172	117	6	150
	平成15年	1,051	105	123	138	80	88	167	133	35	113	19	63	292	108	63	77	110	87	158	107	4	100
	平成16年	1,024	103	106	119	113	124	154	122	48	155	31	103	253	93	59	72	125	99	134	91	1	25
	平成17年	1,031	103	111	125	91	100	172	137	39	126	24	80	234	86	66	80	122	97	169	115	3	75
平成18年	949	95	138	155	112	123	130	103	31	100	21	70	239	88	65	79	94	75	114	78	5	125	
65歳代以上	平成9年	91	100	5	100	17	100	29	100	1	100	7	100	22	100	1	100	5	100	4	100	0	-
	平成10年	116	127	3	60	23	135	39	134	2	200	10	143	23	105	2	200	13	260	1	25	0	-
	平成11年	106	116	3	60	14	82	35	121	6	600	4	57	24	109	1	100	13	260	6	150	0	-
	平成12年	121	133	4	80	26	153	33	114	3	300	6	86	25	114	3	300	16	320	5	125	0	-
	平成13年	111	122	4	80	23	135	45	155	3	300	6	86	16	73	0	0	12	240	2	50	0	-
	平成14年	140	154	7	140	25	147	45	155	4	400	4	57	33	150	6	600	14	280	2	50	0	-
	平成15年	149	164	4	80	26	153	47	162	7	700	5	71	23	105	7	700	19	380	10	250	1	-
	平成16年	162	178	6	120	18	106	51	176	5	500	6	86	37	168	6	600	18	360	15	375	0	-
	平成17年	141	155	5	100	15	88	45	155	7	700	2	29	32	145	7	700	18	360	10	250	0	-
平成18年	150	165	1	20	24	141	49	169	4	400	7	100	35	159	6	600	17	340	7	175	0	-	

注1 解決事件を除く。
注2 犯罪統計上、「被害者なし」には、殺人予備罪のうち、被害者が特定できないものが計上されている。

殺人の場合、未遂事件が多いことが特徴であり、平成18年では既遂事件が565件(43.2%)、未遂事件が718件(54.9%)になっている。これは殺人事件においては銃砲刀剣類が利用されることが少なく、ほとんどが刃物類や生活に利用される日用品類が凶器となっていることが理由の一つと考えられる。

(2) 強盗

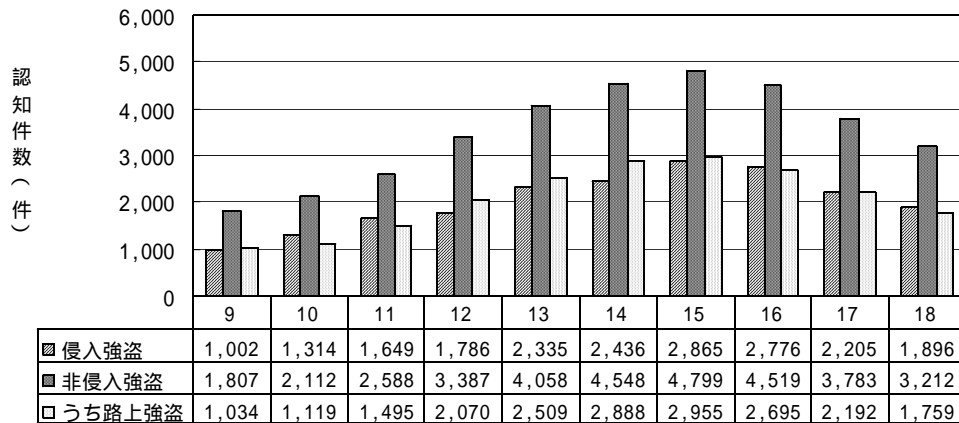
強盗は、平成16年から減少に転じ、平成17年、18年は相当な減少を示したが、なお5,108件の認知件数であり、平成元年の3.2倍という高い水準にあることに変わりはない。

手口別に認知件数を見ると、図表5 - 1 - (2) - 1のとおりである。

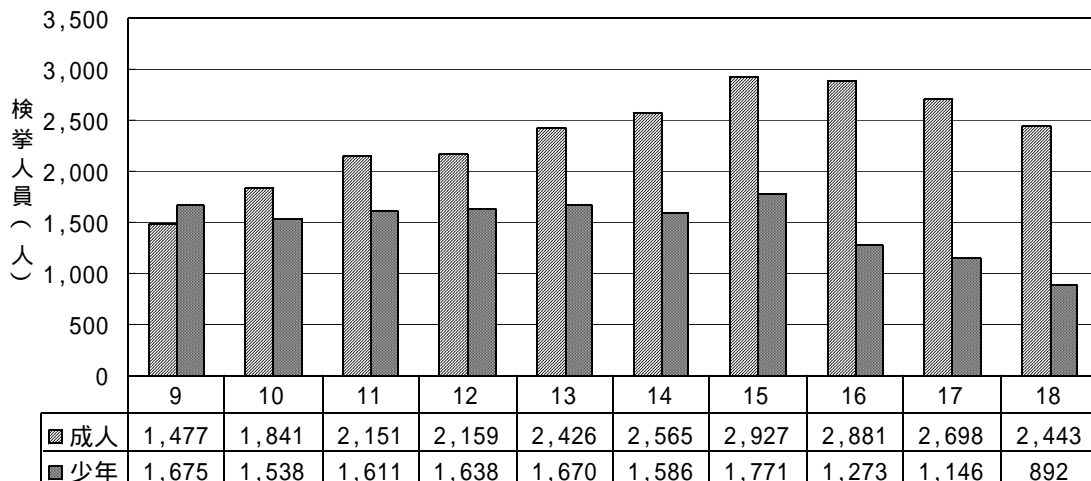
平成9年から15年までの増加について見ると、侵入強盗、非侵入強盗のいずれも増加している。また、その間の非侵入強盗の増加数2,992件を見ると、路上強盗が64.2%を占めている。

なお、図表5 - 1 - (2) - 2に示すとおり、この間の検挙人員の増加は少年よりも成人によるところが大きい。

図表 5 - 1 - (2) - 1 強盗 手口別 認知件数の推移



図表 5 - 1 - (2) - 2 強盗 成人・少年別 検挙人員の推移

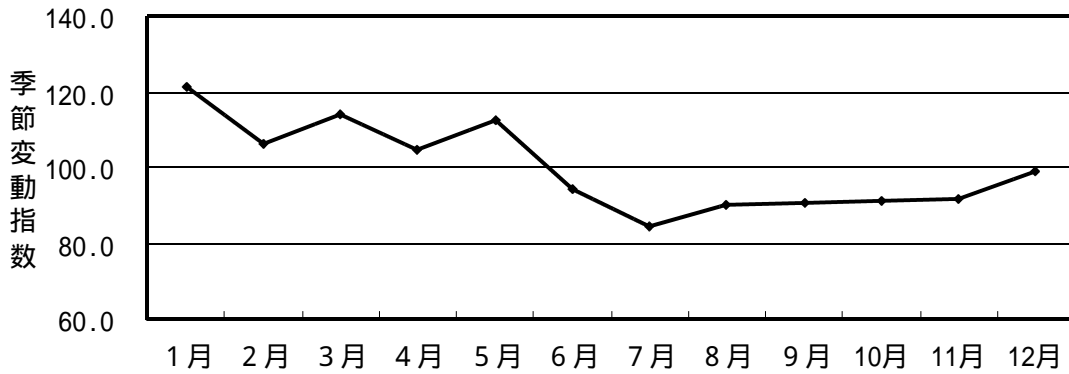


(3) 放火

放火は、起伏はあるものの横ばい傾向で推移している。平成18における放火の犯行の動機・原因では、「憤怒」(21.7%)、「遊び、好奇心、スリル」(16.9%)、「怨恨」(13.5%)が多い。

平成9年から平成18年までの間の認知件数の季節変動指数を見ると、1月から5月における放火の発生が多く、冬・春型の犯罪であることがうかがえる(図表5-1-(3))。

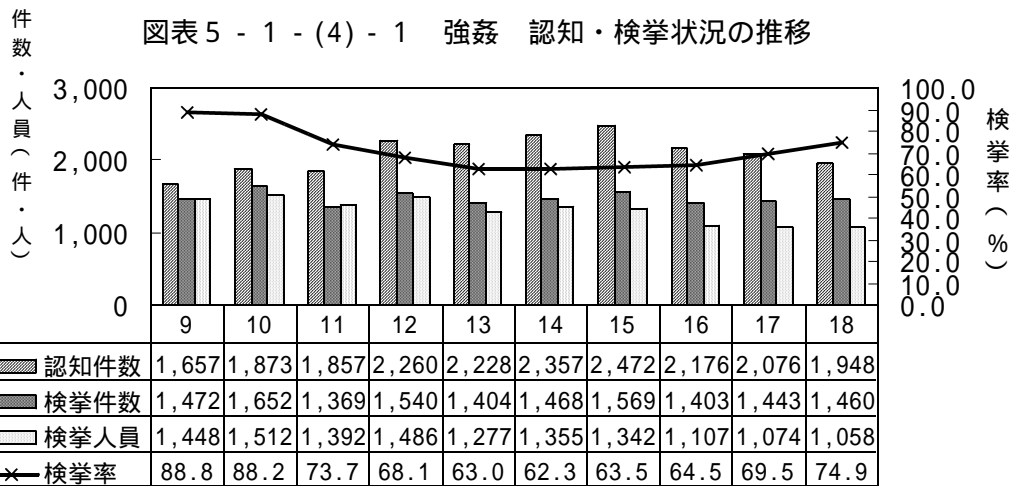
図表 5 - 1 - (3) 放火の季節変動指数



(4) 強姦

強姦の認知件数は、平成9年から平成15年まで増加傾向を示し、平成16年以降減少に転じ、検挙率も上昇しているが、なお2,000件前後の認知件数で推移している（図表5-1-(4)-1）。

検挙事件で被疑者と被害者の関係を見ると、図表5-1-(4)-2のとおりで、数量的には少ないが、親族関係、知人・友人関係、職場関係という面識のある関係者による事件が目立っている。



図表 5 - 1 - (4) - 2 強姦 被疑者と被害者との関係別 検挙件数の推移

被害者 年次	総数	親族 関係	知人 友人	職場 関係	その他	面識なし	
							構成比
平成9年	1,453	18	132	32	176	1,095	75.4
平成10年	1,634	10	182	40	155	1,247	76.3
平成11年	1,334	20	197	42	134	941	70.5
平成12年	1,511	34	254	44	183	996	65.9
平成13年	1,368	21	217	49	169	912	66.7
平成14年	1,431	31	263	52	164	921	64.4
平成15年	1,495	29	264	46	182	974	65.2
平成16年	1,345	46	244	56	174	825	61.3
平成17年	1,373	45	245	62	167	854	62.2
平成18年	1,379	45	261	68	156	849	61.6

注 解決事件を除く。

(余白)

第 6 資料

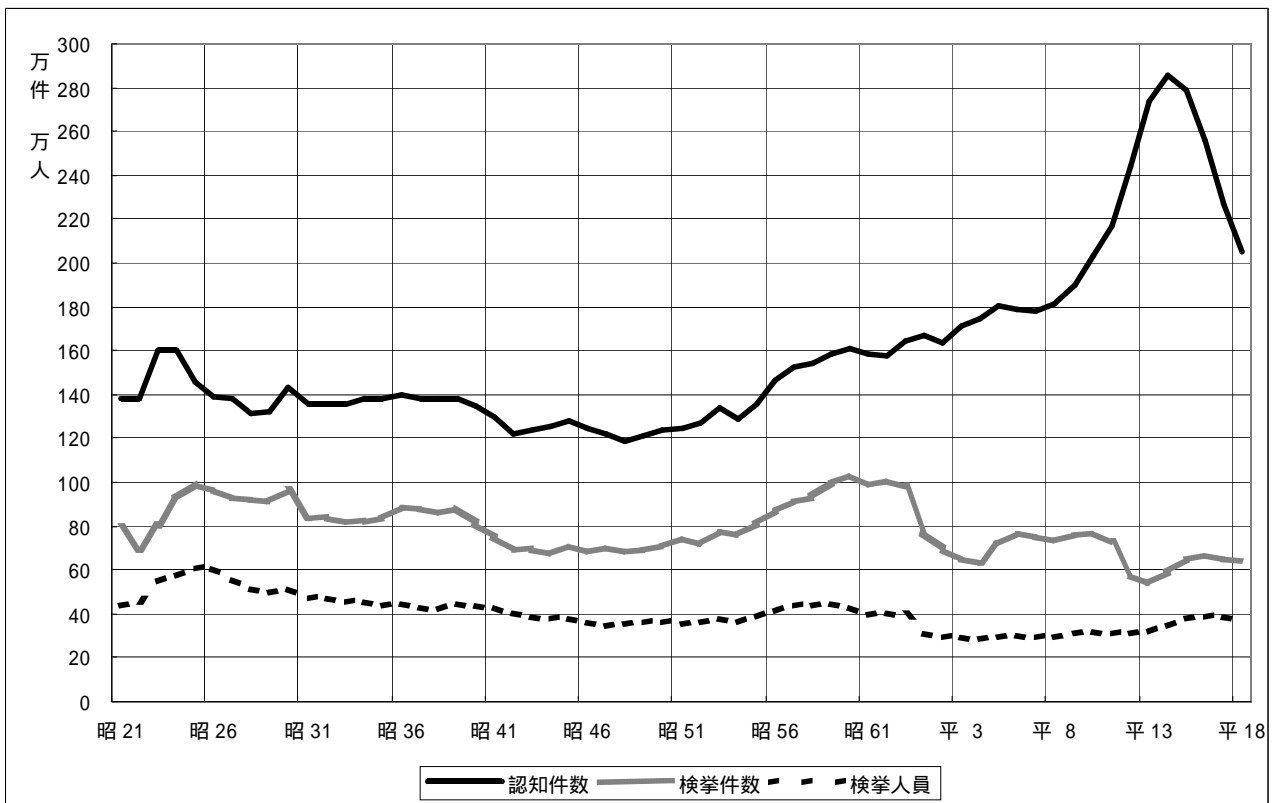
(余白)

図表6-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 21	1,384,222	800,431	442,579
昭 22	1,382,210	693,845	455,097
昭 23	1,599,968	808,619	546,991
昭 24	1,597,891	920,855	579,897
昭 25	1,461,044	991,107	607,769
昭 26	1,387,289	962,455	606,686
昭 27	1,377,273	931,863	557,521
昭 28	1,317,141	927,012	519,707
昭 29	1,324,333	916,804	503,063
昭 30	1,435,652	968,626	515,480
昭 31	1,354,102	842,660	470,522
昭 32	1,354,429	838,210	471,600
昭 33	1,353,930	818,715	457,212
昭 34	1,382,792	825,511	454,898
昭 35	1,378,817	841,718	442,527
昭 36	1,400,915	892,547	451,586
昭 37	1,384,784	885,465	430,153
昭 38	1,377,476	868,207	425,473
昭 39	1,385,358	885,168	449,842
昭 40	1,343,625	812,996	440,563
昭 41	1,293,877	756,230	433,545
昭 42	1,219,840	692,913	402,738
昭 43	1,234,198	697,407	393,831
昭 44	1,253,950	675,183	377,826
昭 45	1,279,787	710,078	380,850
昭 46	1,244,168	690,027	361,972
昭 47	1,223,546	700,378	348,788
昭 48	1,190,549	688,328	357,738
昭 49	1,211,005	696,536	363,309
昭 50	1,234,307	713,031	364,117

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 51	1,247,631	743,048	359,360
昭 52	1,268,430	723,509	363,144
昭 53	1,336,922	779,697	381,742
昭 54	1,289,405	765,945	368,126
昭 55	1,357,461	811,189	392,113
昭 56	1,463,228	870,513	418,162
昭 57	1,528,779	916,058	441,963
昭 58	1,540,717	929,321	438,705
昭 59	1,588,693	1,002,923	446,617
昭 60	1,607,697	1,032,879	432,250
昭 61	1,581,411	990,650	399,886
昭 62	1,577,954	1,012,076	404,762
昭 63	1,641,310	982,165	398,208
平 元	1,673,268	772,320	312,992
平 2	1,636,628	692,593	293,264
平 3	1,707,877	654,538	296,158
平 4	1,742,366	636,290	284,908
平 5	1,801,150	723,610	297,725
平 6	1,784,432	767,844	307,965
平 7	1,782,944	753,174	293,252
平 8	1,812,119	735,881	295,584
平 9	1,899,564	759,609	313,573
平 10	2,033,546	772,282	324,263
平 11	2,165,626	731,284	315,355
平 12	2,443,470	576,771	309,649
平 13	2,735,612	542,115	325,292
平 14	2,853,739	592,359	347,558
平 15	2,790,136	648,319	379,602
平 16	2,562,767	667,620	389,027
平 17	2,269,293	649,503	386,955
平 18	2,050,850	640,657	384,250

注：道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷（昭和40年以前は、すべての業務上（重）過失致死傷）を除く。



図表 6 - 2 刑法犯の

区分		年次	平 9	平10	平11	平12	平13
人口 (10万人)			1,262	1,265	1,267	1,269	1,273
刑法犯総数	認知件数	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	
	犯 罪 率	1,505.2	1,607.5	1,709.3	1,925.5	2,148.9	
重要犯罪	認知件数	12,366	12,725	14,682	18,281	21,530	
	犯 罪 率	9.8	10.1	11.6	14.4	16.9	
重要窃盗犯	認知件数	305,328	330,369	367,174	423,281	443,502	
	犯 罪 率	241.9	261.2	289.8	333.6	348.4	
凶悪犯	認知件数	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	
	犯 罪 率	6.1	6.5	7.2	8.3	9.4	
殺人	認知件数	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	
	犯 罪 率	1.0	1.1	1.0	1.1	1.1	
強盗	認知件数	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	
	犯 罪 率	2.2	2.7	3.3	4.1	5.0	
放火	認知件数	1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	
	犯 罪 率	1.5	1.2	1.4	1.4	1.6	
強姦	認知件数	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	
	犯 罪 率	1.3	1.5	1.5	1.8	1.8	
粗暴犯	認知件数	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801	
	犯 罪 率	32.1	33.0	34.6	50.8	57.2	
うち) 暴行	認知件数	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928	
	犯 罪 率	5.7	5.8	6.1	10.4	13.3	
うち) 傷害	認知件数	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965	
	犯 罪 率	15.3	15.4	16.0	23.8	26.7	
うち) 恐喝	認知件数	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566	
	犯 罪 率	10.3	11.0	11.7	14.9	15.4	
窃盗犯	認知件数	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	
	犯 罪 率	1,319.8	1,414.3	1,507.8	1,679.4	1,838.6	
侵入窃盗	認知件数	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	
	犯 罪 率	175.7	187.9	206.0	233.6	238.6	
乗り物盗	認知件数	696,370	705,431	694,375	754,939	827,593	
	犯 罪 率	551.8	557.7	548.0	594.9	650.1	
非侵入窃盗	認知件数	747,495	845,915	955,037	1,079,739	1,209,220	
	犯 罪 率	592.3	668.7	753.8	850.9	949.9	
知能犯	認知件数	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	
	犯 罪 率	48.6	46.9	42.2	43.5	41.6	
うち) 詐欺	認知件数	49,426	48,279	43,431	44,384	43,104	
	犯 罪 率	39.2	38.2	34.3	35.0	33.9	
風俗犯	認知件数	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	
	犯 罪 率	5.4	5.3	5.9	7.7	9.3	
うち) 強制わいせつ	認知件数	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	
	犯 罪 率	3.5	3.4	4.2	5.8	7.3	
その他の刑法犯	認知件数	117,688	128,536	141,348	172,336	245,485	
	犯 罪 率	93.3	101.6	111.6	135.8	192.8	

注 1 : 犯罪率は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

注 2 : 人口は、総務省統計局の推計人口 (各年10月1日現在) を四捨五入し、10万人単位にした数値である。

罪種別犯罪率の推移

平14	平15	平16	平17	平18	年次	
					人口(10万人)	区分
1,274	1,276	1,277	1,278	1,278	人口(10万人)	
2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	認知件数	刑法犯総数
2,240.0	2,186.6	2,006.9	1,775.7	1,604.7	犯罪率	
22,294	23,971	22,568	20,388	18,649	認知件数	重要犯罪
17.5	18.8	17.7	16.0	14.6	犯罪率	
478,476	469,148	407,929	338,967	282,047	認知件数	重要窃盗犯
375.6	367.7	319.4	265.2	220.7	犯罪率	
12,567	13,658	13,064	11,360	10,124	認知件数	凶悪犯
9.9	10.7	10.2	8.9	7.9	犯罪率	
1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	認知件数	殺人
1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	犯罪率	
6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	認知件数	強盗
5.5	6.0	5.7	4.7	4.0	犯罪率	
1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	認知件数	放火
1.4	1.6	1.7	1.5	1.4	犯罪率	
2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	認知件数	強姦
1.9	1.9	1.7	1.6	1.5	犯罪率	
76,573	78,759	76,616	73,772	76,303	認知件数	粗暴犯
60.1	61.7	60.0	57.7	59.7	犯罪率	
19,442	21,937	23,691	25,815	31,002	認知件数	うち)暴行
15.3	17.2	18.6	20.2	24.3	犯罪率	
36,324	36,568	35,937	34,484	33,987	認知件数	うち)傷害
28.5	28.7	28.1	27.0	26.6	犯罪率	
18,403	17,595	14,424	10,978	8,636	認知件数	うち)恐喝
14.4	13.8	11.3	8.6	6.8	犯罪率	
2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	認知件数	窃盗犯
1,866.2	1,752.2	1,551.7	1,349.8	1,200.7	犯罪率	
338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	認知件数	侵入窃盗
265.5	261.2	227.6	191.5	160.8	犯罪率	
775,435	695,791	629,722	556,987	517,815	認知件数	乗り物盗
608.7	545.3	493.1	435.8	405.2	犯罪率	
1,263,759	1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	認知件数	非侵入窃盗
992.0	945.8	831.1	722.5	634.8	犯罪率	
62,751	74,754	99,258	97,500	84,271	認知件数	知能犯
49.3	58.6	77.7	76.3	65.9	犯罪率	
49,482	60,298	83,015	85,596	74,632	認知件数	うち)詐欺
38.8	47.3	65.0	67.0	58.4	犯罪率	
12,220	13,034	12,346	12,085	11,932	認知件数	風俗犯
9.6	10.2	9.7	9.5	9.3	犯罪率	
9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	認知件数	うち)強制わいせつ
7.4	7.9	7.2	6.8	6.5	犯罪率	
312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	認知件数	その他の刑法犯
245.0	293.2	297.5	273.5	261.1	犯罪率	

図表6 - 3 刑法犯の都道府県別

年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
都道府県						
認知件数(件)	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739
北海道	84,863	82,688	81,820	86,786	92,832	94,091
札幌	55,619	52,417	53,208	59,084	63,359	63,792
函館	7,069	6,726	6,257	6,337	6,921	6,617
旭川	9,925	10,471	9,842	9,518	9,617	10,637
釧路	8,632	9,135	8,843	8,530	9,425	9,312
北見	3,618	3,939	3,670	3,317	3,510	3,733
東北管区	108,935	113,628	116,770	129,958	142,929	145,801
青森	11,116	10,755	12,941	16,730	17,051	19,202
岩手	15,925	14,997	13,610	13,865	15,125	15,011
宮城	35,854	38,821	42,820	47,207	49,887	49,261
秋田	10,240	12,201	11,419	12,159	12,768	11,978
山形	10,223	11,151	11,749	12,171	13,029	14,331
福島	25,577	25,703	24,231	27,826	35,069	36,018
東京	235,767	251,180	268,006	291,371	292,579	301,913
関東管区	549,966	605,107	650,000	724,467	786,208	831,091
茨城	37,198	41,168	44,356	52,110	60,681	67,672
栃木	27,733	28,620	31,996	33,819	36,321	39,061
群馬	24,768	29,657	29,744	28,822	32,544	39,803
埼玉	119,319	131,984	142,972	156,842	170,963	177,762
千葉	107,287	122,549	136,521	152,516	164,721	168,366
神奈川	123,328	134,613	143,134	169,968	179,692	190,173
新潟	25,179	24,530	25,827	25,309	33,205	35,947
山梨	8,682	9,335	9,978	12,533	13,761	15,245
長野	27,141	28,173	29,252	32,110	34,764	34,054
静岡	49,331	54,478	56,220	60,438	59,556	63,008
中部管区	183,375	209,203	247,302	276,653	323,682	342,534
富山	9,660	10,841	11,154	12,005	17,660	16,311
石川	8,763	10,304	11,376	12,804	16,805	16,666
福井	8,374	9,542	9,666	10,886	11,671	13,884
岐阜	26,503	28,068	33,266	39,177	48,088	51,956
愛知	109,317	129,383	158,791	176,119	190,212	196,117
三重	20,758	21,065	23,049	25,662	39,246	47,600
近畿管区	362,040	384,956	393,293	473,887	606,204	617,794
滋賀	21,114	22,405	22,907	26,288	31,258	32,183
京都	44,636	49,637	49,176	54,078	63,051	65,082
大阪	192,435	196,383	200,102	252,367	327,262	300,429
兵庫	68,685	75,166	78,857	94,150	129,197	164,445
奈良	16,483	20,063	20,477	25,043	31,163	32,017
和歌山	18,687	21,302	21,774	21,961	24,273	23,638
中国管区	102,819	107,967	115,581	121,984	138,510	147,661
鳥取	6,007	6,348	6,509	6,682	7,468	8,215
島根	8,042	7,508	6,915	7,533	8,695	9,055
岡山	26,633	28,174	30,135	31,883	37,678	45,386
広島	44,207	48,185	53,388	52,827	59,352	59,330
山口	17,930	17,752	18,634	23,059	25,317	25,675
四国管区	47,876	52,882	53,792	61,257	66,853	69,314
徳島	6,976	8,296	8,846	10,717	11,181	11,432
香川	8,427	10,002	12,047	13,412	15,744	19,475
愛媛	20,891	22,530	21,386	24,407	26,987	25,599
高知	11,582	12,054	11,513	12,721	12,941	12,808
九州管区	223,923	225,935	239,062	277,107	285,815	303,540
福岡	126,006	124,071	133,238	153,630	157,749	168,190
佐賀	7,448	7,304	7,960	11,025	12,391	13,222
長崎	10,137	10,420	11,917	13,493	14,097	13,952
熊本	20,659	21,824	21,814	26,874	27,034	28,684
大分	11,715	12,248	13,292	15,202	15,625	17,158
宮崎	13,818	13,881	14,586	15,905	15,588	17,703
鹿児島	19,168	19,379	17,677	19,487	19,905	18,990
沖縄	14,972	16,808	18,578	21,491	23,426	25,641

認知件数の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	-218,443	-9.6	認知件数(件)
93,863	88,249	73,071	65,417	-7,654	-10.5	北海道
62,143	59,413	49,839	44,834	-5,005	-10.0	札幌
7,717	7,920	6,115	5,457	-658	-10.8	函館
10,817	9,042	7,567	6,304	-1,263	-16.7	旭川
9,564	8,912	6,740	6,364	-376	-5.6	釧路
3,622	2,962	2,810	2,458	-352	-12.5	北見
135,031	120,581	102,900	93,986	-8,914	-8.7	東北管区
18,940	17,360	14,769	13,018	-1,751	-11.9	青森
13,686	12,885	11,289	10,090	-1,199	-10.6	岩手
43,376	40,211	33,357	31,698	-1,659	-5.0	宮城
10,616	9,565	8,604	7,571	-1,033	-12.0	秋田
12,852	11,423	10,352	9,214	-1,138	-11.0	山形
35,561	29,137	24,529	22,395	-2,134	-8.7	福島
299,406	283,326	253,912	244,611	-9,301	-3.7	関東管区
819,702	782,924	673,226	596,152	-77,074	-11.4	茨城
64,844	55,633	52,266	47,183	-5,083	-9.7	栃木
40,469	37,943	33,380	33,059	-321	-1.0	群馬
40,753	42,643	35,453	32,060	-3,393	-9.6	埼玉
179,276	181,350	157,047	136,651	-20,396	-13.0	千葉
164,278	147,587	131,037	115,700	-15,337	-11.7	神奈川
186,290	183,148	142,920	122,703	-20,217	-14.1	新潟
35,413	31,391	28,174	26,126	-2,048	-7.3	山梨
14,130	12,967	10,683	9,547	-1,136	-10.6	長野
31,974	29,822	26,753	22,902	-3,851	-14.4	静岡
62,275	60,440	55,513	50,221	-5,292	-9.5	中部管区
361,021	328,699	306,274	249,659	-56,615	-18.5	富山
15,501	14,206	13,168	11,364	-1,804	-13.7	石川
17,770	14,648	12,739	12,524	-215	-1.7	福井
12,501	10,060	8,324	7,422	-902	-10.8	岐阜
46,956	43,160	38,649	32,864	-5,785	-15.0	愛知
225,706	208,170	198,937	157,382	-41,555	-20.9	三重
42,587	38,455	34,457	28,103	-6,354	-18.4	近畿管区
578,761	520,896	485,308	453,593	-31,715	-6.5	滋賀
27,801	23,841	18,750	17,969	-781	-4.2	京都
63,291	63,593	57,586	54,932	-2,654	-4.6	大阪
285,307	255,697	249,511	232,451	-17,060	-6.8	兵庫
153,080	135,119	121,539	113,320	-8,219	-6.8	奈良
28,018	23,942	21,365	18,895	-2,470	-11.6	和歌山
21,264	18,704	16,557	16,026	-531	-3.2	中国管区
139,054	119,383	101,354	96,602	-4,752	-4.7	鳥取
9,302	8,688	7,382	6,838	-544	-7.4	島根
9,217	8,864	7,586	6,782	-804	-10.6	岡山
43,423	37,195	32,102	31,632	-470	-1.5	広島
53,512	44,325	36,938	35,022	-1,916	-5.2	山口
23,600	20,311	17,346	16,328	-1,018	-5.9	四国管区
75,122	69,488	61,117	53,704	-7,413	-12.1	徳島
12,369	10,552	9,655	9,111	-544	-5.6	香川
22,185	20,800	16,997	14,640	-2,357	-13.9	愛媛
27,380	24,654	22,167	19,001	-3,166	-14.3	高知
13,188	13,482	12,298	10,952	-1,346	-10.9	九州管区
288,176	249,221	212,131	197,126	-15,005	-7.1	福岡
154,834	128,545	106,805	102,101	-4,704	-4.4	佐賀
14,351	13,033	11,040	9,660	-1,380	-12.5	長崎
14,454	13,911	12,833	11,148	-1,685	-13.1	熊本
28,973	25,628	22,191	20,054	-2,137	-9.6	大分
17,362	15,482	13,035	11,823	-1,212	-9.3	宮崎
16,389	13,610	12,030	11,352	-678	-5.6	鹿児島
18,899	17,128	14,934	13,565	-1,369	-9.2	沖縄
22,914	21,884	19,263	17,423	-1,840	-9.6	

図表 6 - 4 刑法犯の都道府県別

年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
都道府県						
検挙件数(件)	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359
北海道	15,391	17,407	14,287	13,927	13,369	14,612
札幌	9,484	10,088	8,066	8,253	8,228	9,138
函館	1,200	1,416	1,284	994	1,268	1,207
旭川	2,009	2,967	2,320	2,103	1,663	1,962
釧路	1,725	1,892	1,799	1,902	1,364	1,594
北見	973	1,044	818	675	846	711
東北管区	51,566	49,894	44,749	35,915	36,609	40,534
青森	7,843	7,656	5,819	4,368	4,226	5,398
岩手	4,995	4,216	4,414	3,553	3,562	4,265
宮城	11,003	10,030	9,871	9,045	10,081	10,412
秋田	5,351	5,599	4,941	5,068	4,720	4,600
山形	7,309	7,216	5,597	4,485	4,152	4,808
福島	15,065	15,177	14,107	9,396	9,868	11,051
東京	86,424	87,184	87,021	76,585	75,288	75,952
関東管区	219,863	223,597	216,317	155,527	147,948	157,464
茨城	21,035	22,224	17,046	11,289	11,870	13,864
栃木	12,422	11,998	10,658	8,304	6,332	7,603
群馬	13,476	12,215	12,526	10,267	9,256	9,909
埼玉	28,757	28,478	26,839	26,239	25,019	22,735
千葉	29,264	31,134	31,833	24,462	24,131	29,908
神奈川	62,570	68,758	70,269	41,611	37,531	36,537
新潟	14,700	14,000	13,191	10,400	9,693	10,123
山梨	4,250	4,185	3,982	2,679	2,033	2,667
長野	13,951	12,503	11,412	7,604	7,239	8,533
静岡	19,438	18,102	18,561	12,672	14,844	15,585
中部管区	88,315	90,289	84,249	56,722	55,510	81,883
富山	5,548	5,854	4,636	3,577	3,845	4,650
石川	5,474	5,650	5,373	3,647	3,939	8,296
福井	6,112	6,454	5,304	4,308	3,500	4,191
岐阜	11,750	11,356	10,290	6,617	6,548	8,089
愛知	50,239	50,691	47,130	30,932	30,398	48,600
三重	9,192	10,284	11,516	7,641	7,280	8,057
近畿管区	137,526	141,252	127,518	101,872	91,039	93,386
滋賀	7,660	7,018	5,612	5,536	5,629	6,228
京都	15,219	16,592	14,882	13,774	13,766	12,811
大阪	66,852	65,291	54,390	41,255	37,497	39,100
兵庫	27,477	30,556	31,581	25,844	21,799	23,803
奈良	9,480	10,567	10,153	9,873	7,902	6,844
和歌山	10,838	11,228	10,900	5,590	4,446	4,600
中国管区	48,714	51,420	46,596	43,809	37,631	40,844
鳥取	3,790	4,146	3,970	3,642	2,889	3,598
島根	4,779	4,451	3,767	3,376	3,166	3,246
岡山	10,941	11,435	11,550	10,413	10,572	9,515
広島	22,292	23,305	19,742	17,956	13,251	13,424
山口	6,912	8,083	7,567	8,422	7,753	11,061
四国管区	24,677	24,792	25,574	23,918	21,187	20,065
徳島	4,765	4,754	4,769	4,666	5,155	4,413
香川	4,996	5,147	5,882	4,808	4,385	4,906
愛媛	7,673	7,138	7,452	7,010	6,381	6,278
高知	7,243	7,753	7,471	7,434	5,266	4,468
九州管区	87,133	86,447	84,973	68,496	63,534	67,619
福岡	32,040	37,815	37,560	27,234	24,259	27,197
佐賀	4,307	3,639	3,363	3,194	3,960	4,066
長崎	7,566	6,896	6,277	5,912	5,837	6,377
熊本	11,200	11,691	10,891	9,692	9,003	8,884
大分	4,497	4,355	4,861	4,103	3,825	4,866
宮崎	5,952	5,719	5,539	4,744	4,757	3,954
鹿児島	11,261	9,032	8,493	7,391	6,625	7,581
沖縄	10,310	7,300	7,989	6,226	5,268	4,694

検挙件数の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
648,319	667,620	649,503	640,657	-8,846	-1.4	検挙件数(件)
17,909	21,213	22,257	23,036	779	3.5	北 海 道
11,181	14,041	15,101	16,094	993	6.6	札 幌
1,561	2,086	1,564	1,630	66	4.2	函 館
2,077	2,244	3,029	2,163	-866	-28.6	旭 川
2,025	1,939	1,789	2,294	505	28.2	釧 路
1,065	903	774	855	81	10.5	北 見
43,432	38,726	36,939	34,284	-2,655	-7.2	東 北 管 区
5,855	5,235	5,029	4,393	-636	-12.6	青 森
4,495	4,452	4,306	4,195	-111	-2.6	岩 手
11,976	10,516	9,819	9,410	-409	-4.2	宮 城
4,869	4,589	4,162	4,071	-91	-2.2	秋 田
5,130	4,125	5,069	4,024	-1,045	-20.6	山 形
11,107	9,809	8,554	8,191	-363	-4.2	福 島
85,995	89,252	86,444	89,549	3,105	3.6	東 京
170,652	189,826	188,264	193,509	5,245	2.8	関 東 管 区
13,977	16,662	15,967	17,031	1,064	6.7	茨 城
9,355	10,268	9,065	9,258	193	2.1	栃 木
10,054	14,067	11,052	10,829	-223	-2.0	群 馬
25,788	32,413	31,161	34,060	2,899	9.3	埼 玉
33,458	32,902	35,528	38,122	2,594	7.3	千 葉
40,019	46,458	47,286	47,342	56	0.1	神 奈 川
10,096	9,127	8,146	8,183	37	0.5	新 潟
3,245	3,062	4,472	3,931	-541	-12.1	山 梨
8,748	8,970	8,490	9,669	1,179	13.9	長 野
15,912	15,897	17,097	15,084	-2,013	-11.8	静 岡
80,140	76,286	74,913	64,962	-9,951	-13.3	中 部 管 区
4,829	4,085	3,802	3,573	-229	-6.0	富 山
6,667	6,406	5,272	5,208	-64	-1.2	石 川
4,369	3,520	4,388	3,546	-842	-19.2	福 井
9,446	8,284	9,636	9,236	-400	-4.2	岐 阜
46,468	45,095	42,313	32,166	-10,147	-24.0	愛 知
8,361	8,896	9,502	11,233	1,731	18.2	三 重
106,410	105,720	106,802	102,594	-4,208	-3.9	近 畿 管 区
8,191	7,565	8,153	6,484	-1,669	-20.5	滋 賀
15,908	16,089	15,385	14,978	-407	-2.6	京 都
42,137	41,341	41,290	39,192	-2,098	-5.1	大 阪
25,973	28,817	28,846	29,238	392	1.4	兵 庫
9,253	7,802	9,022	8,805	-217	-2.4	奈 良
4,948	4,106	4,106	3,897	-209	-5.1	和 歌 山
41,564	39,438	37,386	35,360	-2,026	-5.4	中 国 管 区
4,541	3,574	3,437	3,862	425	12.4	鳥 取
3,506	3,166	3,652	3,305	-347	-9.5	島 根
9,710	9,713	9,361	9,525	164	1.8	岡 山
13,525	14,568	12,279	11,350	-929	-7.6	広 島
10,282	8,417	8,657	7,318	-1,339	-15.5	山 口
21,543	20,703	21,134	20,918	-216	-1.0	四 国 管 区
5,084	3,899	4,411	3,843	-568	-12.9	徳 島
5,415	5,791	4,934	5,193	259	5.2	香 川
6,694	7,150	8,008	7,977	-31	-0.4	愛 媛
4,350	3,863	3,781	3,905	124	3.3	高 知
80,674	86,456	75,364	76,445	1,081	1.4	九 州 管 区
37,121	40,152	34,059	35,372	1,313	3.9	福 岡
4,176	4,137	4,216	4,636	420	10.0	佐 賀
6,896	8,465	5,861	6,125	264	4.5	長 崎
9,546	11,731	8,944	7,641	-1,303	-14.6	熊 本
5,483	5,716	4,911	5,114	203	4.1	大 分
4,606	4,412	4,568	5,359	791	17.3	宮 崎
6,619	6,083	6,130	5,400	-730	-11.9	鹿 児 島
6,227	5,760	6,675	6,798	123	1.8	沖 縄

図表 6 - 5 刑法犯の都道府県別

年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
都道府県						
検挙人員(人)	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558
北海道	9,479	10,876	9,287	10,119	10,302	10,801
札幌	6,020	7,068	5,952	6,428	6,563	7,112
函館	690	860	739	738	811	826
旭川	1,348	1,315	1,164	1,342	1,268	1,234
釧路	901	1,034	920	1,079	1,026	1,083
北見	520	599	512	532	634	546
東北管区	21,133	21,744	20,361	20,372	22,092	25,636
青森	2,606	2,867	2,658	2,391	2,979	3,649
岩手	2,612	2,706	2,453	2,197	2,377	2,923
宮城	5,569	5,602	5,059	5,444	6,127	7,214
秋田	2,641	2,705	2,785	2,462	2,874	2,837
山形	2,284	2,704	2,438	2,828	2,540	2,941
福島	5,421	5,160	4,968	5,050	5,195	6,072
東京	49,246	47,630	47,957	46,562	47,026	47,828
関東管区	82,141	80,770	79,027	80,034	83,177	88,294
茨城	6,401	5,966	5,750	5,613	5,957	5,630
栃木	3,552	3,746	3,555	3,596	3,773	4,332
群馬	3,918	4,180	3,790	4,079	4,113	4,568
埼玉	11,248	11,358	11,187	12,767	14,017	14,438
千葉	10,790	11,000	11,493	11,223	12,210	13,652
神奈川	26,869	25,664	24,102	22,737	22,411	23,928
新潟	6,496	5,806	5,474	5,306	5,337	5,566
山梨	1,304	1,252	1,348	1,390	1,469	1,743
長野	5,120	4,705	4,828	4,788	4,522	5,133
静岡	6,443	7,093	7,500	8,535	9,368	9,304
中部管区	25,294	26,392	26,244	25,906	29,152	33,566
富山	2,354	2,414	2,553	2,487	2,878	3,052
石川	1,769	1,827	2,020	2,013	2,284	2,906
福井	1,935	1,954	1,703	1,999	2,043	2,415
岐阜	3,486	3,408	3,134	3,419	3,661	5,165
愛知	12,460	12,928	13,502	12,854	14,532	15,825
三重	3,290	3,861	3,332	3,134	3,754	4,203
近畿管区	60,948	66,970	65,798	59,594	63,293	66,169
滋賀	2,187	2,160	1,704	2,112	2,669	3,133
京都	8,055	9,401	8,533	7,512	8,636	8,333
大阪	30,447	32,858	33,600	29,605	31,015	31,235
兵庫	15,433	17,454	17,014	15,354	15,800	17,590
奈良	2,657	2,800	2,818	2,960	3,022	3,455
和歌山	2,169	2,297	2,129	2,051	2,151	2,423
中国管区	21,888	23,649	22,283	22,582	22,812	23,669
鳥取	1,899	1,938	1,957	1,910	2,167	2,071
島根	1,977	1,864	1,606	1,778	1,620	1,735
岡山	5,082	5,887	5,496	5,973	6,406	6,309
広島	8,894	9,346	8,657	8,482	8,179	8,519
山口	4,036	4,614	4,567	4,439	4,440	5,035
四国管区	10,641	10,952	10,451	10,347	10,783	11,562
徳島	1,870	2,024	1,784	1,939	2,063	2,218
香川	2,365	2,790	2,696	2,591	2,664	2,954
愛媛	4,035	3,634	3,633	3,795	3,919	3,982
高知	2,371	2,504	2,338	2,022	2,137	2,408
九州管区	32,803	35,280	33,947	34,133	36,655	40,033
福岡	14,349	15,571	15,097	13,570	14,221	16,407
佐賀	1,612	1,924	1,798	1,969	2,325	2,118
長崎	3,252	3,319	3,124	3,418	3,727	3,886
熊本	4,023	4,180	3,688	3,823	4,391	4,598
大分	2,177	2,470	2,331	2,677	2,640	2,936
宮崎	2,039	1,898	2,032	2,292	2,340	2,489
鹿児島	3,425	3,590	3,405	3,779	3,667	3,765
沖縄	1,926	2,328	2,472	2,605	3,344	3,834

検拳人員の推移

平 15	平 16	平 17	平 18	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
379,602	389,027	386,955	384,250	-2,705	-0.7	検拳人員(人)
12,484	14,383	13,197	13,485	288	2.2	北海道
8,323	9,590	8,577	9,012	435	5.1	札幌
993	1,300	1,210	1,075	-135	-11.2	函館
1,328	1,394	1,426	1,469	43	3.0	旭川
1,210	1,449	1,280	1,357	77	6.0	釧路
630	650	704	572	-132	-18.8	北見
26,731	24,975	22,934	21,499	-1,435	-6.3	東北管区
4,005	3,537	3,248	3,242	-6	-0.2	青森
2,910	2,886	2,631	2,677	46	1.7	岩手
7,772	7,413	6,341	5,585	-756	-11.9	宮城
2,758	2,652	2,336	2,287	-49	-2.1	秋田
2,958	2,635	2,887	2,542	-345	-12.0	山形
6,328	5,852	5,491	5,166	-325	-5.9	福島
54,280	57,612	58,837	58,775	-62	-0.1	東京
96,636	103,931	107,113	109,554	2,441	2.3	関東管区
5,960	6,957	6,835	6,622	-213	-3.1	茨城
5,114	5,680	5,910	5,447	-463	-7.8	栃木
4,756	4,870	4,684	4,144	-540	-11.5	群馬
15,631	18,433	19,589	20,255	666	3.4	埼玉
15,411	16,308	17,230	19,895	2,665	15.5	千葉
26,576	28,817	30,365	31,447	1,082	3.6	神奈川
5,550	5,739	5,758	5,712	-46	-0.8	新潟
1,968	1,934	2,547	2,047	-500	-19.6	山梨
5,403	5,125	4,811	4,947	136	2.8	長野
10,267	10,068	9,384	9,038	-346	-3.7	静岡
34,389	35,756	33,449	35,945	2,496	7.5	中部管区
3,076	2,791	2,612	2,432	-180	-6.9	富山
2,994	2,964	2,892	2,957	65	2.2	石川
2,438	1,965	1,823	1,670	-153	-8.4	福井
5,199	5,449	4,875	4,751	-124	-2.5	岐阜
16,344	18,058	16,857	19,946	3,089	18.3	愛知
4,338	4,529	4,390	4,189	-201	-4.6	三重
69,678	69,537	70,851	68,971	-1,880	-2.7	近畿管区
3,231	3,152	2,988	2,639	-349	-11.7	滋賀
8,667	9,784	10,178	9,941	-237	-2.3	京都
33,456	32,201	31,919	30,531	-1,388	-4.3	大阪
17,560	17,743	19,179	19,037	-142	-0.7	兵庫
3,710	3,439	3,711	3,793	82	2.2	奈良
3,054	3,218	2,876	3,030	154	5.4	和歌山
24,941	23,614	22,914	21,641	-1,273	-5.6	中国管区
2,390	2,081	1,988	1,734	-254	-12.8	鳥取
1,813	1,894	1,821	1,610	-211	-11.6	島根
7,196	6,476	6,567	6,123	-444	-6.8	岡山
8,500	8,586	8,079	7,856	-223	-2.8	広島
5,042	4,577	4,459	4,318	-141	-3.2	山口
12,519	12,648	11,931	11,125	-806	-6.8	四国管区
2,454	2,275	2,076	2,036	-40	-1.9	徳島
3,387	3,456	3,203	3,171	-32	-1.0	香川
4,105	4,225	3,974	3,732	-242	-6.1	愛媛
2,573	2,692	2,678	2,186	-492	-18.4	高知
47,944	46,571	45,729	43,255	-2,474	-5.4	九州管区
22,838	21,912	20,866	19,712	-1,154	-5.5	福岡
2,243	2,200	2,059	1,762	-297	-14.4	佐賀
3,907	3,894	4,106	3,676	-430	-10.5	長崎
4,963	4,812	4,872	4,711	-161	-3.3	熊本
3,378	3,517	2,897	2,730	-167	-5.8	大分
2,724	2,691	2,787	3,142	355	12.7	宮崎
3,836	3,569	3,796	3,334	-462	-12.2	鹿児島
4,055	3,976	4,346	4,188	-158	-3.6	沖縄

図表 6 - 6 刑法犯の包括罪種別

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
刑法犯	認知件数(件)	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	
	検挙件数(件)	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	
	検挙人員(人)	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	
凶悪犯	認知件数	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	
	検挙件数	6,733	6,991	6,859	7,175	7,320	7,604	
	検挙人員	6,633	6,949	7,217	7,488	7,490	7,726	
粗暴犯	認知件数	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	
	検挙件数	29,967	29,638	28,488	39,211	39,924	40,425	
	検挙人員	40,432	39,755	37,874	50,419	50,428	49,615	
窃盗犯	認知件数	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	
	検挙件数	586,648	597,283	561,148	407,246	367,643	403,872	
	検挙人員	175,632	181,329	172,147	162,610	168,919	180,725	
知能犯	認知件数	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	
	検挙件数	57,811	55,118	47,827	44,322	37,800	39,884	
	検挙人員	11,639	11,286	10,562	11,341	11,539	13,173	
風俗犯	認知件数	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	
	検挙件数	6,124	5,899	5,438	5,809	6,066	5,633	
	検挙人員	6,923	7,239	6,110	6,112	6,166	5,912	
その他	認知件数	117,688	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	
	検挙件数	72,326	77,353	81,524	73,008	83,362	94,941	
	検挙人員	72,314	77,705	81,445	71,679	80,750	90,407	

図表 6 - 7 凶悪犯の罪種別

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
凶悪犯	認知件数(件)	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	
	検挙件数(件)	6,733	6,991	6,859	7,175	7,320	7,604	
	検挙人員(人)	6,633	6,949	7,217	7,488	7,490	7,726	
殺人	認知件数	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	
	検挙件数	1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	
	検挙人員	1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	
強盗	認知件数	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	
	検挙件数	2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	
	検挙人員	3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	
放火	認知件数	1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	
	検挙件数	1,804	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	
	検挙人員	749	693	750	789	783	815	
強姦	認知件数	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	
	検挙件数	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	
	検挙人員	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	

認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	-218,443	-9.6	認知件数(件)	刑法犯
648,319	667,620	649,503	640,657	-8,846	-1.4	検挙件数(件)	
379,602	389,027	386,955	384,250	-2,705	-0.7	検挙人員(人)	
13,658	13,064	11,360	10,124	-1,236	-10.9	認知件数	凶悪犯
8,238	7,924	7,418	7,125	-293	-3.9	検挙件数	
8,362	7,519	7,047	6,459	-588	-8.3	検挙人員	
78,759	76,616	73,772	76,303	2,531	3.4	認知件数	粗暴犯
42,296	41,128	44,037	49,409	5,372	12.2	検挙件数	
49,530	46,801	49,156	54,505	5,349	10.9	検挙人員	
2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	-190,544	-11.0	認知件数	窃盗犯
433,918	447,950	429,038	416,281	-12,757	-3.0	検挙件数	
191,403	195,151	194,119	187,654	-6,465	-3.3	検挙人員	
74,754	99,258	97,500	84,271	-13,229	-13.6	認知件数	知能犯
40,574	36,299	38,151	37,296	-855	-2.2	検挙件数	
13,653	14,850	15,053	15,760	707	4.7	検挙人員	
13,034	12,346	12,085	11,932	-153	-1.3	認知件数	風俗犯
6,165	6,070	6,422	6,752	330	5.1	検挙件数	
5,886	5,688	6,373	6,261	-112	-1.8	検挙人員	
374,087	379,909	349,504	333,692	-15,812	-4.5	認知件数	その他
117,128	128,249	124,437	123,794	-643	-0.5	検挙件数	
110,768	119,018	115,207	113,611	-1,596	-1.4	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
13,658	13,064	11,360	10,124	-1,236	-10.9	認知件数(件)	凶悪犯
8,238	7,924	7,418	7,125	-293	-3.9	検挙件数(件)	
8,362	7,519	7,047	6,459	-588	-8.3	検挙人員(人)	
1,452	1,419	1,392	1,309	-83	-6.0	認知件数	殺人
1,366	1,342	1,345	1,267	-78	-5.8	検挙件数	
1,456	1,391	1,338	1,241	-97	-7.2	検挙人員	
7,664	7,295	5,988	5,108	-880	-14.7	認知件数	強盗
3,855	3,666	3,269	3,061	-208	-6.4	検挙件数	
4,698	4,154	3,844	3,335	-509	-13.2	検挙人員	
2,070	2,174	1,904	1,759	-145	-7.6	認知件数	放火
1,448	1,513	1,361	1,337	-24	-1.8	検挙件数	
866	867	791	825	34	4.3	検挙人員	
2,472	2,176	2,076	1,948	-128	-6.2	認知件数	強姦
1,569	1,403	1,443	1,460	17	1.2	検挙件数	
1,342	1,107	1,074	1,058	-16	-1.5	検挙人員	

図表 6 - 8 粗暴犯の罪種別

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
粗暴犯	認知件数(件)	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	
	検挙件数(件)	29,967	29,638	28,488	39,211	39,924	40,425	
	検挙人員(人)	40,432	39,755	37,874	50,419	50,428	49,615	
凶器準備集合	認知件数	41	37	34	36	42	30	
	検挙件数	41	36	33	36	43	30	
	検挙人員	384	193	180	222	497	283	
暴行	認知件数	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442	
	検挙件数	5,274	5,035	4,751	7,195	7,852	8,348	
	検挙人員	6,492	5,885	5,505	8,119	8,636	9,132	
傷害	認知件数	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324	
	検挙件数	16,098	15,892	15,644	21,731	22,544	23,453	
	検挙人員	22,826	22,795	21,952	29,359	29,584	29,862	
脅迫	認知件数	1,040	971	995	2,047	2,300	2,374	
	検挙件数	943	910	869	1,524	1,590	1,572	
	検挙人員	974	961	896	1,458	1,525	1,527	
恐喝	認知件数	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403	
	検挙件数	7,611	7,765	7,191	8,725	7,895	7,022	
	検挙人員	9,756	9,921	9,341	11,261	10,186	8,811	

図表 6 - 9 窃盗犯の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
窃盗犯	認知件数(件)	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	
	検挙件数(件)	586,648	597,283	561,148	407,246	367,643	403,872	
	検挙人員(人)	175,632	181,329	172,147	162,610	168,919	180,725	
侵入窃盗	認知件数	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	
	検挙件数	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	
	検挙人員	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	
乗り物盗	認知件数	696,370	705,431	694,375	754,939	827,593	775,435	
	検挙件数	127,704	121,075	108,657	69,698	65,435	57,928	
	検挙人員	50,401	50,426	48,672	39,469	39,813	39,589	
非侵入窃盗	認知件数	747,495	845,915	955,037	1,079,739	1,209,220	1,263,759	
	検挙件数	292,825	310,390	299,507	228,420	212,752	247,609	
	検挙人員	109,372	115,423	108,241	109,490	115,394	127,440	

認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率 (%)		
78,759	76,616	73,772	76,303	2,531	3.4	認知件数(件)	粗暴犯
42,296	41,128	44,037	49,409	5,372	12.2	検挙件数(件)	
49,530	46,801	49,156	54,505	5,349	10.9	検挙人員(人)	
34	27	16	20	4	25.0	認知件数	凶器準備集合
29	28	16	20	4	25.0	検挙件数	
419	279	95	155	60	63.2	検挙人員	
21,937	23,691	25,815	31,002	5,187	20.1	認知件数	暴行
9,539	10,666	13,703	19,405	5,702	41.6	検挙件数	
10,124	11,002	13,970	19,802	5,832	41.7	検挙人員	
36,568	35,937	34,484	33,987	-497	-1.4	認知件数	傷害
23,659	22,938	23,304	23,331	27	0.1	検挙件数	
28,999	27,069	27,130	27,075	-55	-0.2	検挙人員	
2,625	2,537	2,479	2,658	179	7.2	認知件数	脅迫
1,567	1,581	1,638	1,812	174	10.6	検挙件数	
1,457	1,388	1,522	1,693	171	11.2	検挙人員	
17,595	14,424	10,978	8,636	-2,342	-21.3	認知件数	恐喝
7,502	5,915	5,376	4,841	-535	-10.0	検挙件数	
8,531	7,063	6,439	5,780	-659	-10.2	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率 (%)		
2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	-190,544	-11.0	認知件数(件)	窃盗犯
433,918	447,950	429,038	416,281	-12,757	-3.0	検挙件数(件)	
191,403	195,151	194,119	187,654	-6,465	-3.3	検挙人員(人)	
333,233	290,595	244,776	205,463	-39,313	-16.1	認知件数	侵入窃盗
109,920	104,816	104,454	100,824	-3,630	-3.5	検挙件数	
14,208	13,548	12,564	12,434	-130	-1.0	検挙人員	
695,791	629,722	556,987	517,815	-39,172	-7.0	認知件数	乗り物盗
56,867	61,308	58,841	56,659	-2,182	-3.7	検挙件数	
41,265	38,952	37,768	36,254	-1,514	-4.0	検挙人員	
1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	-112,059	-12.1	認知件数	非侵入窃盗
267,131	281,826	265,743	258,798	-6,945	-2.6	検挙件数	
135,930	142,651	143,787	138,966	-4,821	-3.4	検挙人員	

図表 6 - 10 侵入窃盗の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
侵入窃盗	認知件数(件)	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	
	検挙件数(件)	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	
	検挙人員(人)	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	
うち)住宅対象	認知件数	113,782	123,863	134,492	154,074	161,883	189,336	
	検挙件数	86,664	87,351	82,373	57,893	45,752	51,897	
	検挙人員	5,688	5,813	5,755	5,275	5,144	5,241	
空き巣	認知件数	79,746	87,393	99,174	117,725	124,387	147,500	
	検挙件数	62,427	62,106	58,433	43,163	35,319	37,950	
	検挙人員	3,920	4,064	3,963	3,734	3,678	3,721	
忍込み	認知件数	27,335	28,971	28,268	28,537	29,093	32,860	
	検挙件数	19,307	20,268	19,593	11,972	8,235	11,642	
	検挙人員	1,002	959	1,039	867	796	832	
居空き	認知件数	6,701	7,499	7,050	7,812	8,403	8,976	
	検挙件数	4,930	4,977	4,347	2,758	2,198	2,305	
	検挙人員	766	790	753	674	670	688	
うち)金庫破り	認知件数	5,885	6,197	7,923	11,942	10,643	10,345	
	検挙件数	2,945	3,120	2,494	2,881	3,154	3,212	
	検挙人員	420	369	376	472	577	615	
うち)学校荒し	認知件数	6,354	5,992	6,061	6,099	5,987	6,365	
	検挙件数	4,438	4,402	3,522	2,642	2,564	1,949	
	検挙人員	1,352	1,163	1,134	1,012	1,067	1,001	
うち)事務所荒し	認知件数	35,921	38,668	43,781	54,483	51,333	49,411	
	検挙件数	26,413	27,771	24,222	17,670	15,235	16,897	
	検挙人員	1,956	1,865	1,968	1,718	1,774	1,648	
うち)出店荒し	認知件数	33,875	36,728	41,714	41,613	43,678	48,719	
	検挙件数	26,568	25,308	24,262	16,677	13,068	14,700	
	検挙人員	2,715	2,612	2,400	2,085	2,211	2,213	

図表 6 - 11 乗り物盗の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
乗り物盗	認知件数(件)	696,370	705,431	694,375	754,939	827,593	775,435	
	検挙件数(件)	127,704	121,075	108,657	69,698	65,435	57,928	
	検挙人員(人)	50,401	50,426	48,672	39,469	39,813	39,589	
自動車盗	認知件数	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	
	検挙件数	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	
	検挙人員	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	
オートバイ盗	認知件数	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	
	検挙件数	50,610	43,678	40,356	23,708	19,440	15,725	
	検挙人員	19,131	18,697	17,296	15,143	14,707	13,106	
自転車盗	認知件数	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	
	検挙件数	58,803	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	
	検挙人員	26,006	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	

手口別認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
333,233	290,595	244,776	205,463	-39,313	-16.1	認知件数(件)	侵入窃盗
109,920	104,816	104,454	100,824	-3,630	-3.5	検挙件数(件)	
14,208	13,548	12,564	12,434	-130	-1.0	検挙人員(人)	
190,473	170,991	142,945	120,023	-22,922	-16.0	認知件数	うち)住宅対象
59,133	57,948	60,486	58,717	-1,769	-2.9	検挙件数	
5,318	5,209	4,875	4,830	-45	-0.9	検挙人員	
146,808	133,159	111,700	91,461	-20,239	-18.1	認知件数	空き巣
44,368	43,521	45,611	43,106	-2,505	-5.5	検挙件数	
3,776	3,686	3,477	3,403	-74	-2.1	検挙人員	
34,893	29,456	24,159	22,442	-1,717	-7.1	認知件数	忍込み
12,452	12,211	12,362	13,143	781	6.3	検挙件数	
863	889	741	810	69	9.3	検挙人員	
8,772	8,376	7,086	6,120	-966	-13.6	認知件数	居空き
2,313	2,216	2,513	2,468	-45	-1.8	検挙件数	
679	634	657	617	-40	-6.1	検挙人員	
9,262	7,844	6,472	4,921	-1,551	-24.0	認知件数	うち)金庫破り
3,294	3,157	3,300	2,696	-604	-18.3	検挙件数	
678	509	544	437	-107	-19.7	検挙人員	
6,647	5,024	3,923	3,133	-790	-20.1	認知件数	うち)学校荒し
2,400	2,214	2,009	1,980	-29	-1.4	検挙件数	
1,239	1,115	894	738	-156	-17.4	検挙人員	
43,686	36,511	30,465	25,181	-5,284	-17.3	認知件数	うち)事務所荒し
16,472	13,016	11,988	11,884	-104	-0.9	検挙件数	
1,588	1,421	1,313	1,280	-33	-2.5	検挙人員	
48,526	39,739	34,573	27,718	-6,855	-19.8	認知件数	うち)出店荒し
17,385	16,922	16,106	14,756	-1,350	-8.4	検挙件数	
2,311	2,055	1,837	1,807	-30	-1.6	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平18	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
695,791	629,722	556,987	517,815	-39,172	-7.0	認知件数(件)	乗り物盗
56,867	61,308	58,841	56,659	-2,182	-3.7	検挙件数(件)	
41,265	38,952	37,768	36,254	-1,514	-4.0	検挙人員(人)	
64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8	認知件数	自動車盗
11,931	13,765	14,898	13,288	-1,610	-10.8	検挙件数	
4,599	3,823	3,366	3,056	-310	-9.2	検挙人員	
154,979	126,717	104,155	93,294	-10,861	-10.4	認知件数	オートバイ盗
12,447	11,715	11,621	12,426	805	6.9	検挙件数	
11,213	9,203	8,665	7,766	-899	-10.4	検挙人員	
476,589	444,268	406,104	388,463	-17,641	-4.3	認知件数	自転車盗
32,489	35,828	32,322	30,945	-1,377	-4.3	検挙件数	
25,453	25,926	25,737	25,432	-305	-1.2	検挙人員	

図表 6 - 12 非侵入窃盗の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
非侵入窃盗	認知件数(件)	747,495	845,915	955,037	1,079,739	1,209,220	1,263,759	
	検挙件数(件)	292,825	310,390	299,507	228,420	212,752	247,609	
	検挙人員(人)	109,372	115,423	108,241	109,490	115,394	127,440	
うち) ひったくり	認知件数	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	
	検挙件数	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	
	検挙人員	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	
うち) すり	認知件数	22,181	21,019	21,928	24,526	25,691	24,590	
	検挙件数	11,064	9,597	8,189	5,012	4,412	4,400	
	検挙人員	972	953	967	813	770	796	
うち) 車上ねらい	認知件数	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	
	検挙件数	71,028	74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	
	検挙人員	2,639	2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	
うち) 部品ねらい	認知件数	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	
	検挙件数	8,699	10,548	10,206	6,527	6,650	7,260	
	検挙人員	1,716	1,745	1,965	2,006	2,082	2,429	
うち) 自動販売機 ねらい	認知件数	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	
	検挙件数	41,746	43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	
	検挙人員	1,781	2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	
うち) 万引き	認知件数	106,181	112,237	105,227	112,559	126,110	140,002	
	検挙件数	91,870	96,828	88,532	87,366	92,319	101,445	
	検挙人員	89,333	94,656	85,832	86,643	91,816	100,849	

図表 6 - 13 知能犯の罪種別

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
知能犯	認知件数(件)	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	
	検挙件数(件)	57,811	55,118	47,827	44,322	37,800	39,884	
	検挙人員(人)	11,639	11,286	10,562	11,341	11,539	13,173	
詐欺	認知件数	49,426	48,279	43,431	44,384	43,104	49,482	
	検挙件数	46,233	44,405	38,340	35,255	30,017	31,547	
	検挙人員	8,748	8,651	8,178	8,492	8,495	9,507	
横領	認知件数	1,569	1,355	1,229	1,553	1,995	2,151	
	検挙件数	1,483	1,242	1,112	1,229	1,505	1,503	
	検挙人員	930	882	759	971	1,067	1,184	
偽造	認知件数	10,100	9,458	8,737	9,091	7,671	10,883	
	検挙件数	9,873	9,293	8,245	7,690	6,050	6,608	
	検挙人員	1,598	1,474	1,388	1,631	1,634	2,112	
汚職	認知件数	173	147	100	115	171	178	
	検挙件数	172	146	99	112	170	174	
	検挙人員	282	228	172	188	255	283	
あっせん 利得処罰法	認知件数	-	-	-	-	-	1	
	検挙件数	-	-	-	-	-	1	
	検挙人員	-	-	-	-	-	2	
背任	認知件数	48	32	31	41	66	56	
	検挙件数	50	32	31	36	58	51	
	検挙人員	81	51	65	59	88	85	

手口別認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	-112,059	-12.1	認知件数(件)	非侵入窃盗
267,131	281,826	265,743	258,798	-6,945	-2.6	検挙件数(件)	
135,930	142,651	143,787	138,966	-4,821	-3.4	検挙人員(人)	
46,354	39,399	32,017	26,828	-5,189	-16.2	認知件数	うち) ひったくり
14,861	13,561	10,406	10,090	-316	-3.0	検挙件数	
2,953	2,259	1,851	1,652	-199	-10.8	検挙人員	
25,338	19,198	15,446	13,698	-1,748	-11.3	認知件数	うち) すり
4,149	3,791	3,632	3,699	67	1.8	検挙件数	
836	970	938	956	18	1.9	検挙人員	
414,819	328,921	256,594	205,744	-50,850	-19.8	認知件数	うち) 車上ねらい
60,479	63,171	53,465	49,592	-3,873	-7.2	検挙件数	
3,491	3,238	2,634	2,766	132	5.0	検挙人員	
120,726	112,161	103,772	88,739	-15,033	-14.5	認知件数	うち) 部品ねらい
8,515	10,668	11,786	9,840	-1,946	-16.5	検挙件数	
2,345	2,134	1,973	1,931	-42	-2.1	検挙人員	
147,878	112,965	88,180	55,981	-32,199	-36.5	認知件数	うち) 自動販売機 ねらい
28,152	29,748	23,409	22,607	-802	-3.4	検挙件数	
3,231	2,560	2,027	1,370	-657	-32.4	検挙人員	
146,308	158,020	153,972	147,113	-6,859	-4.5	認知件数	うち) 万引き
106,925	114,465	115,636	110,723	-4,913	-4.2	検挙件数	
105,792	112,783	113,953	107,123	-6,830	-6.0	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
74,754	99,258	97,500	84,271	-13,229	-13.6	認知件数(件)	知能犯
40,574	36,299	38,151	37,296	-855	-2.2	検挙件数(件)	
13,653	14,850	15,053	15,760	707	4.7	検挙人員(人)	
60,298	83,015	85,596	74,632	-10,964	-12.8	認知件数	詐欺
30,364	26,617	29,384	30,127	743	2.5	検挙件数	
10,194	11,238	11,648	12,406	758	6.5	検挙人員	
2,183	2,543	2,347	2,408	61	2.6	認知件数	横領
1,375	1,517	1,453	1,545	92	6.3	検挙件数	
1,088	1,210	1,111	1,252	141	12.7	検挙人員	
12,103	13,547	9,410	7,010	-2,400	-25.5	認知件数	偽造
8,675	8,032	7,175	5,433	-1,742	-24.3	検挙件数	
2,124	2,236	2,033	1,847	-186	-9.1	検挙人員	
130	111	112	158	46	41.1	認知件数	汚職
127	107	111	152	41	36.9	検挙件数	
195	139	230	194	-36	-15.7	検挙人員	
0	1	1	2	1	100.0	認知件数	あっせん 利得処罰法
0	1	1	2	1	100.0	検挙件数	
0	0	0	7	7	-	検挙人員	
40	41	34	61	27	79.4	認知件数	背任
33	25	27	37	10	37.0	検挙件数	
52	27	31	54	23	74.2	検挙人員	

図表 6 - 14 風俗犯の罪種別

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
風俗犯	認知件数(件)	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	
	検挙件数(件)	6,124	5,899	5,438	5,809	6,066	5,633	
	検挙人員(人)	6,923	7,239	6,110	6,112	6,166	5,912	
賭博	認知件数	604	515	293	278	290	300	
	検挙件数	604	515	291	278	290	300	
	検挙人員	3,253	3,372	2,327	1,905	2,077	1,928	
わいせつ	認知件数	6,159	6,171	7,155	9,523	11,551	11,920	
	検挙件数	5,520	5,384	5,147	5,531	5,776	5,333	
	検挙人員	3,670	3,867	3,783	4,207	4,089	3,984	
うち) 強制わいせつ	認知件数	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	
	検挙件数	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	
	検挙人員	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	
うち) 公然わいせつ	認知件数	1,290	1,250	1,212	1,554	1,771	2,052	
	検挙件数	1,261	1,217	1,163	1,377	1,438	1,573	
	検挙人員	1,143	1,096	1,102	1,179	1,261	1,371	

図表 6 - 15 その他の刑法犯の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
その他の刑法犯	認知件数(件)	117,688	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	
	検挙件数(件)	72,326	77,353	81,524	73,008	83,362	94,941	
	検挙人員(人)	72,314	77,705	81,445	71,679	80,750	90,407	
うち) 占有離脱物横領	認知件数	58,955	64,025	67,635	55,850	63,775	71,782	
	検挙件数	58,726	63,783	67,383	55,271	62,773	70,240	
	検挙人員	61,372	66,687	70,053	57,138	64,628	72,283	
うち) 公務執行妨害	認知件数	1,434	1,395	1,531	2,082	2,354	2,621	
	検挙件数	1,423	1,384	1,508	2,049	2,302	2,544	
	検挙人員	1,567	1,492	1,569	1,997	2,057	2,194	
うち) 住居侵入	認知件数	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	
	検挙件数	3,999	4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	
	検挙人員	2,489	2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	
うち) 逮捕・監禁	認知件数	437	429	417	564	586	630	
	検挙件数	418	405	382	509	492	523	
	検挙人員	658	663	640	754	847	887	
うち) 略取誘拐・ 人身売買	認知件数	284	221	249	302	237	251	
	検挙件数	279	211	244	272	211	215	
	検挙人員	167	141	164	180	179	173	
うち) 盗品等	認知件数	1,258	1,382	1,502	1,731	2,388	2,987	
	検挙件数	1,248	1,373	1,495	1,725	2,372	2,967	
	検挙人員	1,197	1,373	1,486	1,688	2,322	2,916	
うち) 器物損壊等	認知件数	41,064	46,009	53,552	87,943	145,936	196,018	
	検挙件数	4,574	4,714	4,958	6,364	7,662	9,607	
	検挙人員	2,773	2,850	2,861	4,062	4,222	4,931	

認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平 17	平 18	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
13,034	12,346	12,085	11,932	-153	-1.3	認知件数(件)	風俗犯	
6,165	6,070	6,422	6,752	330	5.1	検挙件数(件)		
5,886	5,688	6,373	6,261	-112	-1.8	検挙人員(人)		
208	249	221	209	-12	-5.4	認知件数	賭博	
202	243	213	204	-9	-4.2	検挙件数		
1,725	1,422	1,771	1,379	-392	-22.1	検挙人員		
12,826	12,097	11,864	11,723	-141	-1.2	認知件数	わいせつ	
5,963	5,827	6,209	6,548	339	5.5	検挙件数		
4,161	4,266	4,602	4,882	280	6.1	検挙人員		
10,029	9,184	8,751	8,326	-425	-4.9	認知件数	うち) 強制わいせつ	
3,893	3,656	3,797	3,779	-18	-0.5	検挙件数		
2,273	2,225	2,286	2,254	-32	-1.4	検挙人員		
2,422	2,391	2,420	2,602	182	7.5	認知件数	うち) 公然わいせつ	
1,706	1,669	1,741	1,999	258	14.8	検挙件数		
1,456	1,451	1,502	1,715	213	14.2	検挙人員		

罪種別認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平 17	平 18	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)			
374,087	379,909	349,504	333,692	-15,812	-4.5	認知件数(件)	その他の刑法犯	
117,128	128,249	124,437	123,794	-643	-0.5	検挙件数(件)		
110,768	119,018	115,207	113,611	-1,596	-1.4	検挙人員(人)		
90,163	101,869	95,520	93,436	-2,084	-2.2	認知件数	うち) 占有離脱物横領	
87,587	95,845	90,897	89,012	-1,885	-2.1	検挙件数		
89,358	96,083	91,306	89,444	-1,862	-2.0	検挙人員		
3,007	3,129	3,327	3,576	249	7.5	認知件数	うち) 公務執行妨害	
2,909	2,957	3,188	3,402	214	6.7	検挙件数		
2,508	2,705	2,868	3,118	250	8.7	検挙人員		
40,348	37,857	34,518	31,030	-3,488	-10.1	認知件数	うち) 住居侵入	
7,820	8,566	8,961	9,211	250	2.8	検挙件数		
5,361	5,993	6,107	6,209	102	1.7	検挙人員		
643	639	576	522	-54	-9.4	認知件数	うち) 逮捕・監禁	
522	480	428	418	-10	-2.3	検挙件数		
822	762	642	629	-13	-2.0	検挙人員		
284	320	277	199	-78	-28.2	認知件数	うち) 略取誘拐・ 人身売買	
231	232	204	180	-24	-11.8	検挙件数		
151	187	176	167	-9	-5.1	検挙人員		
4,519	5,547	5,403	5,134	-269	-5.0	認知件数	うち) 盗品等	
4,457	5,310	5,198	4,866	-332	-6.4	検挙件数		
4,345	4,935	4,889	4,495	-394	-8.1	検挙人員		
230,743	226,059	205,312	194,824	-10,488	-5.1	認知件数	うち) 器物損壊等	
11,100	12,332	12,884	13,816	932	7.2	検挙件数		
5,331	5,522	6,362	6,551	189	3.0	検挙人員		

図表 6 - 16 街頭犯罪・侵入犯罪の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
街頭 犯 罪 関 係	路上強盗	認知件数(件)	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888
		検挙件数(件)	824	873	925	930	968	1,104
		検挙人員(人)	1,497	1,503	1,609	1,645	1,658	1,631
		うち少年(人)	1,178	1,098	1,111	1,122	1,103	1,027
		少年の割合(%)	78.7	73.1	69.0	68.2	66.5	63.0
	ひったくり	認知件数	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919
		検挙件数	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434
		検挙人員	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158
		うち少年	1,568	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166
		少年の割合	74.0	71.8	73.2	70.9	71.2	68.6
	強姦	認知件数	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357
		うち街頭	535	668	648	825	806	869
		街頭の割合	32.3	35.7	34.9	36.5	36.2	36.9
	強制 わいせつ	認知件数	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476
		うち街頭	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915
		街頭の割合	61.1	56.4	59.8	60.4	62.0	62.4
	略取誘拐・ 人身売買	認知件数	284	221	249	302	237	251
		うち街頭	202	166	181	216	179	175
		街頭の割合	71.1	75.1	72.7	71.5	75.5	69.7
	暴行	認知件数	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442
うち街頭		4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	
街頭の割合		65.1	65.2	64.8	66.0	67.1	65.9	
傷害	認知件数	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324	
	うち街頭	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	
	街頭の割合	58.6	57.3	57.8	56.2	57.1	56.3	
恐喝	認知件数	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403	
	うち街頭	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	
	街頭の割合	68.0	67.2	70.6	69.9	70.8	68.0	
自動車盗	認知件数	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	
	検挙件数	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	
	検挙人員	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	
	うち少年	2,106	2,091	1,658	1,531	1,691	1,680	
	少年の割合	40.0	38.1	33.0	33.4	34.3	35.2	
オートバイ盗	認知件数	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	
	検挙件数	50,610	43,678	40,356	23,708	19,440	15,725	
	検挙人員	19,131	18,697	17,296	15,143	14,707	13,106	
	うち少年	18,749	18,202	16,872	14,746	14,288	12,650	
	少年の割合	98.0	97.4	97.5	97.4	97.2	96.5	
自転車盗	認知件数	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	
	検挙件数	58,803	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	
	検挙人員	26,006	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	
	うち少年	16,476	16,675	16,271	12,991	13,843	14,710	
	少年の割合	63.4	63.6	61.8	65.8	68.6	67.8	
車上ねらい	認知件数	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	
	検挙件数	71,028	74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	
	検挙人員	2,639	2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	
	うち少年	793	742	704	658	663	816	
	少年の割合	30.0	26.0	24.3	22.4	21.9	24.6	
部品ねらい	認知件数	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	
	検挙件数	8,699	10,548	10,206	6,527	6,650	7,260	
	検挙人員	1,716	1,745	1,965	2,006	2,082	2,429	
	うち少年	1,024	1,054	1,234	1,259	1,329	1,574	
	少年の割合	59.7	60.4	62.8	62.8	63.8	64.8	
自動販売機 ねらい	認知件数	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	
	検挙件数	41,746	43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	
	検挙人員	1,781	2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	
	うち少年	821	789	1,044	1,196	1,593	2,163	
	少年の割合	46.1	39.3	47.6	57.4	68.4	75.9	
侵入 犯 罪 関 係	侵入強盗	認知件数(件)	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436
		検挙件数(件)	734	897	1,020	1,024	1,116	1,314
		検挙人員(人)	719	854	993	982	1,094	1,134
		来日外国人検挙件数(件)	37	56	103	91	97	157
		来日外国人検挙人員(人)	43	63	160	132	138	163
	侵入窃盗	認知件数	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294
		検挙件数	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335
		検挙人員	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696
		来日外国人検挙件数	2,416	2,885	4,744	6,396	6,147	6,754
		来日外国人検挙人員	362	390	438	674	688	658
住居侵入	認知件数	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	
	検挙件数	3,999	4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	
	検挙人員	2,489	2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	
	来日外国人検挙件数	100	95	182	159	195	205	
	来日外国人検挙人員	67	44	78	98	99	110	

認知・検挙状況の推移

平 15	平 16	平 17	平 18	増減		年次	区分	
				件数・人員	率(%)			
2,955	2,695	2,192	1,759	-433	-19.8	認知件数(件)	路上強盗	
1,226	955	836	788	-48	-5.7	検挙件数(件)		
1,865	1,377	1,285	1,053	-232	-18.1	検挙人員(人)		
1,227	763	707	553	-154	-21.8	うち少年(人)		
65.8	55.4	55.0	52.5	-2.5	ポイント	少年の割合(%)		
46,354	39,399	32,017	26,828	-5,189	-16.2	認知件数	ひったくり	
14,861	13,561	10,406	10,090	-316	-3.0	検挙件数		
2,953	2,259	1,851	1,652	-199	-10.8	検挙人員		
1,957	1,352	1,025	834	-191	-18.6	うち少年		
66.3	59.8	55.4	50.5	-4.9	ポイント	少年の割合		
2,472	2,176	2,076	1,948	-128	-6.2	認知件数	強姦	
832	732	663	612	-51	-7.7	うち街頭		
33.7	33.6	31.9	31.4	-0.5	ポイント	街頭の割合		
10,029	9,184	8,751	8,326	-425	-4.9	認知件数	強制わいせつ	
6,145	5,510	5,254	5,131	-123	-2.3	うち街頭		
61.3	60.0	60.0	61.6	1.6	ポイント	街頭の割合		
284	320	277	199	-78	-28.2	認知件数	略取誘拐・人身売買	
213	237	199	126	-73	-36.7	うち街頭		
75.0	74.1	71.8	63.3	-8.5	ポイント	街頭の割合		
21,937	23,691	25,815	31,002	5,187	20.1	認知件数	暴行	
14,477	15,319	16,332	18,816	2,484	15.2	うち街頭		
66.0	64.7	63.3	60.7	-2.6	ポイント	街頭の割合		
36,568	35,937	34,484	33,987	-497	-1.4	認知件数	傷害	
20,098	19,218	17,961	17,373	-588	-3.3	うち街頭		
55.0	53.5	52.1	51.1	-1.0	ポイント	街頭の割合		
17,595	14,424	10,978	8,636	-2,342	-21.3	認知件数	恐喝	
11,089	8,534	6,346	4,690	-1,656	-26.1	うち街頭		
63.0	59.2	57.8	54.3	-3.5	ポイント	街頭の割合		
64,223	58,737	46,728	36,058	-10,670	-22.8	認知件数	自動車盗	
11,931	13,765	14,898	13,288	-1,610	-10.8	検挙件数		
4,599	3,823	3,366	3,056	-310	-9.2	検挙人員		
1,542	1,216	938	852	-86	-9.2	うち少年		
33.5	31.8	27.9	27.9	0.0	ポイント	少年の割合		
154,979	126,717	104,155	93,294	-10,861	-10.4	認知件数	オートバイ盗	
12,447	11,715	11,621	12,426	805	6.9	検挙件数		
11,213	9,203	8,665	7,766	-899	-10.4	検挙人員		
10,669	8,735	8,188	7,311	-877	-10.7	うち少年		
95.1	94.9	94.5	94.1	-0.4	ポイント	少年の割合		
476,589	444,268	406,104	388,463	-17,641	-4.3	認知件数	自転車盗	
32,489	35,828	32,322	30,945	-1,377	-4.3	検挙件数		
25,453	25,926	25,737	25,432	-305	-1.2	検挙人員		
16,316	15,342	14,732	14,656	-76	-0.5	うち少年		
64.1	59.2	57.2	57.6	0.4	ポイント	少年の割合		
414,819	328,921	256,594	205,744	-50,850	-19.8	認知件数	車上ねらい	
60,479	63,171	53,465	49,592	-3,873	-7.2	検挙件数		
3,491	3,238	2,634	2,766	132	5.0	検挙人員		
776	681	527	547	20	3.8	うち少年		
22.2	21.0	20.0	19.8	-0.2	ポイント	少年の割合		
120,726	112,161	103,772	88,739	-15,033	-14.5	認知件数	部品ねらい	
8,515	10,668	11,786	9,840	-1,946	-16.5	検挙件数		
2,345	2,134	1,973	1,931	-42	-2.1	検挙人員		
1,468	1,255	1,204	1,132	-72	-6.0	うち少年		
62.6	58.8	61.0	58.6	-2.4	ポイント	少年の割合		
147,878	112,965	88,180	55,981	-32,199	-36.5	認知件数	自動販売機ねらい	
28,152	29,748	23,409	22,607	-802	-3.4	検挙件数		
3,231	2,560	2,027	1,370	-657	-32.4	検挙人員		
2,453	1,933	1,479	912	-567	-38.3	うち少年		
75.9	75.5	73.0	66.6	-6.4	ポイント	少年の割合		
2,865	2,776	2,205	1,896	-309	-14.0	認知件数(件)	侵入強盗	侵入
1,402	1,458	1,328	1,201	-127	-9.6	検挙件数(件)		
1,310	1,356	1,255	1,107	-148	-11.8	検挙人員(人)		
141	154	125	88	-37	-29.6	来日外国人検挙件数(件)	侵入窃盗	犯罪
218	201	170	98	-72	-42.4	来日外国人検挙人員(人)		
333,233	290,595	244,776	205,463	-39,313	-16.1	認知件数		
109,920	104,816	104,454	100,824	-3,630	-3.5	検挙件数		
14,208	13,548	12,564	12,434	-130	-1.0	検挙人員		
8,482	8,396	9,160	8,692	-468	-5.1	来日外国人検挙件数	住居侵入	関係
704	565	524	441	-83	-15.8	来日外国人検挙人員		
40,348	37,857	34,518	31,030	-3,488	-10.1	認知件数		
7,820	8,566	8,961	9,211	250	2.8	検挙件数	住居侵入	
5,361	5,993	6,107	6,209	102	1.7	検挙人員		
283	314	364	314	-50	-13.7	来日外国人検挙件数		
134	127	114	106	-8	-7.0	来日外国人検挙人員		

図表 6 - 17 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
総数	検挙件数(件)	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	
	検挙人員(人)	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	
凶悪犯	検挙件数	187	228	267	242	308	323	
	検挙人員	213	251	347	318	403	353	
うち)殺人	検挙件数	69	52	41	44	45	34	
	検挙人員	83	62	50	54	59	41	
うち)強盗	検挙件数	87	130	195	164	219	247	
	検挙人員	103	160	278	236	309	280	
侵入強盗	検挙件数	37	56	103	91	97	157	
	検挙人員	43	63	160	132	138	163	
非侵入強盗	検挙件数	50	74	92	73	122	90	
	検挙人員	60	97	118	104	171	117	
粗暴犯	検挙件数	265	272	282	494	508	550	
	検挙人員	313	305	338	568	578	628	
うち)傷害	検挙件数	184	192	178	347	339	372	
	検挙人員	199	213	224	393	378	430	
窃盗犯	検挙件数	19,128	19,078	22,404	19,952	14,823	20,604	
	検挙人員	3,155	3,098	3,404	3,803	4,135	4,395	
侵入窃盗	検挙件数	2,416	2,885	4,744	6,396	6,147	6,754	
	検挙人員	362	390	438	674	688	658	
うち)住宅対象	検挙件数	1,300	1,685	3,032	4,518	3,617	4,852	
	検挙人員	117	124	148	335	275	345	
乗り物盗	検挙件数	8,506	4,692	1,173	776	923	1,180	
	検挙人員	608	526	459	383	501	505	
うち)自動車盗	検挙件数	316	520	217	225	450	700	
	検挙人員	94	109	92	92	142	136	
非侵入窃盗	検挙件数	8,206	11,501	16,487	12,780	7,753	12,670	
	検挙人員	2,185	2,182	2,507	2,746	2,946	3,232	
うち)部品ねらい	検挙件数	102	600	994	828	634	888	
	検挙人員	43	48	59	64	91	69	
うち)車上ねらい	検挙件数	1,371	1,551	4,151	1,702	1,883	3,111	
	検挙人員	48	74	109	129	124	105	
うち)ひったくり	検挙件数	79	538	165	133	156	164	
	検挙人員	19	60	29	33	40	43	
うち)すり	検挙件数	1,919	1,501	1,252	762	901	831	
	検挙人員	96	96	152	117	76	84	
うち)自動販売機 ねらい	検挙件数	1,520	4,377	7,036	6,706	1,061	4,384	
	検挙人員	135	210	295	173	51	37	
うち)万引き	検挙件数	1,829	1,732	1,830	1,867	2,349	2,564	
	検挙人員	1,363	1,364	1,467	1,820	2,175	2,415	
知能犯	検挙件数	680	740	523	819	643	678	
	検挙人員	305	319	264	277	267	339	
うち)偽造	検挙件数	339	404	300	418	249	448	
	検挙人員	209	185	186	187	154	228	
風俗犯	検挙件数	93	107	79	85	95	87	
	検挙人員	173	169	150	122	133	76	
うち)強制わいせつ	検挙件数	37	77	58	51	67	64	
	検挙人員	33	35	32	35	47	30	
その他	検挙件数	1,317	1,264	1,580	1,355	1,822	2,016	
	検挙人員	1,276	1,240	1,460	1,241	1,652	1,899	
うち)占有離脱物 横領	検挙件数	1,065	1,037	1,202	974	1,336	1,487	
	検挙人員	1,051	1,049	1,214	967	1,342	1,516	
うち)住居侵入	検挙件数	100	95	182	159	195	205	
	検挙人員	67	44	78	98	99	110	
うち)略取誘拐・ 人身売買	検挙件数	10	10	13	10	12	8	
	検挙人員	33	24	32	16	19	18	

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別検挙状況の推移

平 15	平 16	平17	平 18	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
27,258	32,087	33,037	27,453	-5,584	-16.9	検挙件数(件)	総数
8,725	8,898	8,505	8,148	-357	-4.2	検挙人員(人)	
336	345	315	270	-45	-14.3	検挙件数	凶悪犯
477	421	396	297	-99	-25.0	検挙人員	
37	40	51	37	-14	-27.5	検挙件数	うち)殺人
61	52	52	42	-10	-19.2	検挙人員	
255	269	236	188	-48	-20.3	検挙件数	うち)強盗
369	338	319	216	-103	-32.3	検挙人員	
141	154	125	88	-37	-29.6	検挙件数	侵入強盗
218	201	170	98	-72	-42.4	検挙人員	
114	115	111	100	-11	-9.9	検挙件数	非侵入強盗
151	137	149	118	-31	-20.8	検挙人員	
568	526	679	785	106	15.6	検挙件数	粗暴犯
633	591	774	894	120	15.5	検挙人員	
386	331	408	423	15	3.7	検挙件数	うち)傷害
438	379	471	503	32	6.8	検挙人員	
22,830	27,521	28,525	23,137	-5,388	-18.9	検挙件数	窃盗犯
4,555	4,717	4,344	4,205	-139	-3.2	検挙人員	
8,482	8,396	9,160	8,692	-468	-5.1	検挙件数	侵入窃盗
704	565	524	441	-83	-15.8	検挙人員	
6,722	7,006	8,149	7,945	-204	-2.5	検挙件数	うち)住宅対象
399	346	340	308	-32	-9.4	検挙人員	
1,108	1,579	1,737	2,148	411	23.7	検挙件数	乗り物盗
620	580	548	623	75	13.7	検挙人員	
601	958	1,178	1,661	483	41.0	検挙件数	うち)自動車盗
155	112	133	166	33	24.8	検挙人員	
13,240	17,546	17,628	12,297	-5,331	-30.2	検挙件数	非侵入窃盗
3,231	3,572	3,272	3,141	-131	-4.0	検挙人員	
566	766	953	934	-19	-2.0	検挙件数	うち)部品ねらい
69	70	51	77	26	51.0	検挙人員	
3,010	4,795	5,042	2,394	-2,648	-52.5	検挙件数	うち)車上ねらい
100	179	111	111	0	0.0	検挙人員	
126	35	78	60	-18	-23.1	検挙件数	うち)ひったくり
52	26	32	30	-2	-6.3	検挙人員	
853	817	1,161	654	-507	-43.7	検挙件数	うち)すり
81	87	64	68	4	6.3	検挙人員	
5,355	7,336	6,751	4,611	-2,140	-31.7	検挙件数	うち)自動販売機 ねらい
61	29	22	17	-5	-22.7	検挙人員	
2,441	2,844	2,743	2,680	-63	-2.3	検挙件数	うち)万引き
2,389	2,588	2,476	2,308	-168	-6.8	検挙人員	
728	797	721	690	-31	-4.3	検挙件数	知能犯
497	564	525	538	13	2.5	検挙人員	
461	538	481	471	-10	-2.1	検挙件数	うち)偽造
343	381	348	345	-3	-0.9	検挙人員	
90	85	99	103	4	4.0	検挙件数	風俗犯
93	139	133	96	-37	-27.8	検挙人員	
70	58	66	77	11	16.7	検挙件数	うち)強制わいせつ
42	46	50	59	9	18.0	検挙人員	
2,706	2,813	2,698	2,468	-230	-8.5	検挙件数	その他
2,470	2,466	2,333	2,118	-215	-9.2	検挙人員	
2,022	1,968	1,781	1,652	-129	-7.2	検挙件数	うち)占有離脱物 横領
2,009	1,938	1,801	1,653	-148	-8.2	検挙人員	
283	314	364	314	-50	-13.7	検挙件数	うち)住居侵入
134	127	114	106	-8	-7.0	検挙人員	
8	2	10	8	-2	-20.0	検挙件数	うち)略取誘拐・ 人身売買
7	6	19	15	-4	-21.1	検挙人員	

図表 6 - 18 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14
総数	検挙件数(件)	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	
	検挙人員(人)	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	
アジア州	検挙件数	17,903	16,454	17,399	18,201	13,245	17,406	
	検挙人員	4,241	4,043	4,514	4,804	5,160	5,573	
韓国	検挙件数	1,984	1,758	1,984	2,001	1,134	1,210	
	検挙人員	509	538	580	590	581	472	
中国	検挙件数	5,849	7,918	12,487	14,331	9,491	9,691	
	検挙人員	2,457	2,401	2,823	3,111	3,343	3,632	
うち)台湾	検挙件数	129	260	138	99	117	429	
	検挙人員	93	87	92	60	94	102	
うち)香港等	検挙件数	184	229	61	56	429	88	
	検挙人員	44	33	10	13	17	27	
イラン	検挙件数	294	210	155	100	271	94	
	検挙人員	103	72	66	64	68	69	
インドネシア	検挙件数	101	83	75	72	47	88	
	検挙人員	53	68	77	35	43	79	
スリランカ	検挙件数	57	114	16	23	36	120	
	検挙人員	34	19	16	23	26	34	
タイ	検挙件数	186	120	117	125	83	96	
	検挙人員	119	84	90	85	71	83	
パキスタン	検挙件数	247	88	63	93	178	84	
	検挙人員	34	32	40	56	57	51	
バングラディシュ	検挙件数	52	23	18	21	15	33	
	検挙人員	32	17	16	24	19	30	
フィリピン	検挙件数	541	887	727	375	370	458	
	検挙人員	315	269	237	241	243	294	
ベトナム	検挙件数	7,755	4,123	848	501	688	760	
	検挙人員	329	340	347	377	469	583	
マレーシア	検挙件数	561	812	597	211	261	284	
	検挙人員	115	81	60	40	50	54	
ミャンマー	検挙件数	106	132	70	39	66	19	
	検挙人員	46	36	41	29	25	18	
トルコ	検挙件数	20	45	89	138	412	4,272	
	検挙人員	13	12	40	33	27	26	
その他	検挙件数	150	141	153	171	193	197	
	検挙人員	82	74	81	96	138	148	
ヨーロッパ州	検挙件数	317	314	268	392	362	378	
	検挙人員	247	236	238	270	325	348	
イギリス	検挙件数	68	61	26	120	51	68	
	検挙人員	63	38	27	33	48	71	
フランス	検挙件数	19	31	19	19	10	34	
	検挙人員	20	15	11	18	11	29	
ロシア	検挙件数	132	143	151	153	241	164	
	検挙人員	112	129	136	150	204	151	
その他	検挙件数	98	79	72	100	60	112	
	検挙人員	52	54	64	69	62	97	
南北アメリカ州	検挙件数	3,308	4,804	7,369	4,237	4,466	6,314	
	検挙人員	859	1,018	1,129	1,156	1,565	1,636	
アメリカ	検挙件数	365	111	131	160	183	137	
	検挙人員	107	89	79	102	106	128	
コロンビア	検挙件数	557	215	217	24	249	645	
	検挙人員	53	61	36	27	76	116	
ブラジル	検挙件数	1,202	3,278	5,110	3,273	3,457	4,967	
	検挙人員	347	536	658	682	958	952	
ペルー	検挙件数	990	1,023	1,250	482	425	436	
	検挙人員	264	255	263	261	326	327	
その他	検挙件数	194	177	661	298	152	129	
	検挙人員	88	77	93	84	99	113	
アフリカ州	検挙件数	58	56	43	60	78	91	
	検挙人員	46	46	40	56	66	67	
オセアニア州	検挙件数	82	61	54	57	46	69	
	検挙人員	41	39	41	43	50	63	
無国籍・国籍不明	検挙件数	2	0	2	0	2	0	
	検挙人員	1	0	1	0	2	3	

注：「香港等」とは、中国国籍を有する者のうち、香港特別行政区又は香港特別行政区以外の政府（シンガポール、マレーシア等）が発給した身分証明書を有する者をいう。

国籍別検挙状況の推移

平 15	平 16	平 17	平 18	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)	検挙件数(件)	検挙人員(人)	
27,258	32,087	33,037	27,453	-5,584	-16.9	検挙件数(件)	総数	
8,725	8,898	8,505	8,148	-357	-4.2	検挙人員(人)		
20,199	22,530	22,381	18,990	-3,391	-15.2	検挙件数	アジア州	
6,498	6,516	6,043	5,896	-147	-2.4	検挙人員		
1,424	1,454	1,466	1,725	259	17.7	検挙件数	韓国	
496	617	536	600	64	11.9	検挙人員		
11,677	11,638	11,739	10,258	-1,481	-12.6	検挙件数	中国	
4,554	4,408	3,884	3,597	-287	-7.4	検挙人員		
116	215	255	136	-119	-46.7	検挙件数	うち)台湾	
82	85	100	121	21	21.0	検挙人員		
26	83	118	27	-91	-77.1	検挙件数	うち)香港等	
28	38	45	24	-21	-46.7	検挙人員		
70	29	66	54	-12	-18.2	検挙件数	イラン	
47	23	60	41	-19	-31.7	検挙人員		
82	87	51	65	14	27.5	検挙件数	インドネシア	
65	84	68	57	-11	-16.2	検挙人員		
34	301	389	350	-39	-10.0	検挙件数	スリランカ	
27	49	69	53	-16	-23.2	検挙人員		
70	79	207	90	-117	-56.5	検挙件数	タイ	
68	72	103	93	-10	-9.7	検挙人員		
60	122	153	191	38	24.8	検挙件数	パキスタン	
44	37	45	79	34	75.6	検挙人員		
43	46	50	38	-12	-24.0	検挙件数	バングラディシュ	
28	43	41	32	-9	-22.0	検挙人員		
420	364	431	482	51	11.8	検挙件数	フィリピン	
329	353	386	407	21	5.4	検挙人員		
681	739	792	1,020	228	28.8	検挙件数	ベトナム	
549	576	592	650	58	9.8	検挙人員		
48	46	25	83	58	232.0	検挙件数	マレーシア	
40	56	29	22	-7	-24.1	検挙人員		
45	29	26	29	3	11.5	検挙件数	ミャンマー	
25	25	20	31	11	55.0	検挙人員		
5,353	7,350	6,779	4,391	-2,388	-35.2	検挙件数	トルコ	
67	27	28	32	4	14.3	検挙人員		
192	246	207	214	7	3.4	検挙件数	その他	
159	146	182	202	20	11.0	検挙人員		
370	432	556	674	118	21.2	検挙件数	ヨーロッパ州	
336	387	444	391	-53	-11.9	検挙人員		
57	63	76	60	-16	-21.1	検挙件数	イギリス	
47	56	75	61	-14	-18.7	検挙人員		
60	29	46	30	-16	-34.8	検挙件数	フランス	
35	27	44	29	-15	-34.1	検挙人員		
153	251	307	215	-92	-30.0	検挙件数	ロシア	
160	220	213	176	-37	-17.4	検挙人員		
100	89	127	369	242	190.6	検挙件数	その他	
94	84	112	125	13	11.6	検挙人員		
6,505	8,930	9,881	7,397	-2,484	-25.1	検挙件数	南北アメリカ州	
1,733	1,824	1,833	1,696	-137	-7.5	検挙人員		
154	154	198	231	33	16.7	検挙件数	アメリカ	
119	135	156	166	10	6.4	検挙人員		
1,066	862	1,768	2,121	353	20.0	検挙件数	コロンビア	
109	86	101	82	-19	-18.8	検挙人員		
4,520	7,001	6,811	4,068	-2,743	-40.3	検挙件数	ブラジル	
1,005	1,116	1,064	1,016	-48	-4.5	検挙人員		
620	631	814	575	-239	-29.4	検挙件数	ペルー	
364	344	369	301	-68	-18.4	検挙人員		
145	282	290	402	112	38.6	検挙件数	その他	
136	143	143	131	-12	-8.4	検挙人員		
107	106	144	324	180	125.0	検挙件数	アフリカ州	
81	81	119	95	-24	-20.2	検挙人員		
75	87	75	67	-8	-10.7	検挙件数	オセアニア州	
75	86	65	69	4	6.2	検挙人員		
2	2	0	1	1	-	検挙件数	無国籍・国籍不明	
2	4	1	1	0	0.0	検挙人員		

図表6-19 刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、

発生場所	罪種・手口	刑法犯	凶悪犯					放火	強姦	粗暴犯
				殺人	強盗	うち路上強盗				
						うち侵入強盗	うち路上強盗			
		2,050,850	10,124	1,309	5,108	1,896	1,759	1,759	1,948	76,303
住宅		409,974	3,411	807	686	545	17	1,037	881	12,502
一戸建住宅		211,443	1,509	430	251	230	2	636	192	4,805
共同住宅		198,531	1,902	377	435	315	15	401	689	7,697
共同住宅(4階建以上)		86,908	864	185	247	158	13	126	306	3,741
共同住宅(3階建以下)		111,623	1,038	192	188	157	2	275	383	3,956
事業所等		544,556	2,558	121	1,841	1,329	18	309	287	18,305
一般事務所		72,636	149	17	33	22	0	81	18	2,014
店舗		410,182	2,225	73	1,770	1,292	8	150	232	13,720
商店		267,003	1,363	8	1,271	934	5	67	17	4,320
デパート		32,200	40	2	32	3	0	5	1	457
コンビニエンスストア		25,894	685	2	671	610	1	10	2	1,316
ドラッグストア		13,389	38	1	37	24	0	0	0	52
ディスカウントストア		17,649	73	0	65	21	0	8	0	187
その他のスーパーマーケット		97,660	208	2	183	62	3	20	3	1,071
リサイクルストア		4,098	30	0	29	21	1	1	0	110
貴金属店		686	3	0	3	3	0	0	0	3
古物店		2,285	12	0	11	8	0	1	0	29
給油所		7,685	43	1	40	29	0	2	0	219
その他の商店		65,457	231	0	200	153	0	20	11	876
サービス営業店		143,179	862	65	499	358	3	83	215	9,400
生活環境営業		108,522	641	61	292	170	3	77	211	8,785
一般ホテル・旅館		6,957	81	11	19	7	0	8	43	321
サウナ等公衆浴場		8,780	9	1	3	1	0	4	1	204
映画館劇場等		768	0	0	0	0	0	0	0	30
ばちこ屋・まあじゃん屋等		22,487	55	2	36	14	1	16	1	957
景品交換所		66	14	0	14	9	0	0	0	1
ゲームセンター		9,750	11	0	11	1	1	0	0	532
その他の風俗営業店		5,138	33	6	18	14	0	4	5	774
個室付浴場		88	1	0	0	0	0	0	1	14
モーテル・ラブホテル等		2,392	169	5	43	10	0	1	120	150
その他の店舗型風俗特殊営業店		664	16	0	14	9	0	1	1	83
深夜飲食店		14,644	112	22	48	35	0	16	26	2,825
その他の飲食店		36,788	140	14	86	70	1	27	13	2,894
金融機関等		21,899	209	1	205	187	0	3	0	249
質屋		263	13	0	13	13	0	0	0	0
貸金業		2,962	28	0	28	26	0	0	0	36
銀行		12,149	24	0	24	18	0	0	0	97
郵便局		3,487	123	0	122	116	0	1	0	70
信用金庫・組合		1,507	16	0	16	13	0	0	0	12
農(漁)業協同組合		1,531	5	1	2	1	0	2	0	34
公営競技場		755	1	0	0	0	0	1	0	56
競馬場		225	0	0	0	0	0	0	0	17
競輪場		250	0	0	0	0	0	0	0	19
オートレース場		56	1	0	0	0	0	1	0	1
競艇場		224	0	0	0	0	0	0	0	19
スポーツ・行楽施設		12,003	11	3	2	1	0	2	4	310
ゴルフ場		2,283	1	1	0	0	0	0	0	15
その他のスポーツ施設		8,849	10	2	2	1	0	2	4	267
遊園地動物園		871	0	0	0	0	0	0	0	28
学校(幼稚園)		36,979	70	4	9	1	3	37	20	1,809
病(医)院診療所		13,687	71	26	17	11	1	20	8	543
神社仏閣		11,072	43	1	12	3	6	21	9	219
街頭		976,015	3,484	295	2,410	5	1,684	167	612	41,504
道路上		315,339	2,325	175	1,870	0	1,451	39	241	27,973
駐車(輪)場		596,047	702	53	356	4	169	103	190	6,384
都市公園		14,978	124	20	59	0	43	15	30	1,732
空き地		14,258	73	11	15	0	10	5	42	370
公共交通機関等		32,175	62	19	22	0	9	5	16	4,255
地下鉄内		1,477	0	0	0	0	0	0	0	183
新幹線内		647	0	0	0	0	0	0	0	31
その他の列車内		9,133	2	0	0	0	0	1	1	844
駅		16,800	39	9	19	0	7	3	8	2,818
その他の鉄道施設		835	0	0	0	0	0	0	0	92
航空機内		50	0	0	0	0	0	0	0	5
空港		588	1	0	1	0	0	0	0	51
船舶内		370	2	1	0	0	0	0	1	8
海港		1,731	18	9	2	0	2	1	6	66
バス内		544	0	0	0	0	0	0	0	157
その他の交通機関		2,084	187	16	79	0	0	0	92	621
タクシー内		1,250	48	0	47	0	0	0	1	327
その他の自動車内		834	139	16	32	0	0	0	91	294
その他の街頭		1,134	11	1	9	1	2	0	1	169
地下街地下道路		639	5	1	4	0	1	0	0	112
高速道路		495	6	0	5	1	1	0	1	57
その他		120,305	671	86	171	17	40	246	168	3,992

凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯) (平成18年)

凶器準備集合	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯				罪種・手口	発生場所
					侵入窃盗	乗り物盗	自動車盗			
20	31,002	33,987	2,658	8,636	1,534,528	205,463	517,815	36,058	総数	
0	3,941	6,201	1,137	1,223	285,232	123,403	81,672	3,458	住宅	
0	1,262	2,410	588	545	145,664	73,155	32,665	2,133	一戸建住宅	
0	2,679	3,791	549	678	139,568	50,248	49,007	1,325	共同住宅	
0	1,355	1,832	273	281	58,087	16,876	25,246	497	共同住宅(4階建以上)	
0	1,324	1,959	276	397	81,481	33,372	23,761	828	共同住宅(3階建以下)	
1	6,888	8,403	765	2,248	431,503	72,518	32,845	2,096	事務所等	
0	525	925	213	351	54,574	29,004	3,099	1,360	一般事務所	
0	5,738	5,897	435	1,650	332,008	34,661	18,850	668	店舗	
0	2,101	1,465	139	615	236,471	18,026	13,583	501	商店	
0	213	134	15	95	29,853	198	1,382	10	デパート	
0	682	448	24	162	20,966	315	2,020	130	コンビニエンスストア	
0	34	10	0	8	12,780	369	249	9	ドラッグストア	
0	102	62	3	20	16,534	386	515	10	ディスカウントストア	
0	521	360	33	157	91,229	1,469	6,368	63	その他のスーパーマーケット	
0	53	29	4	24	3,384	197	584	8	インタビデオ店	
0	2	1	0	0	547	83	27	1	貴金属店	
0	9	7	6	7	1,891	333	127	14	古物店	
0	104	85	8	22	4,404	1,778	130	54	給油所	
0	381	329	46	120	54,883	12,898	2,181	202	その他の商店	
0	3,637	4,432	296	1,035	95,537	16,635	5,267	167	サービス営業店	
0	3,396	4,223	262	904	77,591	15,493	4,257	140	生活環境営業	
0	112	151	16	42	4,583	635	145	13	一般ホテル・旅館	
0	103	89	5	7	8,177	171	85	5	サウナ等公衆浴場	
0	16	9	0	5	632	8	109	0	映画館劇場等	
0	519	324	34	80	18,278	379	768	39	ばちこ屋・まあじゃん屋等	
0	1	0	0	0	29	9	0	0	景品交換所	
0	206	178	4	144	8,290	102	1,005	4	ゲームセンター	
0	285	432	10	47	3,099	576	368	9	その他の風俗営業店	
0	4	4	0	6	62	16	4	0	個室付浴場	
0	44	67	6	33	1,175	99	14	1	モーテル・ラブホテル等	
0	27	42	5	9	391	90	16	4	その他の店舗型風俗特殊営業店	
0	985	1,668	65	107	8,041	2,691	214	7	深夜飲食店	
0	1,094	1,259	117	424	24,834	10,717	1,529	58	その他の飲食店	
0	75	44	25	105	6,873	408	207	5	金融機関等	
0	0	0	0	0	109	15	2	0	質屋	
0	4	5	6	21	651	35	0	0	貸金業	
0	29	6	7	55	3,634	13	104	1	銀行	
0	29	17	9	15	991	27	36	0	郵便局	
0	4	3	0	5	505	21	19	0	信用金庫・組合	
0	9	13	3	9	983	297	46	4	農(漁)業協同組合	
0	39	16	0	1	579	17	39	1	公営競技場	
0	10	6	0	1	184	2	6	0	競馬場	
0	14	5	0	0	184	9	29	1	競輪場	
0	0	1	0	0	45	3	1	0	オートレース場	
0	15	4	0	0	166	3	3	0	競艇場	
0	127	149	9	25	10,494	717	764	21	スポーツ・行業施設	
0	6	4	2	3	2,064	284	8	5	ゴルフ場	
0	109	135	6	17	7,654	410	735	16	その他のスポーツ施設	
0	12	10	1	5	776	23	21	0	遊園地動物園	
1	375	1,209	67	157	24,480	4,251	10,064	18	学校(幼稚園)	
0	195	259	49	40	11,166	2,584	623	34	病(医)院診療所	
0	55	113	1	50	9,275	2,018	209	16	神社仏閣	
16	18,816	17,373	609	4,690	725,602	258	387,589	27,236	街頭	
9	13,141	11,660	383	2,780	203,419	4	110,482	3,828	道路上	
2	2,014	2,997	157	1,214	483,146	113	267,745	22,346	駐車(輪)場	
3	491	885	24	329	7,733	17	1,959	15	都市公園	
1	101	184	8	76	9,532	2	3,188	1,002	空き地	
1	2,736	1,324	22	172	20,981	120	4,195	39	公共交通機関等	
0	130	50	0	3	1,145	0	0	0	地下鉄内	
0	28	3	0	0	570	0	0	0	新幹線内	
0	613	219	8	4	7,354	0	0	0	その他の列車内	
0	1,748	909	12	149	9,261	61	4,074	5	駅	
0	55	29	1	7	280	16	25	1	その他の鉄道施設	
0	3	2	0	0	34	0	0	0	航空機内	
0	30	19	1	1	386	9	4	0	空港	
0	3	5	0	0	319	0	0	0	船舶内	
1	23	35	0	7	1,356	34	92	33	海港	
0	103	53	0	1	276	0	0	0	バス内	
0	264	252	13	92	226	0	0	0	その他の交通機関	
0	201	108	0	18	119	0	0	0	タクシー内	
0	63	144	13	74	107	0	0	0	その他の自動車内	
0	69	71	2	27	565	2	20	6	その他の街頭	
0	54	35	1	22	358	0	11	0	地下街地下道路	
0	15	36	1	5	207	2	9	6	高速道路	
3	1,357	2,010	147	475	92,191	9,284	15,709	3,268	その他	

図表 6 - 20 刑法犯の発生場所別認知件数（非侵入窃盗、

発生場所	罪種・手口		非侵入窃盗						知能犯
	オートバイ盗	自転車盗	うちひったくり	うちすり	うち車上ねらい	うち部品ねらい	うち自動販売機ねらい		
総数	93,294	388,463	811,250	26,828	13,698	205,744	88,739	55,981	84,271
住宅	22,706	55,508	80,157	95	0	18,861	11,085	2,163	34,445
一戸建住宅	9,115	21,417	39,844	0	0	12,564	3,967	814	23,858
共同住宅	13,591	34,091	40,313	95	0	6,297	7,118	1,349	10,587
共同住宅（4階建以上）	6,458	18,291	15,965	72	0	2,598	3,701	599	5,822
共同住宅（3階建以下）	7,133	15,800	24,348	23	0	3,699	3,417	750	4,765
事業所等	3,569	27,180	326,140	182	5,729	11,584	3,372	22,063	37,280
一般事務所	532	1,207	22,471	1	10	1,597	1,721	8,318	5,163
店舗	2,502	15,680	278,497	170	5,416	7,916	1,382	13,062	31,445
商店	1,570	11,512	204,862	117	3,106	4,611	1,008	9,766	9,253
デパート	122	1,250	28,273	15	1,297	149	34	88	723
コンビニエンスストア	250	1,640	18,631	12	42	882	68	399	972
ドラッグストア	17	223	12,162	1	31	191	6	229	114
ディスカウントストア	55	450	15,633	2	147	264	22	237	338
その他のスーパーマーケット	600	5,705	83,392	76	1,237	1,824	154	1,836	1,310
リサイクル店	64	512	2,603	1	14	235	10	54	226
貴金属店	7	19	437	0	1	19	10	12	69
古物店	16	97	1,431	0	2	49	59	27	134
給油所	36	40	2,496	1	1	114	28	314	2,180
その他の商店	403	1,576	39,804	9	334	884	617	6,570	3,187
サービス営業店	932	4,168	73,635	53	2,310	3,305	374	3,296	22,192
生活環境営業	824	3,293	57,841	42	1,938	2,760	288	1,598	8,962
一般ホテル・旅館	24	108	3,803	2	22	95	24	146	1,340
娯楽等公衆浴場	19	61	7,921	0	39	342	10	111	131
映画館劇場等	14	95	515	0	80	6	4	4	13
ばちこ屋・まあじゃん屋等	245	484	17,131	27	510	995	85	175	302
景品交換所	0	0	20	0	0	0	0	0	16
ゲームセンター	120	881	7,183	4	588	126	31	185	75
その他の風俗営業店	53	306	2,155	0	107	50	27	103	459
個室付浴場	0	4	42	1	0	0	0	1	4
モーテル・ラブホテル等	5	8	1,062	0	2	44	3	23	653
その他の店舗型風俗特殊営業店	6	6	285	0	5	7	2	14	22
深夜飲食店	44	163	5,136	2	220	151	12	28	1,901
その他の飲食店	294	1,177	12,588	6	365	944	90	808	4,046
金融機関等	32	170	6,258	8	29	98	47	338	13,076
質屋	1	1	92	0	2	0	0	0	94
貸金業	0	0	616	0	0	4	0	1	2,114
銀行	12	91	3,517	7	12	25	8	5	7,753
郵便局	3	33	928	0	7	17	5	18	2,075
信用金庫・組合	5	14	465	1	3	12	5	5	824
農(漁)業協同組合	11	31	640	0	5	40	29	309	216
公営競技場	10	28	523	2	193	15	6	24	30
競馬場	3	3	176	1	42	3	0	5	7
競輪場	6	22	146	0	63	5	3	9	9
オートレース場	0	1	41	0	20	6	1	6	1
競艇場	1	2	160	1	68	1	2	4	13
スポーツ・行楽施設	66	677	9,013	1	150	432	33	1,336	124
ゴルフ場	1	2	1,772	0	2	104	3	445	75
その他のスポーツ施設	64	655	6,509	1	78	316	30	788	40
遊園地動物園	1	20	732	0	70	12	0	103	9
学校(幼稚園)	394	9,652	10,165	3	26	1,592	175	543	166
病(医)院診療所	111	478	7,959	5	70	228	76	107	364
神社仏閣	30	163	7,048	3	207	251	18	33	142
街頭	64,108	296,245	337,755	26,315	7,273	170,434	71,623	18,273	9,338
道路上	18,825	87,829	92,933	25,953	1,573	35,223	6,313	9,240	5,182
駐車(輪)場	44,223	201,176	215,288	264	103	131,151	63,874	6,819	1,218
都市公園	203	1,741	5,757	28	142	1,378	101	547	39
空き地	530	1,656	6,342	1	3	2,370	848	1,305	77
公共交通機関等	322	3,834	16,666	58	5,366	243	481	350	1,905
地下鉄内	0	0	1,145	1	722	0	0	1	5
新幹線内	0	0	570	0	198	0	0	0	1
その他の列車内	0	0	7,354	9	3,178	0	0	0	29
駅	303	3,766	5,126	44	1,125	61	139	281	1,710
その他の鉄道施設	2	22	239	3	21	11	24	16	15
航空機内	0	0	34	0	3	0	0	0	7
空港	1	3	373	1	25	2	1	6	107
船舶内	0	0	319	0	4	10	53	1	1
海港	16	43	1,230	0	8	159	264	45	7
バス内	0	0	276	0	82	0	0	0	23
その他の交通機関	0	0	226	0	13	0	0	1	766
タクシー内	0	0	119	0	4	0	0	0	685
その他の自動車内	0	0	107	0	9	0	0	1	81
その他の街頭	5	9	543	11	73	69	6	11	151
地下街地下道路	3	8	347	10	65	1	0	2	18
高速道路	2	1	196	1	8	68	6	9	133
その他	2,911	9,530	67,198	236	696	4,865	2,659	13,482	3,208

知能犯、風俗犯、その他の刑法犯) (平成18年)

うち詐欺	風俗犯	うち強制わいせつ	その他の刑法犯	うち占有離脱物横領	うち公務執行妨害	うち住居侵入	うち略取誘拐・人身売買	うち器物損壊等	罪種・手口	
									発生場所	その他
74,632	11,932	8,326	333,692	93,436	3,576	31,030	199	194,824	総数	
33,809	2,424	1,991	71,960	3,613	238	19,508	34	46,946	住宅	
23,506	479	372	35,128	489	111	10,710	7	23,041	一戸建住宅	
10,303	1,945	1,619	36,832	3,124	127	8,798	27	23,905	共同住宅	
5,684	1,170	969	17,224	1,536	71	2,938	10	12,243	共同住宅(4階建以上)	
4,619	775	650	19,608	1,588	56	5,860	17	11,662	共同住宅(3階建以下)	
30,511	1,622	731	53,288	5,579	419	9,487	25	35,157	事務所等	
3,626	103	53	10,633	399	156	2,919	0	6,620	一般事務所	
26,313	1,302	493	29,482	3,918	227	4,018	19	19,626	店舗	
7,535	704	220	14,892	2,299	58	2,088	3	9,708	商店	
545	55	26	1,072	209	4	62	2	714	デパート	
728	89	32	1,866	554	22	45	0	1,157	コンビニエンスストア	
70	10	4	395	49	0	65	0	266	ドラッグストア	
260	19	5	498	116	0	67	0	284	ディスカウントストア	
985	94	54	3,748	947	10	364	1	2,167	その他のスーパーマーケット	
199	116	10	232	55	4	25	0	141	インタビデオ店	
59	0	0	64	5	0	16	0	40	貴金属店	
106	32	3	187	15	0	37	0	91	古物店	
2,132	9	6	830	118	4	152	0	542	給油所	
2,451	280	80	6,000	231	14	1,255	0	4,306	その他の商店	
18,778	598	273	14,590	1,619	169	1,930	16	9,918	サービス営業店	
8,475	564	257	11,979	1,216	151	1,710	16	8,223	生活環境営業	
1,290	66	59	566	32	6	96	1	274	一般ホテル・旅館	
121	26	25	233	44	6	54	0	122	サウナ等公衆浴場	
6	20	2	73	14	0	4	0	51	映画館劇場等	
234	21	8	2,874	578	7	254	0	1,949	ぱちんこ屋・まあじゃん屋等	
15	0	0	6	0	0	2	0	4	景品交換所	
55	37	16	805	203	3	24	2	548	ゲームセンター	
415	122	21	651	66	14	59	2	473	その他の風俗営業店	
3	1	1	6	1	0	0	0	4	個室付浴場	
631	28	26	217	8	2	19	3	165	モーテル・ラブホテル等	
13	77	0	75	2	1	7	0	52	その他の店舗型風俗特殊営業店	
1,858	66	53	1,699	30	48	206	1	1,343	深夜飲食店	
3,834	100	46	4,774	238	64	985	7	3,238	その他の飲食店	
10,222	13	3	1,479	206	13	109	0	962	金融機関等	
69	0	0	47	1	0	5	0	14	質屋	
1,292	1	1	132	5	0	9	0	109	貸金業	
6,390	1	1	640	143	5	16	0	365	銀行	
1,671	8	0	220	26	8	19	0	148	郵便局	
652	1	0	149	19	0	5	0	111	信用金庫・組合	
148	2	1	291	12	0	55	0	215	農(漁)業協同組合	
16	1	0	88	40	1	6	0	16	公営競技場	
2	1	0	16	10	0	1	0	3	競馬場	
4	0	0	38	15	0	4	0	7	競輪場	
1	0	0	8	3	1	1	0	2	オートレース場	
9	0	0	26	12	0	0	0	4	競艇場	
65	20	13	1,044	157	4	105	0	717	スポーツ・行楽施設	
29	5	3	123	5	0	26	0	88	ゴルフ場	
33	14	10	864	142	4	71	0	595	その他のスポーツ施設	
3	1	0	57	10	0	8	0	34	遊園地動物園	
144	96	81	10,358	1,011	10	1,971	3	7,127	学校(幼稚園)	
292	78	75	1,465	105	22	259	2	929	病(医)院診療所	
136	43	29	1,350	146	4	320	1	855	神社仏閣	
8,385	7,221	5,131	188,866	79,989	2,426	229	126	100,964	街頭	
4,684	5,055	3,588	71,385	48,029	1,949	4	80	18,202	道路上	
1,038	857	616	103,740	25,950	311	114	24	76,182	駐車(輪)場	
35	302	177	5,048	2,829	23	25	10	1,850	都市公園	
68	107	89	4,099	2,337	18	2	2	1,650	空き地	
1,742	766	539	4,206	815	83	80	6	2,847	公共交通機関等	
3	59	49	85	6	8	0	0	64	地下鉄内	
1	8	4	37	3	0	0	0	33	新幹線内	
29	485	367	419	85	1	0	0	320	その他の列車内	
1,651	165	91	2,807	629	62	58	5	1,909	駅	
12	9	5	439	30	2	5	1	262	その他の鉄道施設	
3	1	1	3	1	0	0	0	2	航空機内	
24	0	0	43	9	4	5	0	18	空港	
0	3	3	37	2	0	9	0	20	船舶内	
3	14	9	270	31	2	3	0	187	海港	
16	22	10	66	19	4	0	0	32	バス内	
714	103	95	181	10	36	0	4	61	その他の交通機関	
644	14	14	57	7	0	0	0	47	タクシー内	
70	89	81	124	3	36	0	4	14	その他の自動車内	
104	31	27	207	19	6	4	0	172	その他の街頭	
17	28	24	118	11	2	0	0	103	地下街地下道路	
87	3	3	89	8	4	4	0	69	高速道路	
1,927	665	473	19,578	4,255	493	1,806	14	11,757	その他	